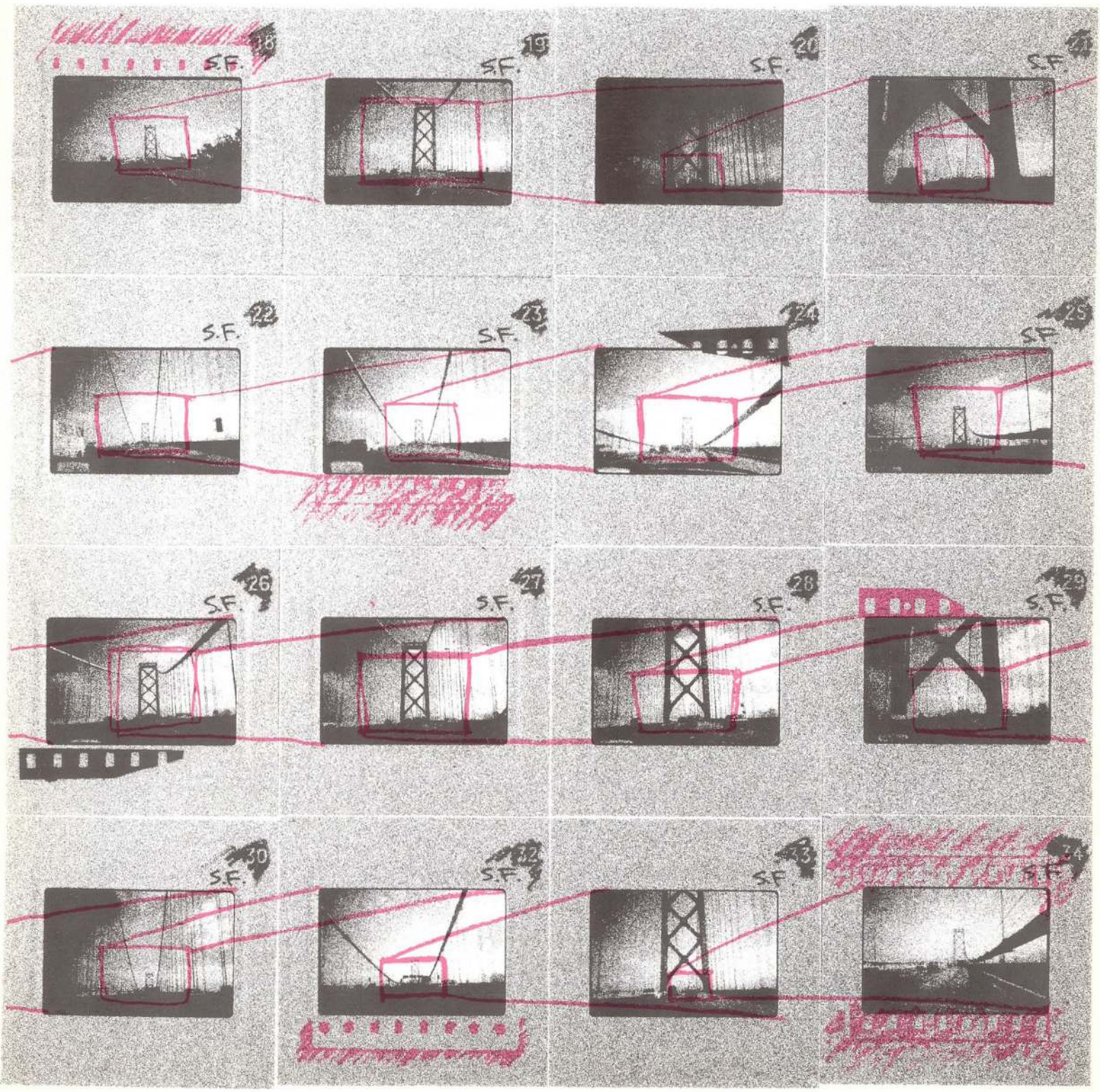
昭和57年1月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可

建　築　と　社　会

Vol.63 通巻718号

特集●新たな商業空間の展開

1
1982

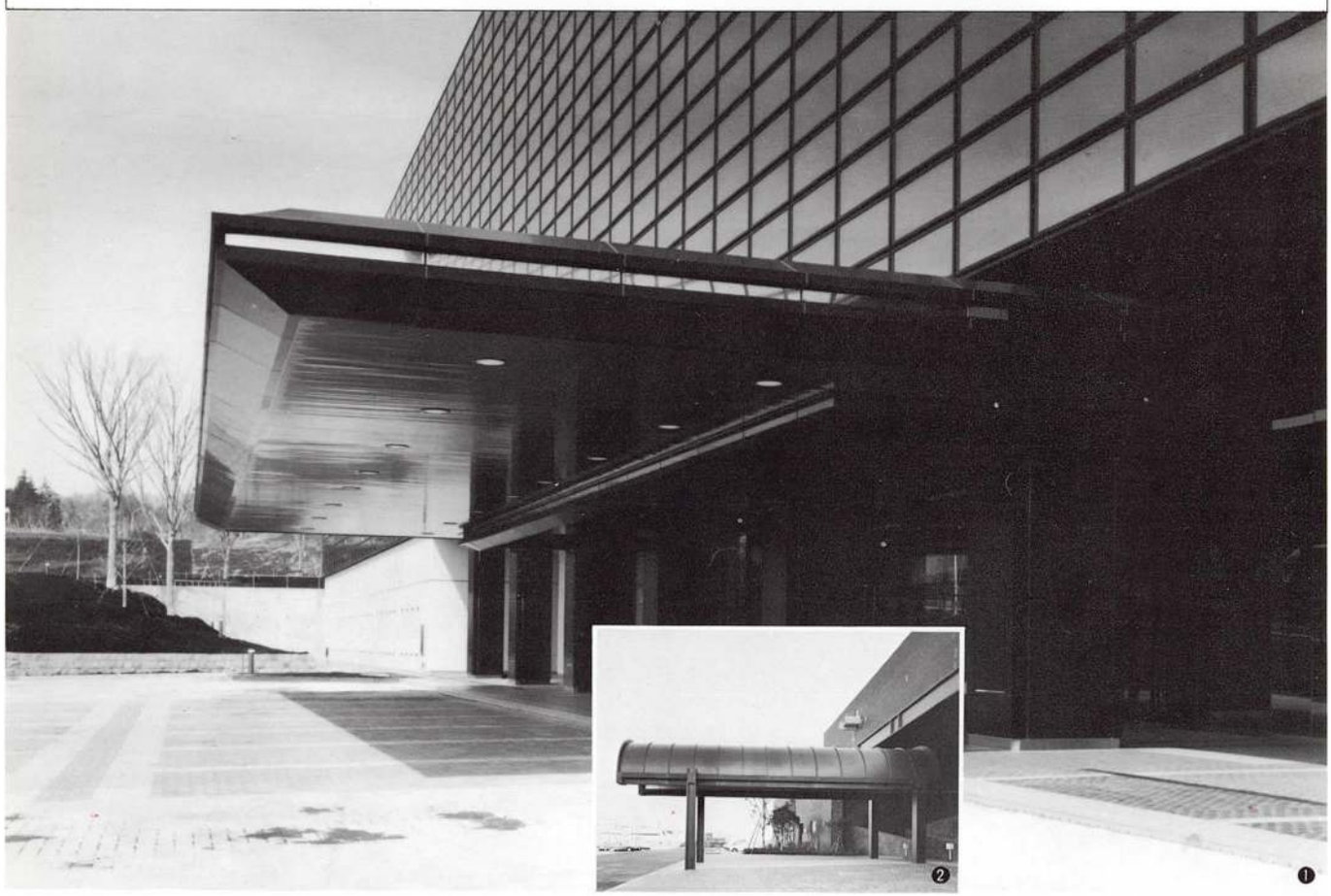


日本建築協会

NAKA

実績の証明

庇



❶

❷

庇は個性。いいビルはいいアクセサリーをつけている。

アクセサリー類が、その人の個性を物語るように、庇はビルの個性をつくりあげるアクセサリー。ナカ工業の装飾金物は一点一点別注で、そのビルの個性を大切にして創り上げます。それはまるで世界の一流デザイナーがアクセサリーをハンドメイドで創りあげる感覚で…。迎賓館をはじめ各種文化会館、庁舎、学術会館…などにご採用いただき高い評価をいただきました。写真は①ＴＢＳ緑山スタジオの玄関庇②厚木文化会館…など。

創意と良心を大切にする

ナカ工業

お願い—広告の写真はオーダー施工例ですので、規格カタログの用意がありません。
お問い合わせは下記営業所にお願いします。

札幌：〒063 札幌市西区発寒16条13丁目２－50	☎011(662)7611	名古屋：〒453 名古屋市中村区十王町３－46	☎052(471)3191
仙台：〒980 仙台市中央1-6-30(宮城林産ビル)	☎0222(27)2391	大阪：〒532 大阪市淀川区田川３－10－２	☎ 06(308)5541
東京：〒340 埼玉県八潮市新町39	☎0489(36)3781	広島：〒730 広島市中区大手町3-11-32(ソンネビル)	☎0822(46)9200
横浜：〒231 横浜市中区花咲町３－92	☎045(241)6411	福岡：〒814 福岡市西区原８－17－３	☎092(863)8211

●釧路・旭川・青森・新潟・長野・前橋・多摩・小山・水戸・千葉 沼津・静岡・金沢・岡山・広島・高松・松山・鹿児島・熊本

●建築は金物で生きる良い金物を使いましょう(全現連宣言)●建物の価値を高めるナカの建築金物

謹賀新年

1982

昭和57年を迎えて

社団法人　日本建築協会会長　塚　本　猛　次

あけましておめでとうございます。

本会会員、役員の皆様方、事務局の方々、無事ご越年お慶び申し上げます。おかげで昨年も多くの事業を行うことができました。「建築と社会」誌の刊行、創立六十周年記念出版としての建築技術選書の刊行も順調に果たされてまいりました。これも当該委員会の委員長様はじめ、委員各位のご尽力によるものであり、また、原稿執筆者の方々に対しても厚くお礼を申し上げる次第です。また、事業委員会、教育委員会においても住宅展、見学会、高校生の作品募集等、社会、教育界、ならびに会員のための諸活動を行ってまいりました。いずれも当該委員会委員各位のご努力に対し厚くお礼を申し上げます。

昨年は、会員各位のご理解を得て、その資金をお借りして、現在の協会の土地を収得いたしました。本件にお力添えをいただいた会員各位に厚く深謝する次第です。

世界の状勢は政治的、経済的にも不安がつきまとっておりますが、当然わが国もその渦中にあるわけです。同時に、建設業界も住宅建設はじめ、あまり活発とは言えない状態です。この時機にわが協会としては、会員に対し世間に対していかに対処してゆくべきか、常に念頭においてその運営をはからねばなりません。

本会の運営には、会員の会費と賛助会員の多額の会費と刊行誌におよせ下さる広告費等が財源の大きな要素です。この資金をいかに活用するかが私共役員ならびに事務局のつとめではありますが、何と言ってもその根元は会員の皆様の英知とお力添えだと思います。どうか本年も本会のためになお一層のご高配を期待するものであります。会員各位のご健勝をお祈りして年頭のご挨拶といたします。（昭56.11.25）



孤篷庵 忘筌 露結手水鉢　撮影 恒成一訓

建築と社会
©1917年創刊
第63集・1982

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

CONTENTS

ARCHITECTURE AND SOCIETY

1

通巻718号

特集●新たな商業空間の展開

SPECIAL FEATURES ON THE MOST RECENT TRENDS IN SHOPPING SPACE

昭和57年を迎えて……日本建築協会会長・塚本猛次……1
生駒市庁舎……設計監理：安井建築設計事務所　施工：淺沼組……4
赤穂市民総合体育館……設計：日建設計　監理：赤穂市・日建設計……6
施工：清水建設
岡山県倉敷総合屋内水泳センター
……設計：東畑建築事務所　工事監理：岡山県……8
施工：清水建設・蜂谷工業共同企業体
温泉津町コミュニティーセンター・保健センター
……設計監理：三谷設計　施工：木村建設……10
温泉津町立椛島公園体育館……設計監理：三谷設計　施工：多田建設……12
桜井市民会館及び中央公民館…設計：岩崎建築設計事務所……14
監理：桜井市・岩崎建築設計事務所　施工：中尾組
エバーグリーンポートアイランド …設計：昭和設計・熊谷組大阪支店……16
施工：熊谷組大阪支店
秋田大町ニューシティビル……設計：泉沢建築設計事務所……18
施工：清水建設・北野建設共同企業体
パレロワイヤル岡崎……設計施工：長谷川工務店……20
イトーピア東大島マンション…設計施工：不二建設……22
第13回中部建築賞……23
第27回工高生デザインコンクール入選作品(テーマ：ファミリーレストラン)……24
大阪市における「大規模建築物の建設計画の事前協議に関する取扱要領実施(技術)基準」の改正(最終回)／森本　哲……27
ウエブレン－従来工法に替わる新しい梁貫通孔補強工法－／松本　章……29
…3,200名のデザイナー参加のもとに…〝大阪デザイン団体連合〟結成される／樋口　治．
第18回よろず相談住宅展終わる．毎日ＤＡＳ学生デザイン賞募集……30
マイ・フォトーヨーロッパを旅して〝マドリッド～トレド〟／中馬博良．省エネワンポイント・その４－太陽熱を把む／田中建美……31
自然発生的建築をめぐって－21－プライバシー２／本多友常……32
日本建築協会常設委員会委員長……35
五条坂／西川幸治．原点／今井潤之介．ブーンと響く音楽ホール－ある空間１／小北博一．現場マン群像／安盛壽一……36
会員の受章．会員名簿の頒布お知らせ．大阪市庁舎新築工事の見学会(第１期工事)その２…最終仕上工事の見学…．建築家に聞く・内井昭蔵・長谷川堯…1982年、新春放談……37
歴史的環境を残す都市、奈良・今井町を訪ねる／三宅良一・山宮喜久二・西川　修……39

新たな商業空間の展開

座談会・新たな商業空間の展開……54
田吹日出碩／吉田三郎／小泉美喜子／三輪泰司
酒井　貞／村上元康／森　薫
〔最近の商業空間事例〕
パルパローレ／おおとりウイングス／ＡＢＬ／西武百貨店（八尾）／堺東再開発ビル・ジョルノ／京都センチュリーホテル／上六地区第１種市街地再開発／芦屋ステーションビル／横尾地区センター商業施設／ポートアイランドショッピングセンター／新倉敷パオ／エルシティ刈谷ショッピングセンター／トーク岸和田／出雲コミュニティデパートパラオ／ひめじ花の北モール／カタクラモール／ジャスコ（倉敷）／ポルタ／大阪駅前市街地第３棟／フォーラム４／エスト一番街
商業空間の比較考現学－街路のもつ重要性をめぐって……鳴海邦碩……70
ケース・スタディ・大阪・京都・神戸の商業空間……74
金澤成保／斎藤侑男／田中直人

プレストレスト鉄筋コンクリート(ＰＲＣ)構造(その３)／鈴木計夫……86
屎尿浄化槽(その２)／宮城　透……87
網状ルートパイル工法／坂下五男……88
日本建築協会月間の動き(昭和56年11月分)……92

年頭のことば
作品作風・新建築

表紙デザイン：
水野哲雄(京都芸術短期大学講師)

特集予告
■２月号／省エネルギーと住宅開口部(窓)
■３月号／医療施設－地域医療と設備計画
■４月号／近畿の地盤と地質(予定)
■５月号／都市景観(仮称)

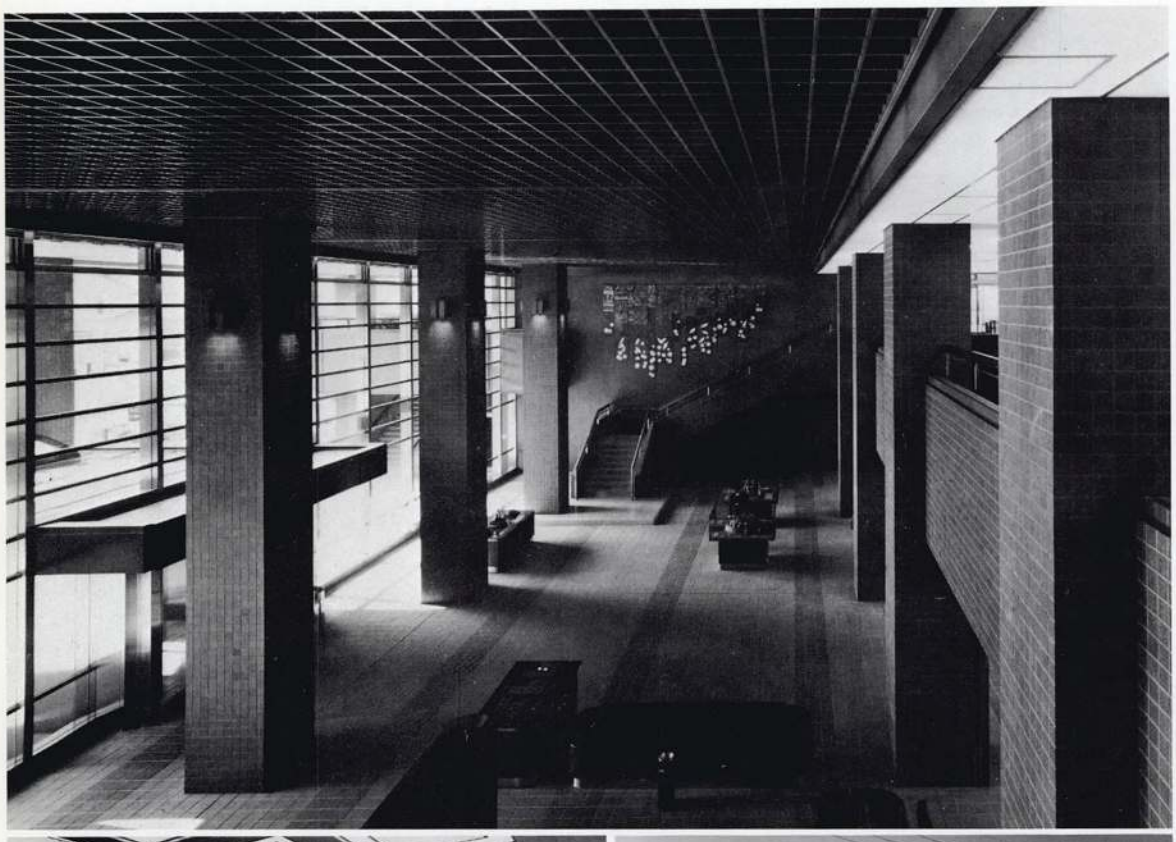
編集委員会（昭和56年度）
編集委員長
三輪　泰司
編集理事
秋田　満　井上　滉　今西　祥郎　小林　清　松村　慶三　三輪　泰司　安盛　壽一　竹中　錬一　前野慶太郎　武田　恭一　堀内　史郎　渡辺　忠
編集委員
(特集小委員会)
○酒井　貞　●計画分科会　×加藤　力　加藤　輝男　川口　正春　倉本　卿介　田中　直人　千葉　桂司　中馬　博良　中瀬　勲　藤本憲太郎　村上　元康　森　薫　山本　善積　吉岡　忠純　●構造分科会　河村　廣　観音　延平　小島　達男　×佐藤　哲夫　柴田　道生　山口　猛　●設備分科会　大倉　良司　表　康雄
河津　隆之　阪田　弘二　×澤柳　健　森山　正和　●施工材料分科会　足立　公明　×浦田　道広　岡田　善弘　中尾　正　三浦　康夫　●法令分科会　×桑田　繁男　中田　巌
(投稿欄小委員会)
大戸　寛　嘉積　俊一　木崎　博　○小北　博一　谷崎　敏邦
(作品作風小委員会)
○小野　為一　佐々木昭男　栄　真樹　高山　司郎　寺元　通夫　苫名　正　能丸　弘毅　三宗　司郎　宮崎　宗久
(広告企画小委員会)
△荒川　治徳　池渕　俊男　上田　哲夫　佐藤　隆幸　下前　裕一　高田　茂　棚橋　和夫　徳持　律夫　中河　克則　原田　常介　松尾　恭治　○渡辺　忠
○副委員長　×幹事
△副委員長代行

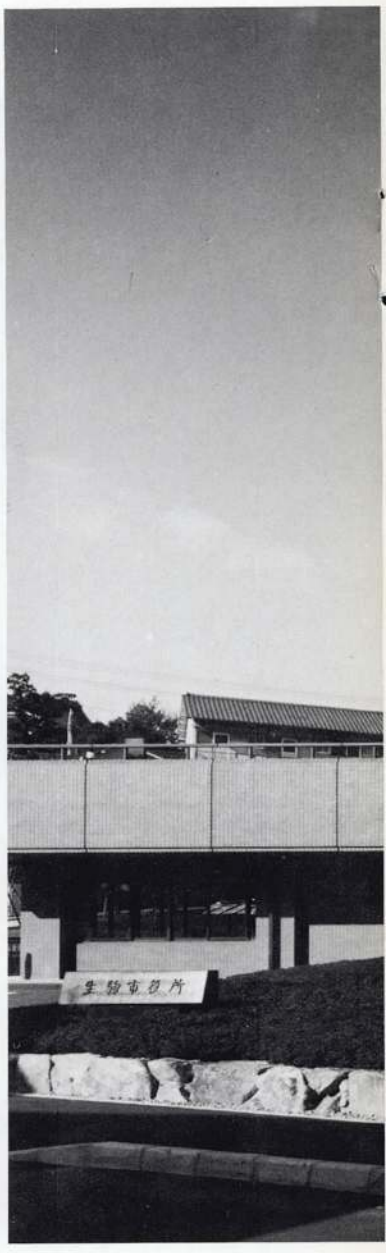
ニュース
デザインコンクール
法令コーナー166
新建材紹介コーナー65
建築と社会ニュース
読者の頁
風土と建築
本年の抱負
建築の眼
会告
若い会員の集いレポート
特集
1
2
3
構造の頁90
設備の頁89
施工材料の頁88
月報

編集人　松　井　昭　光
印　刷　昭和57年１月20日
発　行　昭和57年１月25日
発行人　吉　田　悦　二
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜３－37
電　06－231－9648
振替口座　大阪 39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06－606－1111㈹
大信印刷株式会社
電　06－451－7631㈹
売　価　７５０円（送料別）

生駒市庁舎

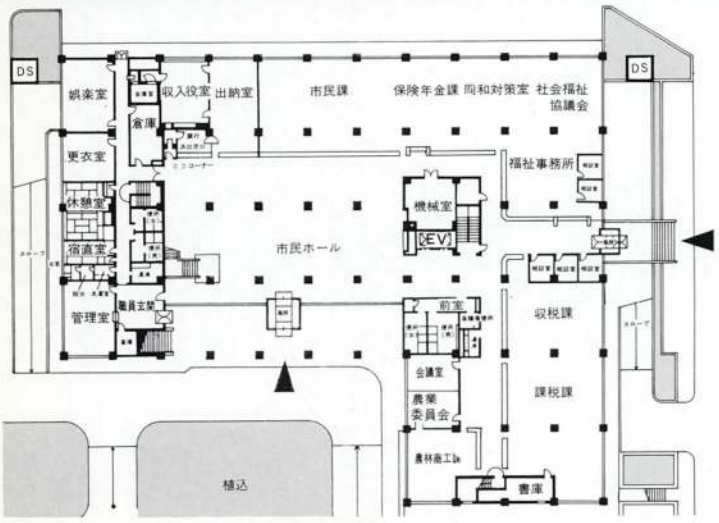
設計監理　安井建築設計事務所







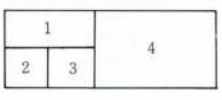




1階平面図（1：1000）

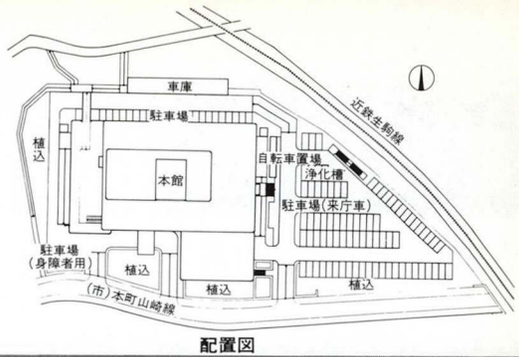


5階平面図（1：1000）



1．市民ホール
2．議場
3．南西外観　　撮影　STUDIO A・T
4．南面外観　　（島　修一）

施　　工　淺沼組
所 在 地　生駒市東新町８番38号
敷地面積　10,697.00㎡
建築面積　 3,103.80㎡
延床面積　13,733.03㎡
構造規模　ＲＣ、Ｂ１、５Ｆ、Ｐ１
工　　期　昭和55年７月～昭和56年10月



配置図



生駒市は、近畿のほぼ中央に位置し、周囲を大阪・京都・奈良に囲まれており、昭和46年に奈良県下９番目の市として市政が施行された。
その昔、神功皇后が朝鮮遠征の途中、病馬に水を与えられたところ、病馬がよみがえったので往馬（生駒）の名が起こったとも伝えられる神話の地で、緑あふれる美しい自然が誇りの由緒ある歴史のまちである。
このような自然環境に加え、大阪の都心部より25分という至近距離に立地しているため、近年は、ベッドタウンとしての開発が進み、人口も現在では７万４千人と10年前の約２倍になっている。
将来的にみても、この人口増加傾向は続き、「10万都市」になるのも数年後と予想されている。
こうした行政需要の増大と複雑多様化に対処するため、市政10周年を契機に新庁舎が計画・建設された。
新庁舎の敷地は、生駒山の裾が近鉄生駒線に接して終わるところに位置する。スリ鉢の底のような地形による広さの限度と、住居地域で高度地区といった高さに対する法的規制のもとにあった。
計画にあたっては、このような敷地条件下で、将来の人口増に十分対応できる内容と規模を確保することが要求されたので、審査会で高さ制限の一部緩和をうける一方、建物をコンパクトにまとめ、機能面の効率を高めるようにした。
建物構成としては、１階を窓口事務室、２階を一般事務室、３階を将来のための予備スペース、４階を執行部門、５階を市議会関係、地下階を福利厚生施設とし、各階の機能専用化と動線錯綜の解消をなした。また、会議室は４階に集中して配し、利用の効率の向上と空調設備用の低減をはかった。
平面は、全ての執務室が窓に面し、かつ玄関ホール、大会議室、議場等の大きなスペースの配置ができるよう、偏心センターコアを採用した。
外観は、敷地が風致地区に位置することでもあり、周辺との調和、庁舎としての落ち着きのある個性を第１に、省エネルギー、防災、メンテナンス上の利点等を考え合わせ、赤茶色の磁器タイル貼りのバルコニーを四周にめぐらした。
ガラス面は、通風、採光、眺望といった人間性を尊重し、できる限り大きくとり、開閉の容易な機構のものとした。
建築設備は、無公害、省エネルギーに重点を置いて熱源、再生水利用、照明等の計画を行なった。

（安井建築設計事務所）

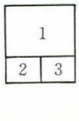
赤穂市民総合体育館

設 計　日建設計／大阪
監 理　赤穂市・日建設計／大阪









1．武道館　5．玄関ホール（管理棟）
2．プール　撮影1：スタジオアーチ
3．競技場　2,3,4,5：フォト共同プロ（樋口尚俊）
4．北面全景



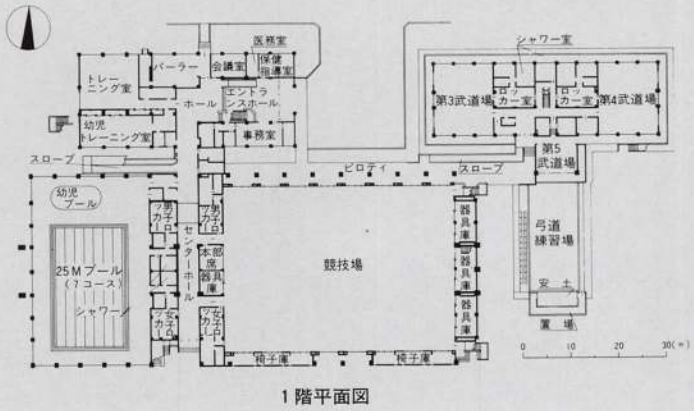
配置図

施　　工　清水建設
所 在 地　兵庫県赤穂市加里屋1278番地
敷地面積　138,000.00㎡
建築面積　　6,751.41㎡
延床面積　　8,327.06㎡
構造規模　ＲＣ（一部Ｓ）、２Ｆ
工　　期　昭和55年２月～昭和56年６月

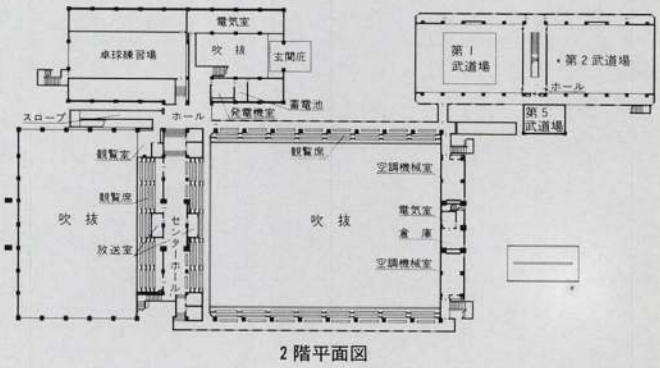
赤穂市民総合体育館は中央運動公園の基幹施設として計画された。公園はすでに陸上競技場をはじめ野球場、テニスコート等が整備されており当体育館の完成で既設屋外運動施設と屋内施設が一体的に利用されることとなり多種多様なスポーツに対応できることとなった。敷地は市の中央をゆったり流れる水澄む千種川のほとり、緑で囲まれた城南緑地運動公園の東端に位置し、国の文化財指定を受けている赤穂城趾に近接している。計画ではこの恵まれた環境との調和を図り、周辺に圧迫感を与えぬよう極力高さを押え、軒の深い勾配屋根の落ちついた和風の建物とした。当館は多目的に使用可能な競技場を中心とし、省エネルギーを目指した太陽熱利用の温水プール棟、さらには市の伝統スポーツを行う武道館棟、トレーニング室を併設した管理棟の４棟を不整形の敷地に沿って有機的に配置している。外まわりの形は大きさの異る内部空間をそのまま表現、棟ごとに微妙に変る屋根勾配や切妻屋根と越屋根とで構成し、甍の連なるシルエットと外壁の表情が、歴史を残す赤穂の町並に添うよう配慮した。
内部は老若男女、身体障害者を含めた、あらゆる人々が、スポーツを身近に楽しめ、使いやすく、快適に健康づくりができることを基本方針とし、明快な動線計画、入念な色彩計画、ゆったりした吹抜や天空光を充分に採り入れ、明るく開放的で親しみの持てる市民総合体育館となるよう計画した。　（日建設計）







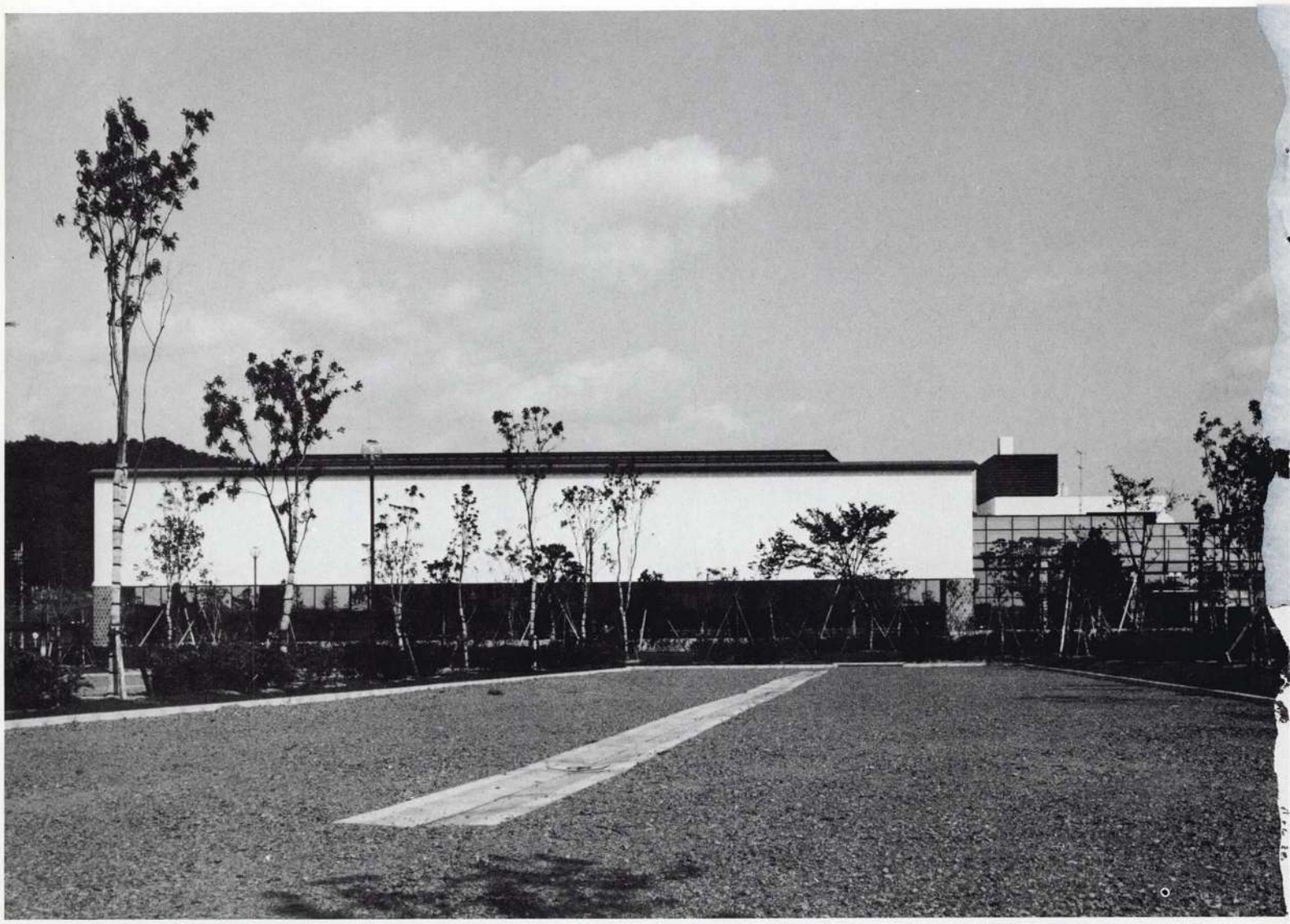
1階平面図

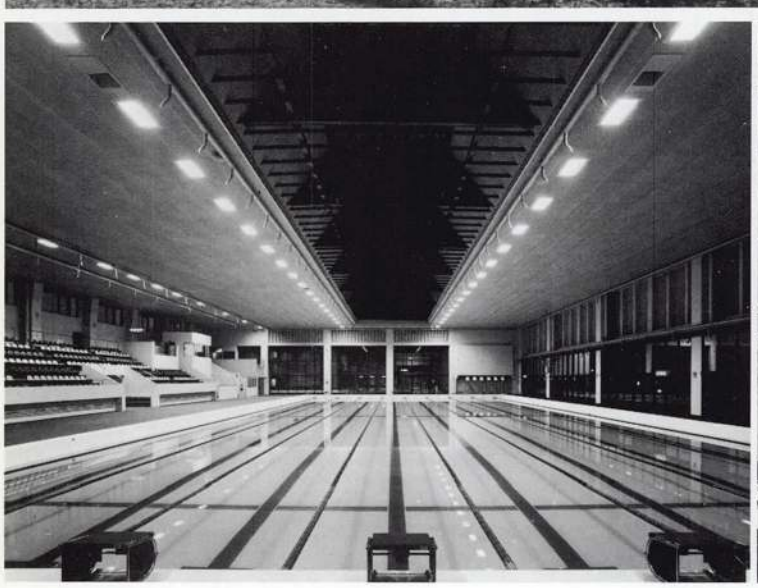


2階平面図

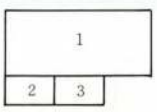
岡山県倉敷総合屋内水泳センター

設　　計　東畑建築事務所
工事監理　岡山県土木部建築課
施　　工　清水建設・蜂谷工業共同企業体



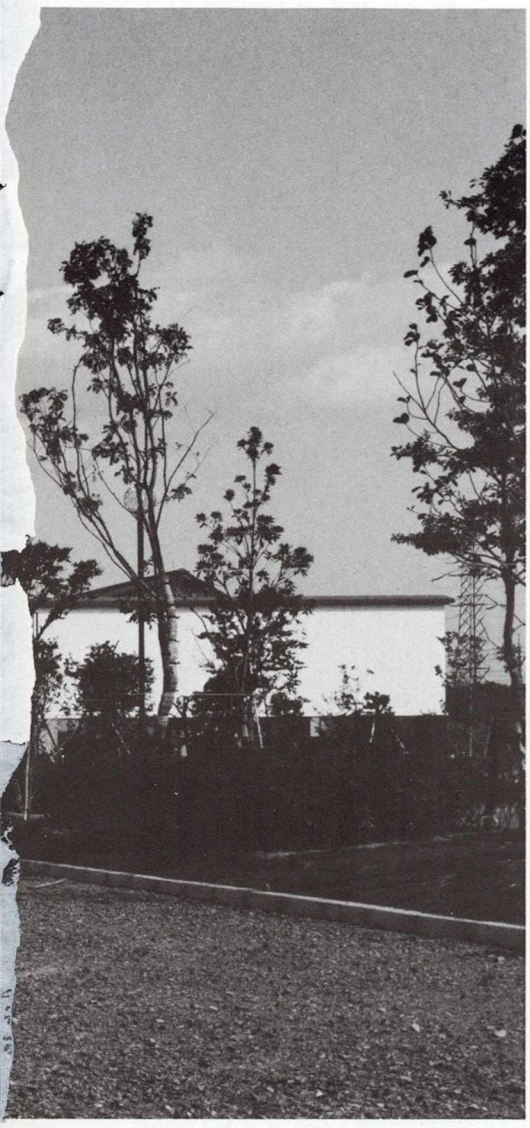






1．全景　　4．アプローチ
2．50mプール室　5．ホールより50mプールを見る
3．25mプール室　撮影　建築写真室

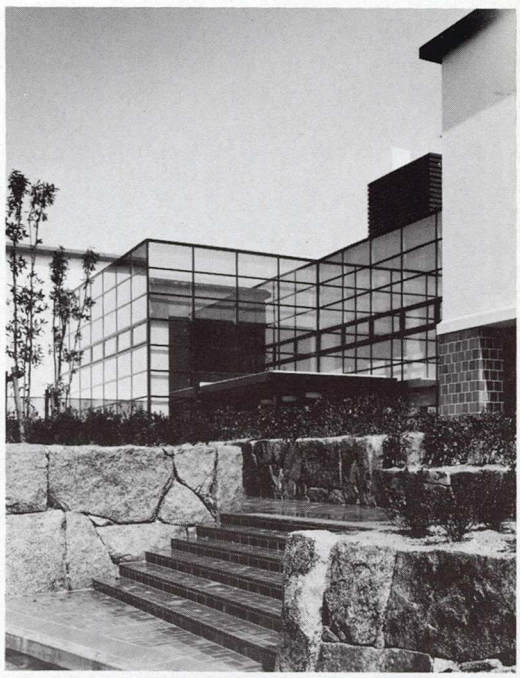
所 在 地　倉敷市新田2458
敷地面積　10,888㎡
建築面積　 4,285㎡
延床面積　 5,634㎡
構造規模　ＳＲＣ、Ｂ１、２Ｆ、Ｐ１
工　　期　昭和55年10月～昭和56年９月
プ ー ル　50ｍ×21ｍ、８コース１面、500人観覧席付
　　25ｍ×15ｍ、７コース１面
　　15ｍ×2.5ｍ、幼児用１面



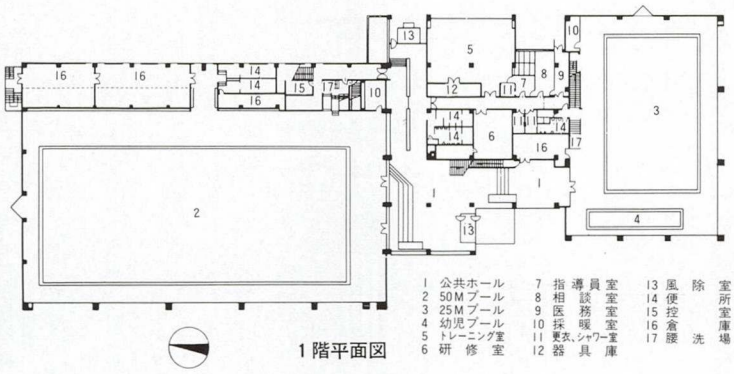
この建物は、３面の室内温水プールのほか、トレーニング室、研修室等を備えた水泳スポーツのための総合的施設である。敷地は倉敷市庁舎の隣地で、その緑の多い広いオープンスペースに面した良い環境の中にあり、また倉敷を象徴する白壁造りの家並が続く美観地区からも遠からぬ所にある。建物外観はこれらとある程度共通のイメージが感じられるものを意図して、白壁と瓦色の外装タイルによる構成を試みたが、あくまでスポーツ施設にふさわしい簡素で明快な表現を心掛けた。

平面構成は左右に50ｍプール室と25ｍプール室を分け、中央に利用者のアプローチ、ホール、更衣ロッカー室、トレーニング室、その他管理関係諸室をまとめている。更衣ロッカー室は両プール利用者共用の大きな一室とし、利用者にわかりやすくかつ管理しやすい位置に設け、また、両プール室は通路で連絡され、利用者は両方自由に行き来ができるようになっている。プール室間仕切はガラススクリーンを主体にし、見通しをよくし建物全体を広々とした一つの連続空間としてまとめた。プール本体はいずれもステンレス製全溶接構造である。50mプールは常時水深1.4mで日本水泳連盟の国際全国大会級公認プールであるが、水深1.8mまで水位を上げ得る構造とし、公式水球試合や日本古式泳法にも対応出来るようになっている。プール室はメタルハライドランプにより平均1000ＬＸの照度を得るが、屋根面に連続したトップライトを設け、窓からの外光とで昼間時には人工照明の必要のない明るさを確保している。

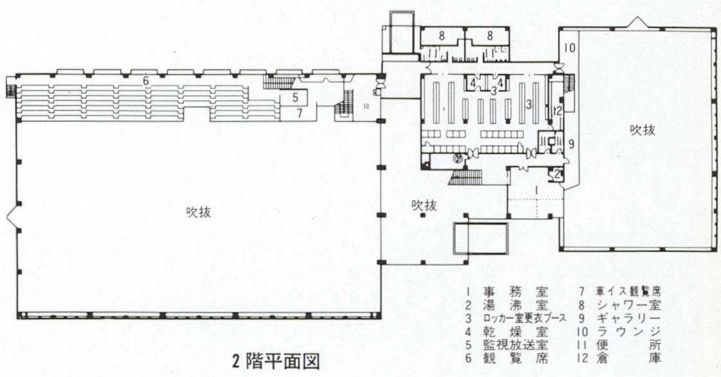
隣地には倉敷市清掃センターがあり、ごみ焼却の余熱の供給を受け、当施設のほとんどの熱源をまかなっている。プール室の暖房方式はプールサイド床の温水パネルヒーティングと温風ダクト方式の併用により、快適な暖かさが得られるものとし、天井の高い室内に温度差が生じぬよう、また、外壁面の結露防止のために常に空気を動かすデリベントシステムを設けている。（東畑建築事務所）







1階平面図



2階平面図

（順不同）

空調設備 **川崎設備工業**　倉敷市連島町連島63－43　TEL 0864－46－2200
電気設備 **山陽電気工事**　倉敷市水島相生町８－５　TEL 0864－46－4500
給排水衛生 **岡水工業**　岡山市平和町４－11　TEL 0862－24－5451
ステンレスプール **川崎製鐵エンジニアリング事業部**　大阪市北区芝田町阪急ターミナルビル１－１－４　TEL 06－373－6177

温泉津町コミュニティーセンター・保健センター

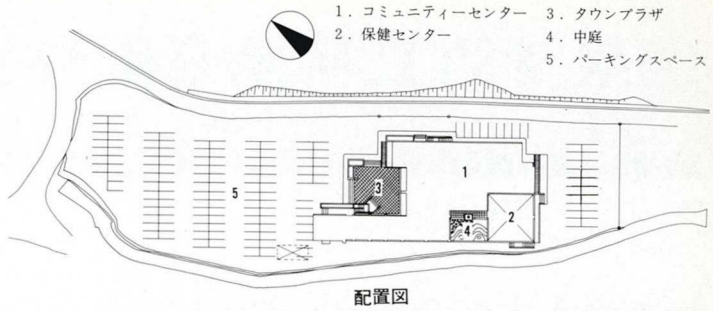
設計監理　三谷設計
施　　工　木村建設



（順不同）

設備　**山陽空調工業島根営業所**　島根県大田市大田町大田南代　ＴＥＬ 08548－２－3311　　電気　**島根電工大田営業所**　島根県大田市久手町刺鹿599～11　ＴＥＬ 08548－２－1894

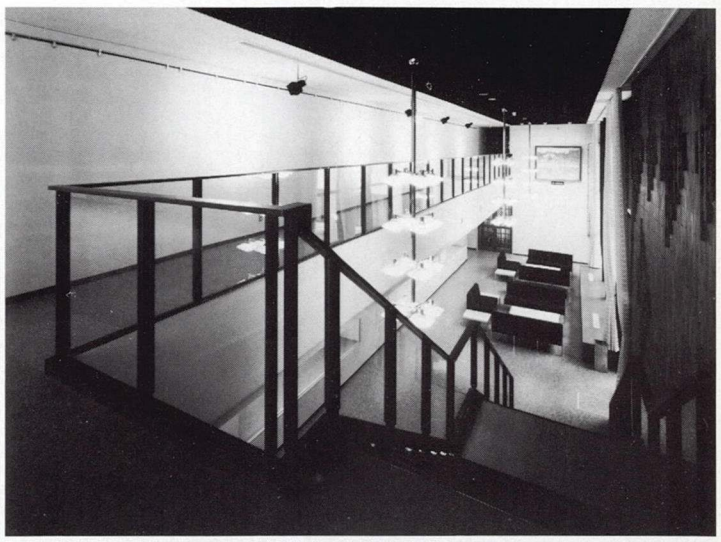
所 在 地　島根県邇摩郡温泉津町小浜イ486
敷地面積　7,226㎡
建築面積　1,434㎡
延床面積　2,157㎡
構造規模　ＲＣ(一部Ｓ)、２Ｆ
工　　期　昭和56年１月～昭和56年10月

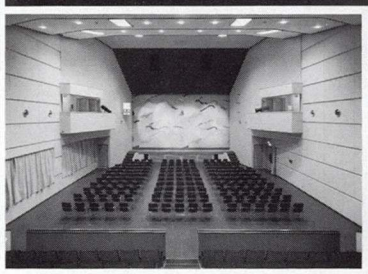


配置図



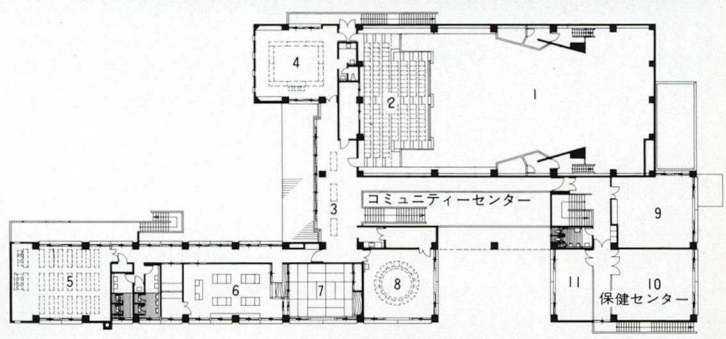
古くは天領の石見銀山より産出した銀の積み出し港として栄え、また町名のごとく出湯の地でもある。
このたび、我々グループが参画した温泉津コミュニティーセンターは町の中心的な集会施設で町民全体のコミュニティーを計ることを目的として建設されるものである。
建築された立地は両側がかなり高い山に囲まれ谷合の細長い敷地であるため、また将来計画等も考慮しながら（すべての町政の機能が集約されるであろう）長方形に拡がりを持たせる配置計画をした。まず、導入部に広場を設け、前面に集会ホールと会議諸室をやり違いに配し外部空積を持たせた。
また、後方側に併設した保健センターの位置等の関係も考え、中央部分にはコミュニケーションホールを、その延長には中庭を設置して人々にうるおいの場を提供した。
全体の外観は地元でなじみのある町産の石州赤瓦と白壁の色調で古風な形にまとめた。
将来はタウンプラザをはさみ、他の施設の完成の折にそれの有機的なつながりによってこのコミュニティーセンターはより一層利用効果が増大するであろう。（三谷忠義・三原貞則/三谷設計）



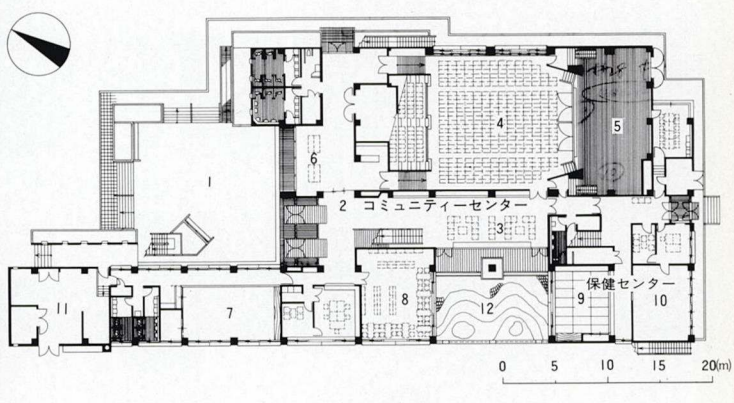




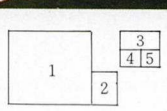




2階平面図



1階平面図



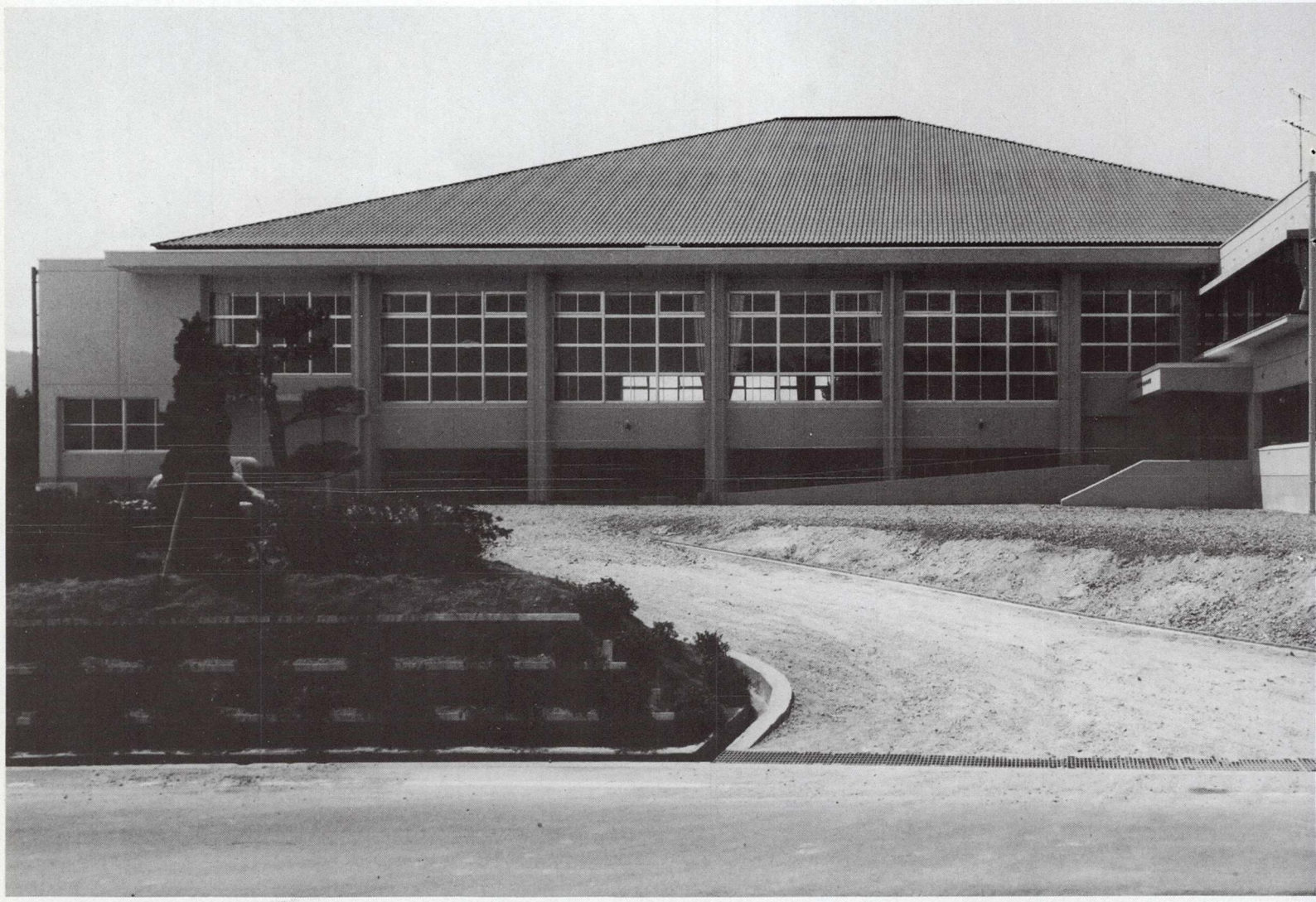
1．全景
2．コミュニケーションホール
3．ラウンジ（２階）
4．大集会室
5．特別会議室（２階）
撮影　国際写真（村岡　隆）

1階
1．タウンプラザ
2．エントランスホール
3．コミュニケーションホール
4．大集会室
5．ステージ
6．談話喫煙ホール
7．老人研修室
8．図書室
9．待合室
10．診察室
11．機械室
12．中　庭

2階
1．大集会室吹抜
2．観覧席
3．談話喫煙ホール
4．青年会議室
5．会議室
6．婦人研修室
7．和　室
8．特別会議室
9．集団会議室
10．運動指導室
11．栄養指導室

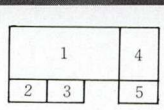
温泉津町立櫛島公園体育館

設 計　三谷設計
施 工　多田建設



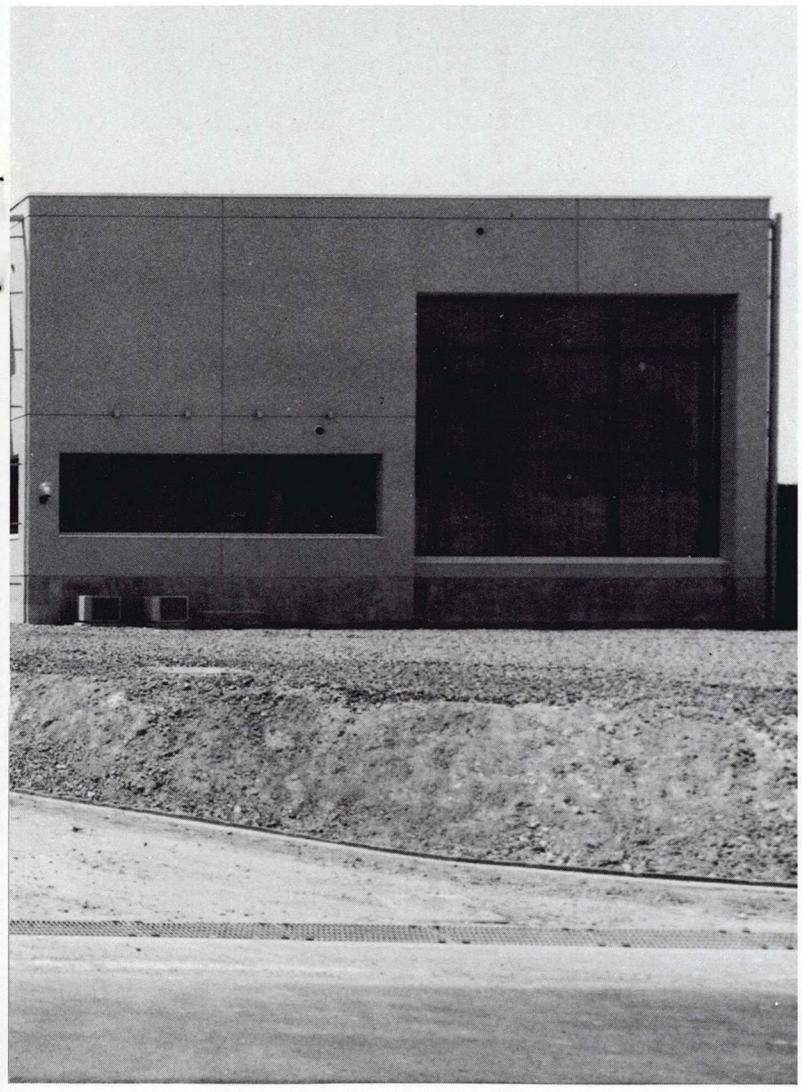






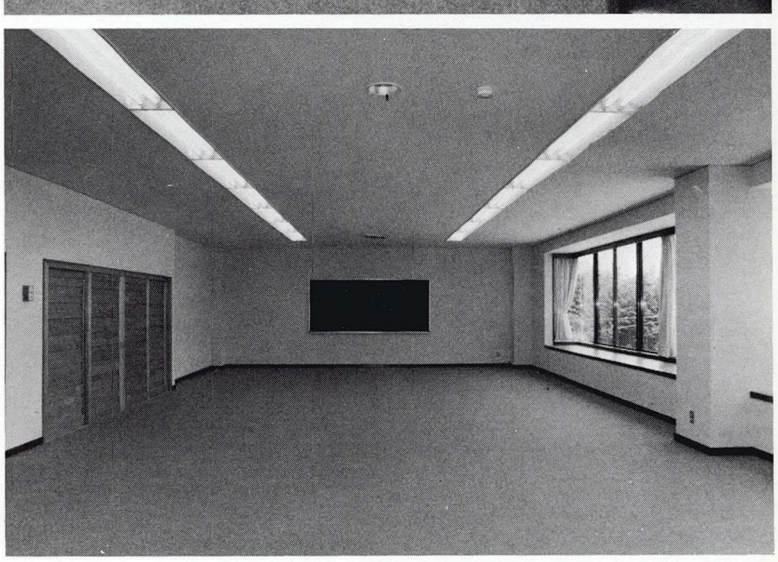
1．建物前面全景
2．競技場
3．軽運動場
4．ロビー
5．会議室(2階)
撮影 国際写真(田口正樹)

所 在 地　島根県邇摩郡温泉津町字三星畑イ207
敷地面積　9,708㎡
建築面積　2,260㎡
延床面積　2,534㎡
構造規模　ＲＣ・Ｓ併用、２Ｆ
工　　期　昭和55年12月～昭和56年９月





温泉津町立楯島公園体育館は、日本海を見下ろす高台の地にあり、運動公園の一環として建設された。
施設のメインアリーナでは、バレーボール等の各種競技が出来、そのほかに小競技室、ミーティング室、ロビーなどを設けた。
体育館の唯一の特徴である屋根は、日本海から吹き上げる強い潮風にも耐えうる茶色の特殊石綿瓦で急勾配に葺き、大きな容積をもたせて公認バレーボール競技が出来るようにした。
外観の色調は、壁の白と屋根の茶で落ちついたふん囲気にし、また、建物形態は、台形で安定感を持たせた。
きたる昭和57年島根県開催の「くにびき国体」ではハンドボール会場に予定され、その機能が十分に発揮されることを期待する。そして今後は町民のあらゆる体育振興に役立つことを念願している。（なお、この体育館は、国鉄山陰本線の温泉津駅下車、日本海へ向けてタクシーで10分ぐらいの所にある。）　（三谷忠義・三原貞則／三谷設計）



（順不同）

設　備	山陰水道工業出雲営業所	島根県出雲市姫原町	ＴＥＬ　0853－21－1757
電　気	島根電工大田営業所	島根県大田市久手町刺鹿 599～11	ＴＥＬ 08548－2－1894

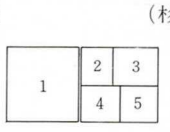
桜井市民会館及び中央公民館

設 計　岩崎建築設計事務所
監 理　桜井市建設課・岩崎建築設計事務所
施 工　中尾組



桜井市は、木材の集産地として発展してきた街であり、廻りを大和三山に囲まれるなど、木との関わりも深く環境も素晴しい所である。
この施設は、1,200名収容の多目的ホールをもつ『市民会館』、各地域にある公民館の中心となる『中央公民館』、それに『教育委員会』の三つの用途の建物を、一つの建物として計画、設計したものである。
配置は、各施設の位置が最もわかりやすく見えるように前面道路に面した、一階部分をピロティとして開放し、『コの字型』の建物の中央部に、一般市民が自由に出入りでき、憩の場として利用される『市民広場』とし、それを中心として北側に『市民会館』、西側に『中央公民館』、南側二階に『教育委員会』を設けた。
また、すべての出入口は『市民会館』を中心とし、車の駐車スペースは、建物の東側および西側に設け、この施設を利用する市民との完全な分離を計っている。
また、身体障害者の車椅子等にての利用も考え、各施設にスロープにて連絡している。
市民会館のホールは『太陽と森の広場』を主題として計画、設計し、天井に直径6mの『大シャンデリヤ』を吊り下げ『太陽』を壁面のパネル、太い柱、三角錐のパネルで『樹木』を表現した。
中央公民館には、図書、美術工芸、陶芸、調理実習、視聴覚、和室、茶室、大小会議の諸室および幼児をもつ母親のために幼児室を設け、気軽に各サークル活動に参加できるよう考慮している。

（杉本好正／岩崎建築設計事務所）



1．南面外観（正面は市民会館）
2．1階ホワイエ
3．公民館外観
4．大ホール
5．大ホール
撮影　1,3：STUDIO A.T、島　修一
2,4,5：フォトアクティブ

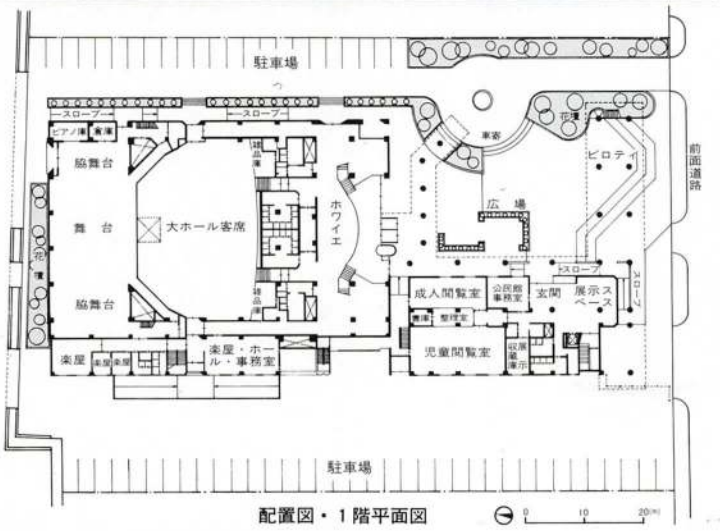
所 在 地　奈良県桜井市大字粟殿202番地
敷地面積　6,443.22㎡
建築面積　3,479.17㎡
延床面積　6,277.61㎡
構造規模　RC(一部S)、B2、4F
工　　期　昭和55年2月～昭和56年3月



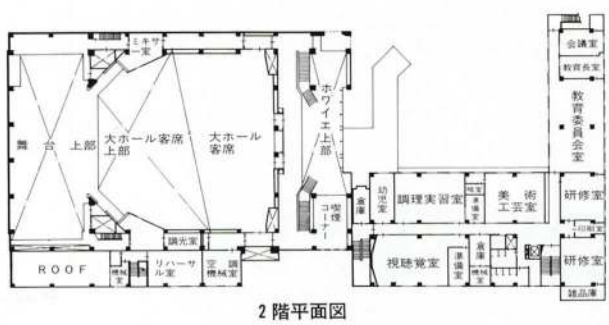








配置図・1階平面図



2階平面図

電気設備　近畿電気工事奈良支店　〒630 奈良市西木辻町25の1　TEL0742-24-1121
給排水衛生 空調設備　朝日工業社　〒532 大阪市淀川区加島1丁目58番59号　TEL 06-302-2271

エバーグリーンポートアイランド

設　計　昭和設計・熊谷組大阪支店
施　工　熊谷組大阪支店

所 在 地　神戸市中央区港島中町３丁目
　　２番６，２番７
敷地面積　18,301.66㎡
建築面積　13,331.34㎡
延床面積　80,163.50㎡
構造規模　ＳＲＣ．Ｂ１、14Ｆ
工　　期　昭和54年７月～昭和56年10月









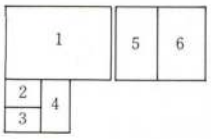
神戸ポートアイランドは、神戸沖を埋立て造成された新島である。この新島の開発土地利用構想の中で島のほぼ中央部の約22haをコミュニティースクウェアーと称する住戸数約6,000戸と関連の公共公益施設を含む高層住宅地区とし、島のシンボル軸である南北の緑地軸に平行する用地を民間高層住宅用地として神戸市が競技設計の型で分譲募集し、エバーグリーンポートアイランドはこの募集に応募し、一等入選したものである。計画地は、神戸の中心三宮から約３km新交通システムによって直結され、コミュニティスクウェアーの表玄関となる地区である。

計画上のコンセプトとしては、ポートアイランド全体の景観形成即ち緑地軸に沿ったリニアな高層住宅群によるシンボリックな景観の創出と住宅地内部におけるヒューマンなスケールにおける景観形成を目標とし、また、緑地軸に接し設けられているプロムナードとこれに取り付いた広場の景観をヒューマンなスケールで活性化を図るということにその主眼を置いている。

（熊谷組大阪支店）



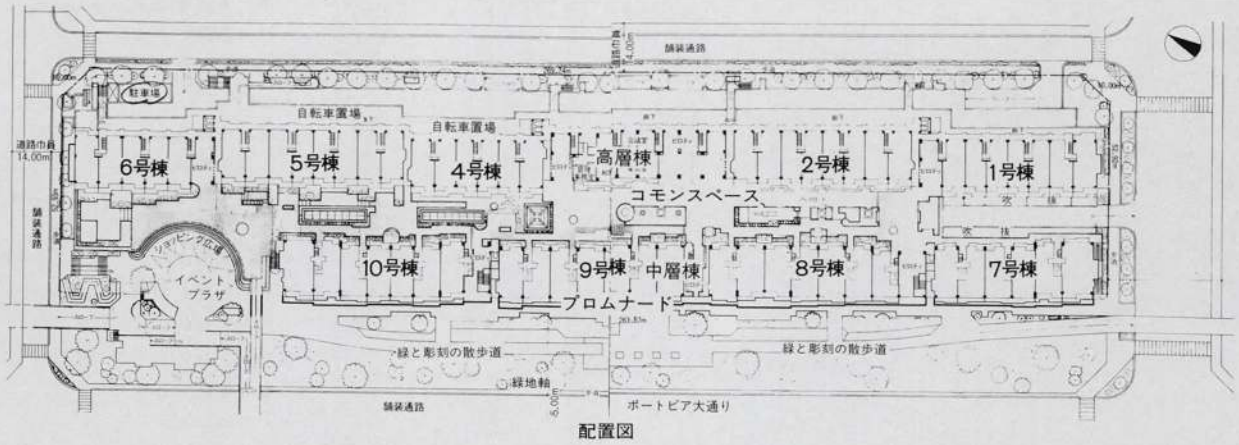
立面図（中・高層棟南面）



1．西南面外観
2．全景
3．インクローズモール
4．コモンスペース
5．プロムナード
6．散歩道より中層棟をのぞむ
撮影　SS大阪







配置図



立面図（中層棟西面）


NEWCITY

秋田大町ニューシティビル

設 計　泉沢建築設計事務所

施　　工　清水建設・北野建設共同企業体
所 在 地　秋田市大町
敷地面積　7,004.97㎡
建築面積　6,302.73㎡
延床面積　35,477.88㎡
構造規模　ＲＣ（一部Ｓ）、Ｂ１、５Ｆ、Ｐ２
工　　期　昭和55年３月～昭和56年５月

東北地方第２の都市秋田の大町地区に駅前大商業圏に対抗して計画された当ＳＣはＢ１階～５階建、立体駐車場を含めて 650台の駐車容量を持つ秋田最大のショッピングセンターである。設計テーマは東北地方のＳＣの取らえ方である。長い冬雪に閉ざされた地域性、夏祭に表わされる攻撃的パワー等は春を待ち夏の陽光を求める姿だと思う。……〝陽光→太陽→都会指向〟をテーマに市民の憩いの場として内部に広場を確保することからスタートした。効率ローコストを掲げる施主と悪戦苦闘の日々であったが、集客力にも繋がるとして採用された広場ＥＳを中心に売場を配置し、回遊性を高めた。また５階には飲食店を設けエントランスとの連絡装置として展望ＥＶを設置し、閉鎖的外部にアクセントをもたせた。アーケード、格子外壁等のファサードは都会的エレガンスの中にも秋田らしさを求めた。現場ではミッコースラブ、鉄筋先組工法を採用し14ヶ月の短工期で無事故で竣工した。工事関係者の協力に感謝！

（梶宏治／泉沢建築設計事務所）

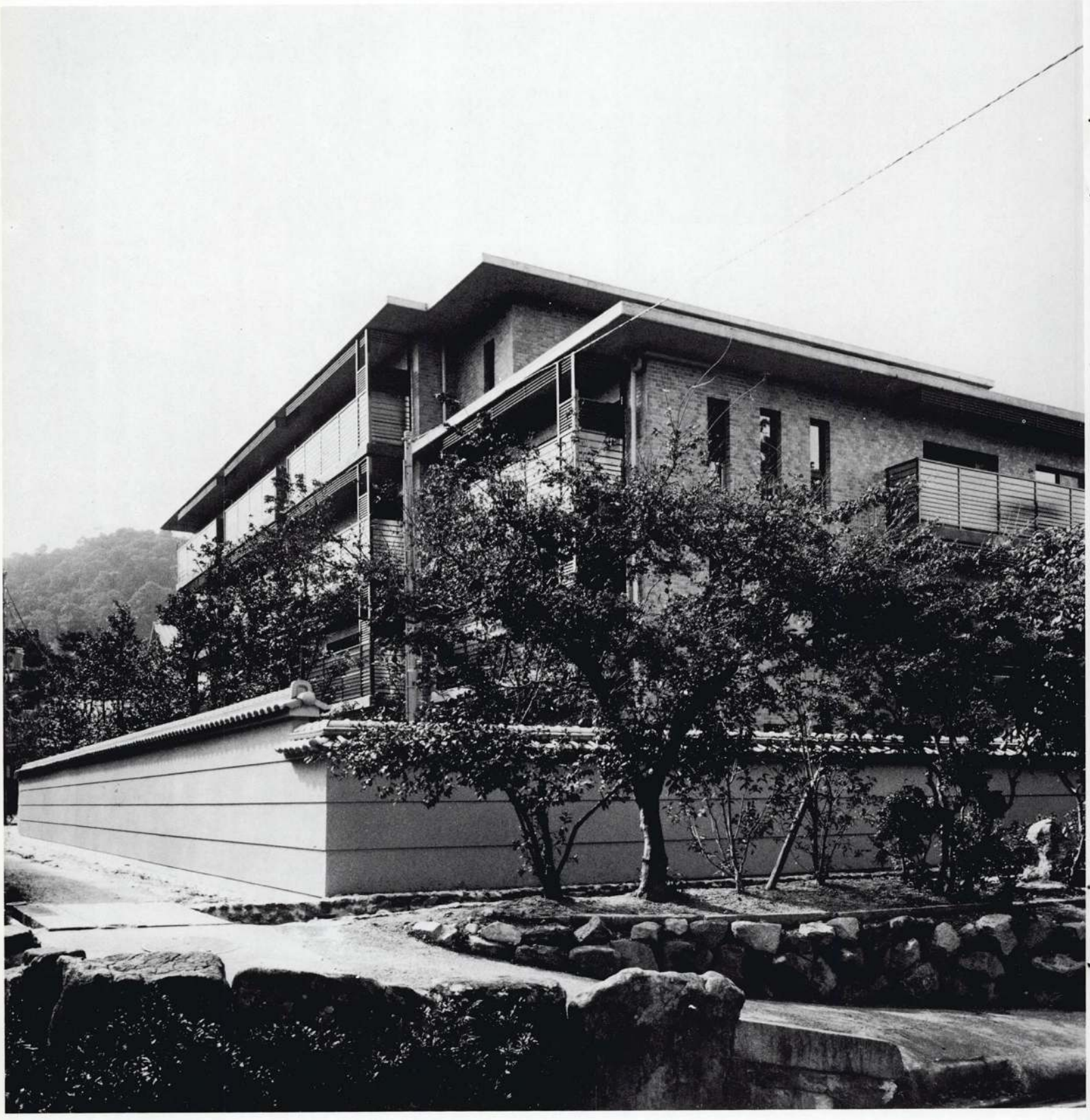




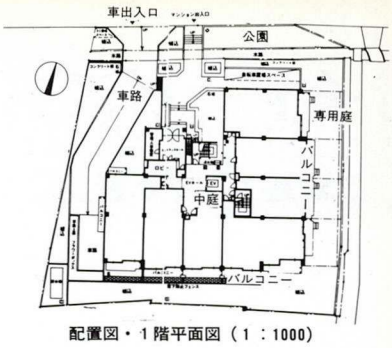
1．東南正面
2．南面外観
3．インナープラザ
撮影　三陽企画（黒田青嵐）

パレロワイヤル岡崎

設計施工　長谷川工務店



所 在 地　京都市左京区栗田口鳥居町54番地他
敷地面積　1,812,59㎡
建築面積　　707,84㎡
延床面積　3,194,20㎡
構造規模　ＲＣ、Ｂ１、５Ｆ
工　　期　昭和55年11月～昭和56年７月



配置図・１階平面図（１：1000）



南禅寺参道に面する当建設地は鮮やかな緑に恵まれ、また、風趣に富んだ住環境を保持している地域であり、第３種風致地域に指定されている。したがって現在の風致の維持に配慮する必要から「環境と建物をいかに調和させるか」を計画の基本に考えた。具体的には、以下の４項目に集約される。

周辺環境との統一性

緑地のボリュームと建物との対比、軒高、塀の高さ、素材、色調等、ヒューマンなスケールとしながら安らぎと親近感を表現し落ち着いた環境の維持に配慮した。たとえば植栽計画は、建物が樹木の合間に見えがくれする程度に保存樹木も含めて高木を密植し空間の変化を演出。塀は日本瓦の和風土塀とし、外壁は素焼調小口タイル貼、校倉風の横桟バルコニー手摺、その上部は横桟の日よけ等、京都の雰囲気を醸し出すよう考慮した。

建物の変化ある空間構成

建物は寄棟屋根とし一部３階にセットバック、また、一部５階ではあるが、メゾネット方式とし屋根裏空間を利用するなどで変化を出すと共に外観ボリュームを少なくし威圧感をやわらげること、それと、前面道路から水路までの保存緑地スペース、水路からエントランスまでのアプローチスペースは、街路と建物とを有機的に統合すると共に、特に正面外部階段にデザインされたルーバーは、ムシコ風窓をイメージしたものであり空間に深みを与えることをねらった。また、包含された空間として、光庭を設け、プライバシー確保、居住性の向上に配慮した。

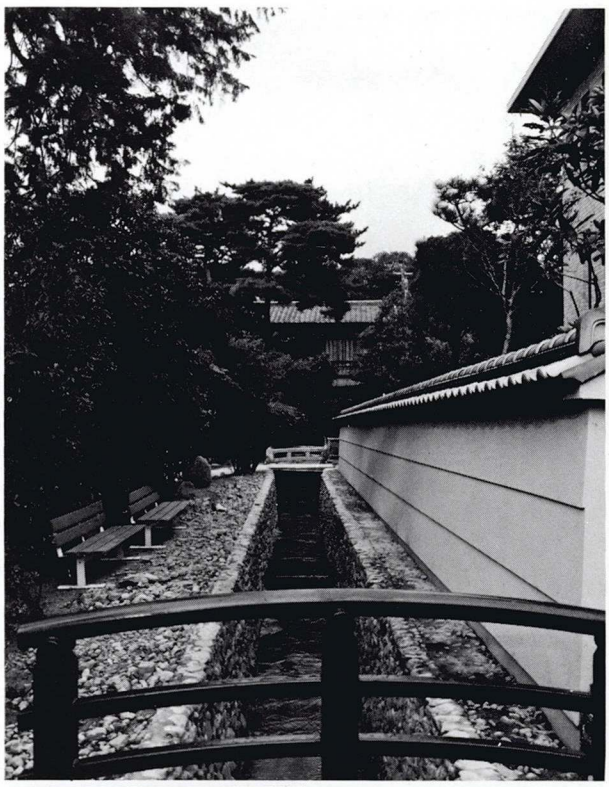
景観上の調和

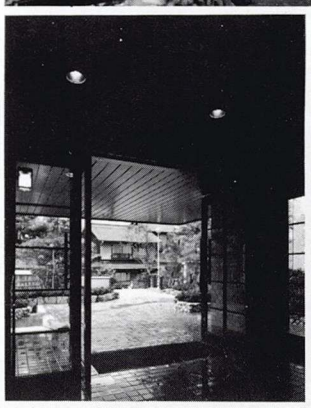
あらゆる角度からの景観を考慮して、屋根は寄棟とし、一部セットバック、外壁のずれ等による空間の分節効果で変化を出すと共に威圧感、長大感を少なくするよう配慮した。

京都の歴史をほうふつさせること

寄棟の屋根およびエントランスの庇は、緑ショウ付銅板葺、外壁は素焼のイメージの小口タイル貼、水平ラインを強調したバルコニーデザイン、ムシコ風窓をイメージしたスリット状窓および外部階段ルーバー、外構廻りは石積の水路および植込、和風土塀、さらに石燈籠をアクセントにしたエントランスアプローチ、すべてが歴史を感じさせ、さらに環境と調和したものとなるよう意図した。

（長谷川工務店大阪支社設計部）









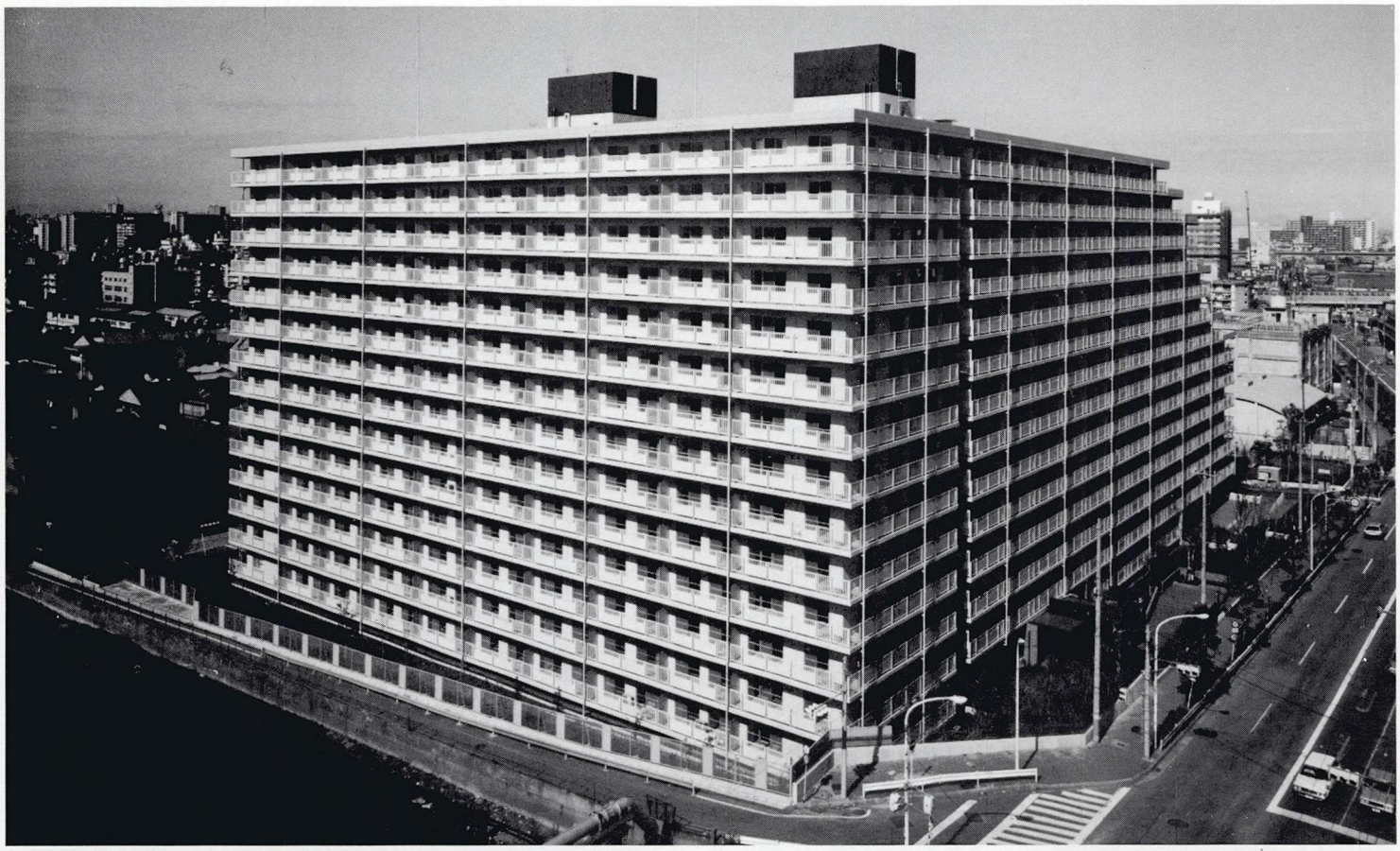
1	2
	3 4
	5

1．全景
2．（外構）周囲の和風土塀
3．エントランスホールよりアプローチをみる
4．エントランスアプローチより正面をみる
5．リビングルーム
撮影　三陽企画（黒田青巌）

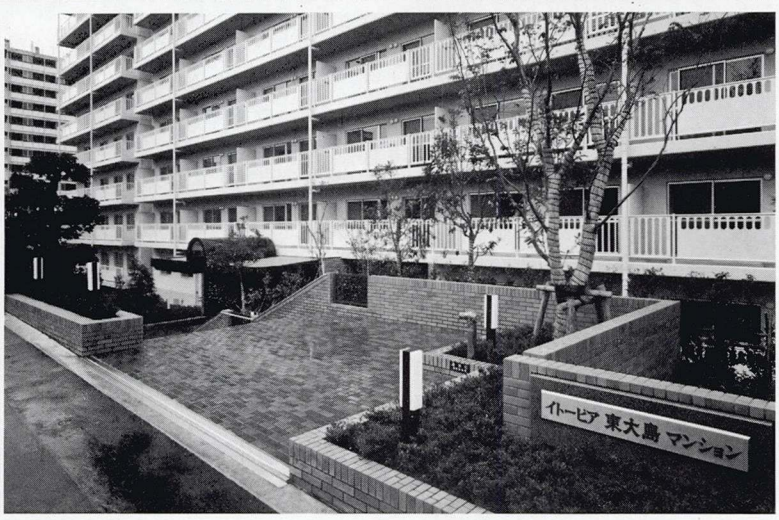
イトーピア東大島マンション

設計施工　不二建設

所 在 地　東京都江東区大島８丁目146
敷地面積　12,302.02㎡
建築面積　3,596.63㎡
延床面積　41,804.00㎡
構造規模　ＳＲＣ、14Ｆ
工　　期　昭和55年２月～昭和56年10月
総 戸 数　453 戸（店舗４戸）







この建物は工場移転の跡地に建てられた分譲マンションであるため住居としての環境を高めることを旨として計画をすすめたものである。緑地公園等の面積を敷地の約50%確保し、極力敷地内の緑化に努めた。
約450 戸もの住居を３棟連続のコの字型の配置とし、コア部分を２ヶ所設置しその動線上に管理棟、設備関係諸室を設け動線の明確化を計っている。
道路からの高低差が４ｍ近くありアプローチは階段を降りる形となっているが比較的広いオープンスペースを設けると共にまわりの緑化を計っているため良好なアプローチが構成出来たと感じているが、住まわれる方にとっても良き憩いの場となることを願っている。

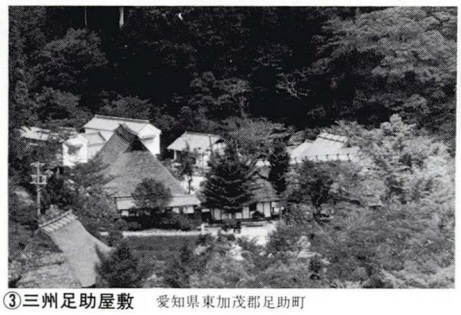
（不二建設）

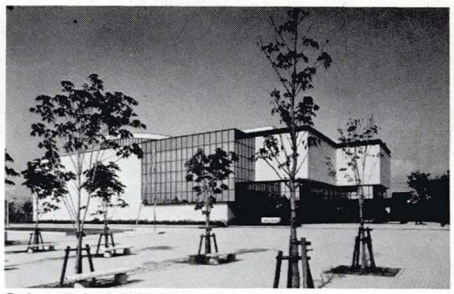
第13回中部建築賞

昭和56年度（第13回）中部建築賞の入賞作および入選作が決まったので、以下に紹介する。
応募作品は総数87点、うち一般部門75点、住宅部門12点であった。このうち一般部門の入賞数は10点および入選数は10点で、住宅部門の入選数は２点であった。（掲載順不同）

入賞作品 10点（一般部門）

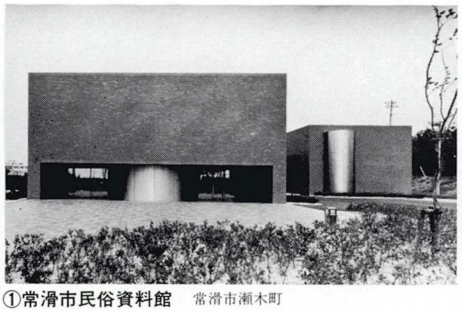
①設計：建築研究所アーキヴィジョン　施工：飛島建設
②設計：青島設計室　施工：鹿島建設
③設計：浦辺建築事務所　施工：塚田建設・鈴木建築・樅山技建・協友建築
④設計：五井建築設計研究所　施工：戸田建設
⑤設計：久米建築事務所　施工：西松建設・大晋工業
⑥設計：石本建築事務所　施工：鈴木組・土屋建設
⑦設計：日本総合建築事務所　施工：佐藤工業・清水建設・近藤建設
⑧設計：池田設計事務所　施工：北野建設
⑨設計：三和測量建設一級建築士事務所　施工：村中建設
⑩設計：日本電信電話公社　施工：共立建設


③三州足助屋敷　愛知県東加茂郡足助町


⑦富山県立近代美術館　富山市西中野町

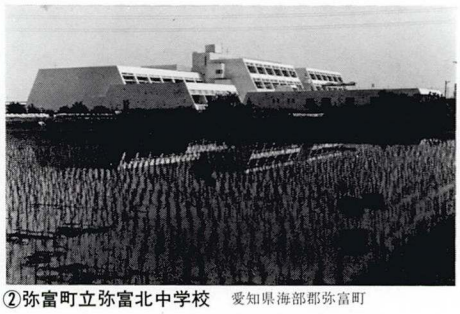

④あたかや佳水郷本館　加賀市潮津町


⑧清泉女学院短期大学　長野市上野２


①常滑市民俗資料館　常滑市瀬木町


⑤多治見市文化会館　多治見市十九田町


⑨福井県立図書館　福井市城東１

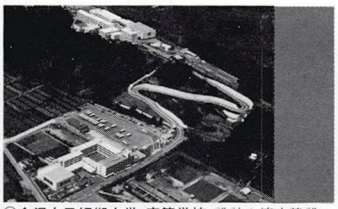

②弥富町立弥富北中学校　愛知県海部郡弥富町

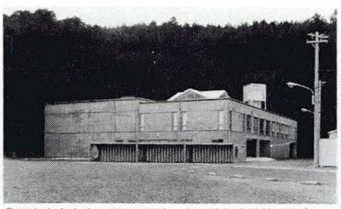

⑥浜松市立中央図書館　浜松市松城町


⑩日本電信電話公社鈴鹿学園講堂　鈴鹿市白子町

入選作品 10点（一般部門）・２点（住宅部門）

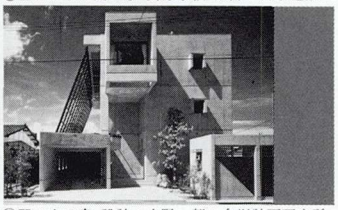

⑪西尾市文化会館　設計：久米建築事務所

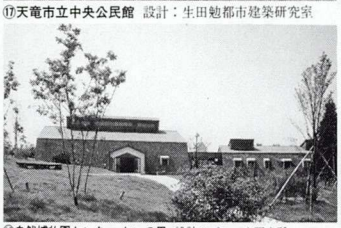

⑭金沢女子短期大学・高等学校　設計：清水建設


⑰天竜市立中央公民館　設計：生田勉都市建築研究室


⑳穂高町民会館　設計：田中西野設計事務所


⑫豊田地域文化広場　設計：アール・アイ・エー建築綜合研究所


⑮野々市の家　設計：水野一郎＋金沢計画研究所


⑱自然博物園センター・ねいの里　設計：ブレック研究所


㉑大屋根の家（住宅部門）　設計：馬場正孝


⑬愛知国際児童年記念施設　設計：久米建築事務所


⑯大垣市総合体育館　設計：岬建築事務所


⑲富山県健康教育センター・富山県医師会館　設計：竹中工務店


㉒遠藤左門の舎（住宅部門）　設計：ＣＡＯＳ建築環境設計

第27回工高生デザインコンクール入選作品

設計課題：「ファミリーレストラン」

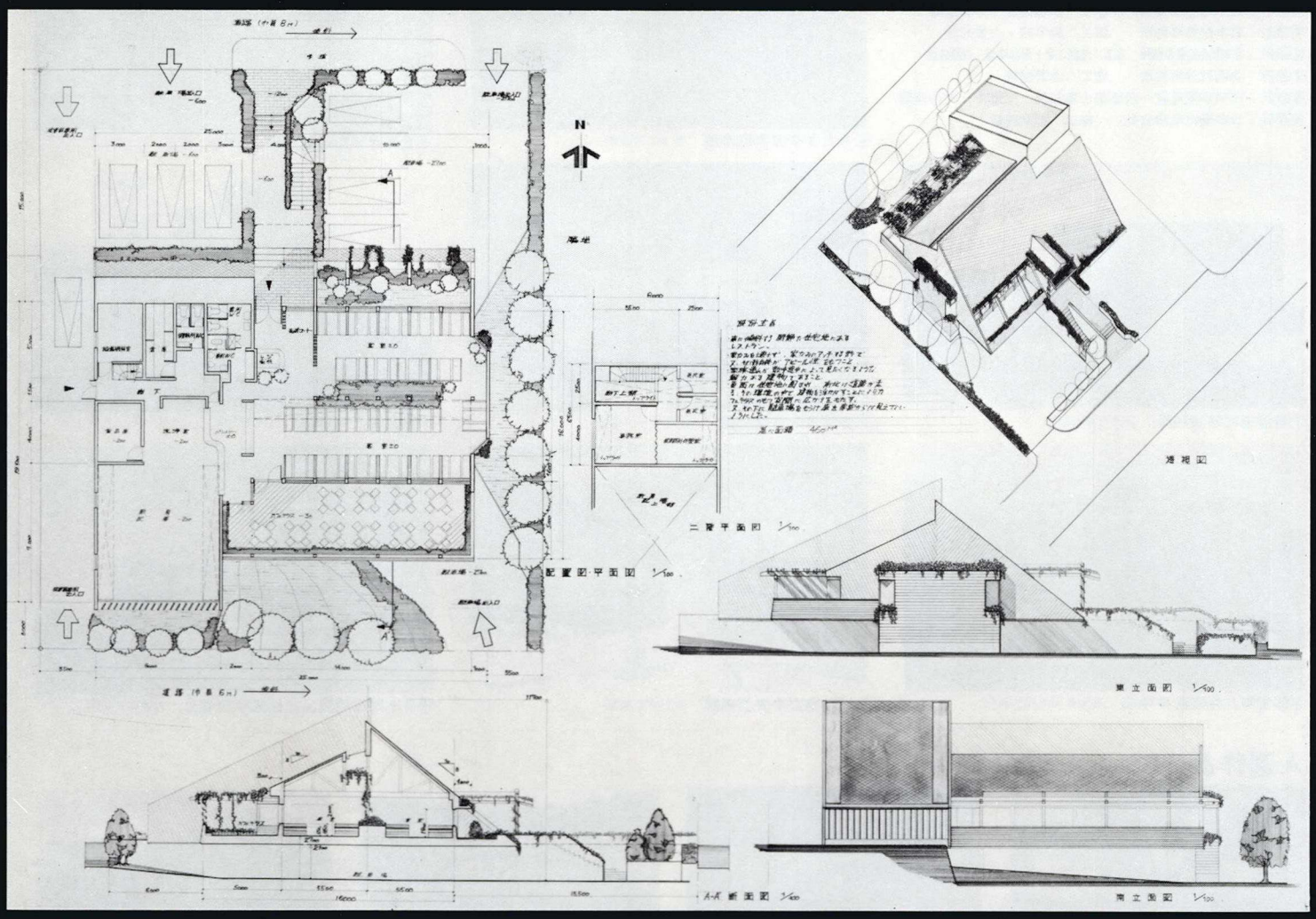
主　　催：日本建築協会

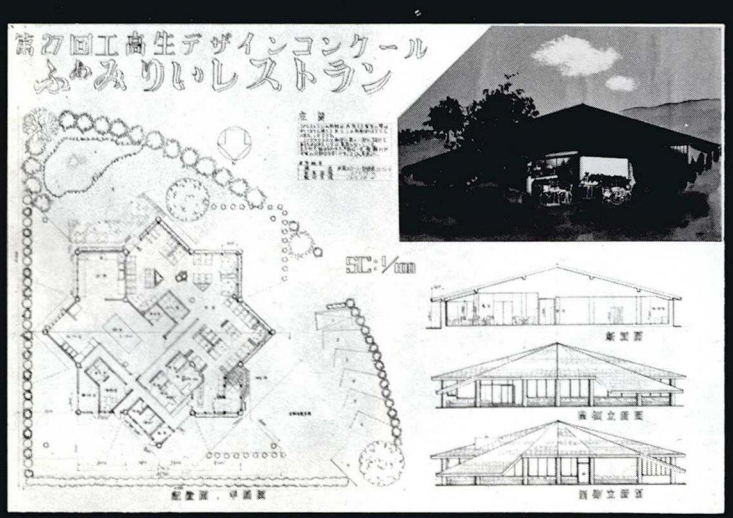
応募作品 116点のうち、予備選考、第１次から第８次までの本審査を経て、入選作品10点を決定し、うち最優秀作品１点を選定した。

応募校数　17校　　応募点数　116点
締 切 日　昭和56年９月21日
審 査 会　昭和56年10月３日
表 彰 式　昭和56年11月21日

審査委員長／坂内幾男
審査委員／大久保久能／奥　俊信／狩野忠正／片倉健雄／小角　亨／高島義明／高橋勝彦／谷淳之介／中野　明／能丸弘毅／松原伸介／安田丑作／柳　眞也／山内陸平
（50音順・敬称略）

〔掲載50音順〕





△入選・最優秀賞　野坂文明　（横浜市立鶴見工業高等学校・３年）

課題に示されている条件を重視して設計を進めた。まず閑静な住宅地ということから、街並みの景観をこわさない配慮が必要で、そのため大きな看板などで人目を引くより、建物の外観でアピールすることに重点をおいてみた。また、内部についての苦心は客席に落ち着きをもたせるため植物の配置を多くし、その陰影を効果的にするためトップライトを採り入れ、さらに窓外の眺望も考えて駐車場が見えないようにしたり、自分としては十分考えてまとまったと思う。

◁入選　我妻健一　（神奈川県立神奈川工業高等学校・３年）

レストランを利用する人には、最初からその店に行こうと決めている人達と、ぶらりと通りがかった時にふと気に入って食事をする人達の二通りがあると思います。結局通りすがりの人達を引き寄せて、この店を印象づけ、とくに次には家族と一緒に来ようというところまでアピールできることが大切です。そのため建物の外観と雰囲気に重点をおいて考えてみました。だから平面も変ったものとし、内部のコーナーのとり方、とりわけ客席と庭との関連に工夫をしてみました。

審査総評

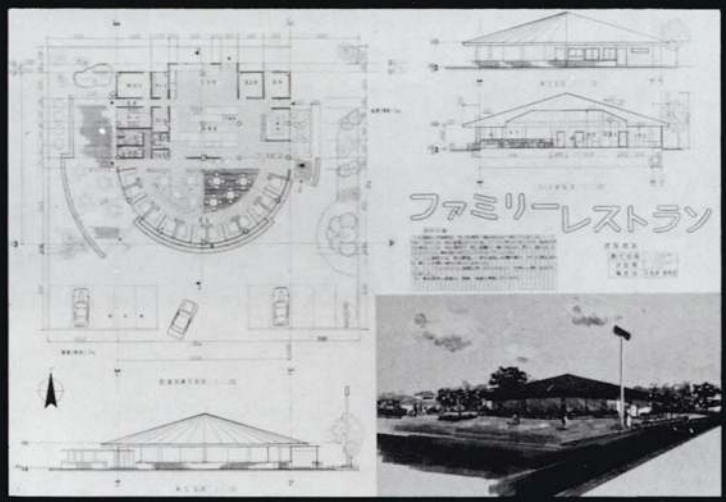
今年度の課題は、社会生活の変化にともなって、幹線道路沿いや観光地、さらに住宅地にも数多く建設されつつある「ファミリーレストラン」で、高校生にも比較的なじみやすい建物であったのか、昨年を上回り、応募校17校、提出作品 116点におよび、それぞれに夢に溢れた高校生らしい多くの作品が集まり、審査に当っては落すには惜しい作品が多くて最後まで論議が続いた。入選された皆様には心よりおめでとうと申し上げる。しかし惜しくも選に漏れた中にも決して入選作に負けない作品が多くあり、今後共一層の精進を審査員一同願っている次第である。

審査はまず、数回の討議と投票によって入選作を絞っていったが、票数が少くとも、ユニークな作品は復活させたり、同じ傾向の作品の比較などでも忌憚のない議論が戦わされ慎重に選び出されていった。作品を見て感じたことは一般的に言って、車と人との動線の解決がされていないものが多く、もっと人間に対する愛情のある態度を設計に盛り込んで欲しかった。またレストランの客席には行く機会はあっても、バックのサービス部門については実感がないためか、この部分の計画は全般的にどうにもならないプランが多かった。また、カフェテラスが特に課題に与えられたが、あまり実例がないためか、余っている戸外にサービス的な配慮もなく、ただ設けたという例が多く、実際に体験的に触れたものでないと計画的な配慮が行き届かないのかと思われた。設計者は依頼される建物すべてに精通しているわけではなくても、充分の調査研究によって要望を充たすべく努力を積み上げる。設計に当っては、もっと堀り下げた事前の研究が足りないようである。

最優秀作は最初より常に審査員全員に支持されたもので、その計画・デザイン・表現力は全体の水準を抜き出た高校生ばなれした作品であり高く評価したい。しかし、パースが部分的に彩色されただけであり議論を呼んだが、特に表現したい所を強調するための表現との意見もあり、問題は残したが、それをしても抜きんでているとして決定された。しかし今後はもう少し忠実に課題に沿った表現をすべきである。

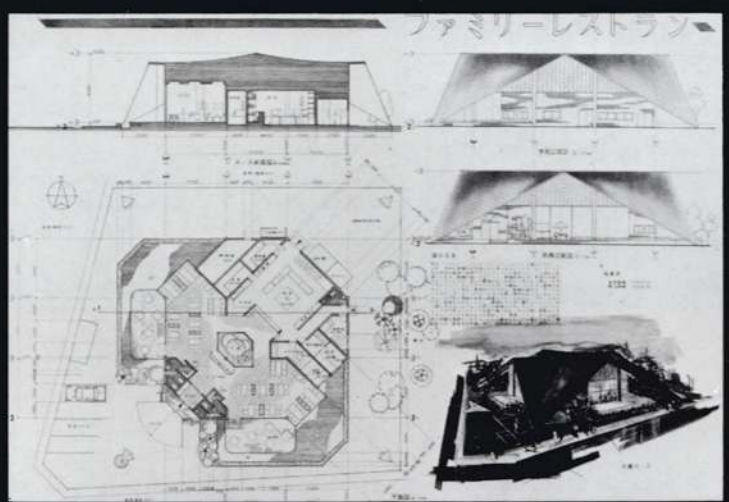
今回の入選10名のうち3名が女子であったことは特筆に価する。どうかこの勉強を一生の仕事として守り、立派な女流建築家として今後も精進されることを祈っている。

（坂内幾男）



△入選　見城志草　（群馬県立前橋工業高等学校・2年）

課題の主旨にあるように、マナーの中でただ食事をし自分なりに満足するレストランでなく、家族が楽しいだんらんの一時を過せる豊かな雰囲気をもつものを考えてみました。客席についた家族はそれぞれに楽しく行動する。子供達は大きな水槽を回遊する彩りの美しい魚の群に興じ、庭の樹々の間を走り抜けて遊び退屈することを知らない。やがて配られた食事に満足した家族は、テラスであらためてくつろぐ。このような一連の家族のだんらんが演出できるよう工夫してみました。

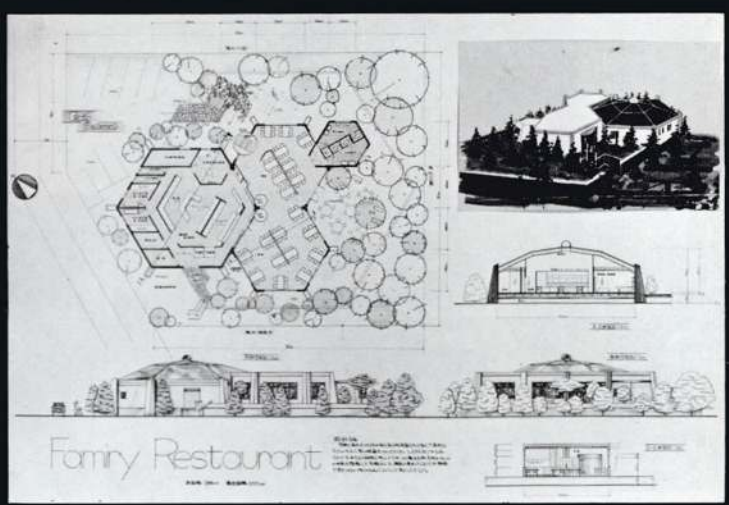


△入選　奈良明代　（群馬県立前橋工業高等学校・3年）

レストランというと、強い印象を持った店にはためらうことなく何度も行ってしまう。そこで、どのような店が気安く客を引き寄せるのかといろいろ見て廻りました。結局建物の外観がかなり大きな要素であることを知り、とりわけ屋根の形が狙いであるように思いました。構造的にいろいろ研究し、一番気に入ったＨＰシェルを使うことにしました。勿論レストランを見学した時、インテリア、客席とテラスの取り合わせ、従業員の皆さんの仕事の都合能率など、設計要項を勉強した甲斐がありました。

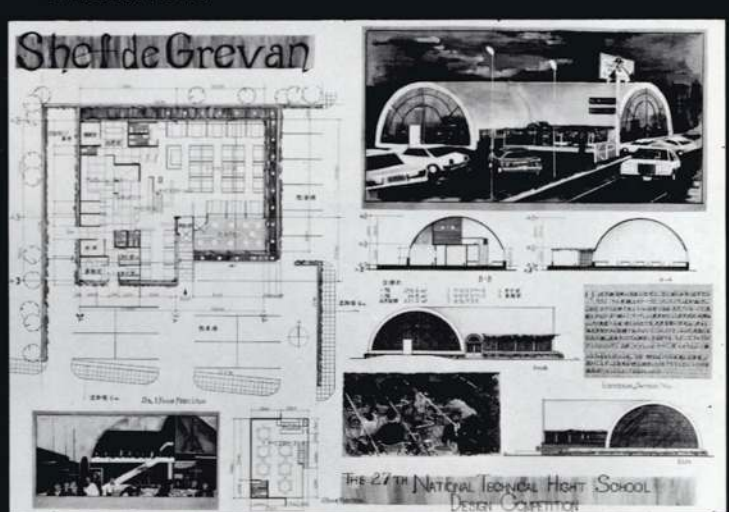
▽入選　高橋　勉　（群馬県立高崎工業高等学校・3年）

外食産業と呼ばれるほど、チェーン化されたレストランは増え続けています。しかしそれらの多くは、ただ食事を手際よく提供する機能だけで、客席の雰囲気や交通騒音を苦にせず、ただ便利さだけが主になったものが目立ちます。今回の課題では、住居地域とのつながりを考え、緑を豊かに採り入れて、明るい雰囲気をつくり家族に家庭とは違った場の提供を考えました。だから、客席はそれぞれの風情をもった外部庭園と一体となるように平面を考えました。



▽入選　温井　聖　（群馬県立高崎工業高等学校・3年）

当初考えたプランは、カフェテラスを中心にこれをとり囲むコの字型平面であった。しかし動線に苦労して結局満足できず、変更せざるを得なかったのは心残りである。ここに提出した案は発想を大きく拡げ、澄んだ空と白い崖、碧い海の地中海風の住宅地の風景を頭の中において、ドームが創りだす外観の面白さと、同じく特異な空間を考えられる自由さからこの様になった。勿論設計の条件に示される意図はインテリアの中に組み込むこととし客室の配置を十分考え、図面表現の密度を高くした。



課題の主旨

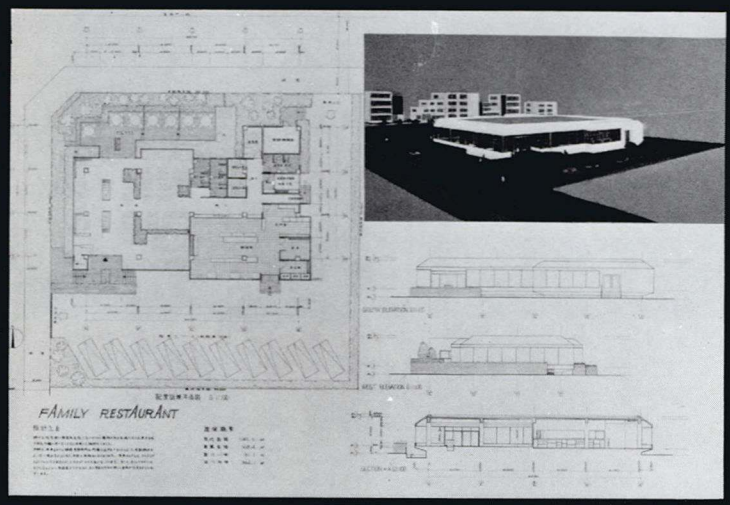
週休２日制とマイカーの普及は、家族連れの外出の機会を多くするとともに、外での食事を容易にしており、このためファミリーレストランが、幹線道路沿いや観光地、さらに住宅地の中にも数多く建設されている。
本課題のファミリーレストランは、閑静な住宅街をひかえたところに位置し、近隣からマイカーや徒歩などでくる家族連れを主な対象としたものである。
豊かなムードの中で楽しく食事ができ、しかも周辺の環境を十分に考慮した新しい空間の提案を期待する。

設計条件

1．敷　地：1,200㎡程度の敷地を想定する。
2．規　模：平家建または２階建の建築物とし、延べ面積は350㎡程度とする。
3．構　造：自由とする。
4．所要室：　（室　名）　（面　積）

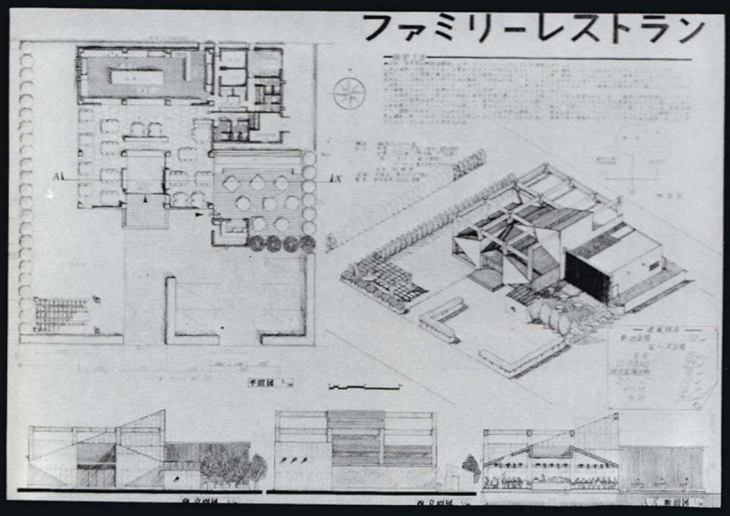
客　　室	150㎡程度（80～100席程度）	レジ・売店コーナー	適宜
客用便所：男子用（小便器２、大便器１、手洗器２）、女子用（大便器２、手洗器２）			
客用洗面所	適　宜	調理・配膳室	90㎡程度
洗　浄　室	20㎡程度	食　品　庫	適　宜
倉　　庫	適　宜	事　務　室	適　宜
更　衣　室	適　宜	作業員用休憩室	適　宜
作業員用便所	適　宜	空調機械室	適　宜

5．屋外所要施設：駐車場（５～10台程度）を設ける。
　　その他カフェテラス・パーゴラ・ベンチなどを設け、植栽を計画する。



△入選　信原利行　（大阪市立都島工業高等学校・３年）

コンペの応募作品というと、まず奇抜な発想を練り、それを大胆な手法で製図したものが人目を引いて、自分は応募したことに得意然とするのではないか、と最初はふとこんな考えが頭の中を横切った。
しかし、課題の主旨を何度も読みかえすうちに、一見平凡なようでしかもムードがあり、オーソドックスなプランが望ましいという方向にまとまった。ここを利用した家族が、客席とテラスの雰囲気にすっかり落ち着いて、家庭ではない楽しい語らいができるよう考えてみた。

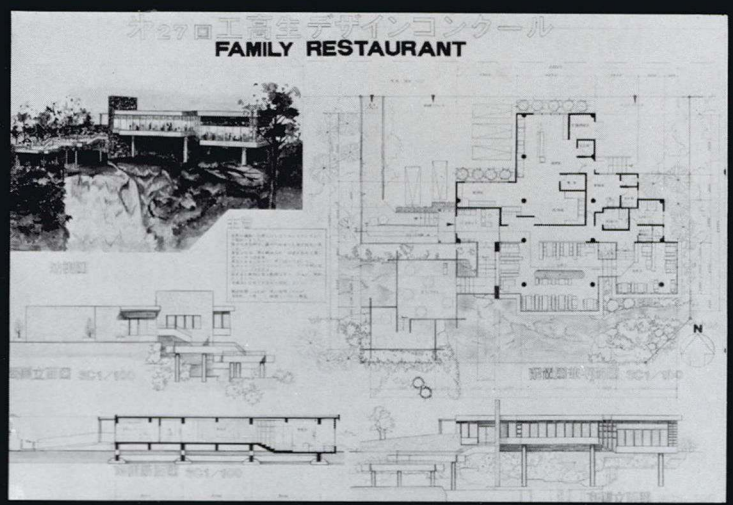


△入選　町　厚人　（大阪府立今宮工業高等学校・３年）

ファミリーレストランは一見デラックスで、豊かなムードの中で家族が食事を楽しみ、そして比較的安価ですむことを狙いとするが、現実には深みのない、安さのみを強調される心配がある。そこで、家族の日常生活とは異なったデラックスなムードの中で、談笑し、食事する空間を構成することを主眼とした。
案は当初二つ考え、その一つには多少奇抜さを狙ったが、いろいろ考え合わせるうちに、コンクリートを打ち放しとし、ダイナミックな水の流れを導き入れ、屋外のカフェテラスにもゆとりをもたせる案とした。

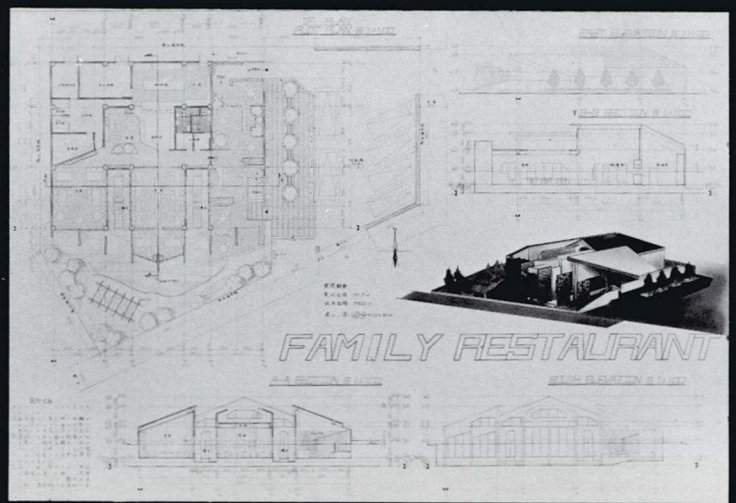
▽入選　日野原早苗　（神奈川県立神奈川工業高等学校・３年）

レストランでは便利に食事ができ、マナーの中での時間を過すということもあるでしょうが、今回の課題でいうファミリーレストランではこれを別の角度から考えてみました。まず自然とのふれ合いの中での家族の楽しいだんらんと食事が、他への気兼ねなしにゆったりとできること。食事が進むほどにいつの間にか、自分達が自然の中にくつろいでいる感覚となるような雰囲気を主張しました。樹の緑、小鳥のさえずり、水の流れる音が創りだすドラマを考えてみました。



▽入選　吉川健治　（大阪市立都島工業高等学校・３年）

この作品に取り組んだ発想の出発点は、通常のレストランのように賑やかに食事をしている集りと、ポカリとあいた空席がただ置かれているというようなものにはしたくないと思った。だからコーナーを多く考え、それぞれのコーナーでの家族の食事とだんらんが、他のグループにわずらわされないものとしたかった。
淡い光のコーナーや、明るいテラスのスペースなどと変化をもたせながら、それぞれの家族の人達が好みのスペースで独自に楽しめる計画を考えてみた。



※上記入選者の感想文は、誌面の関係上委員会にて要約の上掲載いたしました。（文責・上野賢三）

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

166
大阪市における「大規模建築物の建設計画の事前協議に関する取扱要領実施(技術)基準」の改正(最終回)

(ごみ収集施設)

(2)持ち出しステーション

(ク) 集積場内の清潔を保持するため、床面は舗装を行ない、かつ、水洗のための給水設備を設けること。

(ケ) もっぱら居住以外の用に供する建築物についても、この規定を準用する。

(3) 管路輸送設備

別に国において定める基準により設置すること。

(4) 粗大ごみ集積場

(ア) もっぱら居住の用に供する建築物にあっては、家庭用粗大ごみ集積場を1棟ごとに1ヵ所設けること。

(イ) 集積場の広さは、居住の世帯数に応じ、全世帯から排出される粗大ごみを集積できる適当な広さであること。

(ウ) 集積場は、日常は他の用途と共用することができる。ただし、一般車両の通行の用に供する道路または通路以外のものであること。

(エ) 集積場は、敷地内で収集車両が容易に出入りできる位置に設けること。

4．進入路等

(1) 管路輸送施設を除き、収集車両が前進のままで集積場等へ進入し、退出できるための適当な通路を設けること。

ただし、ごみ収集施設の種類あるいは敷地の形状によっては、収集車両が安全に通行できる設備を設けることによって、この通路に替えることができる。

(2) 敷地内への出入口は、接する道路の交通規制を充分考慮して設置し、かつ、出入りに際して通行中の一般車両、歩行者等の危害防止のため必要がある場合は、適当な施設を設けること。

(3) 敷地内への出入口は、収集車両が容易に出入りできる構造とすること。

(適用の緩和等)

第9 「要領」の適用及び適用の緩和については、次の各号による。

1．工期が数次に及ぶ建設計画について、その各工期計画が「要領」第2に定める規模以下であっても、全工期で「要領」第2に定める規模に達する場合には、「要領」を適用する。

2．共同住宅の場合で、1住戸の床面積が35平方メートル以下の住宅は、「要領」第2に定める住宅戸数に算入しない。

3．次のいずれかに該当する建設計画について、本市が公共、公益施設等の関連において影響が少ないと認められるものについては、「要領」第2に定める規模に達する場合でも、「要領」は適用しない。

(1) 「要領」実施時の既存建築物に対する住宅以外の増築で、増築後の延べ面積の合計が既存建築物の延べ面積の 1.5倍をこえないもの。

(2) 機械製作工場、卸売市場の上家

(3) 敷地面積に対して建築物の規模が著しく小さいもの。

(4) その他、用途規模等が(1)、(2)、(3)の規定に準ずると判定したもの。

4．接道の原則の緩和

次のいずれかに該当するもので、通行上、避難上支障がないと認められるものについては、「要領」第6の規定を緩和することができる。

(1) 幅員 5.4メートル以上の既設認定道路で、拡幅することにより、6メートル以上の道を確保できるもの。

(2) 土地区画整理法(昭和29年法律第 119号)による道路。

(3) 建築基準法(昭和25年法律第 201号)第42条第1項に該当する道路で、幅員6メートル以上のもの。

(4) 建設計画の用途、規模よりみて、周辺への影響が少なく、かつ、必要な措置がなされているもの。

(その他)

第10 協議申出書等の期限

1．事前協議申出書で、その書類を受付けた日より6か月以内に協議の締結を行なわないものは、その申し出は抹消し申出書は廃棄する。ただし、期限内に申出書の取下げ届を提出したもの、または、本市の公共、公益施設との関連により、本市がその協議の締結を延引したものは除く。

2．協議を締結した日から1年以内に工事に着手しない場合には、当該協議書は失効する。なお、それ以後に工事に着手しようとするときは、改めて協議を行なうこと。

騒音等に係る居住環境の保全
56．4．1

(騒音等に係る居住環境の保全については、現在「要領」に規定されていないが当分の間、次の基準によるものとする。)

居住環境の保全に関する基準は、次の各号による。

1．一般的事項

工業地域等において分譲または賃貸を目的とする住宅を建設する場合には、建設予定地周辺の騒音、振動、ばい煙、悪臭(以下「騒音等」という。)の現況を勘案し、入居者の居住環境の保全に関する配慮を行うこと。

2．対象地域

この基準は、建設予定地が次のいずれかに該当する場合に適用する。

(1) 都市計画法(昭和43年法律第100号(以下省略))に規定する工業地域

(2) 準工業地域、商業地域及び近隣商業地域内で工場等に隣接する場合

(3) 幹線道路周辺地域(幹線道路からおおむね50メートル以内の地域)

(4) 鉄道路線周辺地域(鉄道路線からおおむね50メートル以内の地域)

(5) 航空機飛行コース周辺地域(別に指示する地域)

3．現況調査

建設予定地における騒音等の現況について、次の調査を行うこと。

(1) 建設予定地周辺における騒音等の発生源に関する調査(建設予定地の周辺おおむね50メートルの範囲)

(2) 騒音等の住宅への影響に関する調査

4．騒音等の影響回避の措置

現況調査に基づき騒音等による影響がある場合には、次の措置を講ずることにより影響回避に努めること。

(1) 建築物の配置、居室の位置、開口部の位置等に関する配慮を行うこと。

(2) 騒音については、居室内における目標値を次のとおりとし、(1)に定める措置により目標値の確保が困難な場合には、居室の開口部の防音化等の措置を講ずること。

なお、この場合には、換気等室内環境の保全に十分配慮すること。

(居室内における騒音の目標値)

	時間帯			
	昼 (8：00～18：00)	朝 (6：00～8：00) 夕 (18：00～21：00)	夜 (21：00～6：00)	評価方法
第2号(1)(2)(3)の地域	50ホン以下	45ホン以下	40ホン以下	中央値
第2号(4)の地域	60ホン以下			上位半数のパワー平均値
第2号(5)の地域	WECPNL60以下			WECPNL

(参考) 屋外(開口部外側)での評価は、上表の数値にそれぞれ10を加えたものとする。

5．騒音等の発生源者への説明

第2号(1)及び(2)の地域にあって、工場、事業場から騒音等の影響を受けるおそれのある場合には、その発生源者に対し、あらかじめ建設計画の概要を説明すること。

6．入居予定者への周知

当該住宅入居予定者に対し、次の事項について周知をはかること。

(1) 用途地域

(2) 居住環境に影響を受けるおそれのある騒音等の発生源の状況

(3) 騒音等の影響回避の措置

(大阪市建築指導部 森本 哲)

ニュース

住民参加の条例提案

—「神戸市地区計画およびまちづくり協定に関する条例」(案)—

昭和56年4月にスタートした「地区計画制度」をスムーズに運営させるため、神戸市では、地区計画策定に至るまでの手続きに大幅な住民参加をとり入れた標記条例案をまとめ、56年11月定例市会に提案した。可決されれば57年度にも施行したいとしている。まちづくりの方法を条例化するのは全国でも初めて。

この条例に盛りこまれた〝住民参加〟の要点は、

①まちづくり協議会を住民が設置、市長が認定する。

②同協議会が住民の総意を反映して地区のまちづくりに関して提案する。

③市長と同協議会が住みよいまちづくりの推進のため、目標や方針など必要事項を協定する。

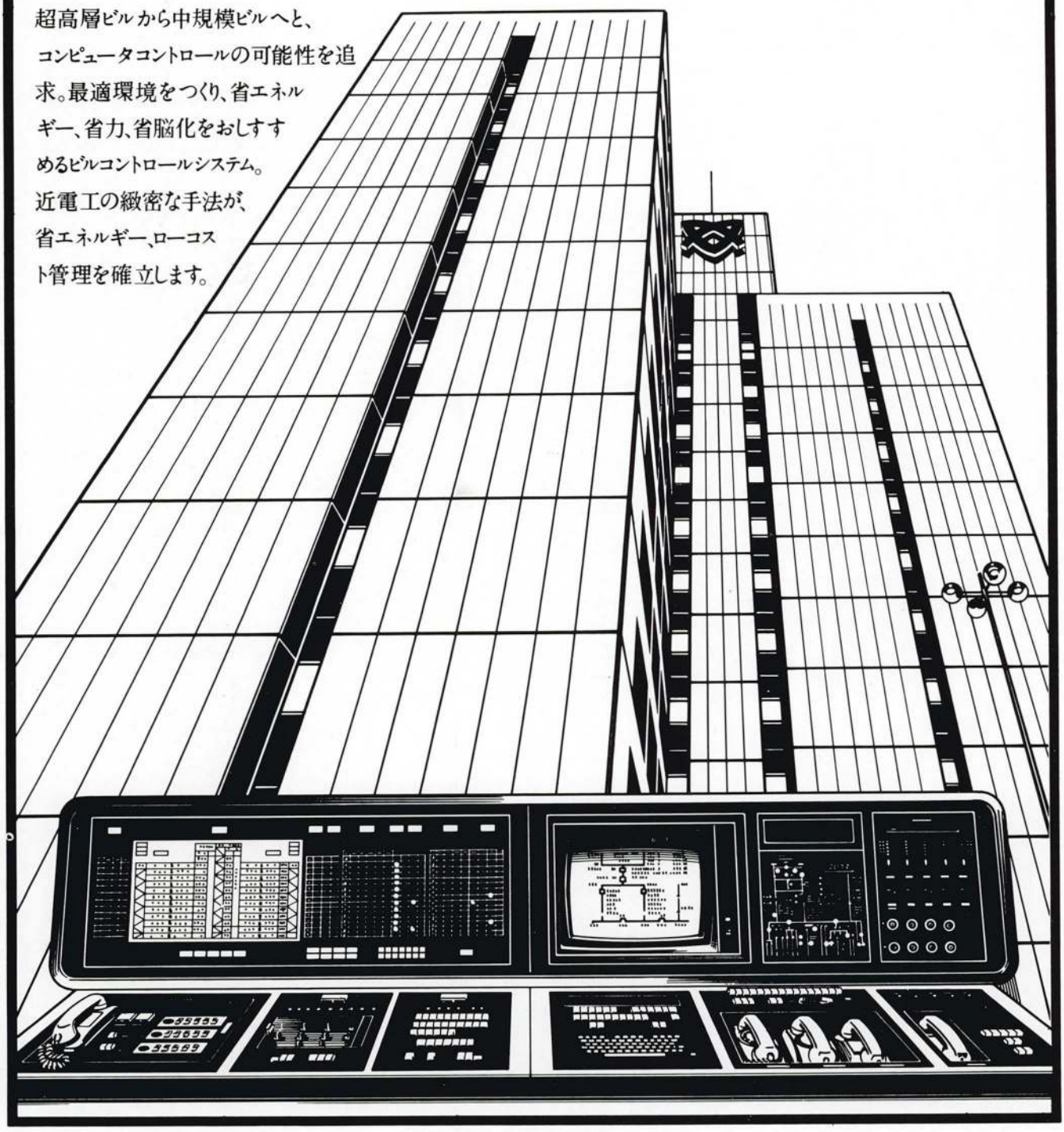
となっている。

神戸市では、長田区真野地区で住民サイドのまちづくりが進んでおり、住民提案に沿って事業化の段階までにきているが、スタートすれば条例適用の第一号となる。

ビルのローコスト管理をめざす!!

近電工の省エネ制御システム

超高層ビルから中規模ビルへと、
コンピュータコントロールの可能性を追
求。最適環境をつくり、省エネル
ギー、省力、省脳化をおしすす
めるビルコントロールシステム。
近電工の緻密な手法が、
省エネルギー、ローコス
ト管理を確立します。



電気・計装・空調・管・防災・土木

システムの信頼を高める
近電工

近畿電氣工事株式會社

大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号　〒531　☎06(375)6000

北海道・東北・東京・名古屋・滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・神戸・姫路・広島・四国・九州・沖縄

日本建築協会建材委員会

新建材紹介コーナー

《新建材紹介　№86》

従来工法に替わる新しい梁貫通孔補強工法
ウエブレン

テイエム技研株式会社
〒144　東京都大田区本羽田１－23－15　ＴＥＬ　(03)745－1931～３
関西連絡所　ＴＥＬ　(06)773－3610

■はじめに

建築設備の発展に伴い、最近の建物の天井裏には多くの配管・配線・ダクト類が納まっている。階高が十分にあれば、これら配管類は梁下と仕上天井面の間隙を走ればよいが、建設コストや高度制限などにより階高は押えられるので、実際は梁貫通で配管・ダクト類を納めることが多い。

梁貫通の場合、梁の強度が落ちるので、貫通孔の周囲を補強する必要がある。ＲＣの補強方法は斜め筋、横筋、アバラ筋などで行われていたが、施工上難点が多く、梁の強度低下を招く恐れがあった。この悩みに対処するものとして、梁貫通孔の補強筋とスリーブ材をワンセットにして、熟練を必要としないで施工できるようにしたのが『ウエブレン』である。

■ウエブレンの特長

ウエブレンは、異形棒鋼（JISG3112）ＳＤ30－Ｄ10または、Ｄ13を、３重、４重、５重のリング筋および放射状筋よりなるウエブレン筋と、厚さ0.4㎜以上の亜鉛鉄板製のスリーブ材であるウエブレン筒より構成され、伸長装置を内蔵しており、従来の方法と比べると以下の特長を持っている。

(1)施工精度の向上

工場製品のため、品質が一定であり、ウエブレン筋とウエブレン筒は付属のバンドで梁内で簡単に組み立てられ、梁のスターラップに結び付けるだけ。位置の確保も容易。

(2)建設省告示1597号に合致

スリーブ材のウエブレン筒は厚さ 0.4㎜以上の鉄板製のため、従来の紙筒のようにコンクリート打設後、取り外す必要がなく、建設省告示1597号に合致している。

(3)工事中のトラブルが少ない。

ウエブレン筒は型枠の幅より左右それぞれ４㎝縮めてあり、型枠に当って変形したり位置がずれることもなく、型枠内に落し込み後は引き抜き線を引くことにより、スリーブを型枠に密着でき、型枠脱型後のトラブルが少ない。

(4)工期短縮とコストダウンが図れる。

以上のように、取り付け方法が簡略化され、型枠脱型後の処理も養生蓋の穴に工具を引っかけて外せば伸長装置を簡単に回収できるので、工期短縮につながる。また、材料費は従来工法より割高になるが、各種手間を考えたトータルコストでは割安になる。

■ウエブレンの実験結果

(1)弾性、剛性は無孔梁理論値とほぼ一致した結果となっており、せん断降伏時、曲げ降伏時の剛性は無孔梁と大差ない。

(2)せん断耐力、曲げせん断耐力ともに無孔梁の場合と大差なく、最大耐力以後も急激な耐力低下はない。

(3)ウエブレンのリング筋は、正負の荷重に対し引張応力が生じ、常に開口の拡大を拘束する働きを示す。

以上のように、有孔梁のウエブレン補強は、剛性、耐力、耐力低下防止、および開口周辺のひび割れ幅の拡大防止に優れ、大変形下においても無孔梁と同等の耐震性能を持っている。

■ウエブレンの将来

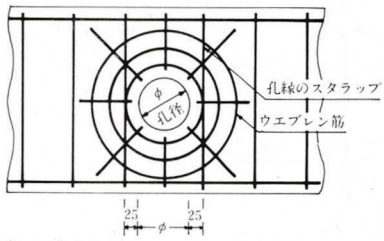
この工法だと、スラブ筋を配筋する前にスリーブの取り付けができ、今までのように他業種の職人が配管を乱すこともない。従来の紙筒スリーブ使用の場合、孔部分でのスタラップかぶり厚が取れない場合もあり、設計者によっては認めないこともあったが、ウエブレン使用だと、そのような心配もなく、トラブルが少ない。従来工法とのコストと工期の比較も、現場により条件が異なるが、コストで約１割、工期で７～９割近く縮少される例もあり、合理的である。強度面においても、孔径が梁成の⅓以内であれば、開口による強度、剛性の差はほとんど無く、無孔梁と同等の耐震性能を示すことが実験結果に出ている。

また、従来工法だと紙筒の切断時に切屑が出たり、取り外し時点でゴミが出たりし、孔の整形のために斫り工事を必要としたが、ウエブレン使用だと伸長装置は繰り返し使用でき、引き抜き線なども結束線として使え、省資源型の工法でもある。

今後は、従来工法に替わり、ウエブレン工法が大きく取り入れられていくであろう。今まではスリーブの口径が 200π までしかなかったが、昨年秋より 300π の実験を行い、大口径も製品化した。また、製品によっては、スリーブとリングを止めるバンドが締りにくいものや、伸長装置のワイヤの出が悪いものがあったが、よく改善されている。

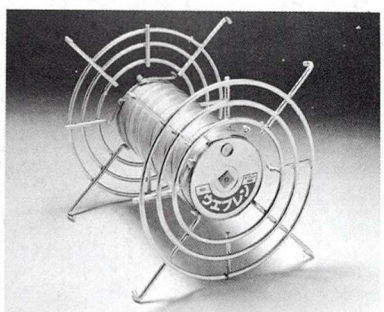
ウエブレンを用いた梁貫通孔の補強は、ＲＣ造だけでなく、ＳＲＣ造の方面にも用いることができ、将来が期待される工法である。

特にＲＣ造りの場合、関西以西では型枠の中で鉄筋が組まれる場合が多く、下端筋およびＸ筋の下端結束がむずかしくなり、将来は全部、陸組（梁鉄筋をスラブ上で組み、これを型枠内に落し込む方法）にしないと、今後新耐震の関係で、鉄筋量が多くなると、ますます完全な開口補強が、無理になると思われる。

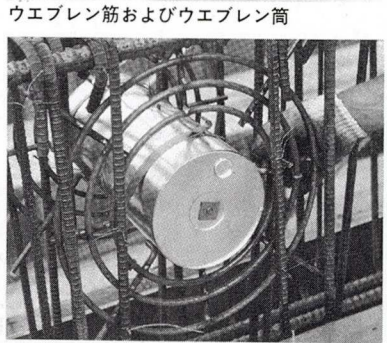


ウエブレン筋の仕様

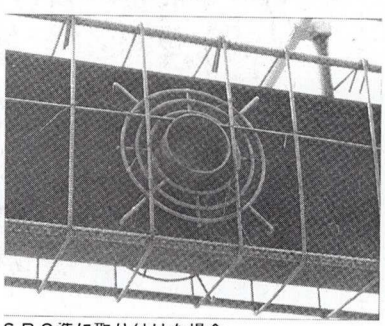
孔径	リング数	使用筋ＳＤ30 D 10	使用筋ＳＤ30 D 13
100 φ	2 重	○	
125 φ	2 重	○	
150 φ	3 重	○	
175 φ	3 重	○	
200 φ	3 重		○
250 φ	4 重		○
300 φ	5 重		○
350 φ	5 重		○



ウエブレン筋およびウエブレン筒



ＲＣ造に取り付けた場合



ＳＲＣ造に取り付けた場合

建材委員／松本　章（㈱東畑建築事務所技術開発室）

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

……3200名のデザイナー参加のもとに……

〝大阪デザイン団体連合〟結成される

昨年10月30日、大阪国際ホテル〝いちようの間〟において、河野大阪通産局長、岸大阪府知事、大島大阪市長、および塚本猛次日本建築協会会長・大阪建築事務所協会会長をはじめとする多数の府下政財界の来賓を迎えて、大阪デザイン団体連合（USD－OSAKA）の発会記念パーティーが盛大に開催されました。

この大阪デザイン団体連合（英文名＝UNITED SOCIETIES OF DESIGN－OSAKA、略してUSD－OSAKA）は、大阪府内にあるデザイン団体が豊かなパートナーシップにもとづいて連係して行動することによって、デザイン界の振興を図るとともに、地域社会の発展向上に寄与することを目的として設立されたものであり、設立にいたるまで2年近い年月をかさねて、各デザイン団体の代表者によって話合いがもたれたのであります。

当初は、各専門領域のデザイン団体個々の活動のみで、外部からの要求に対応できていましたが、近い将来社会から必ず複合的多様化した要望がデザイン界に求められることを考え、その必要性にこたえるため、まず各団体間の情報交換と親睦に活動の焦点をあてて、デザイン界の連絡機関的なヨコのつながりをもとうということから発議されて準備作業がスタートいたしました。

しかし、その間に周辺の状況変化はめまぐるしく、世界情勢は資源問題や新エネルギー問題等でますます複雑化して、〝第三の世代論〟や〝サバイバル人類論〟まで登場し、国内では大阪が活性化をめざして、社会、経済両面での各分野の活動が活発になるにつれ、デザインの役割に大きな注目が集まり、地元デザイン界への期待は急速にたかまって来ました。

国際デザインコンクール開催や、大阪21世紀計画などが具体化するにつれて、デザインにかかわる問題には、デザインの各専門領域を受け持つ一つ一つの団体が対応できる範囲をこえて、デザイン界が全体で対応しなければどうにもならない事柄が多くなってきました。

このことは、かねてからデザイン界が待望していた第二次成長段階への昇り口であり、その意味でデザイン界への外部からの好ましいニーズでもありました。

このニーズを受けて、昭和56年初頭から団体連合発足の機運は、より目的を鮮明にしたことにより一気に盛り上がり、準備活動も活気をもち、発起人団体による数次にわたる発起人会で大要の主旨をかため、広く各団体に参加をよびかけ、設立準備会の討議の末、10月8日設立幹事会が開催され正式に設立したものであります。

設立当初、すでに下記の16団体が加盟し、傘下のデザイナー数は約3,260名に達し、今後さらに加盟団体が増加するものと考えられます。加盟団体から各2名の幹事が登録され、代表1名、常任幹事8名が互選されて運営にあたり、幹事会が最高議決機関として事業計画などを承認します。初代代表は谷川順一氏（大阪デザインオフィスユニオン理事）、事務局は大阪デザインセンター内に置かれます。

設立主旨と加盟団体名（役員名）はつぎのとおりです。

（文責　樋口　治）

設立主旨

大阪デザイン団体連合は、大阪府内にあるデザイン団体が連係して行動することによって、デザイン界の振興とともに、デザインを通じて地域社会の発展向上に寄与することを目的に設立いたしました。

我が国のデザイン界は今日まで、国民生活文化の向上と、産業経済の発展に大きく貢献してまいりました。しかし、いま世界情勢の急激な変化により、我が国も内外に、さまざまな面で新らたな対応を求められています。

高度経済成長を支えた物量産業の時代から一転して、より広範で良質な文化情報と、より精密でユニークな創造力が企業活動に活力を加え、社会生活の充実につながる頭脳産業の時代に移りつつあることは周知のとおりです。

私たちデザイナーは、新しい時代を迎えて、私たちに寄せられる期待の大きさと、責任の重大さを認識するにつれて、その責務完遂のため、自ら求めて旧来の概念から脱皮し、新理念創造と行動力開発の必要性を痛感いたします。

そのため、私たち大阪デザイン団体連合は、各々の専門領域を超え、共通の意識をもって連係協調し、今後ますます多元化するニーズに適確な先行対応を行い、職能としての有効性をより一層向上させたいと思います。

この新らたな体制づくりから生れる高密度な職能活動は、各界から期待される新時代創造の担い手として、一端の役割りを果し得るものと確信するところでございます。

1981年10月8日

大阪デザイン団体連合加盟団体及幹事名簿

事務局：〒541 大阪市東区船場中央2－2　船場センタービル4号館
（財）大阪デザインセンター内　TEL　(06)262－5665

	団体名	英文略称	会員数(名)	幹事名(⊙代表　●常任理事)
	イラストレーターズ「関西」		150	佐藤　貞夫　　田中　俊夫
	大阪室内装備設計士協会	OSG	145	上辻　謹一　●柏原　秀夫
協同組合	大阪デザインオフィスユニオン	ODOU	92社(600)	⊙谷川　順一　●西尾　直
	スタジオフォトグラファーズ関西	SPK	10	泉谷　茂　　藤田　幸一
社団法人	総合デザイナー協会	DAS	291	斉藤　重孝　　千田　甫
社団法人	日本インダストリアルデザイナー協会関西事業支部	JIDA	158	●大和田　稔　●多田　愛実
社団法人	日本インテリアデザイナー協会関西事業支部	JID	89	●樋口　治　●川崎　浩
	日本グラフィックデザイナー協会	JAGDA	92	●沢村　徹　大高　猛
	日本サインデザイン協会関西支部	SDA	33	北山　広司　辻本　達広
	日本タイポグラフィ協会関西地区	JTA	45	中尾　芳盛　今北　紘一
	日本ディスプレイデザイン協会	dda	105	神吉　定　　木村　一雄
社団法人	日本店舗設計家協会大阪地区本部	JCD	297	西脇　顕正　●山川　勝彦
社団法人	日本デザイナークラブ関西支部	NDC	150	国松恵美子　段中美恵子
社団法人	日本デザイン文化協会大阪支部	NDK	941	大菅てる子　崎田喜美枝
社団法人	日本パッケージデザイン協会関西地区	JPDA	100(25社)	鹿目　尚志　辻本　有邦
	ファッションプロフェッショナルグループ イン 関西	FPGK	74	原田　毅一　近藤　年子

合計3280名117社　　昭和56年10月30日（50音順）

第18回よろず相談住宅展終了

㈳日本建築協会の恒例行事となっている「よろず相談住宅展」は昭和56年で第18回を数え、去る11月13日より18日まで心斎橋そごう8階催場において開催し、盛会裡に終了した。今回も、本会住宅委員会のほか、府、市、公団、公庫、積算協会、税理士会、司法書士会、宅建協会、テレビ受信向上委員会、防犯アドバイザーなど、それぞれの専門家が無料相談に当たった。

毎日DAS学生デザイン賞募集

毎日新聞社と総合デザイナー協会（ＤＡＳ）が主催者となって、第14回目の学生デザイン賞の募集を行っている。応募者は、大学、短大、高専デザイン関係の学生。審査員には、浦辺鎮太郎、彦谷邦一、伊藤貞亮のほか第一線の先生方。応募締切は昭和57年3月31日。問合わせは、大阪市北区堂島1－6－20毎日新聞社内　毎日ＤＡＳ学生デザイン賞事務局（☎06－341－5895）へ。

公共環境を考える—鉄道とデザイン
JIDAデザイン会議'82東京

主　催　社団法人日本インダストリアルデザイナー協会
後　援　通商産業省、日本商工会議所
協　賛　(財)日本産業デザイン振興会、(社)日本インテリアデザイナー協会、(社)日本クラフトデザイン協会、(社)日本パッケージデザイン協会、日本グラフィックデザイナー協会
会　期　昭和57年1月21日(木)～22日(金)
会　場　霞が関ビルプラザホールおよび東海大学校友会館

プログラム
第1日：記念講演　基調講演　分科会(1)　記念パーティ
第2日：分科会(2)　分科会(3)　ーパネルディスカッションー

読者の頁

〝私のらくがき〟募集

○テーマは、「春」「夏」「秋」「冬」の四季をあらわすもので、タイトルを適当におつけください。またスケッチ場所などを含めて 200字程度のコメントをつけて下さい。
○サイズは150×200ミリ程度の白紙に、できるだけ黒インキで書いたものとします。（ハガキ大でも差しつかえありません。）
○掲載分には規定の稿料をさしあげます。原則としてスケッチの原稿の返却はいたしませんが、返却希望の場合はその旨特記下さい。
○氏名、住所、職業、年齢を明記して㈱日本建築協会編集部宛お送り下さい。

マイ・フォト

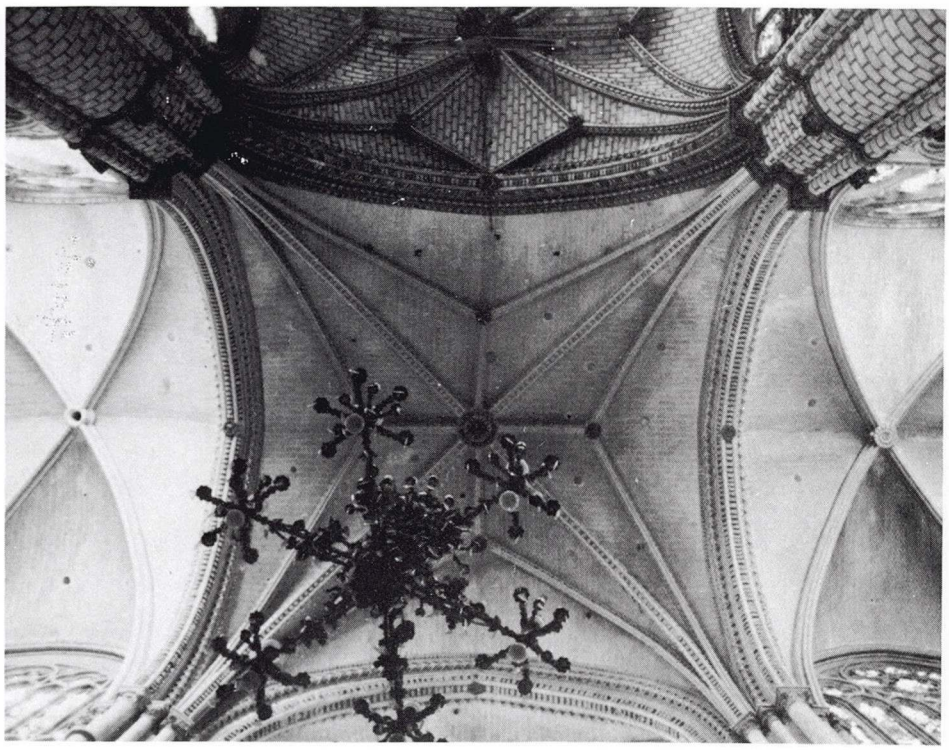
ヨーロッパを旅して
〝マドリッド〜トレド〟

中馬博良／長谷川工務店



人は陽気で、８時頃まで明るい緑あふれるマドリッドは、新旧の建物が隣接しているが、異和感の全くない不思議な街である。夕方は、家族連れ、恋人達が西日に照らされた街路樹の中を語らいながら散歩を楽しんでいた。
エネルギッシュあふれるジプシーの本場のフラメンコには圧倒されっぱなしで、時の過るのを一瞬忘れさせる魅力がある。

美しいタホ川に囲まれた小高い丘にあるトレドは、色鮮やかな深味のあるステンドグラスと彫刻が美事なゴシック建築のカテドラル（大寺院）そして中世をそのまま残す風見鳥のある古い家並は、迷路のような狭い道に、ひしめきあっていて、画題には事欠かない。
写真はカテドラルのステンドグラス（トレド）。

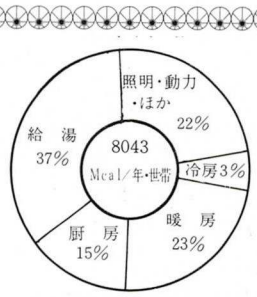


省エネのワンポイント

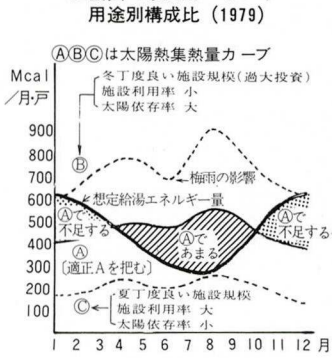
その４　太陽熱を把む

田中建美／清水建設㈱本社省エネルギーエンジニアリング部

屋根に降る太陽エネルギーは、通常の生活に必要なエネルギー量の10倍に相当する。夢のふくれる話だが、いざこれをとらえる段になると、太陽エネルギーは急に、うすく、たよりなく、従ってかなりの装置や費用を要するものに見え始める。このあたりを日向水、縁側等我々の先輩はうまくやってきた。特に縁側にガラス障子をとりつけたアイディアは、抜群のものといえよう。
このように太陽エネルギーはまず暖房と給湯に期待されるが、近畿圏の平均的住宅を見ると、暖房に23%、給湯に37%のエネルギーが消費され、両者併せると、60%にも達する。正に狙い目である。まず暖房では、集熱器を使う方法もあるが、むしろ、縁側の例に見られるように、建築的な手法でうまく太陽熱をとらえ、夜に向けてその熱を大切に保つ方法が主流になるべきである。こうしたパッシブなやり方は、多くの実験住宅には際立った形で見受けるが、これら技法の採択に当っては、個々の建物の基本機能に照して、充分な吟味が必要である。
一方給湯では、日向水を今少し昇温させたい、１日中使いたい、と集熱器・貯湯槽等、装置が必要になるが、その規模決定にポイントがある。と言うのは、給湯用エネルギー量は、市水温度の関係から、冬大夏小と季節的に変動する。これに対して太陽熱エネルギーは冬小夏大と丁度逆な位相で変動するため、図に示す３つの典形的なケースが発生する。要は〝Ａカーブ〟に属する〝程良い〟施設規模を把むことである。
昭和65年には 780万戸（全住宅の20%）に太陽熱利用施設を普及すべく、金融・税制面でも数々の助成策が打ち出されている。屋根の上下のシステム的な整合を図ると同時に、これら助成策からの強力なサポートを得ることも大切である。総じてエネルギー問題のポイントは、政策、制度面を含めた需給整合にある。



近畿圏の家庭用エネルギー用途別構成比（1979）



給湯用太陽熱利用施設規模

自然発生的建築をめぐって—21—

プライバシー　その2

本多友常
（㈱竹中工務店大阪本店設計部設計課）

プライバシーと演技性

プライバシーのある空間がふるまいによって変容していくということは、「プライバシイは、状況的要因によっても作られる、ということである。人が何についてプライベートな感情を抱いたのか、また誰との関連においてそのような感情を抱くに至ったのか、と言うことは、その人の置かれている状況によって大いに左右される。」[1] 私たちは電車の中やオフィスの中で、あるいは家のなかでも、無意識にお互いのプライバシーを尊重するようなしぐさをしていることがある。たとえば視線をむけないことをエチケットと心得たり、「知らんかお」や「聞こえぬふり」をすることによって、相手のプライバシーに立ちいらないような心づかいを払い、プライベートな感情とパブリックな感情を制御している。このように同じ空間のなかにあっても、社会的に了解されているようなしぐさや思いやりは、個と集団の間に無駄な摩擦のおこることを未然に防ぎながら、様々な状況をつくり出す。このようなことから考えるならば、プライバシーとは個が完全に閉じこもってしまうことからはじまって、他とのコミュニケーションをもつにいたるまでの無数の段階があり、それぞれの状況に応じたささいな演技性が、これを支えているということが出来る。このように建築環境は、プライバシーを確保するために壁で囲いをつくるだけではなく、プライベートとパブリックのあいだで繰りひろげられるドラマの舞台として演出効果の一翼を担う。舞台の上ではあらゆる種類の演劇が演じられるように、建築環境は場を提供するための骨格を要求されるのであって、プライバシーを保つためにはどこを遮らなくてはならないという議論は不毛な結果にしか至らない。

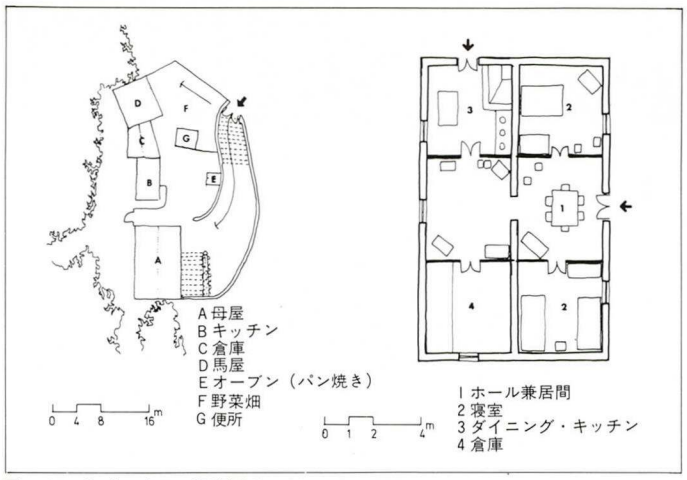
プライバシーの概念が、時代や場所の違いによって異なることはすでに述べたとうりであるが、フィリピンのネグリート族の話はその傍証になるかもしれない。これは野口武徳による排せつの比較文化考というエッセイ[2]に紹介されているものだが、彼らは密室のトイレでは用を足せないという。これは日本人が人目につくところでは用を足せないのと同じように、ネグリート族にとっては開かれたところでないと便意をもよおすことがむずかしく、生理現象にまで文化的拘束がみられるというのである。この生理現象はなにもこれに限ったことではなく、食欲や性においてもしかりであろうし、プライバシーの考え方においても同じようなことがいえる。たとえばエスキモーのように、その住居が年中雪に閉じ込められて、昼夜の区別もはっきりとしないような狭い空間では、体臭と暖防用の獣脂の臭いが充満しており、開放的な南方の人々にとっては想像も出来ないような生活がくりひろげられている。

このように、あるひとつの生活の型から見たときに不可解に思えたり、フィクショナルに見えたりする建築環境も、それぞれの生活が長い歴史の上に継続されているという事実によって、生活への抱擁力は証明される。しかしそれぞれの生活が理想的に営まれているかというと必ずしもそうではない。むしろそれらは不自由に満ちた空間であり、人はいつもああしたい、こうしたいという願望を持ちつづけながら、不便をしのいでいる。それでもなお彼らが愛しているのは、日常という静かな演劇性をささえてくれる粗朴な舞台であり、それが彼らにとっていちばん自然なふるまいをさせてくれるからにほかならない。そしてその舞台の骨格についてみてみると、案外日本の田の字型プランと共通するようなものが多く見うけられるように思う。つまり室は室によってあるときは連続し、またあるときは不連続なものとして隔離され、廊下のような通行のための単一機能によって、連続・分断の行なわれる例は意外に少ないのだ。これは見方によってはあたりまえのことであり、空間を分割することの基本は平面をたてよこに仕切っていくことか、アフリカで見られるように小さい小屋のような単位を並べていって住空間をつくりだすかのふた手にわかれるからであり、そのほかの型はこの派生型であると考えてよい。

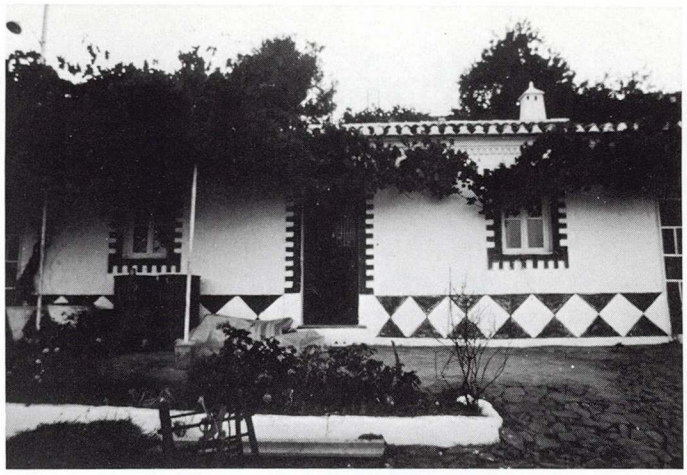
分割型平面構成

前者の型はポルトガルの民家にその典型を見ることが出来る。家の構成は簡単明瞭で、まず外壁と棟を支える壁をレンガで立ち上げて、その上に勾配屋根を乗せる。ここまでは頑丈につくり上げて、中の間仕切はそっけないほどに簡素な造作で仕上げられている。たいていの民家は天井がなく、屋根の野地板の裏に断熱のためのむしろのようなマットが貼りつけてあったりする程度で、間仕切の高さも2メートル前後で止まっていたりする。（図—1、写真—1）したがって音は隣りの室どうしでは手にとるようにわかり、かろうじて視覚のプライバシーが保たれているにすぎない。長屋の場合は、（図—2、写真—2）隣りどうしを隔てる壁こそレンガを積んではあっても、内部はやはり付加的に簡単な仕切りがしてある程度で、ようするに家の内部でのプライバシーというものは、意外なほどに考慮されてはいないのだ。このことはプランのつくり方が、なによりもそのことを語っている。外部の扉をあけると、日本では下足箱のある玄関にあたるところがたいがい居間になっており、この居間をひとつのクッションとして寝室が連結されている。もちろんたてよこに分割されていく空間でも、寝室にあたる部分はコーナーにとられるような工夫はされているのだが、プライバシーの確保という現代的傾向からするならば、大部様子が違っている。ポルトガルの農家のもうひとつの型は、バルコニーや階段を持つもので、前に触れたものであるが、この場合も空間の分割の仕方においては、あまり変わらないと見たほうが良さそうだ。図－3はヴィラリーニョ・パランヘイナスで調べた農家のひとつで、大きな庭をもつという点では（図－3、写真－3、4）裕福なほうだと思われる。プランは一見したところ入口の階段を登り、廊下を通って各部屋へ入るようになっていて、機能分化が進んでいるように思えるのだが、実は廊下にあたる部分はバルコニーとして庭の一部となっており、日本の農家にある縁側のような役割を果たしている。つまり内部においてはやはり、まず豆腐を切るようなプランがあってそれに機能を当てはめ、ベッドを仕切る壁は2次的にベニア板のようなものがたてられ、またドアを持たずにカーテンだけで仕切られて居間とつながっていたりして、個人主義的な傾向はほとんどうかがわれない。このようなプランはポルトガルに限ったことでもなく、フランスのピレネー山系に近い農家にも同じような例が見うけられる。（図－4、写真－5）この場合は入口のホールにあたるところは、農作業のあいまに軽食をとったり、近所の人たちとのつきあいの場所となっており、奥には別の居間がつくられているのだが、平面計画の基本構想には廊下による分離・結合は考慮されていない。この場合もやはりエントランスを兼用とするような、ひとつの大きな室が、様々なふるまいやしぐさによって、多様な生活の機微をかもしだす舞台となっているに違いない。私が招かれたときはそこは立派な客室にかわっていた。

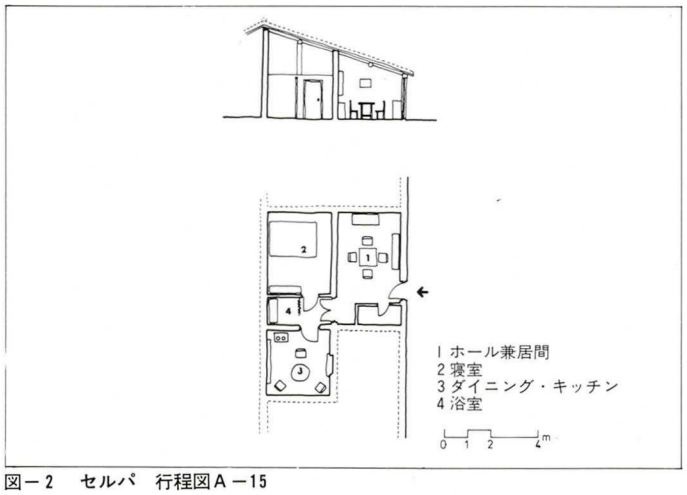
参考文献
1）「建築の心理学」、クリフォード・B・モーラー、扇谷弘一訳、P110、鹿島出版会
2）東陶通信、「排せつの比較文化考」、野口武徳、P８～P９、No.276、1981



図－1　オデレイテ　行程図Ａ－14



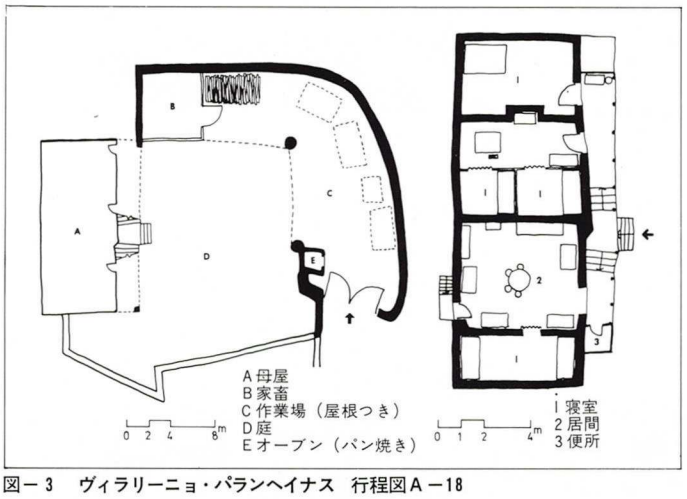
写真－1　図－1の外観



図－2　セルパ　行程図Ａ－15

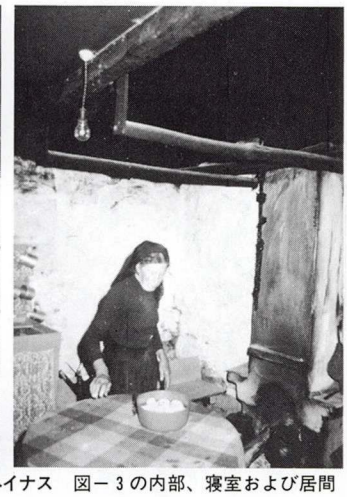


写真－2　図－2の外観

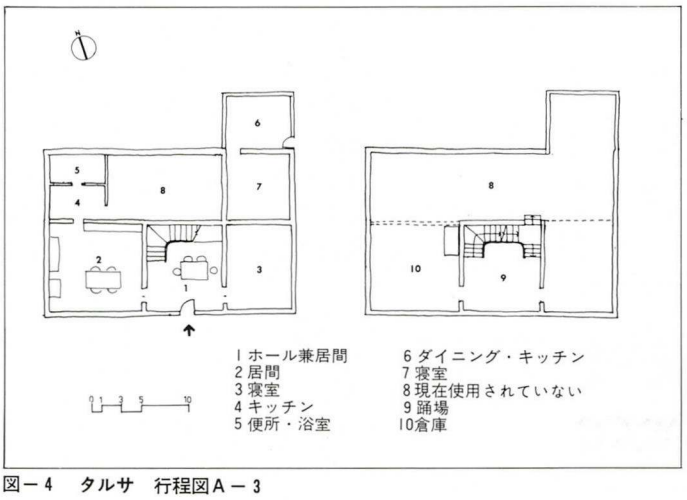


図－3　ヴィラリーニョ・パランヘイナス　行程図Ａ－18





写真－3・4　ヴィラリーニョ・パランヘイナス　図－3の内部、寝室および居間



図－4　タルサ　行程図Ａ－3



写真－5　図－4の外観

快適な生活環境づくりにとりくむ
古河電工の自信作

黒のソーラー



●第一勧銀本店超高層ビル用ソーラー

●古河ソーラーコレクターは

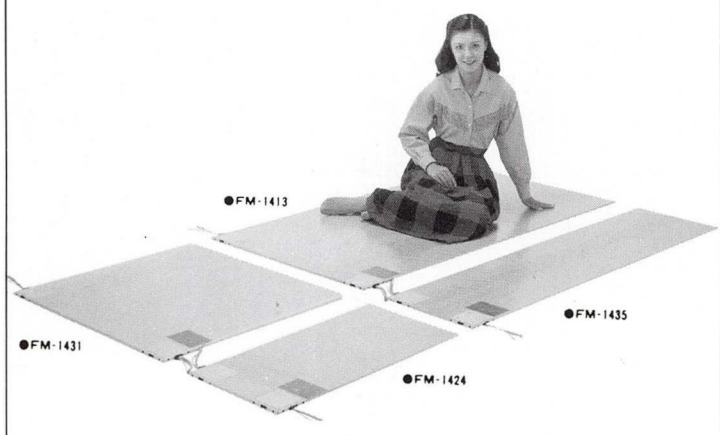
集熱板の心臓部である表面は、“選択吸収膜”と呼ばれる処理がなされ、太陽光吸収率αが大きく、熱放射率ϵの小さい吸収面となっています。

選択吸収面には酸化銅、着色ステンレス、ブラック・ニッケル、ブラック・クロムなどがありますが、この中でブラック・クロムは最も特性が良く、特に安定性が優れていることで世界的に定評があります。

古河ソーラーコレクターの選択吸収面は、このブラック・クロム処理を日本で初めて工業的に行なったものであり、αは0.92～0.96、ϵは0.08～0.11の特性をもちます。

古河ソーラーシステム

快適床暖房



■電気パネル方式

サンサニー®

サンサニーで暖房すれば

- 頭寒足熱の理想温度環境が得られます。
- 床、壁のスペースが広く、自由に使えます。
- 個別制御、集中制御が自由自在です。
- 無騒音、無公害の健康・安全暖房です。
- メンテナンスフリーで長もち暖房です。
- 新築でも既築でも施工が簡単です。

■温水パネル方式 **ユカダン®**

■電気ケーブル方式 **エコノヒート®**

営業品目

- サンサニー（パネル式電気床暖房）
- エコノヒート（ケーブル埋設式電気床暖房）
- ユカダン（温水パネル式床暖房）
- キュアレックス（架橋高密度ポリエチレンパイプ）
- MIケーブルヒーティング（パイプ・タンクヒーティング）
- インフラミック（遠赤外線輻射ヒーター）
- ダンルーフシルバー（断熱材）
- フォームエース（発泡ポリエチレン）
- 光ファイバー
- パイプカバー（発泡ポリエチレン）
- 古河温泉用パイプ
- サーモインチューブ（被覆銅管）
- 太陽熱コレクター（ソーラシステム）
- エフレックス（地中電線路）
- プラフレキ（省力化可撓電線管）
- トヨダクト（フレキシブルダクト）
- ビニールテープ（防食用）
- サンダム（防音材）

古河電工直系会社

栄光開発株式会社

■大阪営業所／〒530 大阪市北区堂島浜2丁目1番29号（古河ビル6階古河電工内） ☎(06)343-0261
■本　　社／〒100 東京都千代田区丸の内2丁目6番1号（古河総合ビル6階） ☎(03)286-3488

日本建築協会常設委員会・本年の抱負

編集委員会本年の抱負

編集委員長　三輪　泰司

大正６年(1917年)の「発刊の辞」にありますように、「……暁鐘第一の金鋼杵たらんと慾す」という気概、大正９年１月に「建築と社会」と改題されたときの「一層、社会的触接を期するの名実相充当せむことを冀うと共に、駸乎たる躍進的機運に先むぜんことを慾す」という社会にとびこみリードしようというわが協会の情熱を原点として改めて本年の抱負にしたいと思います。
不確定の時代とかいわれる中で、一層専門性を高めつつ、領域を超えた理解をひろめてゆくことが、現代をリードするひとつの方向であろうかと思います。昨年は、新耐震設計法などで、そのような試みをいたしましたが、今後、建築の専門家と社会をつなぐ接点も企画にとり込みたいと思います。よろしく、ご協力、ご支援のほどお願いいたします。

建材委員会本年の抱負

建材委員長　牧田　顯治

昨年１年間に11回の委員会を開催し、10件のメインテーマについて討議し、10件の新建材を本誌「新建材紹介コーナー」にとりあげました。当委員会では、その時々の建材に関する情報を正確・迅速に会員に提供するための運営を行っていますが、51年以来、紹介コーナーへの掲載数は、累計85件に達しました。今年からは、新しい建築材料の紹介はもちろんのこと、施工方法で新しい方法や、修繕、保全に都合のよい材料、あるいは、使用することによって、より経済的で便利な機器類も幅広くとりあげ、皆様のために役立ちたいと念願しております。
どうか今後も、こんな材料は皆さんに紹介した方が良いのではないかと思われる材料がありましたら、建材委員会までお知らせ下さい。

住宅委員会本年の抱負

住宅委員長　小西　　岬

先輩が敷かれた線路を走り続けて19年目に入った「よろず相談住宅展」も、車輛の傷みがひどく修理に追われている感じで、会場やコマのスポンサー探しの難しさがひしひしと年ごとに身にこたえる思いですが、20年まではやり遂げる決意をしています。国鉄の赤字線とは異なり、お客に重宝がられて相談も多くいただいていることと、また赤字ではなく黒字を出し、協会のＰＲにもなっているので、協会でも喜んでもらっているものと自負しております。
庭のスライドも完成して展覧会場で活躍しておりますが、住宅展の今後の進路については、今年は腰を据えて委員会で十分討議を重ねて考えてみたく思っております。

法規委員会本年の抱負

法規委員長　岡本　行善

本年に〝都市景観〟をとりあげてみたいと考えています。それは都市の顔、表情として私達ときわめて深いかかわりがありますが、生活環境として、あるいは後世に残すべき地域文化として考えた場合、多くの問題をかかえています。また既存の都市には共通の悩み、矛盾を有して抜本的な改善策もうてないままにその美しさ、快適さが損なわれつつあるのが現状です。〝都市景観〟が都市問題の重要な側面として近年クローズアップしてきたのは当然でありましょう。この問題を私達は、市民・行政・政治の連鎖的なかかわりとしてとりあげ、その中で建築プロパーはいかなる役割を担って改善をはかろうとしているのか等を考えていきたいし、また、広く各層の意見を頂だいし、内外の諸々の事例とか誘導策等を紹介し、キャンペーンしたいと考えます。法規委員会のみでは少し荷が重すぎるようですが、どうか皆様のご協力をお願いします。

事業委員会本年の抱負

事業委員長　三品　哲夫

当委員会において実施します事業の目的は、会員相互の連けいと会員へのサービス提供を図ることにあることはもちろんでありますが、協会定款にも示されているように、事業活動を通じて広く社会に貢献することが重要であります。昨今の厳しい社会経済状勢の中で、この目的を果たすための事業企画を樹て実施してゆくことは決して容易なことではありませんが、反面それだけにきわめて大切なことであると考えています。
そのためには、目前の状況にのみとらわれることなく、会員が将来に希望と意欲を持てるようなユニークな事業、とくに青年層の会員参加が期待できるような事業をと、委員一同努力を傾けたいと存じます。引き続き会員各位のご指導とご支援をお願いする次第であります。

建築技術選書のこと

出版委員長　小林　　清

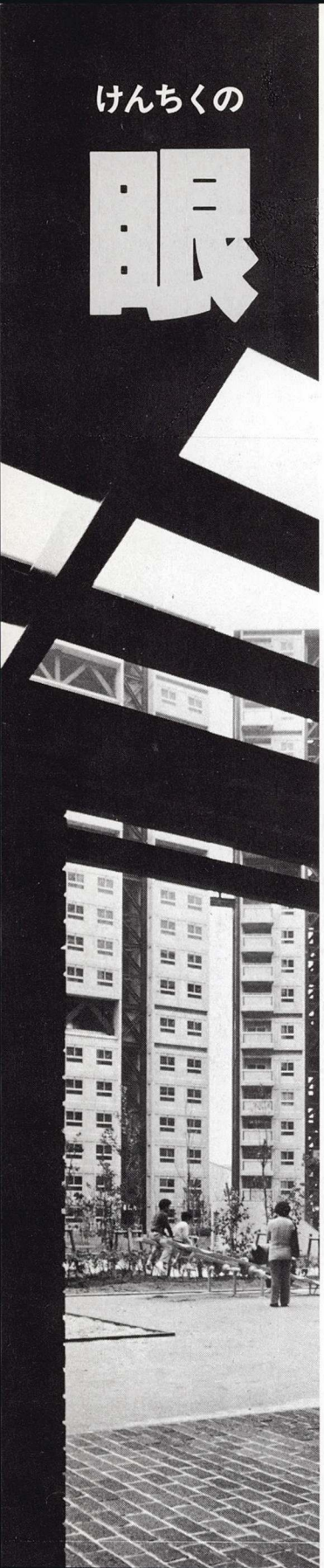
昭和53年からはじまった、わが日本建築協会創立60周年を記念する頭書の出版も、大方の期待にこたえて、昨年末、竹内吉弘・島田耕一著の「建物と地震災害」を刊行して、計26冊と相成った。発行所学芸出版社の全国主要小売店の常備委託図書棚にはズラリとならべられて、見る者に迫力を与え購求心をそそっているようである。
ここに特記すべきは、「建築と設備の接点」1・2ともに好評を博していることである。
躍進する本年は、建築積算業務（生島道春著）、瓦の話（大仏瓦･佐藤四郎著）、建築金物（立野一郎著）、たたみの話（松浦範年著）などの、読んでわかりやすくタメになる企画があり、陽春４月ごろから刊行、刮目して待たれよ。

教育委員会の抱負

教育委員長　多胡　　進

工高生デザインコンクールは、昭和30年より毎年、全国の工高建築科生徒を対象に実施しているが、昨年は「ファミリーレストラン」をテーマにして応募校17校､116点の作品が集まった。前年に比し、16点の増加である。その入選10点は本号に掲載したが、本年は第28回を数えるので構想を新たに実施したいと考えている。
建築技術選書講座は、昨年「建築と設備の接点２」をとりあげ、日本建築設備士協会と共催によって実施したが、聴講者109名というこの講座はじまって以来の盛況であった。今後もテキストによっては関係団体との共催も考えられる。
建築工事実務講習会は、昭和32年以来の恒例事業であり、近年は施工計画、見積、施工図について中堅技術者を対象に実施しているが、昨年は大阪のほか、広島市において士会などの協力を得て開催したところ、関係者の絶大な努力もあって173名にのぼる聴講申込者があり、盛会裡に終了することができた。本年は近隣府県での実施についても検討することにしている。その他、魅力ある事業をセットしていきたいので、会員各位のご協力と参加をお願い申しあげる次第である。

けんちくの眼



西川幸治
京都大学教授・工博
今井潤之介
住宅・都市整備公団関西支社設計部長
小北博一
ジャス・アソシェーツ代表取締役
安盛壽一
大林組本店建築工務部長

1月号から6月号まで上記の4氏が担当

五条坂

「この山内（清水）をくだりゆくさきに、清水焼の陶造軒（すえものつくり）をならべて、往来の足をとどむ、この所の名物なり」（東海道中膝栗毛）と弥次・北八の昔から、京都の五条坂は陶器の町としてしられてきた。清水坂とともに、この辺りには清水焼の陶匠の家がならび、同業者町の特色ある町なみを形づくり、人びとに親しまれていた。ところが、先の戦争末期の建物疎開で、この五条坂の東大路通から西の南側の家なみが撤去され、幅50メートルの道路に拡げられ、かつての町なみは一変してしまった。また、戦後になって京都の東西を結ぶ五条バイパスが築かれ、その高架の坂道から騒音と排気ガスを五条坂はまともにうけることになった。五条坂は戦争と戦後のクルマ社会のぎせいとなってきたのである。

今も、五条坂の人びとの間には、かつての五条坂をなつかしむ思いはつよい。疎開前の町なみを図上に復原して過去をしのび、夏の陶器祭りには五条坂の活況を復活させようと努めている。たしかに、京都の交通動脈となっている五条坂を過去の姿にもどすことは不可能である。しかし、想像力をはたらかせ、知恵を発揮して、過去に匹敵する魅力ある町づくりが、五条坂の人びとの間で進められようとしている。

（K・N）

原点

難事に遭遇した時は、原点に帰れといわれる。ところで原点を同じくしながら異なったプロセスをたどり、いずれも好結果を見せている例がある。飛行機の世界がそれである。

人類が動力付の飛行機を空に浮かべてから70年。今では、ワイドボディ、500人乗り、数百トンの巨大なジェット旅客機が日常の乗り物となっている。一方、最近になって、人力飛行機が遂に実現してドーヴァー海峡の横断に成功した。大量輸送のため強力なエンジンや材料を開発した強力技術とでもいうべきものの成果がジャンボジェット機であり、極度の軽量化と精密な工作を要する弱力技術(？)の成果が人力飛行機である。ともに空を飛びたいという原点は同じである。原理や材料や工作技術の進歩もさることながら、それらを使いこなす手法が目的に応じて正しく選択された故の好結果である。

今日、わが建築界に眼を転じる時、超高層ビルや商業建築の材料、部品等がそのまま住宅建築に持ち込まれている例が多く見受けられる。現代のドライな社会風潮を助長しているふしさえある味気ない住宅を見るにつけ、住宅建築技術者のひとりとして、いささか不安な道のりではある。

（J・I）

ブーンと響く音楽ホール ——ある空間1——

千里で室内楽を聴く会を主催しているE君の言によると音楽会の採算分岐点は、400人の入場者を出発点とするという。ところが、その商業ベースを無視した地域主催型の200人単位くらいの音楽会が急増している。千里にホールも増え、この6年間でE君の会も、その孤軍奮闘の努力で定着した。あるホールでは、まったく音が響かなかった。音は、吸取紙に広がるインクのように、吸音材の壁に吸いとられてしまう。奏する側も、聴衆もくたびれた。この会場は、正確には録音と再生のためのスタジオとして、つくられている。建築としては、第一級のスタジオも室内楽演奏との間には、電気メディアというブレがある。

千里地域で室内楽を聴くのに、ピタッとくるのは、音楽ホールでも、公民館でもない、Hホテルの大宴会場である。このホールは天井が高く、緑あふれる外部空間とつながっている。初夏の暮色の中で、チャイコフスキーの絃楽セレナーデのヴィエール・フィルによる演奏は、千里室内楽の会の最高の出し物の一つであった。英国では、去年全国の町や村、21ヵ所で芸術祭が催された。小さな町の芸術祭は、聖堂でも催される。堅い壁と高い天井によって生まれる豊かな音を市民は楽しむ。武満徹によると日本の音楽ホールに「エコーとバイブレーションと空気がない」という。地域主導型のグループのための小ホールが必要である。豊かな響きによって耳にやさしく、心をゆする小さな個性的な会場が、町や村に必要だろう。

（H・K）

現場マン群像

彼が現場に出たのは戦後の復興が漸く緒についた頃であった。それまでの設計業務から解放され、ダイナミックで活気溢れる現場を志したが、独特の専門用語や仕事の段取りなども解らず、職人も思い通りには動いてくれない。現場に出突っ張りで工事を見詰め、職人気質を呑込んで使いこなしてみたいと無我夢中で過ごしたものである。当時の現場マン達は個性があって面白かった。人生体験の滲んだ言動からは学ぶべきものが多かった。所長ともなれば神様で、大概の難題も一喝で納める不思議な力を具えていた。まさに個性が輝いていた。

それからすでに30年余の歳月が流れ、日本は経済大国となった。技術も生産性も飛躍的に伸び、古建築の保存、LNG、原子力など対象も無限に拡大してゆく。その代わり環境は複雑化した。外には社会の規範を守る必要があり、内にはQCDS*のバランスをとる必要がある。しかし制約にまけていては現場は一歩も進まない。常に信頼関係を育て、集団を纏めてゆける現場マンが必要である。建設は結局は、『人』である。人材育成の必要はますます増大してゆく。一現場での出来事が会社全体への評価を一挙に変えてしまう虞れのある時代なのだから。

（T・Y）

*Q＝品質、C＝原価、D＝工程、S＝安全を示す略語

◀会員の受章

このたび下記会員諸氏は、大阪市長よりそれぞれ表彰を受けられましたので、ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

記

第16回市民表彰（建設事業功労）

玉置　豊次郎氏（大阪住宅センター理事長）

井上　利行氏（日本建築材料協会会長）

大阪市建築基準行政実施25周年記念

大阪市長表彰状受賞者

牛場　栄一氏（牛場建築設計事務所長）

大阪市長感謝状受賞者

小田　健治郎氏（小田建築事務所長）

森　茂樹氏（森設計代表取締役）

◀会員名簿の頒布お知らせ

隔年に発行することになっている日本建築協会会員名簿は、昨年12月発行されました。

この名簿は、建築界に活躍される会員の現況を紹介するばかりでなく、官公庁、学校、関係諸団体のほか、建築事務所・建設業者・建材業者・設備業者その他関係業者の主要なものを業種別に収録致しましたので、日常業務上大いに役立つものとおもわれます。

つきましては、日常座右に備え利用度の高い、この名簿を下記のとおり頒布いたしておりますので、是非お買い求め下さるようお願い申し上げます。

記

1982～83年版　日本建築協会会員名簿

B５判　280頁　本文上質紙

頒　価　2,000円

送　料　250円（１月末日までのお申込みの方に限り、送料は本会が負担します。）



完成真近の大阪市庁舎

◀大阪市庁舎新築工事の見学会（第１期工事）

（その２…最終仕上工事の見学）

日本建築協会・大阪建築設計監理協会
大阪府建築士会・大阪建築士事務所協会　**４会共催**

大阪・中之島の新市庁舎、第１期工事は銅板葺き緑青仕上げの屋根や花崗石の外装も新しく、全容をあらわし、完成真近になっております。

この工事完成直前のご繁忙中に、大阪市並びに日建設計、大林組・鴻池組共同企業体のご厚意とご協力を得て特別に見学させていただくことになりました。

今回も前回同様、建築４団体の共催で見学いたしますが、各会の会員に限りますので、下記各班のご関係の会へお申込願います。

〔第１班開催日〕　大阪府建築士会・大阪建築士事務所協会
昭和57年１月18日(月)　集合13:30→解散16:00

〔第２班開催日〕　日本建築協会・大阪建築設計監理協会
昭和57年１月19日(火)　集合13:30→解散16:00

集合場所　大阪・中之島・大阪市現市庁舎南出入口前・歩道付近（中之島公園側、路上）・目標会旗
ただし、大阪・地下鉄、御堂筋線「淀屋橋」駅下車、一番梅田寄りの改札出口を出て、突き当りの階段を上って淀屋橋を北へ渡りすぐ右折したところ。

定　員　各班とも70名（本会割り当て35名）・会員に限ります。

参加会費　会員 500円（当日徴収）

申　込　本会会員は→往復はがき１名に１枚限りとし、氏名・勤務先名・所属部課名または役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「大阪市庁舎の見学・その２」と明記の上、１月12日(火)までに建築協会事業課へ。
申込者多数の場合は抽せんにて決定いたします。

◎**お願い**・この催しは、見学時がご繁忙中のため建物の見学を主にし、説明場所の設営もできませんので、ご不自由ですが、ご了承願います。

建築概要（大阪市庁舎新築工事・第１期）

建設地	大阪市北区中之島１丁目３－20
建築主	大阪市
設計監理	大阪市建築局・㈱日建設計
施工(建築)	㈱大林組・㈱鴻池組共同企業体
敷地面積	12,815.62㎡
建築面積	3,808.52㎡
延床面積	45,442.73㎡
構造規模	ＳＲＣ造　地下４階、地上８階、塔屋３階
高さ	軒高　ＳＧＬ＋36.0m、最高部高ＳＧＬ＋50.5m 基礎下端ＳＧＬ－19.7m～20.25m
外装	外壁／花崗石張り 屋根／銅板葺き緑青仕上げ 建具／ブロンズサッシュ
工期	昭和54年４月→57年１月

建築家に聞く

◀内井昭蔵・長谷川堯…1982年、新春放談…

——健康な建築を語る内井昭蔵に、不健康な建築について考える長谷川堯が迫る——

「健康建築論」を軸に、独自の世界を構築し、もっとも活躍のめざましい建築家であり、そしていま、自身の活動のワンステップを達成し新たな飛躍をめざそうとしている内井昭蔵氏。

「神殿か獄舎か」以来、「建築の身体化」を唱え、近代合理主義建築を批判し、建築の慕情を語り、ひたすらに建築の本質を求め、人間的建築の復活を叫びつづける長谷川堯氏。

健康な建築を語る内井氏に対し、将来の飛躍と期待をこめ「健康」そのものの意味を問いかける長谷川氏。

両氏を'82年新春にお招きし、内井氏の主張する「なじみやすい空間・建築」をメインテーマに白熱した空間論、建築論を心ゆくまで語り合っていただくことにしました。

この新春放談が混迷停滞を続ける80年代の建築文化を考えるひとつの契機となることを期待して……。

皆さま、ふるってご参加下さい。

日　時　1982年2月6日(土)　開場 13:00　開会 13:30→閉会 16:30

会　場　大阪府立文化情報センター

（大阪市北区中之島3丁目・住友中之島ビル、5F・TEL 06-444-1011）

ただし、大阪、地下鉄・四ツ橋線「肥後橋」駅下車、徒歩3分。渡辺橋南詰の朝日新聞社の西隣り、（地下鉄・御堂筋線または京阪電車の「淀屋橋」駅より徒歩10分。大阪駅より徒歩15分）

講　師　内井　昭蔵氏（内井昭蔵建築設計事務所代表取締役）

長谷川　堯氏（武蔵野美術大学助教授・建築評論家）

定　員　１５０名

参加会費　会　員　1,300円
会員外　1,500円
当日受付にて徴収。

申込方法　はがきに住所・氏名・年令・勤務先名（学校名）・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を必ず記入し、「内井昭蔵・長谷川堯一新春放談」と明記の上、1月25日(月)までに日本建築協会事業課へ。（大阪市東区北浜3－37・TEL 06-231-9640）

- 定員超過の場合は会員優先の上抽せんにて決定し、参加証をお送りいたします。参加証到着後の取り消しはご容赦下さい（欠席でも会費ご負担下さい）。
- 当日参加は、会員・外を問わず1,500円。（ただし会場の都合で定員150名で打ち切ります。）



内井　昭蔵氏

1933年　東京生まれ
1956年　早稲田大学第1理工学部建築学科卒業
1958年　早稲田大学院工学研究科建築計画学終了
1958年～1967年　菊竹清訓建築設計事務所勤務
1967年　内井昭蔵建築設計事務所設立→現在に至る
1980年　日本建築家協会副会長

●主な受賞作品
1971年　桜台コートビレジ
（1970年度日本建築学会賞）
1975年　川島テキスタイルスクール
（1975年　日本建築業協会賞）
1977年　身延山久遠寺宝蔵
1977年　日本建築業協会賞
1980年　第24回レイノルズ賞
（アメリカ建築家協会）
1978年　東京ＹＭＣＡ野辺山高原センター
第3回　吉田五十八賞
1978年　日本建築業協会賞
1981年　新発田市民文化会館
（1981年　日本建築業協会賞）



長谷川　堯(たかし)氏

1937年　島根県生まれ
1960年　早稲田大学第1文学部卒業
1977年　武蔵野美術大学助教授→現在に至る

●主な著書
「神殿か獄舎か」（相模書房、1972年）
「都　市　廻　廊」（相模書房、1975年）
・毎日出版文化賞受賞
「建　築　有　情」（中央公論社、1977年）
・第1回サントリー学芸賞受賞
「建　築　旅　愁」（中公新書、1979年）

昭和56年度・第３回若い会員の集い

歴史的環境を残す都市、奈良・今井町を訪ねる

レポート

当日はかなり冷えこんでいたにもかかわらず、参加者は50名を越えていた。今井町はちょうどこの日は秋祭りで家々の軒先には提灯がかかっており、子供達のハッピ姿もそこここに見られ、はなやいだ気分に満ちていた。

集合場所の「旧老人いこいの家」は、かっては町の役場として使われたこともあり、なかなか立派な建物だった。

講師の福田晴虔氏より今井町の成立について歴史的な経過を説明していただいた。今井町は16世紀に環濠の町家として建設され、以後、商業都市として発展し、江戸時代には非常に栄えるとともに、堺の町と同様に自治的特権も認められていたという。

現在、今井町には重要文化財民家が８軒あり、われわれはその中の２軒（豊田家・米谷家）を見学した。豊田家は大名貸しや藩の蔵元をつとめたこともあるといい、入母屋造のこの大きな建物は町家のイメージよりは城のイメージに近い。そして正面壁に縁どられていた豊田家の家紋はこの建物の存在感を強く感じさせるものだった。一方、米谷家の建物は豊田家のそれに比べて全体に繊細で、建物高さといい、使用されている材料の寸法といいとても対象的であった。

このような素晴らしい建物が多くあることは確かなのだが、数の上で多いのはなんと言っても長屋である。今井町の全戸800余りの約80％が長屋であるという。見学していると、これら長屋の存在が今井町の保存問題にとってとても重要な要素であるように思われた。たとえば外観の変貌の一番激しいのがこれら長屋であるからである。

見学終了後、参加者は再びもとの集合場所に引き返し質疑応答にはいったが、やはり今後の保存問題への関心が多かったようだった。さてそれではどうしたらよいのか……、私達の問題でもある。

レポータ・三宅良一（企画設計社）



「旧老人いこいの家」で福田晴虔氏より説明を受く



今西家

昔、今井町は？

山宮喜久二

秋深まる10月24日、春日神社ー環濠の名残ー土塁ー今西家ー豊田家（内部）ー称念寺ー米谷家（内部）ー河合家と廻った、このときの俄仕込みの知識で浅薄な感想を述べます。

今井町は東西610ｍ、南北310ｍ、称念寺を中心にした寺内町で、往時は環濠を巡らした城塞都市として、江戸初期には1,000戸、4,000数百人を擁したといいます。位置は奈良盆地の南部、橿原神宮のやや北、東と南は山に近く、西と北が開けているので、昔は西の堺・大阪へ、北は奈良・京都への便は繁くあったことでしょう。

一般に門前町の寺は北にあるのですが、称念寺は町の中央より西よりの南にあるので、北と南が反対ではとの疑問をもったが、町が後に東に拡がったために寺は西よりになり、南にあるのは北への道をあけるためでしょうか。また今西家が西の端にあるのも気にかかり、疑問をもちました。

今西家は惣年寄の筆頭で、領主・代官から町方支配を任され、自治権を委ねられた役柄にふさわしく、1650年代の棟札のある城郭風の入母屋の破風を重ねた八つ棟造り本瓦葺き、白漆喰塗籠めで、昭和32年重文指定です。西に在るのは西に対する備えと示威の意味もあったのでしょうか。それで西からの使者や商人はこの屋根造りを目標に街道を往来しては、表の駒つなぎに馬を止めたことでしょう。昭和32年は重文指定の８軒のなかで最も早く、この頃から今井町が注目を受けはじめ、まだ環濠も残っており、濠の際に建つ今西家はひときは見映えしていたことでしょう。

豊田家は昭和47年重文指定で、入母屋造り本瓦葺き、２階部塗籠め、内部は頑丈な造りで、大名貸しや藩の蔵元をつとめた家にふさわしい。２階には用心棒の浪人を住まわせていたとのゆえに、往時の刀剣・武具・鉄砲や日常の品々など歴史を語る資料はどこにいったのでしょう。茨木市の椿の本陣には鉄砲をはじめ歴史的資料が展示されているのに比べて、遺憾に思います。

米谷家は金具商とかで、昭和47年重文指定の切妻造り本瓦葺きで、裏庭の土蔵に接して数寄屋風蔵前座敷があったのを興味深く見ました。

河合家は酒造業・入母屋造り本瓦葺き２階部塗籠めで、玄関前に酒の見本が置かれ、内部の土間を覗くと老主人が帳場に見えたのは、明治時代に還った思いがしました。

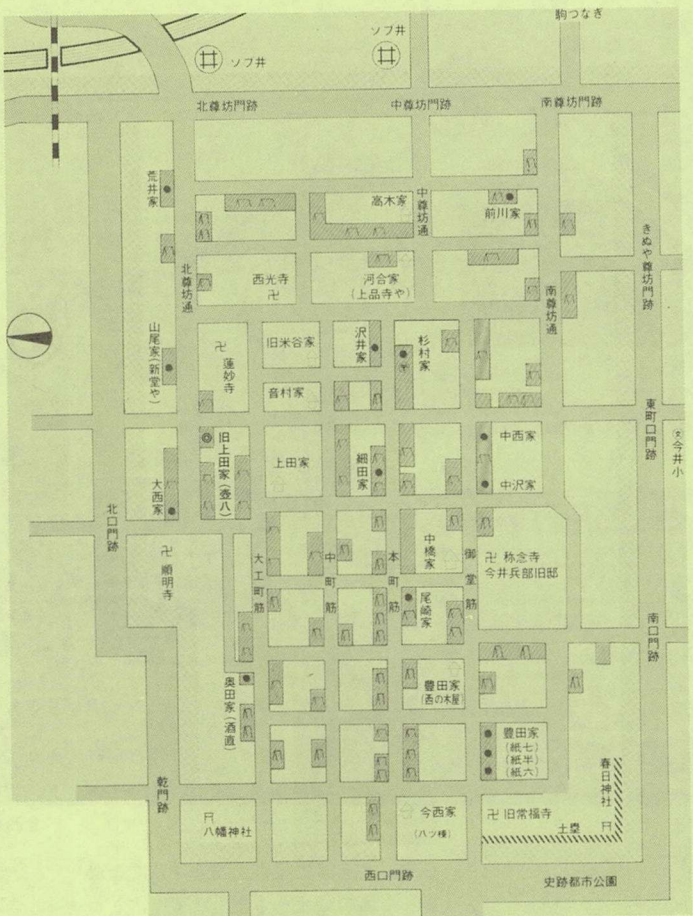
不思議に思うのは、今井町という存在が生まれ生き続け、近年までその形を変えずに残っていたこと、奈良という古いづくめの所に、ここだけに歴史の息吹が残っていることです。それにつけて、大阪市大の数年にわたる調査研究は大した業績だと思いますが、建築学の面に比べて他の面の歴史や社会や経済面の調査研究はどうなって、文献や資料はどこでまとめられているのでしょうか。この町の適切な環境の保存とともに資料の面も気になることです。

（京都建築専門学校）

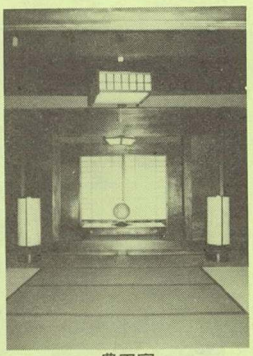
新しい再開発の模索

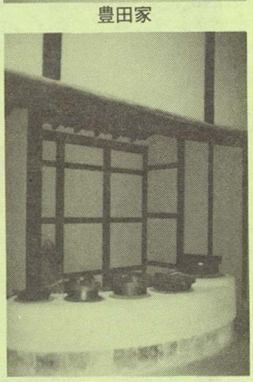
西川　修

今井町の名前はよく聞いていたものの、街が残っているからには山のふもとのヘンピな所に違いないと、かってに思いこんでいました。それで、

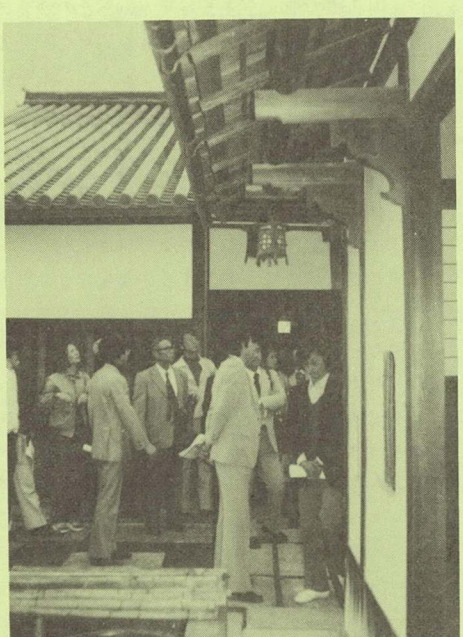


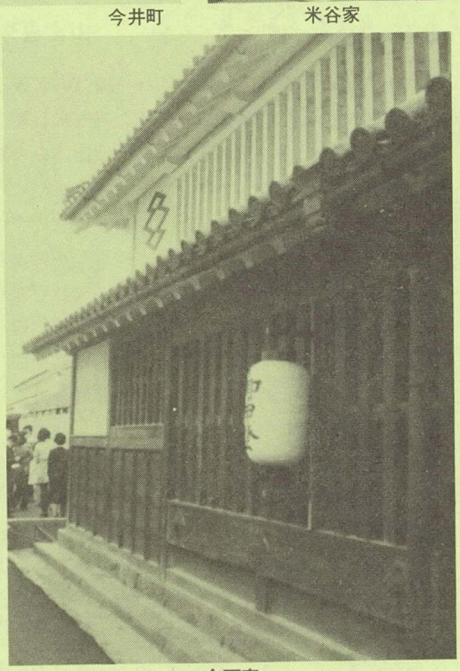
今井町

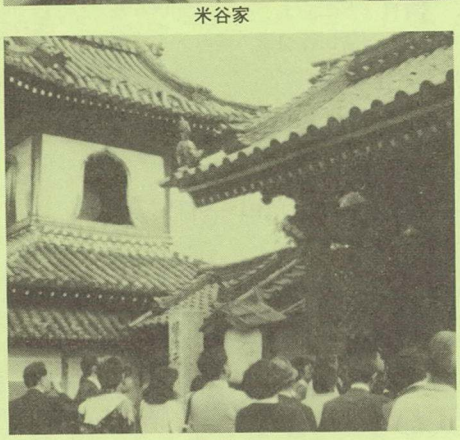

豊田家


豊田家


米谷家


米谷家


今西家


称念寺


壁は朽ちているが建築的に価値があるという

「こんなに大阪に近かったのか」というのが最初の驚きでした。それに、周囲がこんなにも市街化されているのに、侵食されずにかたまりとしてワ～と残っているのにも驚きました。こんなに大阪に近くて便利な所なのにどうして近代化の波にのまれなかったのかが全く不思議です。街の姿も、萩や高山のように、小ぎれいで飼い慣らされたおりこうさんでなく、どことなく雑然として生活の臭いをさせているのが健康的で、アンチ巨人ファンとしては好感が持てます。

内部も土間の上部の架構など骨太でたくましく、20cm角の大黒柱が黒光りしてドッシリと立っている様は迫力がありました。いつも古い町家を見て思うことですが、土間の高い空間の上から、拡散された光が落ちてきて床をボヤーと照らすときの空間の暗さと深さは、現代建築では、なかなか味わえないものです。そして中庭に出て、暗さが反転したときの緑の美しさにはいつも感動します。大阪からすぐの所に、こういう空間があるのを知って、うれしくなりました。今回はそれぞれの民家を十分味わう余裕はなかったので、別の機会にじっくりと廻ってみたいと思ってます。

講師の説明も、今井の成立から現状、今後の展望まで幅広く、また写真としてサマになるポイントまで案内していただいたりして楽しかった。話の中でも、今井は今の消防法上の設備は全くアウトだが、防火意識が高いために、橿原市の中で最も安全な場所だと消防も認めているという話はおもしろかった。そして、今後の保存の方向として、近代の都市計画理論的な（街路を広げ、不燃化し、日照を確保するという）方向でなく、また形は凍結して現代生活は別のスペースでという文化財保存の方向でもなく、「このスペースを日常的にどのように使いこなすか」という新しい再開発（保存）の方向を模索しようとしているのに興味が湧きました。これからの建築のテーマの一つである住宅地域の再開発は、商業地域の再開発のスクラップアンドビルド方式とはまた別の方法が必要だと思われますので、この今井の計画も「保存」というより、「住宅地の再開発」の新しいケースとして、今後の実験に注目していきたいと思いました。

どういうわけか橿原市には今井町のほかにも、カーンかエジプトか？というような鴨公（かもこう）小学校や、村野さんの神宮前駅などの気になる建築がそろってきました。建築の“もう一つの近代”を考えるとき、私にとって、橿原市は、関西の建築文化の中でも、注目すべき場所になりそうです。

今井町の研究も本当におもしろいのは、このつぎの調査報告のようです。次回の見学会をたのしみにしています。　（松本建築監理事務所）

日　　時　昭和56年10月24日(土)　集合14:00→解散17:00
集合場所　橿原市「旧老人いこいの家」（橿原市今井町）
講　　師　福田晴虔氏（大阪市立大学工学部講師）
参 加 者　46名
スケジュール
14:00　開会のあいさつ及び講師紹介　三宅委員
14:05→14:30　講演「今井町について」　福田講師
14:30→16:30　今井町見学
（主な見学建物　重文、豊田家・米谷家）
16:30→17:00　質疑応答（於・旧老人いこいの家）
17:00　閉会のあいさつ　山形副委員長

謹賀新年

昭和57年元旦　(50音順)

阿部暢

東洋土建株式会社　取締役社長

〒546 大阪市東住吉区東田辺2丁目3番2号
電話06(692)1331～5
〒546 自宅・大阪市東住吉区田辺4丁目5番12号
電話06(629)1008

代表取締役会長　浅海正雄
代表取締役社長　森川禮次郎

浅海電気株式会社

〒530 大阪市北区西天満3丁目7番4号　電話06(362)8701
〒665 自宅・宝塚市御殿山2丁目31番50—109号
電話0797(85)0745
〒565 自宅・豊中市新千里北町2丁目32番3号
電話06(831)2732

井上秋次

井上窯業株式会社　代表取締役

〒543 大阪市天王寺区生玉町11番28号　電話06(771)2825代
〒659 自宅・芦屋市川西町4番23号　電話0798(22)5930

青山幸夫

株式会社 青山建築積算事務所　代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1-10-19江南ビル　電話06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14-6
電話075(331)8082

新昭一

株式会社　新工務所　取締役社長

〒530 大阪市北区曽根崎2丁目8番7号　電話06(313)1331

井上正一

名古屋建築設計事務所　所長

〒453 名古屋市中村区椿町20の15　国鉄会館内
電話052(451)2025直通
〒464 自宅・名古屋市千種区下方町4の30　電話052(711)9400

安藝元清

株式会社　日建設計　取締役社長

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361

姉川正男

東光電気工事株式会社大阪支社　専務取締役
(大阪駐在)

〒541 大阪市東区高麗橋5丁目28番地　電話06(202)0325
〒565 自宅・吹田市藤白台4の30の12　電話06(872)3214

伊地知堅一

大鉄工業株式会社　取締役社長

〒532 大阪市淀川区宮原4丁目4番44号　電話06(394)1281大代表
〒661 自宅・尼崎市南武庫之荘5丁目13番15号
電話06(438)2148

浅井泰

株式会社　笠谷工務店　専務取締役

〒659 芦屋市業平町4—1　電話0797(22)0703
〒659 自宅・芦屋市翠ケ丘町13—5　電話0797(22)5291



フラゴナール
鳩を抱く少女　1700年代

伊藤喜三郎

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 代表取締役社長

〒102 本社・東京都千代田区紀尾井町3番23号 文芸春秋ビル
支所　神戸・福岡・仙台　電話03(263)1481代～7
〒141 自宅・東京都品川区東五反田3—16—55
電話03(441)5437

浅野真澄

株式会社 浅野建築設計事務所　代表取締役

〒543 大阪市天王寺区城南寺町9—27　電話06(768)0201
〒572 自宅・寝屋川市成田西町4—21　電話0720(31)1750

飯田精次郎

共同設計株式会社　代表取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目10番14号　電話06(364)5836
〒105 東京事務所・東京都渋谷区渋谷1-10-1 八千代ビル8F
電話03(407)0912　03(409)1837
〒520 大津事務所・大津市浜大津4-4-4　電話0775(23)0388
〒620 福知山事務所・京都府福知山市末広町6丁目4番地 福電ビル
電話0773(23)5208

淺沼茂夫

株式会社　淺沼組　取締役社長

〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話06(768)5222

安部恒夫

安部建設株式会社　取締役社長

〒559 大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号 電話06(678)3212代
〒559 自宅・大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号
電話06(671)7774

生島道春

日積工務株式会社　代表取締役

〒542 大阪市南区大宝寺町東之丁20番地 宇野ビル
電話06(251)3195
〒460 名古屋支所・名古屋市中区錦2丁目9-25 豊島第2ビル
電話052(221)7561代
〒810 福岡支所・福岡市中央区天神3丁目3-14 梅居ビル
電話 092(77)6877代

淺沼誠夫

株式会社　淺沼組　取締役副社長

〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話06(768)5222

諫早信夫

フドウ建研株式会社　相談役

〒110 東京都台東区台東1—2—1　日本地所第二ビル
電話03(835)2661
〒157 東京都世田谷区南烏山2—18—4　電話03(300)3705

生田重政

日本建設株式会社　取締役会長

〒541 大阪市東区安土町4丁目5番地 電話06(261)7591～8
〒659 自宅・芦屋市朝日ケ丘22番11号　電話0797(23)0657

謹賀新年

昭和57年元旦　(50音順)

石川良興

日本冷熱工産株式会社　代表取締役社長
〒564 吹田市豊津町40番38号　電話06(384)1201代
〒560 自宅・豊中市蛍池東町4丁目7番12号
電話06(841)0032

泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区西天満4丁目12番2号　オオシマビル
電話06(364)9071代

一宮能和

日泉化学工業株式会社　取締役副社長
〒541 大阪市東区北浜3丁目3番地　和光証券ビル
電話06(227)1941
〒657 自宅・神戸市灘区篠原南町2-3-24　電話078(871)3479

市川繁雄

日本管工業株式会社　取締役社長
〒601 京都市南区西九条豊田町20　電話075(681)5101～5
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289

市川宏

株式会社　東畑建築事務所　専務取締役
〒541 大阪市東区伏見町5－19 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4丁目4－32
電話078(811)0216

今井忠臣

イマヰ建設工業株式会社　代表取締役
〒547 大阪市平野区加美北5丁目11番12号 電話06(792)4425
〒547 大阪市平野区平野北2－9－15 電話06(792)4404

今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム 代表取締役
〒550 大阪市西区南堀江1丁目22番17号電話06(541)3051～9

取締役会長 今村騰
取締役社長 平木寛

中央電気工業株式会社
〒530 大阪市北区太融寺町3番24号
電話06(312)8881代表

今村祐三郎

社団法人　大阪建設業協会　常務理事
〒540 大阪市東区京橋3丁目70　電話06(941)3651

今元康彦

近畿電気工事株式会社　取締役名誉会長
〒531 大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号　電話06(375)6000



岩崎徹

株式会社 岩崎建築設計事務所 代表取締役
〒630 本社・奈良市大森町57の3 農協会館内
電話0742(22)2283代
〒631 自宅・奈良市学園北1丁目5－11 電話0742(47)2210

専務取締役 岩崎弘
常務取締役 所長 寺西禮一

株式会社　教育施設研究所　大阪事務所
〒550 大阪市西区立売堀1丁目13番1号　電話 06(531)0913
大信ビル　電話 06(541)7301
〒630 自宅・奈良市法蓮立花町1046　電話0742(22)2217
〒661 自宅・尼崎市常吉字赤田9の5　電話 06(431)2101

岩本義心

野村建設工業株式会社　取締役社長
〒541 大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話06(202)4791代
〒581 自宅・八尾市山本町4丁目5－7　電話 0729(22)2908

上西圭治

株式会社　大気社　取締役社長
〒530 大阪市北区中之島3－2－18 住友中之島ビル7階
電話06(448)5871
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12－14　電話0797(22)5949

植野寿雄

株式会社　寿建築積算事務所　所長
〒542 大阪市南区東清水町48つるのすビル 電話06(244)1561
〒588 自宅・堺市大美野5－9 電話0722(37)1162

打浪政信

株式会社　新興建材工業所　相談役
〒550 大阪市西区南堀江4丁目32番11号 電話06(538)2951代
〒564 自宅・吹田市吹東町43－3　電話06(383)0217

小川正

株式会社　竹中工務店　顧問
〒541 大阪市東区本町4－27 電話06(252)1201

小河吉之助

財団法人　大阪建築防災センター　理事長
〒541 大阪市東区博労町2丁目41番地 中博ビル3階
電話06(261)0212
〒573 自宅・枚方市香里ケ丘12丁目22番37号
電話0720(54)0690

尾亀清四郎

株式会社　三晃空調　取締役会長
〒530 大阪市北区西天満3丁目13番20号 電話 06(363)1371
〒573 自宅・枚方市岡山手町15－4 電話0720(41)3427

謹賀新年

昭和57年元旦　(50音順)

大井弘治郎

株式会社 大井建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1丁目10－8 福岡ビル
電話06(444)4521～2
〒562 自宅・箕面市百楽荘4丁目4－11 電話0727(21)4113

名誉正会員

大倉三郎

〒606 自宅・京都市左京区下鴨北園町33 電話075(781)0636

岡澤勇

岡澤建築設計事務所 所長

〒567 大阪府茨木市藤の里2丁目16番6号
電話0726(43)8953・5230
〒530 大阪事務所・大阪市北区西天満4－3－19 梅ヶ枝ビル2F
電話06(362)6082代

名誉正会員

岡田孝男

帝塚山学院大学 教授

〒589 大阪府南河内郡狭山町 電話0723(65)0865
〒565 自宅・吹田市千里山西5丁目40－4 電話 06(384)3019

岡橋作太郎

株式会社 錢高組 技術顧問

〒550 大阪市西区西本町2－2－11 電話06(531)6431
〒659 自宅・芦屋市打出春日町156－1 電話0797(22)4500

岡本繁一

近畿電気工事株式会社 取締役会長

〒531 大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号 電話06(375)6000

岡本行善

株式会社 昭和設計 代表取締役社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル
電話06(532)3421代
〒659 自宅・芦屋市岩園町35－7 電話0797(31)3201

岡本全男

覧組建設株式会社 代表取締役社長

〒543 大阪市天王寺区上本町5丁目4番17号 電話06(768)1515代
営業所：名古屋・和歌山・春日出・大阪 工場：豊明・愛知
〒557 自宅・大阪市西成区玉出東1丁目6番15号
電話06(661)3317

岡山竹雄

株式会社 岡山設計 代表取締役

〒604 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町670
京都フクトクビル7F 電話075(255)0537～8
〒612 自宅・京都市伏見区深草平田町18 電話075(641)0536

沖田誠一

財団法人 建設工学研究会 主事

〒105 東京都港区虎ノ門2丁目6番7号 電話03(502)8017代
〒194-01 東京都町田市鶴川5－1－14－104
電話0427(35)8297



母と二人の子供 1905年

奥野晴弘

株式会社 和光建築設計事務所 代表取締役社長

〒550 大阪市西区北堀江2丁目9番15号
電話06(531)4488代
〒550 自宅・大阪市西区北堀江2丁目9番10号
電話06(541)0261

奥村紘行

奥村重兵衛株式会社 取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目3番7号 電話06(312)4131代
〒620 自宅・西宮市南郷町14番34号 電話0798(71)0011

奥村安太郎

奥村組土木興業株式会社 代表取締役社長

〒552 大阪市港区市岡3丁目5番18号 電話06(572)5301
〒552 自宅・大阪市港区市岡3丁目8番3号 電話06(571)0571

加藤忠三郎

株式会社 平田タイル 代表取締役会長

〒550 大阪市西区阿波座1丁目1番10号
電話06(532)1231代
〒601 自宅・京都市南区東九条北烏丸町24 電話075(691)1334

垣内務

株式会社 団地サービス大阪支社 取締役大阪支社長

〒536 大阪市城東区森之宮2丁目9番201号 電話06(969)1001

影近寛

影近設備工業株式会社 代表取締役

〒606 京都市左京区北白川西町83 電話075(761)8191～6
〒606 自宅・京都市左京区上高野池ノ内町12－25
電話075(722)1851

数井利美

株式会社 西村建築事務所 取締役社長

〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1番地 旭ビル
電話078(521)0205～0207
〒654 自宅・神戸市須磨区白川台2丁目39－13
電話078(792)5862

兼高勇

有限会社 兼高設計事務所 代表取締役

〒590 堺市北花田口町3丁1番15号 東洋ビル
電話0722(22)1643
1648
〒590-01 自宅・堺市御池台3丁14－1 電話0722(99)2677

亀井晃治

一級建築士事務所 株式会社 A.R.I.(あり)建築事務所 代表取締役社長

〒542 本社事務所・大阪市南区谷町7丁目12番地の1 新谷町第3ビル2F
電話06(768)1771代
〒631 自宅・奈良市中町1番地の479 電話0742(43)1226

謹賀新年

昭和57年元旦　(50音順)

鎌谷秀男

修成建設専門学校　校長
〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19-30 電話06 (474)1644
〒665 自宅・宝塚市千種3丁目8番23号 電話0797(72)1380

北澤登

高砂熱学工業株式会社大阪支店　常務取締役 大阪支店長
〒530 大阪市北区芝田1丁目4番8号北阪急ビル 電話06(372)2511
〒561 自宅・豊中市城山町1-8-1 曽根ロイヤルハイツ202号 電話06(864)0162

小北博一

ジャス・アソシェーツ　代表取締役
〒565 吹田市古江台6丁目3番1号 健康の森 電話06(833)6611代
〒565 自宅・豊中市新千里北町1－1　C5－209 電話06(872)6461

亀田六夫

株式会社 増島製作所 大阪営業所　所長
〒530 大阪市北区西天満3-13-18島根ビル 電話06(364)1951
〒560 自宅・豊中市刀根山元町8－12　電話06(855)5356

木下國男

内外パーキング施設株式会社　取締役社長
〒550 大阪市西区京町堀1丁目8番5号 明星ビル 電話06(441)0477代
〒665 自宅・宝塚市逆瀬台6丁目15番11号 電話0797(73)3228

小阪永一

大信印刷株式会社　代表取締役
〒531 大阪市大淀区大淀中4丁目13－11　電話06(451)7631
〒553 大阪市福島区福島6丁目20－10　電話06(451)5346

柄谷順一郎

株式会社 柄谷工務店　取締役社長
〒660 尼崎市玄番南之町4　電話 06(411)1451
〒663 自宅・西宮市甲子園浦風町9－14　電話0798(41)0700

汲川圭司

社団法人　全国鐵構工業連合会副会長
大阪鉄構建設業協同組合理事長
大阪鉄構建設業協同組合
〒543 大阪市天王寺区生玉前町1番21号 小山ビル　電話06(772)0182
連合会事務所
〒103 東京都中央区京橋2丁目10番2号 第2ぬり彦ビル9F 電話03(564)3711代



小崎勇

株式会社 ミラノ工務店　取締役社長
〒604 京都市中京区夷川通河原町東入鋒田町310 電話075(231)0177代
〒606 自宅・京都市左京区下鴨北園町63番地 電話075(781)0676

川岸繁夫

株式会社 川岸窯業商店　代表取締役社長
〒550 大阪市西区西本町1丁目13－33　電話06(532)0461代
〒563 自宅・池田市天神1丁目10－10　電話 0727(61)8598

小菅滋夫

株式会社 日建設計　常務取締役 大阪本社代表
〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361

川崎敬三

株式会社 近畿建設　代表取締役
〒550 大阪市西区江之子島1丁目2番2号 電話06(448)5601
〒556 自宅・大阪市浪速区難波中3丁目9番3-407 電話06(632)7369

小島勝巳

有限会社 小島勝巳建築事務所 代表取締役
〒541 大阪本社・大阪市東区南本町4丁目41番地 イヨビル8階　電話06(252)8088代
〒103 東京本社・東京都中央区日本橋本町4丁目14番地 山本ビル7階　電話03(661)0768代
〒166 自宅・東京都杉並区成田西1丁目16－17 電話03(315)5435

川瀬甲子雄

扶桑管工業株式会社　代表取締役
〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地　電話075(861)1157 大阪支店 電話06(353)0222　東京支店 電話03(263)0501
〒565 自宅・吹田市津雲台6－7－2　電話06(834)1734

黒田譲

黒田建設株式会社　取締役社長
〒830 久留米市大石町32番地　電話0942(32)1911代
〒830 自宅・久留米市白山町547番地　電話0942(34)8527

小谷大作

株式会社 田渕建築設計事務所 代表取締役
〒640 和歌山市下町19番地　電話0734(31)0261～2
〒641 自宅・和歌山市堀止西1丁目10-5　電話0734(24)9563

河裾和夫

蛍光産業株式会社　代表取締役
〒531 大阪市大淀区本庄東1丁目9番9号 電話06(371)5146代

桑田正造

桑田硝子株式会社　取締役社長
〒650 神戸市中央区多聞通4－1－2　電話078(371)1861代
〒653 自宅・神戸市長田区五位ノ池町3丁目1-1 電話078(621)3807

小西信一郎

コニシ株式会社　代表取締役社長
〒541 大阪市東区道修町2丁目6番地　電話06(228)2811代
〒565 吹田市古江台1丁目15番5号　電話06(831)8455

謹賀新年

昭和57年元旦　(50音順)

小西　岬

株式会社 小西設計 取締役社長

〒550 大阪市西区立売堀1丁目12—16 電話06(532)4051
〒546 自宅・大阪市東住吉区今川3丁目6—6
電話06(701)0297

名誉正会員

小早川美武

美工装飾株式会社 取締役社長

〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9—41 電話06(651)0105
〒557 自宅・大阪市西成区玉出東2丁目10—17
電話06(653)0023

小林　清

株式会社 新住宅社 代表取締役

〒530 大阪市北区中之島4丁目3番25号 電話06(443)6641代
〒545 自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号 電話06(654)0584

小林三甫朗

小林住宅産業株式会社 代表取締役

〒541 大阪市東区南久宝寺町5—18 電話06(245)2181

取締役会長 **小林四郎**
取締役社長 **代谷正元**

太陽工藤工事株式会社 取締役社長

〒553 大阪市福島区福島7丁目22番8号 電話06(452)1151大代
〒662 自宅・西宮市西平町19—11 電話0798(74)6621
〒665 自宅・宝塚市仁川北3—13—20 電話0798(52)5971

小林得志

株式会社 小林得志建築事務所 代表取締役所長

〒530 大阪市北区堂島2-4-17 藤田ビル 電話06(341)5658代
〒662 自宅・西宮市丸橋町6—16 電話0798(66)2394

河内義就

有限会社 河内義就設計事務所 代表取締役

〒730 広島市中区上幟町2番37号 電話0822(28)2271代
〒739-17 自宅・広島市安佐北区高陽町大字翠光台1-237
電話08284(2)4141

鴻池藤一

株式会社 鴻池組 代表取締役社長

〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地
ダイヤルイン電話06(244)3500(受付台)
〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86 電話075(461)1526

佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役社長

〒540 大阪市東区島町2丁目7番地 電話06(943)1371代
〒662 自宅・西宮市雲井町4の9 電話0798(72)1569

佐野春吉

森井電業株式会社 代表取締役副社長

〒530 大阪市北区中之島5丁目3番101号 正宗中之島ビル
電話06(443)8381代
〒561 自宅・尼崎市東園田町3丁目85番地—11
電話06(491)9402



ピカソ2点
花飾りをつけたマリー・テレーズ　1937年

斉藤國義

株式会社 斉藤工業所 代表取締役

〒557 大阪市西成区岸里2丁目6番5号電話06(661)3325代
〒557 自宅・大阪市西成区岸里東1丁目21番3号
電話06(652)0208

雑賀幸夫

株式会社 大阪雑賀建築事務所 代表取締役

〒543 大阪市天王寺区上本町8丁目3番23号
電話06(772)4426・4436
〒573 自宅・枚方市香里ケ丘7丁目11-16 電話0720(54)0004

代表取締役社長 **齋藤久典**
常務取締役支社長 **黒澤太作**

斎久工業株式会社

〒100 東京本社・東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル
電話03(270)7411代
〒530 大阪支社・大阪市北区中之島4—2—38
電話06(443)5041代

酒井　貞

株式会社 都市科学研究所 取締役副所長

〒600 京都市下京区四条烏丸西入ル 住友生命ビル9F
電話075(221)8161
〒603 自宅・京都市北区西賀茂大深町70 電話075(491)6301

四方靖郎

四方設計工務株式会社
一級建築士事務所 代表取締役社長

〒612 京都市伏見区深草関屋敷町32-2 電話075(641)6091～2 6324
〒851-33 長崎出張所・長崎県西彼杵郡西彼町喰場郷
電話09592(7)0172
〒183 東京出張所・東京都府中市白糸台6丁目53—31
電話0423(67)0480・0424(84)0236
〒612 自宅・京都市伏見区深草関屋敷町32—2

渋谷幸雄

渋谷金属産業株式会社 取締役社長

〒542 大阪市南区鍛冶屋町52 電話06(211)7333
〒581 自宅・八尾市二俣252—7 電話0729(22)8644

名誉正会員

島村佐次郎

株式会社 島村建築事務所

〒640 和歌山市四番丁4 電話0734(22)3338・4335
〒640 自宅・和歌山市四番丁4 電話0734(22)3338・4335

島村忠男

西日本建設業保証株式会社 取締役社長

〒540 大阪市東区上町5番地 電話06(764)1122

名誉正会員

白石登喜男

株式会社 藤木工務店 常務理事

〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地 電話06(944)1468
〒558 自宅・大阪市住吉区墨江中1の68 電話06(671)3792

謹賀新年

昭和57年元旦　(50音順)

城口庸平

株式会社 大阪城口研究所 取締役社長
〒530 大阪市北区角田町2番15号　電話06(372)7151代

相臺淳吉

日新工業株式会社 専務取締役
〒120 東京都足立区千住東2丁目23番4号 電話03(882)2424
〒271 自宅・松戸市松戸3の7の3　電話0473(62)9314

武田弘

株式会社 武田工務店 代表取締役
〒602 京都市上京区寺町通今出川下ル西入真如堂前町121
電話075(211)3681代
〒602 自宅・京都市上京区寺町通今出川上ル上神興町282
電話075(231)9678

須賀新

須賀工業株式会社 取締役社長
〒550 大阪市西区土佐堀1丁目2番30号　電話06(441)5171
〒662 自宅・西宮市殿山町2－28　電話0798(74)0569

田中慶明

株式会社 田中工務店 取締役社長
〒601 京都市南区上鳥羽八王神町5番地電話075(681)9556代
〒601 自宅・京都市南区上鳥羽八王神町5番地
電話075(672)3622

橘泰治

東邦パーライト株式会社 取締役社長
〒540 大阪市東区森ノ宮中央2丁目7番15号 電話06(941)9445～9
〒590-01 自宅・堺市若松台3丁26番3号　電話0722(91)2267

須賀好富

近畿大学理工学部建築学科 助教授
〒577 東大阪市小若江3－4－1　電話06(721)2332
内線271
〒577 自宅・東大阪市下小阪3－4－B911
電話06(789)8114

取締役社長 高橋慶夫
専務取締役 上田宏二

株式会社 高橋上田設計事務所
〒550 本社・大阪市西区新町1－4－21 大幸ビル
電話06(533)0971～3
〒103 東京支所・東京都中央区日本橋茅場町2－4
全国中小企業会館4F　電話03(669)6049



立田清

有限会社 柳々堂 (建築専門書店)
〒550 大阪市西区京町堀1－12－3　電話06(443)0167～8
営業所：鴻池ビル　電話06(251)8233

菅良春

日本住宅パネル工業協同組合 理事
〒530 大阪市北区西天満5丁目6番10号　電話06(313)3321
〒636-11 自宅・奈良県大和郡山市南井町19－60
電話07435(6)3665

立野一郎

株式会社 ユニオン 代表取締役
〒550 大阪市西区南堀江2丁目13番22号
電話06(532)3731～8

菅谷健児

大阪電気暖房株式会社 代表取締役社長
〒550 大阪市西区江戸堀1丁目10番17号　電話06(441)8231
〒158 自宅・東京都世田谷区等々力6丁目24－6
電話03(701)3535

名誉正会員

玉置豊次郎

大阪工業大学 名誉教授
㈶大阪住宅センター 理事長
〒530 大阪市北区中之島3－2－18 住友中之島ビル
電話06(447)0615～6
〒557 自宅・大阪市西成区天神森1-19-15 電話06(661)7680

杉浦敏郎

三機工業株式会社大阪支店 理事 支店長
〒541 大阪市東区北浜2－22　電話06(202)3051代3071代
〒560 豊中市岡町南1－7－7　電話06(855)5995

竹村通世

近畿電気工事株式会社広島支社 取締役支社長
〒733 広島市西区横川町2丁目13番5号 電話0822(94)6141
〒730 自宅・広島市中区中町4番14 チェリス中町905号
電話0822(43)4656

知見義夫

春日設備工業株式会社 取締役会長
〒601 京都市南区西九条春日町48番地 電話075(671)5377代
〒601 自宅・京都市南区西九条春日町48　電話075(691)3860

鈴木毅

株式会社 松田平田坂本設計事務所 大阪事務所 所長
〒530 大阪市北区堂島2－2－25　電話06(344)7821
〒185 自宅・東京都国分寺市富士本1-31-15
電話0425(75)1581

武田恭一

近畿電気工事株式会社 取締役副会長
〒531 大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号　電話06(375)6000

塚本猛次

株式会社 日建設計 顧問
〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地　電話06(203)2361
〒665 自宅・宝塚市清荒神2－6－27　電話0797(87)1940

謹賀新年

昭和57年元旦　(50音順)

辻本　豊

株式会社 ツジモトユタカ設計事務所 代表取締役
〒640 和歌山市東長町中の丁12－3 電話0734(26)2030代
〒640 自宅・和歌山市東長町中の丁12-3電話0734(26)2030代

津村芳仁

オリエンタルメタル製造株式会社 代表取締役社長
〒660 尼崎市昭和南通3丁目26番地 電話06(412)5131代
〒330 自宅・埼玉県大宮市高鼻町3丁目58番地
電話0486(41)0204

寺田徳重

大成建設株式会社 常任顧問
〒541 大阪市東区本町4丁目27 電話06(262)1131
〒562 自宅・大阪府箕面市桜井2丁目4-39 電話0727(21)4641

傳馬正明

ムツミ産業株式会社 代表取締役
〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号
電話06(441)0378大代

名誉会長・名誉正会員

東畑謙三

株式会社 東畑建築事務所 代表取締役
〒541 大阪市東区伏見町5－19 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4-4-35 電話078(851)5043

時岡保雄

株式会社 三和地質 代表取締役
〒550 大阪市西区靭本町3丁目8番6号
電話06(445)2521代～5

得田益男

得田電気株式会社 取締役社長
〒601 京都市南区東九条河辺町21番地 電話075(661)2727
〒606 自宅・京都市左京区北白川東伊織町10番地の3
電話075(722)3231

富家宏泰

株式会社 富家建築事務所 代表取締役
〒604 京都市中京区押小路通東洞院西入ル
電話075(231)6357代
〒603 自宅・京都市北区平野八丁柳町68－1－704号
電話075(463)0050

内藤正克

株式会社 内藤建築設計事務所 代表取締役所長
〒675-13 兵庫県小野市上本町240 小野ビル 電話07946(2)4757代
〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063 電話07946(2)4668

内藤薫男

社団法人 日本建築積算協会関西支部 支部長
〒542 大阪市南区鰻谷中之町62番地 市川ビル2F
電話06(245)6645
〒618 自宅・大阪府三島郡島本町広瀬4丁目11番3号
電話075(961)5092



マチス2点　ばら色の裸婦　1935年

中村正一

中村タイル株式会社 代表取締役
〒550 大阪市西区南堀江1丁目11番5号 電話06(531)7263
〒590-01 自宅・堺市若松台3丁17番9号 電話0722(91)5592

中原茂

株式会社 中原茂建築事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区靭本町2丁目9番11号 岡崎橋ビル
電話06(445)0039
〒658 自宅・神戸市東灘区岡本2丁目8番3号

中原英雄

株式会社 創美設計 代表取締役
〒530 大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル6階
電話06(312)3587代
〒659 自宅・芦屋市打出小槌町1番地405

永井賢城

株式会社 久米建築事務所 取締役社長
〒106 東京都港区西麻布1丁目13番11号 電話03(403)0251大代
〒251 自宅・藤沢市鵠沼海岸2丁目8の26 電話0466(36)7706

取締役会長 **西嶋徳太郎**
取締役社長 **石中達夫**

株式会社 大建企画設計
本社・〒550 大阪市西区京町堀1丁目13－20
電話06(443)8261
東京事務所・〒162 東京都新宿区下宮比町15番地
飯出橋ハイタウン333号 電話03(267)4711

中川匠

中川匠建築設計事務所
〒530 大阪市北区浪花町1－19 新興ビル 電話06(371)3651
〒665 自宅・宝塚市売布4丁目15－18 電話0797(86)2391

中出隆俊

創業50余年
(各種防水工事及スレート工事施工請負)
株式会社 中出商会 代表取締役
〒652 神戸市兵庫区上沢通6丁目1－1 電話078(511)4501代

信國勝明

株式会社 日新プラン 代表取締役
〒604 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町529番地
電話075(221)1577
〒603 自宅・京都市北区紫竹上本町32番地の3
電話075(491)2323

橋本晃芳

株式会社 鴻池組 専務取締役
〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地 電話06(244)3538
〒659 自宅・芦屋市精道町4－1 電話0797(31)6766

謹賀新年

昭和57年元旦　(50音順)

名誉正会員

浜口幹三郎

株式会社 淺沼組 相談役

〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒631 自宅・奈良市二名町南登美ヶ丘3336－7 電話0742(43)1091

伴一郎

株式会社 西原衛生工業所大阪店 代表取締役社長

〒531 大阪市大淀区中津六丁目8番4号電話06(458)3531代
〒563 自宅・池田市石橋3－11－14 電話0727(61)8652

福中定三郎

社団法人 日本建築協会 参与

〒541 大阪市東区北浜3－37 電話06(231)9648代
〒573 自宅・枚方市香里園町26－68 電話0720(31)0549

林茂

株式会社 林設計事務所 代表取締役

〒531 大阪市大淀区長柄中3丁目1番8号 電話06(351)6831
〒565 自宅・吹田市竹見台2丁目11番5号 電話06(871)8625

伴仲信次

春日建設株式会社
春日建設一級建築士事務所 代表取締役

〒102 東京都千代田区飯田橋2丁目9番3号 電話03(264)4011代
〒160 自宅・東京都新宿区西早稲田3-31-5 かすが701号 電話03(202)2411

福永薫

株式会社 建設技術センター 取締役社長

〒532 大阪市淀川区西中島5－7－17 602号 電話06(304)1148
〒542 自宅・大阪市南区順慶町通4-61 電話06(251)3102・5189

林唯夫

株式会社 昭和設計 代表取締役副社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル 電話06(532)3421
〒565 自宅・吹田市青山台3丁目41－11 電話06(872)3608

平城勧

株式会社 朝日工業社 大阪支社 常務取締役 大阪支社長

〒532 大阪市淀川区加島1丁目58番59号 電話06(302)2271～9
〒665 自宅・宝塚市中山桜台4－15－4 電話0797(89)3884



夢 1940年

藤井稔

阪神不動産株式会社 専務取締役

〒530 大阪市北区梅田2丁目2番25号 電話06(346)1171

林昭八郎

菱和調温工業株式会社大阪支店 取締役 支店長

〒530 大阪市北区天満2丁目7番3号 電話06(352) 4881
〒663 自宅・西宮市高木東町19番14号 電話0798(64)0324

藤木鐵三

株式会社 藤木工務店 取締役社長

〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地 電話06(944)1468代

原精一

甲南建設工業株式会社 代表取締役

〒532 大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号 電話06(308)1551
〒662 自宅・西宮市名次町12番9号 電話0798(72)1504

淵上保夫

三井プレコン株式会社大阪支店 常務取締役 支店長

〒530 大阪市北区中之島3丁目4番18号三井ビル2号館 電話06(444)4231代
〒595 自宅・大阪府泉大津市虫取51-1くすの木団地2-311

代表取締役 会長 原田重信
代表取締役 社長 原田孝太郎

原田セメント化工株式会社

〒554 大阪市此花区西九条4丁目3－34 電話06(465)1212代
〒661 自宅・尼崎市塚口町3丁目41－8 電話06(421)4518

福嶋孝之

株式会社 長谷川工務店 常務取締役

〒541 大阪市東区平野町5－40 電話06(203)5661
〒659 自宅・芦屋市宮塚町35 電話0797(22)5817

星廣文

有限会社 中西建築事務所 取締役社長

〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号朝日ビル 電話06(202)5986
〒571 自宅・門真市城垣町7－6 電話0720(81)1318

名誉正会員

坂静雄

財団法人 日本建築総合試験所 理事長

〒565 本所・大阪府吹田市藤白台5丁目125番地 電話06(872) 0391
〒531 大淀分室・大阪市大淀区長柄西2丁目1番18号 電話06(351) 7217
〒592 堺分室・大阪府堺市浜寺石津町西2丁1番34号 電話0722(44)3912
〒612 京都分室・京都市伏見区中島前山町24番地の2 電話075(622)0713

福田朝生

株式会社 双星設計 代表取締役社長

〒530 大阪市北区茶屋町18－21 豊崎ビル 電話06(373)2281
〒663 自宅・西宮市甲子園砂田町2番8号 電話0798(48)0989

堀元也

神戸材料株式会社 取締役社長

〒651 神戸市中央区熊内町2丁目1－37 電話078(222)2251
〒657 自宅・神戸市灘区篠原北町2丁目1－9 電話078(882)0755

謹賀新年

昭和57年元旦　(50音順)

堀内史郎

第一工業株式会社大阪支店　取締役支店長
〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号　電話06(364)6661代
〒573 自宅・大阪府枚方市朝日丘町12-18電話0720(41)5396

前野慶太郎

株式会社 あめりか屋　取締役社長
〒530 大阪市北区中之島4丁目3番25号　電話06(444)1501
〒659 自宅・芦屋市翠ケ丘町4番18号　電話0797(22)2005

前田平一郎

ゼネラル事務機株式会社　社長
〒550 大阪市西区靱本町3丁目2番7号第1横井ビル
電話06(441)1462代
〒560 自宅・豊中市上野東1丁目16—21　電話06(849)5764

牧田顯治

大建建設工業株式会社　専務取締役
〒564 摂津市千里丘東4丁目9番13号　電話06(381)2421
〒546 自宅・大阪市東住吉区北田辺4丁目13—2
電話06(713)1469

松永嘉一郎

株式会社　梅　彦　取締役社長
〒530 大阪市北区中崎西2丁目1番3号　電話06(312)6171代
〒659 自宅・芦屋市山手町15—25　電話 0797(22)4761

松丸哲也

豊國建設株式会社　代表取締役社長
〒530 大阪市北区天満橋2丁目3番1号　電話 06(353)1001
〒663 自宅・西宮市甲子園口北町20—21　電話0798(67)2787

松村雄二

株式会社 松　村　組　取締役社長
〒530 大阪市北区天満2—1—33　電話06(353)1131

名誉正会員
松本与作

第一生命保険相互会社　顧問技師
〒100 東京都千代田区有楽町1—13—1　電話03(216)1211
〒145 自宅・東京都大田区田園調布3-17-3　電話03(721)4723

松本六郎

松本金物株式会社　取締役社長
〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5-47　電話06(774)2200
受付案内台
〒580 自宅・松原市北新町2丁目3—7　電話0723(31)0158

三谷忠義

株式会社 三谷設計　代表取締役
〒690 島根県大田市久手町波根西777の1　電話08548(2)8121代
〒690 自宅・島根県大田市久手町波根西225の2
電話08548(5)8320

三輪泰司

株式会社 地域計画・建築研究所　代表取締役所長
〒540 大阪市東区石町1丁目1番地 天満橋千代田ビル2号館
電話06(942)5732
〒612 自宅・京都市伏見区桃山南大島町95—45
電話075(601)3962

水野喜一郎

社団法人 日本建築協会京都支部　支部長
〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入建設会館分室
電話075(211)2857・2877
〒600 京都市下京区西七条市部町77 水野建設株式会社
電話075(312)0431

水間義雄

株式会社 水間組　代表取締役社長
〒534 大阪市都島区東野田町1丁目1番4号
電話06(352)3121代
〒538 自宅・大阪市鶴見区今津南4-10-15　電話06(961)0785

名誉正会員
取締役会長 **道田泰治郎**
取締役社長 **道田泰平**

株式会社　道田工務店
〒660-01 川西市向陽台3丁目6番216号
電話0727(93)3456代
〒660-01 自宅・川西市向陽台3丁目6番216号
電話0727(93)3456代

村石全

浪速合板株式会社　代表取締役社長
〒556 大阪市浪速区幸町2丁目5番3号　電話06(568)3671
〒659 自宅・芦屋市岩園町25番15号　電話0797(34)0835

村上二郎

サンエス石膏株式会社　代表取締役社長
〒530 大阪市北区堂島2丁目4番17号 藤田ビル本館
電話06(344)6526～9
〒565 自宅・吹田市千里山西3丁目7番5号　電話06(384)1002

名誉正会員
村野藤吾

村野，森建築事務所
〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋2—3—8　電話 06(624)0926
〒665 自宅・宝塚市清荒神2丁目18—27　電話0797(86)2559

室谷山水

室谷商事株式会社　取締役社長
〒650 神戸市中央区北長狭通4丁目2—4 英和ビル
電話078(331)0881
〒650 自宅・神戸市中央区山本通4丁目17—17
電話078(221)5050

両角保

浦安工業株式会社　専務取締役 大阪支店長
〒130 本社・東京都墨田区錦糸2丁目8—7　電話03(624)2441
〒530 大阪支店・大阪市北区天満2丁目3—5
電話06(351)7502代

森忠一

村野，森建築事務所
〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋2—3—8　電話 06(624)0926
〒665 自宅・宝塚市武庫山1丁目10—8　電話0797(72)4461

八木喜美蔵

八木惣株式会社　代表取締役社長
〒593 堺市津久野町3丁2071番地　電話0722(62)1175
〒593 自宅・堺市津久野町3丁2071番地　電話0722(62)0722

謹賀新年

昭和57年元旦　(50音順)

八十島健二

株式会社　竹中工務店　取締役副社長

〒541 大阪市東区本町4－27　電話06(252)1201
〒663 自宅・西宮市甲子園二番町5－30　電話0798(41)0598

安井忠生

株式会社　安井建築設計室　代表取締役

〒550 大阪市西区靱本町1丁目9－18　電話06(448)2765～6
〒662 自宅・西宮市城山町6－17－305
電話0798(72)0865

安田誠一

安田株式会社会長
(建築金物・アルミ型材製造)

〒542　大阪市南区末吉橋通1丁目17　電話06(251)7091代

簀本弦三

株式会社　笹川組　取締役社長

〒520 大津市打出浜13－15　電話0775(23)2314
〒520-21 自宅・大津市一里山5－9－11　電話0775(45)3966

山田保

株式会社 山田保建築設計事務所 代表取締役

〒733 広島市中区本川町2丁目6番11号第7ウエノヤビル2階
電話082(292)8211代
〒734 自宅・広島市西区己斐東2丁目12番27号
電話082(271)0690

山田恒治

株式会社　山田工務店　取締役社長

〒651 神戸市中央区雲井通4丁目1番3号
電話078(232)1800代
〒651-12 自宅・神戸市北区山田町上谷上古々山29
電話078(581)2055

名誉正会員

山田文次

山田工業株式会社　取締役会長

〒550 大阪市西区京町堀1丁目6番8号　電話06(443)8161大代
〒665 自宅・宝塚市南口1丁目2番2号　電話0797(72)2511

山田義行

株式会社　竹中工務店

〒541 大阪市東区本町4－27　電話06(252)1201大代
〒665 自宅・宝塚市寿楽荘14－11　電話0797(72)5858

山本永造

ヤマト電気エンジニアリング株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目1番3号　電話06(364)3056代
〒562 自宅・箕面市桜ケ丘3丁目13－6　電話 0727(23)5176

山本哲夫

昭和鉄工株式会社　取締役社長

〒812 福岡市東区箱崎5丁目11番93号　電話092(651)2931
〒810 自宅・福岡市中央区薬院2丁目11番4号
電話092(741)5095

山本博三

朝陽電気株式会社　代表取締役

〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号　朝日ビル内
電話06(385)1361代
〒565 自宅・吹田市藤白台4丁目23番8号　電話06(831)6100

横田俊男

横田建設株式会社　代表取締役社長

〒607 京都市山科区上花山花ノ岡町39　電話075(592)3966代
〒603 自宅・京都市北区小山花ノ木町58　電話075(491)0160

米倉豊夫

日本住宅パネル工業協同組合　理事長

〒113 東京都文京区本駒込6丁目15番7号
電話03(945)2311大代

蓮佛亨

株式会社　京都建築事務所　代表取締役

〒604 京都市中京区三条通柳馬場東入ル中の野町10
電話075(211)7277代
〒611 自宅・宇治市南陵町2丁目1－4　電話0774(23)2172

和田眞一

株式会社　東和組　代表取締役

〒530 大阪市北区西天満4丁目5番14号　電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町3番8号　電話0797(22)3282

名誉正会員

若林繁吉

二葉屋装備工業株式会社　会長

〒564 摂津市東別府3丁目7番8号　電話06(349)9193代
〒605 自宅・京都市東山区清水2丁目232　電話075(561)6283

名誉正会員

若林季雄

鹿島建設株式会社大阪支店

〒542 大阪市南区鰻谷西之町6三栄ビル　電話06(245)2311大代
〒636 奈良県生駒郡三郷町信貴ケ丘211　電話0745(72)4121

若山繁

近畿電気工事株式会社　取締役社長

〒531 大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号　電話06(375)6000

渡辺恵

東洋シヤッター株式会社　取締役会長

〒540 大阪市東区両替町1－12日生ビル　電話06(943)6571代
〒560 自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号　電話 06(856)0983

渡辺光一

株式会社　曽根組　代表取締役

〒676 兵庫県高砂市曽根町2257の1
電話07944(7)1551代

事務局一同

社団法人　日本建築協会

フリントコート®
マスチックフローリング
無公害な弾性床材



東京シューズ足立流通センター
設計監理：㈱ＫＯＡ設計事務所　施工：前田建設工業㈱
使用場所：床　仕様番号：Ｆ－９

特　長

1　耐久性：耐久性にすぐれている。
2　耐摩性：摩耗の度合が低く、ホコリなど生じない。
3　すべり抵抗性：すべり抵抗性にすぐれている。
4　弾力性：弾性があり、万一亀裂ができても使用している間に復元する。
5　粘着性：多少湿っていても、コンクリート、金属、木など、どんな面にもよく粘着する。
6　不燃性：引火のおそれがなく、ガス工場、爆薬工場の床に使用されている。
7　無毒無臭：完全無毒で各種食品工場、貯蔵庫に多く使用されている。

フリントコートについてのお問合せは下記へ

FLINTKOTE®

株式会社シエル石油大阪発売所
フリントコート部

大阪本部　〒530 大阪市北区堂島浜１丁目２の６(新大ビル９Ｆ)☎(06)343－0441
東　京　〒104 東京都中央区京橋２丁目９の２(第一ぬり彦ビル)☎(03)562－4676
福　岡　〒810 福岡市中央区舞鶴町１－１－５(舞鶴ビル３Ｆ)☎(092)771-1961

建築技術選書

企画：日本建築協会　　編集・発行：学芸出版社

A５判・136頁～176頁・定価　各1000～1400円

80年代の新しい技術書

1 茶室の話
岡田孝男著　1000円

2 ビルの省エネルギー
中村　猛著　1200円

3 建築とコンピューター1
魚木晴夫著　1200円

4 都市の下水処理
松永一成著　1200円

5 すまいの語録
茶谷正洋著　1000円

6 コンクリート工事の管理
奥島正一・他著　1000円

7 構造計画とやさしい力学1
須賀好富著　1000円

8 建具の知識と意匠
山片三郎著　1200円

9 エレベータ・エスカレータ・立体駐車場
木村利雄著　1000円

10 構造計画とやさしい力学2
須賀好富著　1200円

11 建築と設備の接点1
日建「接点」研究会著　1000円

12 ソーラーハウス
内山武夫著　1000円

13 医院・診療所の計画と設計
池田有隣・船越暉由著　1000円

14 設計のコンピューター手法
飯塚英雄著　1000円

15 ＰＣ建築の話
下伊豆隆三著　1200円

16 石垣と石積壁
窪田　祐著　1200円

17 基礎と地盤の手ほどき
中堀和英著　1200円

18 ショッピングセンターの計画
西脇顕正著　1200円

19 住宅設計とインテリア
福岡喜久雄著　1200円

20 タイルの話
田中　弘著　1200円

21 住宅の家具
光藤俊夫著　1200円

22 建築と設備の接点2
宮脇　毅・久保冨士治著　1200円

23 設備技術者のための建築再入門
光安義光著　1200円

24 鉄骨構造の話
金多　潔・甲津功夫・西澤英和著　1200円

25 建物の断熱と防湿
宮野秋彦著　1400円

26 建物と地震災害
竹内吉弘・島田耕一著　1300円

27 建築積算業務
生島道春著　〈近刊〉

□ 瓦の話
佐藤四郎著　〈近刊〉

□ 畳の話
松浦範年著　〈近刊〉

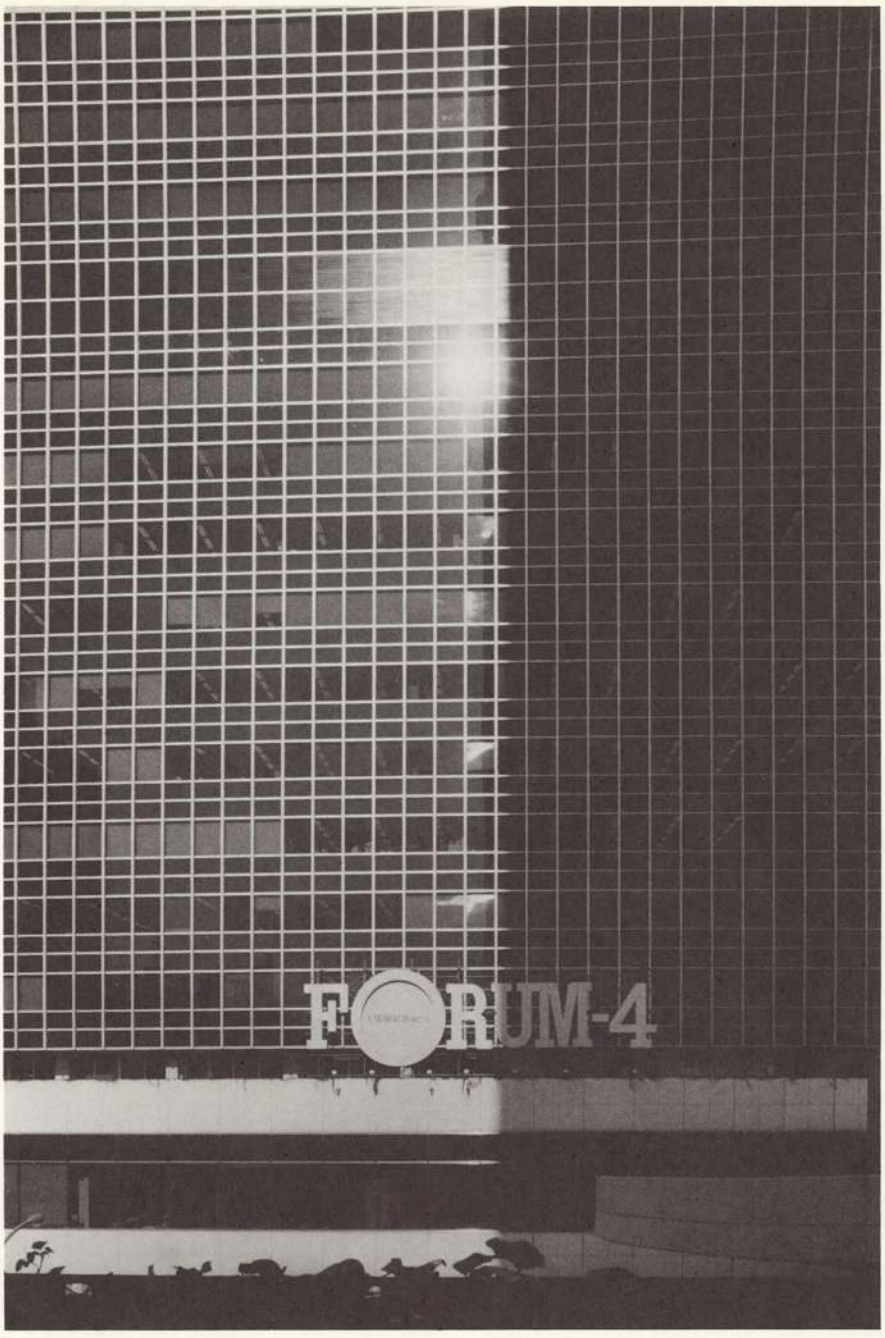
□ 建築金物
立野一郎著　〈近刊〉

目録進呈

学芸出版社

☎ 075－343－0811
京都市下京区木津屋橋通西洞院東入

日本建築協会事務局（大阪市東区北浜3-37 ☎06-231-9648）までお求めに来られた方には，100円割引にて頒布しております。



特集

新たな商業空間の展開

1

座談会・新たな商業空間の展開

田吹日出碩／吉田三郎／小泉美喜子／三輪泰司／酒井貞／村上元康／森薫

2

商業空間の比較考現学—街路のもつ重要性をめぐって—

鳴海邦碩

3

ケーススタディ● 大阪・京都・神戸の商業空間

金澤成保／斎藤侑男／田中直人

1
座談会
新たな商業空間の展開

田吹日出碩（企画創造社専務取締役プロデューサー）
吉田　三郎（株式会社船場専務取締役）
小泉美喜子（月刊「神戸っ子」副編集長）
三輪　泰司（地域計画建築研究所代表取締役・編集委員長）

三輪（司会）　最近、商業建築が一つの新しい時期にきているのではないだろうかと思います。従来商業建築というのは建築の中ではちょっと低いものとして受け取られておって、公共建築だとかそういうものから比べますと肩身の狭い思いをして設計をしてるのが常でございました。

ところが実際には、確かに商業施設の中にはいわゆる〝悪所〟といった問題のものもございますけれど、その中に本当にバイタリティの源泉みたいなのがあるんじゃないだろうか。いまの時代、いろんなことを言われておりますが、不確実性の時代だとか、あるいはしらけの時代、うす味の時代になってきたとか言っております。その中で心のよりどころ、あるいは人々が集まる魅力といったものが求められ、実際それがいくつかのところで目に物見せてもらってるのじゃないかと思うのですが、そういうところでアイデンティティを求めていくというような、こういう方向から見直していきますと、商業空間の将来というものがもう一ぺん見直されるべきじゃないだろうかと感じておるんです。

商業空間のうつろいというあたりから入っていきたいと思います。よく言われるところの都市の違いだとか文化の違い、これはとくにわれわれこうやって関西におりますと、東京中心志向型の見方と違った見方で見られるという利点もございます、いわゆる比較考現論的な見方もできるんじゃないだろうかと思いますが、そういうあたりからお話を始めさせていただきたいと思うのです。

初めに、この企画の段階からサジェスションをいただいておりました田吹さんからお話の口火を切っていただきたいと思います。

商業空間とアイデンティティ

田吹　アイデンティティという言葉、これは70年代に入ってから非常に注目されてきた言葉です。商業というか、企業でいいますとコーポレイティブ・アイデンティティ(C.I.)ということを言うんですが、これはアメリカが一番盛んにやり始めたのです。もとはフランス、イタリアとか西洋にあったものです。企業でどうしてC.I.をやり始めたかということが現在の商業空間と関連があると思うのです。

企業は消費者に何を問いかけて、どういう商品を、あるいはサービスをしていって消費者から喜ばれるかということについてだんだん自信がなくなってきました。そういう意味で企業が消費者あるいは社会に対してどういう形で還元をするかという、企業そのものの考え方といいますか、哲学といいますか、ポリシーというものをつくるということがすなわちC.I.という形でとらえられています。

どういう形になっていくかと言いますと、たとえば企業のマークを変えるとか、会社の社名を変えるとか、あるいはレタリングを変えるとか、テーマカラーをつくるとか、そういったことで末端はB.I.（ブランド・アイデンティティ）という、商品に至るまでアイデンティティを確立していくという形になる。

それが日本でももう何百社というぐらいに達していると思いますが、そういう形で企業がどう存続していくかということで非常にシビアに物事を考えて、その一つの手だてとしてアイデンティティというものを持っている。

日本では、C.I.に対応するもので言いますと、たとえば家紋ですが、ヨーロッパでは旗ですね。

日本が近代化するにしたがって西洋文明をとり入れますから、そうすると日本のC.I.と西洋風C.I.がゴシャゴシャになりまして、結局もう一回整備しなければいかんということで、日本は再度家訓というか、家紋というか、そういうところのアイデンティティへ戻りつつあるというのが現状だと思います。

別の言い方をすれば、C.I.というのは、マーケティングなのですね。現代は、西洋のマーケティングと、日本に昔からあるマーケティングが渾然としていて、どうやら、日本流のマーケティング観が見直されてきつつあるということでしょう。

ですから、そういう意味で、いまの三輪先生のお話にあった、商業建築が〝建築〟としては低い次元のものとして見られていたという。そういうふうな形であったとすれば、いままさにその商業空間というのが泣いておる、(笑い) つまり商業空間としてのアイデンティティがいま問われているというふうに……つまり箱はできたけれども、さてその中身はどうか。そういう形なのかなという気がしたのです。昔はたとえば京都が物をつくるまちだとして、大阪が問屋のまちで、東京が小売りのまち。商業空間としては、あるいは商業スペースとしてはそういう一つのアイデンティティがあったと思うのですが、それが現代ではそううまく切れないということがある。いま大阪は大阪、神戸は神戸、京都は京都というものが商業空間におけるアイデンティティをあらためて求めはじめているという感じがするんです。その辺で話をふくらましていただきたいんですが。

三輪　関西というところはよく言われる通り、三つの大きな核があ


田吹日出磧氏


吉田三郎氏


小泉美喜子氏


三輪泰司氏


酒井委員


村上委員


森委員

編集委員　酒井　貞（都市科学研究所副所長）
〃　村上元康（竹中工務店設計部設計課長）
〃　森　薫（日建設計都市計画部）

る。神戸、京都、大阪、それぞれ違いがある。物理的・空間的な違いもありますけれども、やっぱり歴史的・文化的な違いというものがあって、関西の人間というのは適当にそれを使いわけ、住みわけて暮らしていると言いますが……。

一方でだんだんアーバニティが進行してきますと、いまおっしゃったようにどこも同じになってくる。そういう均一化の中での心の空洞化というものへの不満というものが出てきてるのじゃないか。とくにそういうところで吉田さん、ショッピングセンターなんかおつくりになって、そういうことをお感じになりますか。

商業空間の移り変わりとは

吉田　そうですね、商業空間の移り変わりですけれども、お店というのは常に息をしていると思います。その時代に息をしているわけです。だからその時代をどうとらえるかが商業に、しかもその空間のとらえ方に、敏感に反映するものだとわたしは思っております。ということは、〝いま〟というのはどこから変わってくるかと言いますと、社会環境が変われば当然生活環境が変わり、消費環境も変わってくるわけです。

そうすると社会環境はどこから変わってくるかと言いますと、経済環境が変われば社会環境が変わり、生活環境が変わり、そして消費環境が変わってくる。当然、店のあり方、商業のあり方が変わってくるのではないでしょうか。

経済環境はどうして変わるかというと、政治環境が変われば敏感にガバッと環境の変化が店にあらわれてくるわけです。従来は政治環境が変われば2年も3年もせんことには店に影響がこなかったものが、たとえば東西問題から南北問題に変わったその途端に、イデオロギーの段階から資源というもののとらえ方の変わり方で、工業化社会から福祉重視社会に変わってしまい、工業という物をつくる社会、すなわち物と人とのかかわり方の段階から、人間と心のかかわり方の段階に移行するわけです。工業化社会から脱工業化社会という福祉重視の方向に入った途端に、物と人間とのかかわり方であったのが、情報と人間とのかかわり方になってくる。店が物だけを売るんではなくて情報を売るという、物はほんとの少しになってきたわけですが、商業というものはそれほど敏感に変わってくるのです。それともう一つは、工業で生産が上がってきて税金の増収があった。いまは工業だけに頼れないから公共投資による経済の地域還流を目指して図書館とか、美術館ができて、フォーラムができて、音楽堂ができて、それによって経済の復活をさせようとする。それにより生活者の知的レベルが上がり、生活レベルが上がってきた。当然、消費レベルも上がってくる。そんなことで節約とぜいたくとが上手にこなせるようになってきますと、物だけで対応していては商業が成り立たなくなってくる。しかも図書館、美術館に接触する、またプールとかスポーツセンターを利用するうちに、知り合いの縁ができてくる。そして新しい生活のリズム、新しい文化になじんできた結果、従来は物だけに経済性があると考えていたのが、いまでは文化に経済性が生まれ、文化が売り物になってくる。

そしてイベントの重要性がプラザの必要性ということに転換してくる。それが商業の移り変わりではないだろうかと思うわけです。

それと工業化社会においては資本の論理が優先しました。当然、経済性の追求、富の追求を……、企業は繁栄を求めて……、といった論理がまかり通り、効率性とか、仕事、仕事、仕事と言う。また売り手の論理と言いますか？　そういうような環境の中で、工業とともに、商業も大きく成長したと思います。

そして福祉重視という広がりによって資本の論理の見直しが起こり、人間の論理を考え、人間の論理が巷の声となって、文化性とか、自由さとか、快適性とか、あるいは楽しさとか、遊びとか、潤いとかという言葉が出てきて、それが経済とひっつかなければ売れないという認識が始まった。そこに資本の論理と人間の論理が重なりあって、いままでは相対決するものであると考えられていたものが、ここにきて互いが互いを理解しあいながら一つの空間をつくっていかなければ商業はもう成り立たなくなってきた。その変わり方がこの2年ほどの間に急激にわたしたちの仕事の中で展開されるようになった、というのが移り変わりではないだろうかと……。

だから、先ほど田吹さんが言われましたように、建築には確かなコンセプトが要るんだと思います。わたしもそういうように理解しております。

三輪　わたしどもも昔、万国博覧会の会場計画なんかやりましたときに、あれはポートピアと同じようにある一定期限の間にパッと一つのお祭りをやるということでございまして、その点で従来からある神様のいるお祭りとか、あるいは神戸祭りや京都祭りといったものとちょっとニュアンスは違うわけです。あのときには、おっしゃったように一つの基本理念「人類の進歩と調和」ということがあって、それで計画的に一つの空間づくりまでそれを貫徹していくという、

そこに計画的にハードからソフトまで組み立てるということをやったわけです。
長い歴史で見ますと、確かにいまおっしゃったようにわれわれの生きている世代の間に、商業空間の移り変わりを見てしまいました。たとえばわたしども最近京都の新京極のアーケードのつくり直しをやったのですが、あれも昔から——昔といってもそれほど昔でない時代から言いますと、おっしゃるように経済や社会構造の変わりが背景にあるわけですね。
昔はあそこは映画館を中心として京都の庶民が集まってくるところで、それに合ったような商業があったわけです。ところがいまの断面で見ますと、もっと大きく、修学旅行が中心になってるような空間になってしまって、それをふまえた店の、また商店街全体の一つのコンセプトをつくり上げていかないと中途半端になってしまうという、こういうふうなことを身近に経験をしているわけです。

吉田　同感です。

三輪　それがそういう一つのお祭りを演出したりつくったりしていくコンセプト、それと都市全体のコンセプトなりあるいはアイデンティティといったものとの、それへ広げていく空間とか、そんなことがいまわたしら都市計画をやっている人間から見ますと非常に関心のあるところでございまして、その点では神戸というのは大変みごとにある意味ではやっておられるのじゃないかと思うのです。

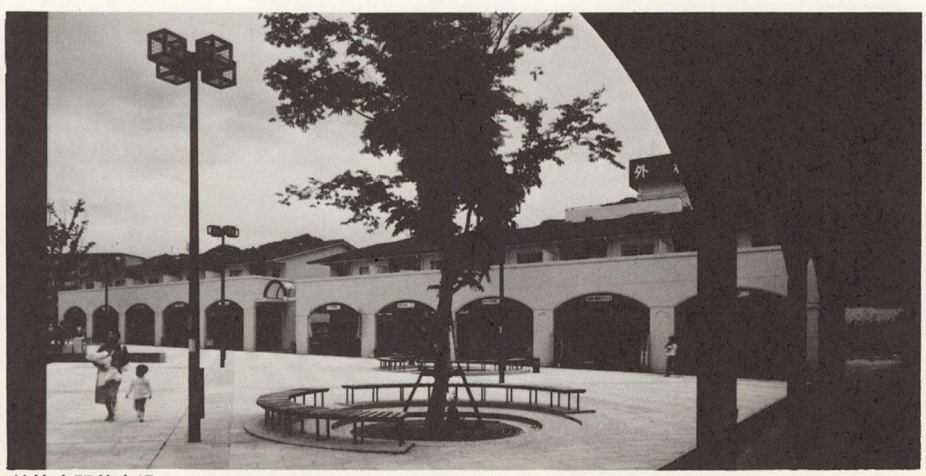
消費者から見た商業空間

小泉　いやー、どうでしょうかねえ。まだ新米という感じがしてるんです。
わたしらは消費者サイドから考えまして、京都というのはケチで、大阪というのはドケチ、神戸というのはスマートケチと思ってるわけです。まあ神戸は合理主義というか、外人さんが開きはったまちですから、買い物のときでも安いものはダイエーや灘生協へ行っても、いいものは専門店でバ　ッと長いことかかってでも買おうかという、いいもの志向というのがあるわけです。これは値切ってでも買おうかという〝スマートケチ〟だと私たちは言ってるんですけれど、専門店泣かせで……。
ほんとに専門店は安くていいものを世界じゅうから集めてくる。まあ日本じゅうから集めてこないと、神戸の消費者というのは一番すれてるというかね、皆よく外国も旅行してはるし、かなり高度なわけです。成熟してるというか。だから本当にその意味で専門店は泣きの涙ですけれど、お客さんとのキャッチボールが楽しくてね。ですから非常にそういう意味でしごかれてますから、神戸の専門店の場合は、たとえば大阪へいっても東京へいっても、ファッション店は大体成功してると思うんです。そういう消費者にしごかれてるところがあると思うのです。
大阪の場合は、やっぱしドーンともうけはるからマス志向で、ドーンともうけはるというのはドーンと使いはるというところもあると思うのです。だから１店へ行きだしたら、そこばっかりかわいがるとか、割合浮気がないわけですね。神戸は大変浮気なわけです。
それで京都はやっぱりケチで、つつましやかで、南座でも見てたらガタガタガタとくる椅子でちっちゃいのにおしりをチュチュチュッと入れて座って見てはる。もうエレベーターなんかガタガタでね。それでも大事に大事に使うてはるけれども、やはりそこに京都人の持ってる千年のしつこーいところがあるわけですね。これはやっぱり文化の違いやと思うのです。
ですから、いまおっしゃったように、いまになって文化が出てきたんじゃなくて、もともと文化が土壌なわけですよ、関西というのは。で文化というものがあった上に、いろいろな産業なり何なりが発展してきたのであって、そこのところをどっちかといったら建築家の方は忘れてはったんではないかという気がするわけです。
建築屋さんが、ハードでいきはってハッと見たら、いまごろ皆がガーガー文化のことを言うということでびっくりしてはるんでしょうけれど、ほんとはそうでなくて、ジワッと文化というのはあるのであって、やはり京都へいけばほんとにどうしようもなくそういう土地っ子の人柄というのがあるし、大阪へいけば商いという、ゼニという感覚があるわけですし、神戸へいけばそういうのじゃなくて新しがり屋のオッチョコチョイ精神、好奇心精神みたいなものがあるわけです。
そういう意味の消費者の比較というか、それは文化度にもよると思うのですけれど、そういうところがあると思うのです。
いままでつくってこられた中で、神戸の場合でも、あとからできたビル建築の商店というのはもう最低ですわ(笑い)。ああいうものができたために古い元町とかトーアロードとか北野町なんかというところがかえってよくなったというところもあるわけですね。あれはお役所主導型というのに、建築屋さんが一緒に参画してのことですけれども、商売人も悪いわけです、神戸の場合は。非常に個人的なことを前へ前へ出すものですからよくなかったということはありますけれど、やはりまだそこにリーダーがちゃんといなくって、利害関係だけでいっちゃったというのは、神戸の百年ほどの軽薄なところが出てきたわけで、非常に恥ずかしいと思ってるんですが、まあ

商業空間事例

本誌の前回の商業空間特集(昭和54年３月号)に掲載した事例以降のもので、最近２、３年間に竣工した商業空間事例を、関西を中心にして、西日本の地域から20数例ばかり作品作風小委員会で選定しました。以下にその写真をかかげます。後掲の大阪・京都・神戸の事例と合わせてご覧いただければ幸いです。
資料提供者に厚くお礼申しあげます。
(掲載順不同)

(施設名称，所在地，竣工昭和年，建築設計者名の順。内装は内装設計者

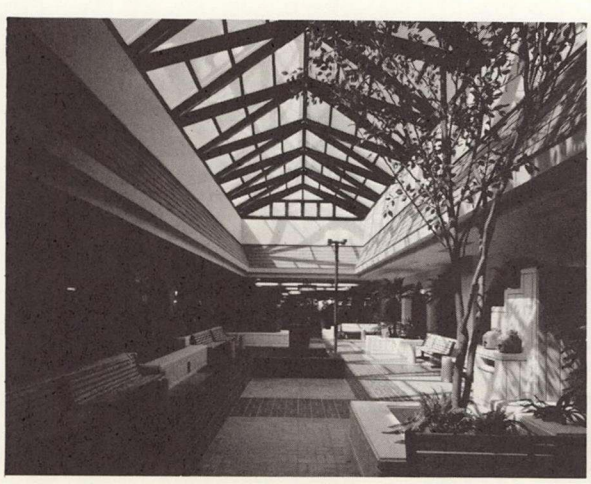


妙法寺駅前広場　神戸市　54年　造園：神戸市開発局（内陸）工務課・リオス設計事務所

そんなことを言ってもいまさらしようがないんです。
あれこそ文化を忘れているまちづくりで、何にもないから、やはりお客は集まりにくい、ただ店をつくりゃいいということでつくってるから。最近はホテルの計画もあったんですが、それすらなくなって、なかなか人が集まってこないわけです。昔のすごくよかったセンター街というのはなくなっちゃって、どこへお客はいっていいのかわからないというような状態になってしまっているのです。そういうお話づくりを、街の商店街づくりなんかに入れてないと思うのです。
ですからここで、小さくてもたとえば元町の凪月堂みたいに下に文化ホールをつくりまして、そこで何かを見て食べたり飲んだりして帰る……と。なのに元町通りは7時ぐらいになったらパッと店を閉めてしまって、京都のように10時まで開いてないわけです。そういう点では商業という意味では、意外に観光商業ということで京都なんかのほうが上手というか、知恵があるというか、わたしはそんな気がしております。
大阪はお金をガバッと使うてナビオをつくったりという感じがするんですけれどね(笑い)。阪急商法というのは上手すぎて、わたしは腹が立つほどです。お客を1駅歩かしといてドバッと商業空間をつくったという(笑い)。消費者からすればほんとにうまくはめられたというか……。こういうことを言ってすみません(笑い)。いろいろやってらっしゃることがあると思うのですけれど、非常にマスでくるという感じがあるわけです。
ナビオは真ん中にああいうふうな文化物を入れて、あれは宝塚のせいもあると思うのですけれども、やっとあそこまで気づかれてやられているという気がするんですけれども、あれでもまだわたしたちは物足りない気がします。まだほんとの大阪らしさが出てないというか、そういうことだと思うのですが、なんかあっちこっちから寄せ集まってきたという感じで、大阪のにおいみたいなものがもっとほしいなという気がわたしたちはするのです。
いまわたしは三都市の比較みたいなことを言いましたが、これはわたしたち「オール関西」という本を10年間つくりまして、大阪のお店も京都のお店もいろいろお付き合いをしたわけです。それでそういうことも、ややいろんな意味で身にしみたわけです。
まあそんな過程がありまして、これから商業空間というのはやっぱしそういうその風土のエネルギーなくしてはできないんじゃないかということですね。

商業空間は社会の皮膚

田吹　吉田さんのお話と小泉さんのお話とちょっと角度が違うので、その辺整理したほうがいいと思うのですが、吉田さんのおっしゃったのは、つまり商業空間が単一に独自に動くというときの動き方の問題を先ほどおっしゃった。たしか戸坂　潤だったと思いますが、「風俗は社会の皮膚である」というようなことを言っているのですが、現在社会学者はこれをもじりまして「広告は社会の皮膚である」と言っておりますね。ということは広告を見ておれば社会の動き方というか、大衆というか、消費者の皮膚感覚がわかるということなのです。
ですからそういう意味で言うと、吉田さんの先ほどのお話があったのを借りれば、商業空間は社会の皮膚であるということは言えるかもわかりませんね。だからその商業空間を見ていれば消費者の動き方というか、どういうふうな方向へいくか、どういうニーズがあるかというのがある程度わかるかもしれないという、そういう一つの商業空間独自の指針としてはそれは成立するかもしれませんね。
吉田　ただ商業建築をやりながら常に考えていたのは、先ほどおっしゃったように大事なことは、やっぱし風土と人間とのかかわり方によって文化というものがあるということです。ぼくは大阪がどう変わろうと、やはり何百年かかってきた土壌というものはそんなに簡単に変わるものではないと思います。けれどもいま、新しい波というか、風が吹いてますから、その従来の土壌を忘れることなく新しい風土に溶け込んでいきながら考えていかないかんのじゃないか。だから田圃の真ん中がいつまでも田圃でなくて住宅地に変わり、そして新しい情報がどんどん入ってくる。従来の田圃の風土が徐々に近代化の、あるいは現代化の風に、波に洗われながら、その風土と人間との対話によって、新しい生活が生まれてくる、それがその地域の文化というもので、その文化をどうとらえるかが、わたしはやはり計画ではないかというように思います。
田吹　つまりその土地というか、ローカリティという言葉がいいかどうかわかりませんけれども、そのローカルの中でのアイデンティティと、それからそのローカルの中でのそれぞれの商業空間のアイデンティティがうまくかみ合ってないと、駄目でしょう。これが一番大きな課題ではないかなと思うわけです。
話は、小泉さんのところにもどりますが、ある人とこの間話をしてましてね、京都はどないなるやろという話をしとったわけです。まあわたしの個人的な見解から言えば、50年先には京都はローカル都市になってしまうだろう、一地方都市になるだろう。で当初は三大



カタクラモール　松本市　56年　大成建設　内装：船場ＳＣ



新倉敷パオ　倉敷市　54年　白金建築事務所　内装：船場ＳＣ

都市と言われた。京都・大阪・東京でしょう、それから五大都市とか六大都市となって、またず一とふえてきて、いまや十三大都市と言われてるわけでしょう。そうしたらいつも京都はそのどんじりばかりにきているわけですよ。ずり落ちもいいとこ。これは何とかならへんの、ということでいまいろいろと地元の方はがんばっておられるんですけれども。東京というのは政治と経済と文化がある、それから政治を取ると大阪になり、政治と経済を取っちゃうと京都になるというわけです。京都は文化しかないというわけですね。ただ、京都は文化だけだけれども、多分水準は群をぬいている。だから先ほど小泉さんのおっしゃった知恵というのは、歴史が育むものであり、また物すごく高いところにあるんですね。

商業建築と文化

吉田　文化って言葉は、非常につかみどころがない言葉なんですけれども、計画をするときに文化というものをわたしなりに理解していますのは、暮らし方、働き方、生活の仕方、それらを文化というようにいま考えているんですが、文化っていろいろ広い意味があるんでしょうけれども、わたしの仕事の中での文化というものはそのようなとらえ方でね、人間の生き方とか……。

田吹　パターンと言ったらいいか、あるいは様式ですね。

吉田　機械とか、様式とか、人生観とか、そういうものを文化とわたしは考えてるんです。いやー、この文化というのはむずかしい言葉だと思うのです、むずかしいですね。

田吹　文化という言葉は、新しいですね。いつからこの文化という言葉が使われたかと調べたことがあるんですが、やはり明治以降ですね。〝カルチュア〟というのを〝文化〟と訳したわけでしょう。ところで京都には文化しかないでという話になって、それならばこれでどうして生きていくの？、と。文化を育むというのは物すごくお金がかかるんですよ。文化を与えるのは経済なんです。ところが京都に経済がないんです。そうすると先ほどおっしゃってた付加価値の問題とかかわってくるわけです。文化が商品になるというんだったら文化を商品にしようじゃないかと、こういう考え方が出てくるわけです。そうすると文化を商品にするための活性がないといかん、その爆発がないと文化も育たないというわけです。むずかしいでしょう。だから神戸さんは神戸さんでものすごくむずかしいと言っておられるけれども、京都も京都で非常にむずかしい。

小泉　でも、文化がお金になる時代ですよ。

田吹　ですから、どないしたらお金になるかというのを京都人はいま考えているわけです。

小泉　千年の文化を持ってはるんやから。強いですよ。よそはマネができません。

田吹　持っているけれども商売にならないわけです。なぜかというと、結局、様式のシステム化が近世でとまってる。近世というのは江戸までです。で明治以降にいろいろと近代化を図ったわけですよ、流通の問題とか。ところがやっぱり図れなかった。近代化し得なかったんです。ですからその文化の様式というものが近世のままでとまっちゃってるから、現代の物流といいますか、経済の世界の中で泳げないんです。

小泉　しかしどうなのかなァ、それを近代化するということは……。どのような近代化なんでしょうか。

田吹　たとえば家元。

小泉　家元の近代化？それは続かへんのとちゃいますか(笑い)。

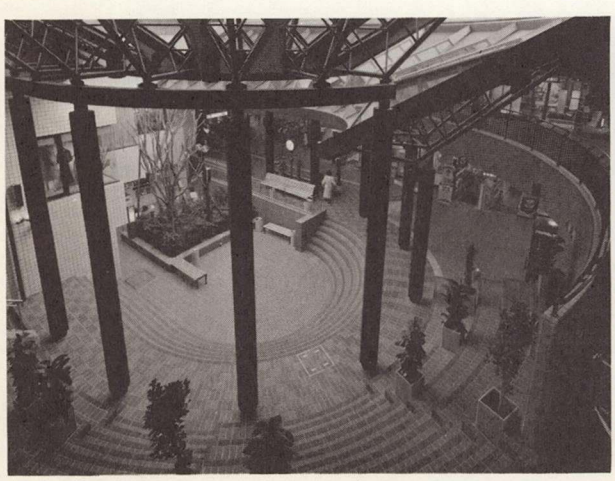
田吹　いや、続くか続かないかは別にして、成功した部類ですね。あとは西陣とかあの辺は結局近代化し得なかった。

吉田　と思います。さっきのことはわかります。

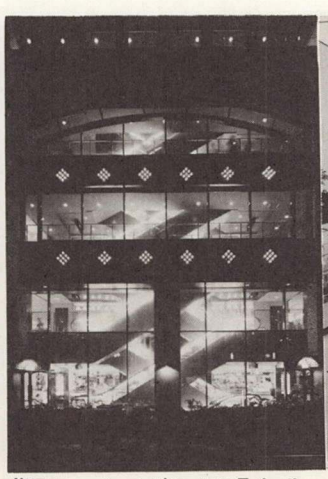
田吹　そこに物すごく問題があるんです。それをやらない限りは、文化も危なくなってきてるんです、京都は。

吉田　いまわたしは量販店を主にしたＳＣの設計をすることが多いんですが、大体半分以上あるわけです。で量販店は工業化時代において物をどんどんどんどん生産しましたが、そのときにその生産したものの量の流通の役目をする店がなかったわけです。そこで一部の優秀な商人が、大量にできたものは大量に物流しなければならんというので革命を起こしたわけですね。で物が不足のゆえに物が大量に生産された。そしてその流通の革命を起こした。そこまではよかったんですが、物がたんすの中にいっぱいになり、その革命も新しい展開が迫られるようになったいま、成熟社会を迎えてはっきり自覚した生活者が、いままでのものより新しい商業ビルあるいは商業ゾーンというものを求めるようになり、新しい革命は生活者の側から起こってきて、工業化社会というか、流通社会においては、もう生活者の意向を聞かずしては成り立たなくなってきた。

三輪　わたしも京都に住んでおりますが、おっしゃるように京都というところはあまりにも歴史が多くて、しかも大都市としての歴史があるんですね。ですから人間活動の積分として見たら物すごいんですね。だからすぐ風土化、先ほどおっしゃった田圃の風土へスーと吸収されてしまうわけです。たとえば、ちょうど91年前に琵琶湖疏水をつくりました。あれはお寺の中をぶち抜いたりしてつくっておりますけれど、それなりに気を使ってそのときはやっております



ひめじ花の北モール　姫路市　56年　ＲＩＡ建築綜合研究所　内装：船場ＳＣ





芦屋ステーションビル・モンテメール　芦屋市　55年　　国鉄大阪工事局・安井建築設計事務所

が、いまやちゃんと風土化してしまって、近代化じゃないんですね。

吉田　いま京都の、ショッピングセンターをやってるんですが、テナントはほとんど大阪の商人ですわ。京都というのは、お父さんが、子供が大きくなったのにまだ子供やと思うてるわけですね。だから古いものが一番ええと、それから脱皮できないんでしょうね。だから出店者はほとんど大阪の商人です。

三輪　なんか活力をもっていくときには、革命という言葉がございましたけれど、大変な殺りくとか破壊がないとあかんのじゃないか。もう一つは神戸の例ですが、外国と接触したとき。日本の過去における活力がバッと出るときの契機はこの二つしかないんじゃないかと思うのですが、京都はそれがどちらもないんです。

町の風土と商業空間

田吹　革命とか殺りくとか、という代わりにわたしはショックというふうに考えるわけです。ショックが起こらないともう寝ている、パッと目が覚めないのです。

たとえば神戸の風土、大阪の風土、それから京都、東京の風土性を考えていったら、たとえば東京ですと、江戸っ子がいないという話があるでしょう。三代続かないと江戸っ子ではないというわけです。

小泉　神戸なんか２年です(笑い)。２年たったら神戸っ子ですわ。

吉田　やっぱりにおいがあるんですね。土地の持ったしっかりしたにおいがあるからですわ。

田吹　ところが京都は、三代住んでも京都人ではないのです、京都人として認めてもらえない。

吉田　お茶づけどうぞって言われて、お茶づけ食べて、ぼく笑われたことがあるんです(笑い)。

田吹　いや、あれも一つの文化です。

小泉　あの伝統的ケチ精神ね……。しぶとい持続力と。

田吹　だからお茶づけでもどうですかというのは、文化の非常に高いところでの楽しみなんですね、よく考えてみたら社交の様式なんです。

吉田　まあ常にやっぱり風土性というものに根ざさないといかんでしょうね、それであって新しい時代の波に合わしていかないとね。

田吹　ですから「京都人」という場合は、室町から系図がある人々をさしますね。そういう人たちが京都ですわ。われわれまだ一代でしょう、で三代ぐらい、全然京都人の範ちゅうに入れてもらえないんです。そういうまちの一つの風土があるわけですよ。それがやっぱり商業空間というものにも何かにおいとして出てきてるのじゃないかという気はしますね。

吉田　京都というのは間口が狭くて奥行き深いですね。で、ここが店で、ここが倉庫で、奥のほうが住宅ですからね。倉敷あたりへ行くと、奥行きがなくて、雨戸を倒してパッと出して、そこへ商品を並べ……、というように２階は倉庫と寝室と一緒にやってますわね。だから倉敷というそうですが、京都というのは生活と商業というものがキチンと確立されとったんですね。

田吹　京都の場合はそういう一つの風土性がはっきりありますね、だから京都を何とかせないかんという人がいると思うと、これでええんや、このままでずっといくんだと、室町の奥のほうで言うてはる感じがするわけです。

で、どうも京都を何とかせないかんというのは、どっちかというと三代未満の人が言うてるみたいな感じがありますね。

吉田　よそ者ですな。

森　体質的には非常に守りの姿勢ですね。歴史があるだけに、それを何とか守らないかんという、日本全体から見た義務みたいなものがあるわけですね。

田吹　そういう大きな流れが、なんか京都はあるような気がするのです。

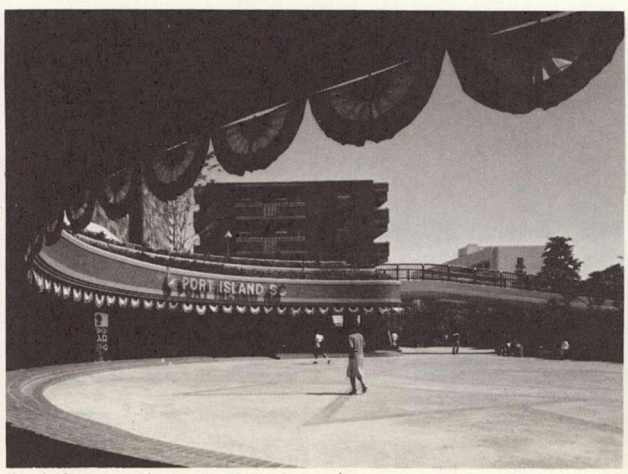
吉田　それも尊いよ。

田吹　と思います。だからいいか悪いかはまだ判断してはいけない。京都を何とかしなければいかん、まちづくりでこうしないといかんと言ってるけれども、10年たってもまだ何ともならんぞというのは、なんかそういう大きな流れがバックボーンにあるんじゃないかという、そういう土地柄だと思います。

２年住んだら神戸っ子

森　さっき政治、経済、文化という話がありましたが、東京は政治、経済、文化、トータルに情報も生かして動いているということなんですが、大阪は政治を取っただけというお話でしたけれども、やっぱり文化面が非常に弱いんじゃないかと、危機感を持っておられますね。大阪はいまは経済だけしかないんじゃないかという感じがするわけです。

で京都が歴史だけだ、文化だけだという中で、やはり経済と文化をうまく結びつけて何とかしようという先べんをつけたのが神戸ではないかという感じがしているんですが、小泉さんいかがでしょうか。



エバグリーンポートアイランド・イベントプラザ
神戸市　56年　昭和設計・熊谷組・船場ＳＣ



ジョルノ（堺東再開発ビル）
堺市 56年 都市問題経営研究所,竹中工務店



ジャスコ倉敷店 岡山市　56年　クラレエンジニアリング
内装：錢屋

小泉　そう言われればそうかもしれない。というのは、神戸は人間が付き合いやすいんです。つまり2年住んだら神戸っ子という感覚、それと地球じゅうの人が集まってくるというか、地球の中から見ても神戸というのは東西南北が集まってくるところなんですね。でわたしがいろんな、たとえば地中海なんかも船で行ったりしたんですけれども、そんなとこへ行っても、神戸ほど各種族はいないんですよ。

神戸の場合は、東西南北全部くるわけです。だから40とか50とか、すごい種類なんです。ですからそういう意味で非常に住みやすい港町というのがあって、この間、北野天神で〝北野国際祭り〟というのをしたんですけれども、神さんが6つ集まりまして、ユダヤ教とかキリスト教とかもう全部集めましてね(笑い)。

これはよその人たちには考えられないことだと思います。神道も仏教も来まして、お坊さんも来まして、その上にマザー・テレサのメッセージをもろうたり、むちゃくちゃですわ。それでやることは、インドの人が踊るし、韓国の人が踊るし、中国の人が踊るしという、それが神社の境内の舞台で行われているわけです。

で、その各種族がゆかたを着てパッと踊ってるわけです。ですからそういう意味で地球中の文化みたいなものがまざりあって、それぞれ自分とこの〝おらがくにさ〟を発揮して、それでいながら日本のよさを非常に彼らは見出しているわけです。

吉田　大事にするから滅びないんですね。

小泉　その外人たちが日本というものの持ってるものを非常に生かして、文化の生かし方がすごくうまいわけですね、外人は。ですから外人がとり入れる日本ですね。カナディアン・カブキというのを神戸でやってるわけです。それから外人たちがつくる日本というのはエキゾチシズム……、いまや日本がエキゾチシズムなんですね、いわゆるジャポネスクですよ。

というほどに日本の中が西洋風化されたというか、それほどベッドの生活になってしまったり、そういうことに変わってしまってるので、かえって日本ということが商業的に文化的に売れるんじゃないかという感じがしておりましてね。

そしてそういうものを非常に大事にする外人たちというものが、たとえば灘の酒樽をひっくり返してその中に入って、そこで陶器を売ったり……樽を運ぶのに6万円かかったそうですから、そのほうがえらいことなんですけれど、そういうわたしたちが気づかなかった発想みたいなものがすごくあるわけです。

それはちよっと角度をかえて見れば、日本というものをもっと生かせるんじゃないかという気が非常にしております。

たとえば神戸祭りでも各国の人が出てきて踊るとか、こういう踊りがあったのかと、そういうことで世界の祭りみたいなものを体で感じてやれるということ、人間同士の付き合いの中からはだに身につけてきたことが、一つの商業空間にも還元できるみたいなところがあるわけです。それが今度のポートピアへの引き金にもなってるかもしれないんですね。ですから割合気楽にやったみたいなところがありましてね。

神戸祭りも各国の人が出てきてやりましたから、日本人だけの発想じゃなくて、日本を斜めに見たり縦から見たり、いろんな角度から見てもらってるから、だからそういう気づかなかった日本の感性みたいなものを非常にフレッシュに引き出してる。

たとえば谷崎潤一郎邸にいま外人のカナディアン学校の先生が住んでるわけですが、非常にうまく近代的に使って住んでいるわけです。ですけれど、日本建築というものはそのまま残ってる。でも、じゅうたんだし、椅子、テーブルでうまく使ってるんだけれども、食べるものは洋食だし、だけど使ってる器は日本の有田焼だったり、清水焼だったり、いいものを使ってるわけです。ですからそういう日本人が忘れていた感性みたいなものを、わたしたちは外人から学んだというところがありますね、恥ずかしいけれど……。

吉田　まちが小さいから、いい話題がいい結果を生んでいくんでしょうね。大阪は目のいきどころがちょっと違うということやね。

小泉　それほど神戸は遊ぶのが好きですね。そして神戸はパーティーが好きですしね、もう……。

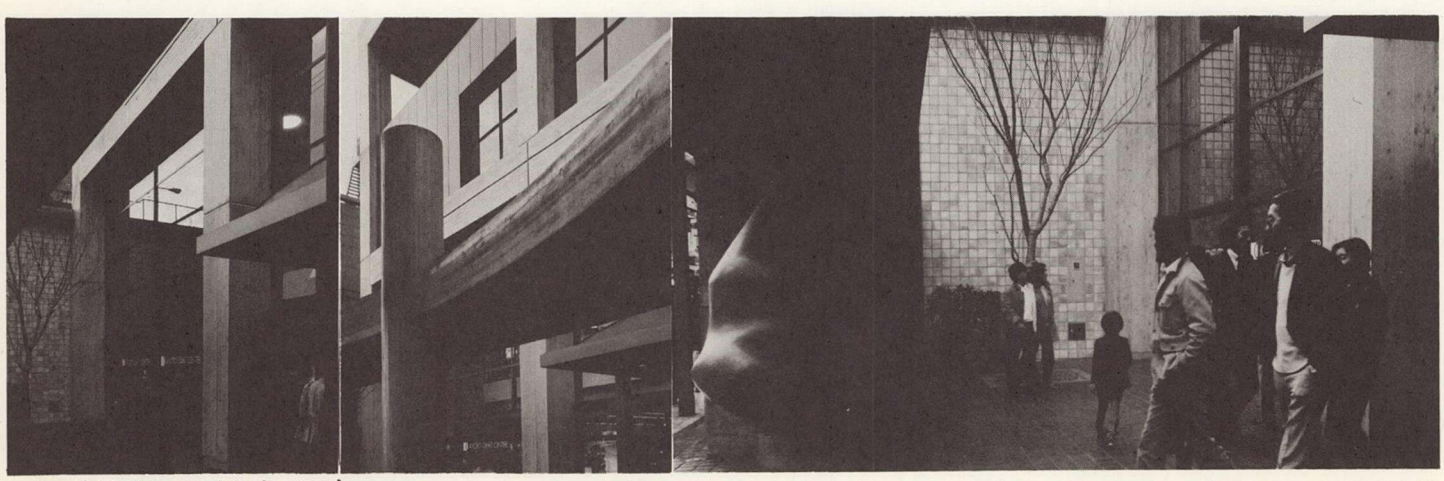
吉田　あの地形がいいんじゃないですかね。

小泉　でも、それはたとえば生田神社へ寄ってもいいわけです。生田神社で須磨寺さんが来てやるということも別にかまわないわけです。だからそういうしきたりみたいなものが枠をはずしてるから、やはりそういう意味では自由で気楽ですね、神戸の場合は。

吉田　神戸村だね。いいですね。

京都は成熟都市

森　でも関西全体にそういう基盤というのはあるんじゃないでしょうか。最初ケチの話をされましたが、まくら言葉を取っちゃうと全部ケチなんですね関西人は(笑い)。だからそれはベースとして持ってるんじゃないかなという気がしますね。昔、なにわの商いの基本に才覚、それから算用、そろばんですか、それから始末をするという、三つありますが、そのうちの始末というのは関西人が皆身につけてるものだったんじゃないか。だから三都市をうまく使いわける



ABL（京都クラフトセンターほか）　京都市　56年　槇総合計画事務所

というのもそのあたりに土壌があるんじゃないかという気がしてるんです。だから節約するところは非常にして、その分、生活を豊かにするところはする、と。そういう気風というのは、対関東ということで話をすれば、そういう性格というのは地盤として持ってるということですね。

吉田　産業の違いがありますからね。大阪は煙だらけですからね。

小泉　大阪へ来てホッとするのは川ですね。だから大阪はもっと川のまちということを商業的に生かせば、パリのセーヌ川になると思うのですよ。

吉田　なるほどぼくは川は忘れてるわ。

小泉　忘れ過ぎですね。水をもう少しきれいにされて、屋形船でいくという天神祭りのあの遊びの感覚を生かされたら、もっと川は生きてくるし、やっぱし京都でもユカのあの風情というものは、やはり日本人の持っているいい感覚だと思うのです。まあ千鳥はいなくなったけれど。

吉田　川をだんだん埋めよるが。

小泉　それはよくないですね。東京も外堀を埋めるそうですけれどね、そしてそこへ建築物をつくるそうですが、わたしは大反対です。ですから京都が変わらないというのも貴重なんじゃないでしょうか。

田吹　かもわかりませんね。

小泉　変わらないことを持続させてがんばるのも非常にむずかしい。

酒井　京都は成熟社会ですね、古くから成熟してきた社会ですね。たとえば住まい方にしても、先ほどちょっと出てましたが、こんな細長いところにね、いわゆるわれわれ流に言いますと集住してきたわけです。その集まって住むという住み方が非常に巧みに建築空間にも反映しまして、近隣のこのごろ起こってきた日照障害だとか、そういったものも非常にシステマチックにクリヤしてお互いにうまくやってる。それが不文律みたいにずーっと生きてきてるんですね、あの町家の中に。そういった一つの住まい方を見ただけでも非常に成熟しているわけです。成熟してるがゆえに反面、冷たい性格みたいなものがないと集住ができない、というような関係にあったりするんだろうと思うのです。ですから5年、10年後に地方都市になり下がってしまう。まあ人口の指標だとか産業指標だとかそういったものから見たらそうなっちゃうのかもわからないけれども、どうも都市のあり方として、あの仕組みを持った成熟の度合いみたいなことから言いますと、一番いい都市になるんではないかという気が一方でわたしなんか持ってるのです。

小泉　抜け路地のところにブティックなんかがボコッとできますでしょう、もう見ていられないという感じがするわけです。あんなもの、どうして許すのかしらという気がするわけです。辛抱してここまでいいものを持ってるんですから、やはりもっともっと徹底して手入れをして、もっと持続させて、蓄積して、もっともっと熟ましていったほうがいいんじゃないかという気がしますけれどね。

田吹　われわれはその中に入って住んでいますので、また別の問題があるんですけれども。

吉田　乱れる前にたてまえというか、ルールをつくっていかないといかんのだね。

わたしとこ学園前ですが、駅から何メーターまでは看板よろしい、それから看板は一切なりません、となってますわ。で道路からなんぼ下げないけません、建ぺい率は40%と、もうちゃんと決まってるからね。

三輪　京都はそういう建築協定以前のコミュニテイーの秩序を維持する規制力があるんですね、何となく。ところがいまおっしゃったようにそれが一軒くずれると、バタバタッといく要素もあるわけです。

吉田　だからいま、みんなで維持し合うてるたてまえを文書でつくれば、いいのができるかもわからんね(笑い)。ルールというのはたてまえですからね。

三輪　それをぐっと突っ込んでいけば、非常に沈潜した、ガッチリとしたいい都市環境ができるのかもわからんですけれどね。どうも上からサラッと見たら、経済的にも弱いようだけれども、しかし、京都の経済指標というのは、統計でわからん金があるんですね、いまのお茶の先生、お花の先生、あんなの領収書も出しとらんし(笑い)、それからお寺さんのお布施やとか、あれも領収書もろうたことがないが、そういう金がずいぶん京都というところは水面下で動いておりましてね。だから案外京都人というのは落ち着いてるというところがあるんですね、経済的にも非常に強靱だという。西陣だとか室町だとか、もうあかんのかと思っても、結構ちゃんとやってるという、統計で捕捉できない経済というのがあるんですね。

田吹　裏経済ですね(笑い)。裏経済と表文化と。

小泉　神戸なんか直截ですからね、あきません(笑い)。京都へ行ったら、はしたないと笑われましてね。

三輪　帯を買うたり着物を買うたりするのでも、百貨店へ行って正札を見るだけでして、実際にはいろんなコネで、半値か三分の一ぐらいで買うんで、それで結構嫁入り支度ができるわけですわ。

吉田　で住みよいのは神戸やね。

小泉　ええ、住みよいのは神戸でしょうね。京都の奈良本先生とか皆さん方よくいらっしゃるんです、それこそ一代とか二代目とかの方は何となく窮屈になって神戸へいらっしゃるんですけれども、やっぱり伏見の造り酒屋さんとか土地っ子がいらっしゃると、ジワッ



エスト1番街　大阪市　56年
鉄道会館一級建築士大阪事務所



ポルタ（京都駅前地下街）　京都市　55年　鉄道会館一級建築士大阪事務所

と京都のことをおっしゃいますからね。
あの廓なんかでも、京都が唯一じゃないですか、あのすごさ。あそこは日本の遊び場だと思うのですよ。だから日本中の人があそこへ行ってお金を落としていくということがあると思うのです。日本の遊び場というとやっぱし日本の文化の原点というか、そういうところがあって……、でもいまや神戸なんか、花隈や福原だって壊滅状態です。昔のように芸者衆がいないんですよ。

吉田　では新開地はもうあきませんな。

小泉　だめですねえ、いまは。あれは赤線を廃止したのが失敗だと思いますけれど(笑い)。

田吹　そういう意味では、大阪の旦那衆って、大阪で遊びませんものね。

小泉　神戸の人たちもですよ。京都へいって遊ぶんですね。

田吹　京都にも旦那衆がおります。それはやっぱり裏経済……。だから、そういう人はいい状態で残したらいいなあという。それはいいほうの言い方で、悪く言うと京都は博物館ということになる。
ところが、ここ数年、観光客が減ってるんですよ。統計で調べてみたら、それは1年間に 4,200万とか言ってますけれど、ところが西陣に買い付けに来た人も、修学旅行生も、みんな一緒に勘定してるわけで、本当に観光で来てるのはどうかというと、だんだん減ってきている。そういう日本のセンター、日本らしさを見せてあげるということでだいぶのどちんこまであけたわけです。京都特集という、雑誌でもこの数年来、変わりませんでしょう、そうするとどんどん観光化していって、庭の中まで見せてしまったわけで、それで減ってきてるわけです。そういう悩みもあるわけです。
ちょっと文化論をやってるみたいな格好になってきましたね(笑い)。だから商業空間ということで話をもどすと、それぞれの土地の風土というのがちょっと違うんですね。だから商業空間というのもそれぞれ違って当たり前だから、その違いをどこでどうめりはりをつくっていくのかということがあると思うのです。

「女文化」と商業空間

田吹　京都人の遊び方、神戸人の遊び方、大阪人の遊び方、遊ぶ場所がちょっとずつ違いますでしょう。神戸人だったらここやったらお金を落とすというのがありそうな……小泉さんの話を聞いてたら、専門店荒らしでケチってやるけれども、バーッとやるところもあるわけでしょう？

小泉　ありますね。

田吹　そこで、たとえばさっきの酒樽ではないけれど、6万円かかっても持ってきてやるというね。そこでそういう商業空間というものをね……。

小泉　生き延びられるわけですね。

田吹　でしょう。で、そういうところを見つけていくと、商業空間もまだこれからおもしろくなるという可能性があるんじゃないでしょうかね。

小泉　ワールドがいま神戸ではもうけ頭なんですけれど、ワールドにいた社長付きのキャリアガールがおりまして、彼女が言うのには、ただ売るというだけではだめだと。だからショーを見せるとか、こういう旅行がありますよとか、文化（カルチュア）を商業のプログラムの中に込めていかないと女の人たちがついてこないというか、まあショッピングというのは〝女文化〟というかね、非常にその辺があるわけです。ですからスマートケチというのも女性が支えてるので、わたしはやはり女性の時代になってきまして、その辺をはずしては考えられないんじゃないか。その辺と女性と文化のかかわりあい方、カルチャーセンターなんかが物すごくはやっておりますけれども、その辺でも女性の持ってるエネルギーの集め方といいますか……やはり子供の育て方が2人ぐらいになってきてますから、そのあと物すごくエネルギーが余っちゃうわけですよ。昔だったら子育てが5人とか6人とかだったから大変だったけれど……。

田吹　どうして遊ぼうかと思って苦労するわけですね。

小泉　そういう人たちをどう遊ばせるかということで商業空間と結びついてくるから、よけいそういうふうになってくるんじゃないでしょうか。

田吹　いまカルチャーセンターの話が出ましたけれども、神戸なんかはカルチャーセンターというのは成立するわけですが、京都は全然成立しないんです。講演会でも、だれも行かない。もう頭と目が肥えてるわけですよ。で講演会、京都でやったらあかんぞと。それで京都の大学の先生なんかは大阪とか神戸とかへアルバイトに行かれます。そういうふうに土地柄がそれぞれ違うんですね。

小泉　えらいもんですねえ。大阪もようはやってますね。

三輪　京都のヤングミセスなんか、どこで遊んでるんですか？

田吹　あんまり遊んでいないようですね。

村上　京の着倒れ、大阪の食い倒れでしょう、神戸は何倒れですか？

小泉　はき倒れということなんです。坂道ですし、靴がよくちびるといいますか……(笑い)。まあ靴は皆好きですね。おしゃれの原点といいますか、基礎といいますか。神戸の女の子がきれいなのは、ハイヒールで坂道を歩くのでヒップアップするのと、神戸肉を食べてるので生き生きとしてると(笑い)。そういうところに原因があるそうです。やはり山と海がありまして、港町というハイカラの精神みたいなものがありまして、その両方だと思うんですけれどね。

村上　ファッションということから言うと、大阪・京都・神戸の中では神戸が先になってますね。

小泉　そうですね。日本的に神戸が一応実験都市じゃないですか？一応、ファッションというものが先行いたしまして、その中で、選んで着る消費者というのが神戸にはいるわけですね。そういう意味合いで、神戸の消費者が選んだものは、全国的に売れるわけです。ですから神戸の消費者の動向を見ているワールドさんなんてのは、生産も小売りも全部やってますから、一番もうけ頭になっちゃうというか、そういうふうになってくるんじゃないかと思うのです。ですから神戸はやっぱりファッション、つまり生活文化でがんばらなくてはいけないんじゃないかなという気がしてるんです、商業空間におきましては。

商業空間とイベント

田吹　われわれたとえばいろんな企業のお手伝いをしてますでしょう、販売促進とかいろいろやって、その中で3Eというのを言うんですよ。
一つはエデュケーション(education)。どんな催しをやっても、どういうセールスをやっても、結局何かを教えてあげるというか、〝あ、学んで得したな〟というようなものを出してあげないと人は物を買

ってくれない。
もう一つはエンターティンメイト(entertainment)。娯楽性がないといけない。だから踊るとか歌うとかそういうものがある。
それからもう一つがエコノミー(economy)。やってなおかつ得したと思ってもらわなければいかんということで、この3Eの要素というのは大事にしてるんです。
だから都市空間においてもこういうキーワードがあって、それで都市を切っていくと、たとえばエデュケーションだったら、神戸とか大阪だったらそういうカルチュア的なものは非常にはやる、京都はあかん、ぺけだと。
エンターティンメントでも好みがありますね、それぞれの都市によって。こういうイベントをやれば非常に喜ばれる、と。たとえば京都ですとクラシックのコンサートをやったって人は全然集まらないんです。層が物すごく薄いんです。ところがほかの都市でそういうクラシックのコンサートをやると、物すごく人が入りますでしょう。だから京都ではもうクラシックはやらんとこうなという話になってるわけです。で講演会もやらんとこうなということになってるわけです。

森　京都と神戸はお互いに引き合うといいますね。

小泉　そうですね、すごく京都のお客さんが多いですね。でも京都こそ文化を世界に向けてアピールすれば、世界中の人が集まる商業空間になると思いますよ。

田吹　商売でも、京都と神戸で成功したら全国で成功すると言いますからね、一番むずかしいまちだと思います。

小泉　そうでしょうね、やっぱり消費者が成熟度が高いんじゃないんでしょうか。

田吹　だから実験のパイロットショップというのは大てい京都とか神戸でしょう、だからそういう意味ではよく似ているというふうに言われているのです。

吉田　イベントのことで、商業がどういう具合に変わってきたかをわかりやすく整理したんですが、こういう具合に世の中の変遷があったと思います。（下表参照）
いままでは物を中心としたところの商業建築をやりましたから、商

農耕社会	工業社会	脱工業社会
血縁・地縁の社会	社縁社会	知縁社会
人間と自然とのふれあい	人間とモノとのふれあい	人間と人間とのふれあい
田・畠が生産の場	工場が生産の場	広場が生産の場
自然による生産	機械による生産	人間による生産
肉体労働	手足の労働	頭能労働
カロリーというエネルギー	石油というエネルギー	情報というエネルギー
いい天気に恵まれること	いい会社に入れること	いい人にめぐりあうこと
自然を待つ	出世を待つ	縁を待つ
シーズンごとの祭	月ごとの祭（バーゲンセール）	毎日が祭
鎮守の森	商店街ＳＣ	広場、フォーラム、集会所
神をまつる、先祖をまつる	大売り出し、創業まつり	音楽会、文化教室、プール、スポーツセンター、講演会、セミナー



京都センチュリーホテル・エトリアム　京都市　56年　竹中工務店
内装：竹中工務店、中本博子、大場康博、村山芳昭、村上裕子
庭園デザイン：大陽驍子

おおとりウィングス　堺市　55年　竹中工務店



品を知ってるのはわたしたちでしたから……。
わたしは建築家ではなくて、インテリアの部門の出でして、ＳＣという商業建築の計画をしていたわけです。だからショッピングセンターというものは、何となくわたしのところへくれば解決するように思われて仕事がきたけれども、これからはだんだんとそれぞれの建築家の中での企画部門とかいろんな研究室ができてきて、そこから新しいものができて影響しながら商業は栄えていくとぼくは思います。

森　これから高齢化社会に入るというようなところで、そういう高齢化社会に対応した商業空間といいますか、単に若者だけのファッションを中心とした商店街ではなくして、そういうものが要るのではないか。実際、自由時間を楽しむ空間がない、場がない、あるいはそういう機会がない。
だから時代背景を、少し端的に流れを見てみますと、昔、万博時代、さっきおっしゃってましたが非常に猛烈時代だと言われた、でそれを背景とした理念がつくられたと思うのです。そのつぎがビューティフルな時代だった。それからその延長だと思うんですけれども、クリスタルというのがはやりまして、大阪人は見向きもしなかったという話なんですが、最近はデリシャスという……。だからさっき吉田さんがおっしゃった、物だけじゃなくて、商業空間というのはこれからレジャーセンターだと思うのです、極端に言えば。だからわれわれが楽しめるサービスや空間を提供してくれる。それが本命じゃないかという感じがします。

商業空間と自然

吉田　「人類の進歩と調和」、あの万博というのは21世紀の地球人類の目標だったわけですね。で人類の進歩と調和というのは、進歩の国はアメリカ。アメリカというのは、ヨーロッパ文化の終着点。で調和の国は日本で、それはアジアの文化の終着点。そのアメリカの文化と日本の文化とが重なり合って、お互いにいいところだけを残しながら地球上の人類の文化になるんじゃないかというのがあの万博だということを教えられたんですがね。
そこでアメリカとは、やはり契約の国であり資本の論理の国。日本はどっちかといったら交際費文化というか、人間の論理を持ってる国。ただし人間の論理だけでは経済性は弱いから、アメリカのものと日本のものとがここで重なり合うて人類の進歩と調和。
ポートピアは「人工と自然」という言葉が当初出てたんですね、それは工業文化と人間本来の自然のものとをかみ合わせるというね。だから新しく埋め立てたところにカナダからでっかい 2,000年昔の木を持ってきて、その木の根を、種を植えた。 2,000年たてばこうしてこれだけになるんだという一つの考え方ですわな。神戸の市長って偉い人だなとぼくは思いましたね。まさにそこにコンセプトがあったんじゃないかと思いますわ。

小泉　わたし、いまの自然というお話はすばらしいと思うんだけれど、やはり何か自然というのがこれからもっと商業空間の中に入ってこないといけないんじゃないかという気がするわけです。まあ神戸はそういうものは割合あるんです。
それと３つの表（農耕・工業・脱工業社会）を見まして、あれがそれぞれ分けられてしまうんじゃなくて、これからもっとああいうものがミックスされてトータルでやらなければいけないんじゃないか。そうでないと、プラザをつくっても、ただ来てイベントをやって——というだけなんですね。本来祭りということは、祈りとかそういうものがあるわけですね、ですからそういう辺が欠けてるのじゃないかという気がするわけです。神戸ではたとえば、ポートアイランドも前原口忠次郎市長の発想でできた人工島だから、〝原口神社〟をつくったらどうかということを言ったんですけれど、新しいものづくりも、先人を尊ぶ市民の祈りの心があれば、もっとポートピアはすばらしい祭りの精神ができたんじゃないでしょうか。これからの商業建築のあの大きなプラザをつくる上でも、何かもう少しいままでの農耕社会的なものもいろんな意味でトータルにして加えていかなくては……。
ただわたしらが見ててバラバラなんですね、つくることが。大体お役所が街並みづくりや商業空間を支配しすぎて、文化人や町衆の自由な発想を抑えてしまっていますね。だからお役所がいじるとイキイキしない。神戸でよかったのは、さんちかタウンぐらいかな。
わたしこの間、竹中郁先生にお会いしたんですけれども、神戸はとても月のいいところだ、六甲山があって中腹から月が見える、月がどの山から見ても美しい、そうしたら、それなら月光公園をつくってはどうか、というような発想があるわけですね。だから、そういうところから月光公園をつくってそれに彫刻を置いたらどうか、そこに月光を眺めるための月見だんごを売ってはどうか、というような、そういう意味のもう少し日本人の感性に合ったようなものを、これから建築をなさる方はそういうあたりをもう一度見詰め直してもらうというか、詩人の発想をもらうというか、それから絵描きの発想をもらうとかね。たとえば石坂春生さんのポートアイランドに世界の家を集めたらどうかという発想もあったんです。それから世界の船の煙突を集めたらどうか、とかね。そういう文化的発想と経済的発想をジョイントしていくことを考えないと、駅があるからターミナルショッピングや地下街、というのはアキアキしてきましたね、どこの街も同じでね。いいかげんにしないと新しい商業文化の創造なんてことにならないんじゃないですか。市民発想だから北野町界隈のショッピングは夢とゆとりを感じますね。やはりお役所はレール役でないと……。

商業空間とアーバニティ

森　さっき小泉さんがおっしゃった祈りの空間、非常に大事だと思いますよ。昔は神社があったりお寺があったり、あるいは西洋であれば教会があるというようなことで、そういう場が広場に自然とあったわけですが、いまはなくなってきている。そういう瞑想の場と言いますか、あるいは博物館とか美術館とか図書館、知的興奮を得る場ですね、それもひとつ精神的に緊張するという意味で祈りだと思うのですが、そういう祈りの空間ですね。
それからあと言われてますのはエキサイトする空間。これはイベントでいろいろ出てくるわけですね。それから憩いの空間、これもまだまだ足りない空間。だからさっき企画の話で３Ｅという話でしたが、まあ３イといいますか、片仮名のイですが(笑い)、そういう空間が必要ではないかということも言われておりますね。

酒井　ちょっと話はもどるかもしれないんですが、最初に、三輪さんがアーバニティという話をされたんですが、商業空間の現代の行き詰まりだという側面も一方あるかと思うのですが、アーバニティみたいなことから考えますと、工業化社会の中で都市へ人が集まってきた、それから周辺に住みついていった、これは早川和男先生の

「住宅貧乏物語」にもありましたように依然として住宅問題というのはシビアな問題を抱えてると思うのです。そうした中で、われわれの生活の中に本来的にその内在化しておったものが、公共といいますか、外にいっぱいほうり出されつつあるという傾向がありますね。そして商業の側からいま与えられようとしているような文化というような、まあお話がずっと続いてるわけですけれども、そういったものにもみずから文化をつくり出して自分の生活を高めていくはずのところを全部商業空間とか公共空間に求めざるを得ないという基本的な構造があるんですね。それでしかも、そこで求め得た現在ある商業空間の中で、果たしてそういう風土性に根ざした本当の文化といったものを商業空間で与えられたかというと、必ずしもそうではない。なんか、しらけの構造だけ残ったというような側面もありますね。先ほど非常に感銘を受けたんですが、たとえば月光公園という話の要素、われわれが本来的に持っていた農耕社会みたいなものが持っていたようなものが、もう一度引っ張り出されてきて、祖先を祭る心だとか……それだけではいかんと思うのですが、そういったものが商業空間の中に備えられて、まあ本当の文化といったものに触れられる場所としてつくり直していかなければいかんのじゃないかなという感じがするんですけれどね。

三輪　ですから、あまりまたこれで突っ走ると、工業化社会が自然からしっぺ返しを受けたように、脱工業化社会がまたしっぺ返しを受けるというところが出てくるかもわからんですね。いまおっしゃったようにやっぱりもっと身近な、いわゆるゲマインシャフトの中に持ってるところのたとえば京都で言えば地蔵盆だとか、そういう手づくりの手近なイベント空間とか教養の空間とか、そういうものが詐称されてしまって、でっかい大ショッピングセンターとかそこにフォーラムが結構あります、と、それだけでは今度はまた大きなしっぺ返しが出てくるのじゃないかという気がしますね。

吉田　ハーマン・カーンはこのように言ってるわけです。アメリカは2億 2,500万人人口がおる、日本は1億 1,760万人ですか。で飲食業がアメリカの場合は20万店しかないが、日本には70万店ある。これはおかしい、と。企業というものは先進国になればなるほど合理化が進んでいく、で合理化に立ち後れる企業がどんどんふえてきて、そして淘汰されてやがて企業の数は減るであろう。ということは、いまバラバラのやつがだんだんまとまっていく傾向にあるということを彼は言うてるわけですね。

ですからいま一つの道のりを歩んでるわけですね。で今日「建築と社会」が商業空間をとらえたというだけでも、大変にわたしは……（笑い）これは一つの大きなポイントになると思います。これからの建築は商業建築が圧倒的にふえると思います。いまの文化が新しいＳＣを生みます。だからいままでは建築屋さんが商業をやってると何か下に見られとったと言っておられましたが、これからは一番トップになってくるように思います。そして商業建築が日本の国力の象徴になってくると思いますわ。

いま出来ているショッピングセンターというのは、ぼくのものさしでは小学校三年生ぐらいのレベルですかね。やがて五年生……、高校生、大学生といったものが出来てきて、世界の国々から、日本の商業空間あるいは商業の見学者が来るときがくると思います。

森　これまで歴史的に見てますと、昔は門前町、色町が盛り場だったわけですね、それが都心の商店街になって、で阪急のターミナル商店街ですか、ああいう拠点的なものになってきた。で、それに対する反動みたいな形で、あるいは機能分担という形で、一つは郊外型のショッピングセンターがいま出てきている。それから二番目は、これじゃいけないということで都心の商店街が何とかせないかん、

商業空間事例



出雲コミュニティデパート・パラオ
出雲市　55年
田中建築事務所
内装：船場



エルシティ刈谷
ショッピングセンター
愛知県刈谷市　54年
三英設計内装：船場
ＳＣ



トーク岸和田
岸和田市　54年
大建設計
内装：船場ＳＣ

復活をしなきゃいかん、と。それから三つ目は、これは新しい動きだと思いますけれど、風致地区だとか美観地区、そういう緑だとか歴史の豊かなところでかなり個性的な専門店が展開してきている。大きく言えばそういう三つの動きがあるんじゃないかと思います。郊外型ショッピングセンター、これは更地でドンとやれて、いろんなことをやれるし、大きな近隣空間を取ったり、遊び場を取ったり、ということで出来るんですけれども、ほんとにそこの地域性ということから見れば、逆にあとの二つの都心の商店街、あるいはそういう個別の専門店というものが地域のカラーでもかなり反映してくるものになってくるのじゃないかという気がするんですけれどね。

村上　たとえば商業施設というとらえ方ができるかどうかわかりませんが、東京の原宿とかあるいは神戸の北野町とか、あの辺で自然発生的な一つの商業空間が出来てるわけですね。あれはつくろうとして出来てきたものじゃなくて、何かそれが自然に出来てきて人を呼んで循環しながらだんだんに有名になってくる、というふうなことがあるわけですね。アーバニティという点から言って、そうしたもののとらえ方はどうでしょうか。

吉田　そういう意味では自然発生的に出来てきたけれど、意義があるわけですね。生活者も便利だから利用するんであって、生活に必要な商品の大半がその商店街で揃わなかったら人は他の商店街へ流出するという言葉があるわけです。住みよいまちというのは、自分が求めるものが、まあ物だけでなくていろんなサービスも、いろんなものがそこで得られるならば、そこをこよなく愛するわけですよ。そこで成長してきたのが自然発生的商店街です。

再開発の中での商業空間

森　再開発について日ごろ感じるのは、いわゆる駅前再開発とかいまの再開発というのはパターン化してるわけですね、先ほどもおっしゃったように床もたくさんつくらないかんというようなしばりの中で頭を抱えておるわけなんですけれども、とくに地方のいまの再開発を見てますと、よう見れば商業の需要があまりない、オーバーストアだという問題が出てきてますし、そういうことからして、結局乗っかってくるのは住宅とホテルということになってきつつあるわけですね。非常にホテルがチェーン店化してきているということなんですが。

このホテルについては、確かにチェーン店ということで画一的なところがあるかもしれませんけれど、やはりある程度共用空間というのを足下に設けたわけですが、その場所というのは非常に地方都市にとって貴重じゃないかと思うのです。よく地方都市へ行って、ああ、この界わいは明るくなったなとか、結構地元の人たちが使ってたりするところがありましてね、やっぱり都市の広場だとぼくは思ってるわけですが、あの中での地域性といいますか、比較といいますか、そのあたりは田吹さんどうなんでしょうね。むずかしさというか……。

田吹　むずかしいですねえ。

三輪　そうですね、ファミリー・レストランのその先をいくようないろんなものが入ったものが地方のローカルのホテルで出てきてますね。

吉田　投資の回収のサイドについて、いまの日本の経済では、7年か8年で償却せないかんという風潮があり過ぎましてね。これがもっと長い、20年から30年で償却すればいいではないかというようなところにいけば、すごい空間が取れていいわけですよ。だからそれは徐々にわかりつつあるのじゃないですか。量販店が5年で返すやつがいまや7年になり、8年に計算されるようになってきた。だからホテル屋さんでも10年でしょう。これが20年となったら……。

やっぱりビルはぴしっと仕上がってビルなんですよ。建築じゃないですよ、吹きつけでおしまいというやつは。だからそれが経済性の追求といいますか、せせこましいというか、それが災いしてるわけでしょうね。だからだれかが経済性を度外視しながらやったやつが経済性に乗っかってきたら、世の中、コロッと変わるわけですよ。

酒井　その経済性の論理みたいなものにわれわれ建築の側はほとんどの部分を支配的に条件づけられた中で仕事をしておるという状況ではないかと思うのですよ。

そしていま、おっしゃったように採算性といいますか、償却といいますか、それを7年のやつが8年に延びてきたというお話もいまありましたが、どんなことが要因として働いたら、そういうものがたとえば10年とか20年とかいうオーダーに延びて、われわれ本当の意味でのストックづくりをやっていけるんだろうかというあたりが非常に疑問点なんです。

三輪　それは都市全体についても言えますね。やはり採算に合う建物のほうが力まかせに入ってくるから、だから再開発でも、住宅再開発というのは成り立たんわけです。ましてやもっと日常人間的な都市住宅という空間を昔から持ってた、それじゃ成り立たんわけで、マンション化してしまう。あのマンションは非常に貧困な住空間ですよ。そんなものがどんどん林立していくという形で、そうならざるを得なくなってくる。大阪なんてのはとくに人口はどんどん減っていっておりますけれど、いまはインナーシティー問題というのが言われておりますが、人間が住まないとだめじゃないか、と。住まないと消費もできない。足元に消費者がいなければ、やっぱり商業というのは成り立たんわけでしてね。

吉田　マンションの生活は、もうあと5年もしたら、みんな抜け出しますね。もうあじけなくて！

三輪　そういう意味で北野界わいとか、ああいう自然発生的かもわからんけれども住み続けるという、そして住み続けられるように、また商業も自然発生的かもわからんけれども小さいものが出来て…。

商業空間の多様化の中で

小泉　やっぱり自然というものが日本人は好きなんですよ、体質として。やはり島国だし、四季の変化がとてもあるし……。

わたしはナビオのオープンへ行ったときに、これはごっつい、神戸はやられるなと思いましたですね(笑い)。恐怖でしたわ。それで神戸へ帰って何が違うかということを考えたときに、大丸の前に立ったら、パッと、あ、空が見える、と思ったわけです。あ、山が見える、と思った。ああ、これで神戸のまちはまだ生きていけるんじゃないかと思ったわけです。

もちろん明るいところが好きですよ。人工的なところも非常に人間は好きだし、ネオンサインも皆好きだし、エキサイティングなこともすごく好きだけれども、やはり自然というのも好きだという、両極があるんじゃないでしょうか。だからやっぱりエキサイティングな面と自然な面とというのは、ある程度分離しながら両極で生きていくんじゃないか。エキサイティングなところとやはり自然の中に息づくまちとかいうのは、やっぱり両方が要るんじゃないでしょう

かね、汚ないところときれいなところが要るみたいにね。ある程度ツルンツルンにしてしまったまちというのは魅力がないと思うのですよ。だからやはりにおいがあったり、染みがついていたり、なじんだ腰掛けとか、なじんだ汚のうなった机とか、そういうものが味がある、だから京都は生きられてるというのと一緒でね。だからそういうエキサイティングなところと……よけい二極性にいくんじゃないかという気がするのです。だから非常に自然が好きだということは、そういうところはそういうところで大いに自然をうまく使ってやればいいし、それからエキサイティングなところは……ポートピアでも何がはやるかといえば、新しいということに、創造ということにみんな何か見たろかというので行くわけですから、それはそれで超エキサイティングにしたほうが、ひょっとしたらいいのかもしれないなという気がするのです。

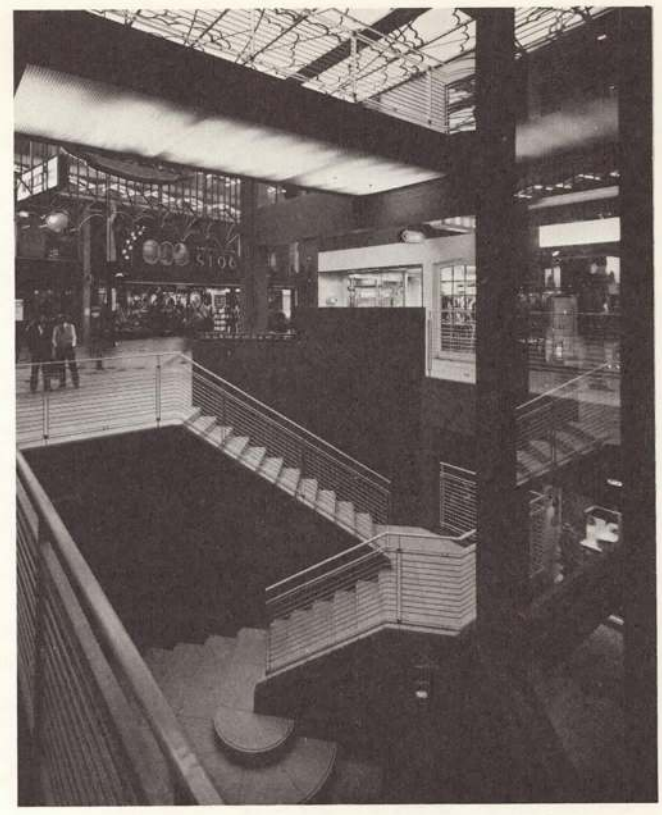
今度産業ロボット展が東京で開かれるということをちょっと聞いたんですが、ああ、あれだったらみんなすごく行くんじゃないかなと。それでもヨーロッパのロボットと日本のロボットとは、やはり日本人の情緒性みたいなのがあって、全然つくり方が違うというところがあるわけですね。だから技術者でもすごく日本的な技術者というのができているわけだから、神戸もビデオ・シティーなんてことを言ってるんですけれども、やはりそれも日本人的感性で出来上がっていくと思うのです。そういう意味で、その両極がないとやっぱり人間というのは生きられないんじゃないか。それこそ古いものと新しいものが、汚ないものときれいなものとか、それをうまく両極で持っていくか、共存させていくか、それをやらないと、商業空間というのはとくに人間が集まってくるところですから、だめなんじゃないかなという気がしてるんですけれどね。

吉田　要するにレベルの差が広過ぎるんだね、日本は。

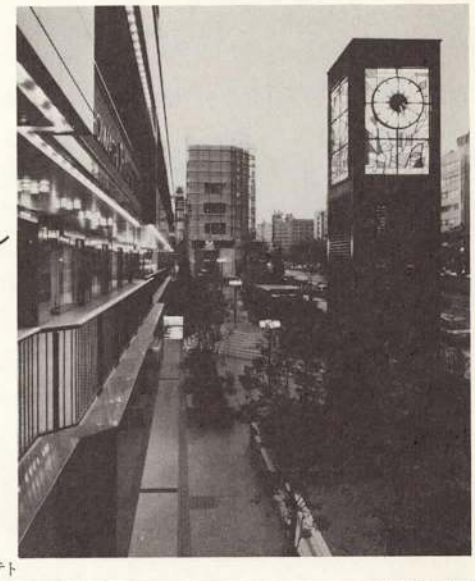
三輪　そうですね、それとさっき吉田さんがおっしゃったように、アメリカがヨーロッパ型文明の先端、それがアメリカのフロンティア・スピリットの強いところで、日本までその辺に入り込んだわけですけれども、一方でまた日本はアジア的な文明のところでございます。ですから神戸なんかがまさにそれが実現したように、縦と横を全部ミックスしたように、日本というのはそういう点では一番アジア的な文明様式とアメリカ的文明様式というものがまざりあうところである。それだけにまたわれわれとしてはその辺の見極め、しばりとか、めりはりとかをよく見ていかないと、ホイホイ流されたらどうしようもないものをつくってしまう。

森　大阪のまちはキタとミナミと書いてありますが、キタというのはターミナル文化で、ミナミはどっちかというと面的な広がりを持ったストリート文化とでも言いますかね、でそれぞれよさがあるわけですけれども、さっき小泉さんがおっしゃった、ミナミには空があるわけですね、であれをどうやって生かしていったらいいかということもあるわけで、そのときにストリートだけではだめなんで、そのターミナル型と……まあ拠点型といいますか、それとストリート型をどううまく組み合わせていくのか、そのあたりがこれからのまちの商業空間のあり方として問われなければいけない問題じゃないかという気がしてるのです。

小泉　ストリートに物語りをもたせるというかね。昔でしたらたとえば吉原の大門をくぐればというのは、土手八丁を行って……その土手八丁をつくって、神戸でも楼筋というのがありましてね、京都でもあると思うのですけれど、そこへ行けばぼんぼりが立って、そういう非常にいいアプローチがあったと思うのです。ですから、その気にさせる演出というのを、商業空間もストリートの場合はある程度もっとそれに……床と天井だけをきれいにしたらええみたいな



上：
パルパローレ
神戸市　54年
竹中工務店



中：
上本町ハイハイタウン
上六地区第一種市街地再開発
大阪市　55年
安井建築設計事務所

下：
西武百貨店八尾店スカイモール 8階
八尾市　56年
菊竹清訓建築設計事務所
内装：田中一光、スーパーポテト



んじゃなくって、やっぱりそういういざないというか、もっとソフトな発想を入れて、柳とか、それこそそういうものがもう少し出てきたほうが絵になる商店街になるんじゃないかなと思います。

森　そうですね。ミナミの話をもうちょっとしますと、ストリートというのは確かに心斎橋までの大きな軸としてありますね、しかしあれからなかなか広がらないというところがありますね。横町に入ったり路地に入ったり、あるいは裏通りに入ったりということで、もう少しふくらみが足りない。だからまだまだまちとしては成熟してないという感じがしますね。

だからちょっとうらやましいなと思いますのは、北野あたりにあるような専門店ですか、ああいうちょっとしゃれたものといいますか、かなり奥に店があるんだけれども人をうまく誘致し、かつ人がその中で主人公になるといいますか……。

小泉　そのかわりもうかりませんよ。神戸で商売しようと思うたら、それは覚悟していただかないと。大阪や皆さん方のようにはもうかりません。だけどゆとりのある楽しいお商売はできるということですから、その差だと思うのです。だからもうけることにポリシーを置くのか、もうけることを楽しみながらやるのかという、人との出会いを大事にしながらいくほうがいいのか、それともバッと売りゃいいのかという辺の差でもあるんじゃないかなと思いますね。

森　それは商いの原点みたいなものですね。売る楽しみと買う楽しみが一体化したような——昔の市場みたいなんですね。

三輪　予定の時間にまいりまして、ちょうどこれから佳境に入ってきそうなところなんですが、あと一言、田吹さんどうですか。

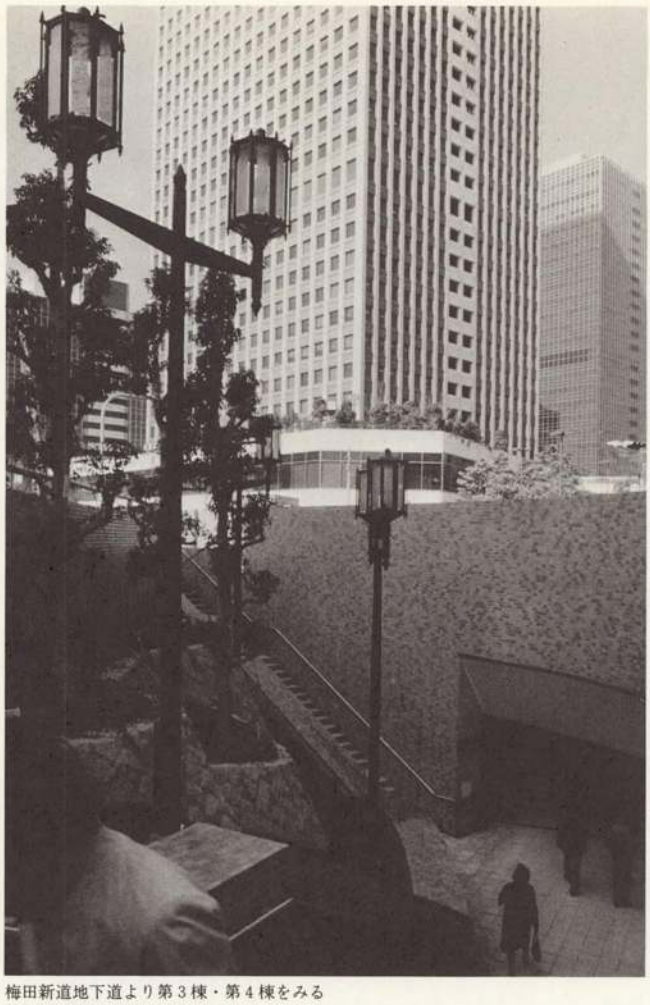
田吹　おもしろい話があり過ぎて、あとおまとめになるのは大変だろうなと思いますが……。まだイベントの話などをしたかったんですけれども、これはまたの機会にして……。

いま、建築をおやりになってる方は、お施主さんの与条件に合わせて仕事をしなければいけない。それでほんとにいいのかというと、まちを歩く人とか買い物をする人とか住民というのは具合が悪いというふうなとこら辺でかなり問題点が出てきて、商業空間のあり方というのがますます問われてくる時代になってきているわけですけれども、やはりそういう一つのまち、あるいは商業空間をどうつくっていくかというふうなことを話し合える一つの機関が要るんじゃないでしょうか。どういうまちづくりをしたらいいのかという。いろんな腹を割って話せるような場がないと、先ほどのように7年か8年にやっと償却が1年か2年延びたというぐらいのところで、そういうことをしていたんではほんとのまちというか商業空間というのはいいものは出来ません。

三輪　個別の建築は、個別のオーナーで個別の建築家が参画して個別に建てている、しかしそれが集積してしまうと商業空間というものになってしまうわけですね。だから議論にも出ておりますように、何か全体として大阪のキタ・ミナミ、神戸、京都、それぞれの理念というかコンセプトあるいはアイデンティティといったものがあって、それに沿うように、それをふくらましていくように、一つひとつのものをやっていかなければいかんわけです。だからそれを意識してやれるような、あるいはまたいまおっしゃったようなそういうフォーラムみたいなものがあれば、それが一番いいわけです。

だれがそのフォーラムの音頭をとっていったり、コーディネートをやっていくかです。これは建築家であったり、あるいは「神戸っ子」の編集長であったり、いろいろあるんじゃないかと思うんです。お話で、まだまだ足りないところがたくさんあるんですけれど、一応の方向らしきものが浮かび上がりまして、ありがとうございます。

とき／昭和56年10月1日　ところ／日本建築協会会議室



梅田新道地下道より第3棟・第4棟をみる



大阪駅前市街地第3棟・第4棟前広場・プロムナード

大阪市　56年

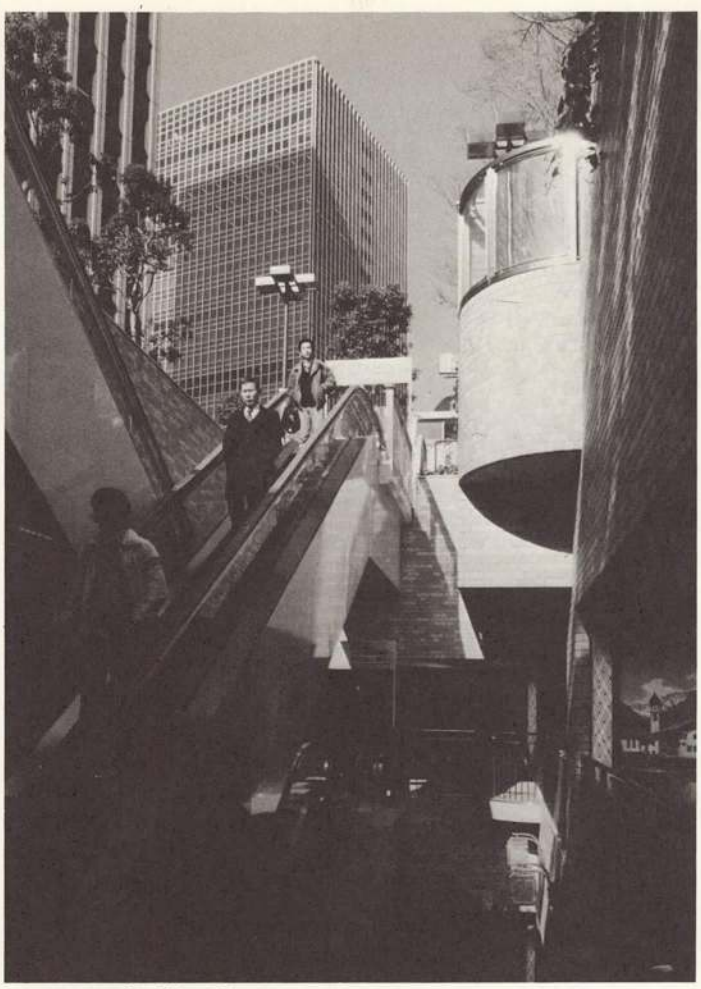
第3棟設計：大阪市都市再開発局
大建設計

第4棟設計：大阪市都市再開発局
東畑建築事務所

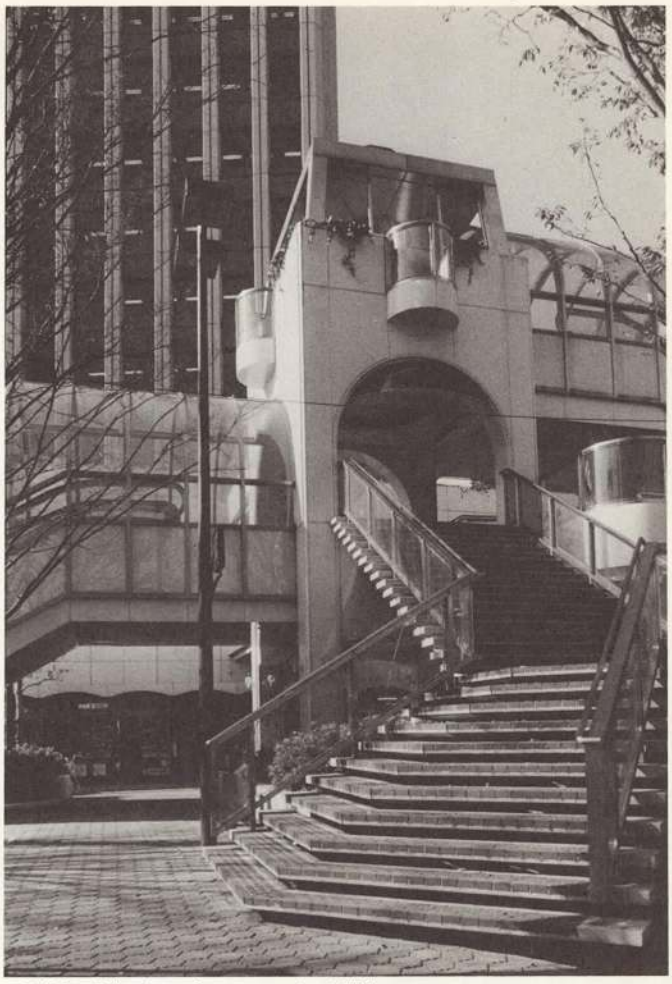
第4棟3階広場



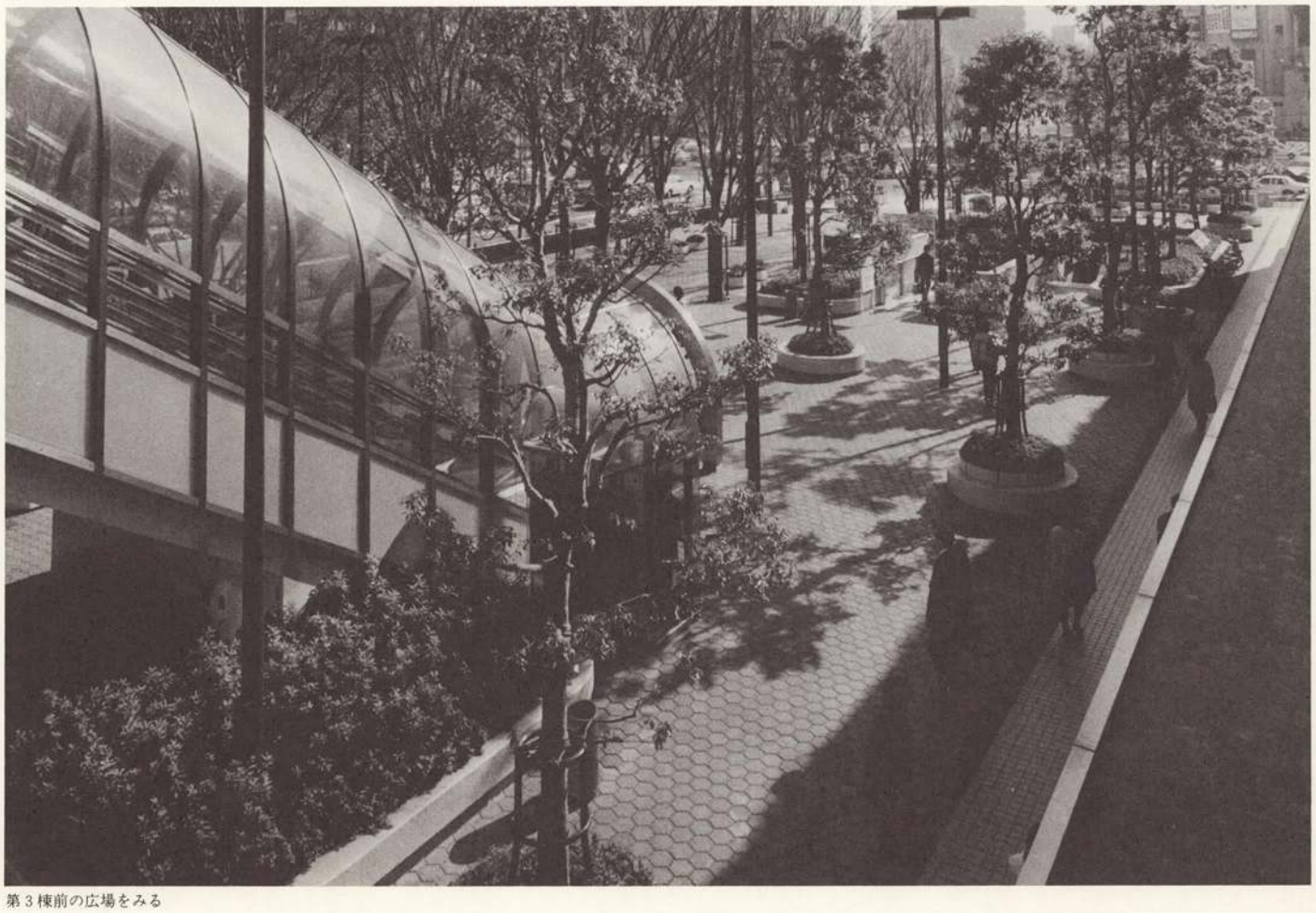
第3棟3階広場



第３棟地下より第４棟をのぞむ



３階広場へ通ずるドーム付エスカレーターと階段



第３棟前の広場をみる

2
商業空間の比較考現学
—街路のもつ重要性をめぐって—

鳴海邦碩

1．自動販売機から考えること

「日本のまちは本当に便利にできている」、これは、最近アメリカの留学から帰ってきた学生の話である。彼は西海岸のある大学に留学していたのだが、買い物の不便さには閉口したという。夜になってタバコや飲み物が切れると翌朝店が開くまでまたなければならない。それも遠くの店なのである。車があれば終夜営業のマーケットに行けばいいのだが、貧乏学生にはそうもいかない。

日本のまちは自動販売機が普及していて、タバコや飲み物ならば夜になっても簡単に手に入る。灰皿のシケモクを吸いながら、しみじみ日本のまちが恋しくなったというわけである。



写真1 道端にぽつねんと立つ自動販売機

日本のまちには、従来からけっこう遅くまであいているタバコ屋などの小商店が多かった。それに加えて、ここ数年の間に、自動販売機が氾濫してきた。自動販売機の設置はまちに限らない。国道沿いなどには、さまざまな種類の自動販売機をそなえつけたドライブインもある。夜になると真暗な田舎道に、清涼飲料の自動販売機がポツンと光っていたりする。(写真1)

自動販売機の提供する空間は、商業空間の最もシンプルな形である。自動販売機は商業空間についていろいろと考えさせてくれる。

商品の規格化・ブランド商品化・梱包の堅ろう化などは、自動販売化の大きな前提である。農家が自家でとれた果物を無人販売しているのに出くわすことがあるが、この無人販売は売り手と買い手の相互信頼に基づいている。こうした相互信頼は無人自動販売の大前提ともなる。しかし、実際にはつり銭がでないなどトラブルも多い。

自動販売機が示唆してくれる最も根本的なことは、「沿道であればどこでも商売が可能になる」ということである。どんな道でもある程度は商売上のポテンシャリティをもっているのである。

アンデスの高地都市ラ・パスには多くの路傍の露店がある。写真は市内に散在する露店の事例である。写真2は野外劇場周辺、写真3はバス停、写真4は単なる道端の露店である。こうした露店は、わが国の都市における自動販売機の果たしている機能と同様の機能をもっている。人が通る場所はどこでも商業行為が成立する可能性をもっているのである。

2．道のもつ商業的ポテンシャリティ

1976年の夏のことであるが、筆者は標高 3,600メートルに位置するアンデスの高地都市ラ・パスを調査する機会を得た。ラ・パスには広大な街路市ゾーンが賑わっている。この街路市についての考察を通じて、道がいかに商業活動にチャンスを与えるかについて考えてみたい。

ラ・パスの街路市ゾーンは半径およそ 500メートルのエリアである。この地域の街路の総延長はおよそ10,000メートルで、無数の露店が立地しているのである。ラ・パス市の調査によると、ウィークデイの最高で7,826店、土曜日のフェリア日（定期市）には、最高10,615店が出店するから、相当の高密街路市である。（筆者の調査によると、1976年８月のウィークデイには、5,481店の出店があった）

露店を均一に配置するとすれば、ほぼ道路延長１メートルあたり１店の割合になる。実際には露店は均一に分布しているのではなく、露店の繁華街ができてくる。繁華露店街では、道路の両側に露店が並んだり、あるいは４列に並んでいたりする。道路延長10メートル当たり22店というのがこのゾーンで最高の繁華街である。(写真5)

街路市では、露店商が自由に街路空間を利用しているように思われるが、現実には空間利用について、厳しい仲間同士のとりきめがある。露店商は自主的な組織をつくっており、その組織が一定のテリトリーを占用しているのである。

半径 500メートル、街路延長10,000メートルにおよぶ街路市には、商業的なポテンシャリティの高い場所が形成されてくる。商人の数が少なければ問題はないのだが、多くなってくると、有利な場所をとる商人と、それほどではない場所に行かざるを得ない商人がでてくる。いつもいつも場所確保のためにあらそうわけにもいかず、一定の場所での営業権が固定化してくる。すなわち、ある場所における露店としての座席権ができてくるのである。(写真6、7)

この特定の場所の座席権は露店商仲間同士で売買されるようになり、有利な場所の座席権はけっこう高額になる。座席権を獲得した露店商はその投資をとりもどすためにより大きな営業上の努力をしなければならない。特定の場所が繁華化していくのである。どのような道路でも、一定の商業的なポテンシャリティをもっているが、それがある水準以上の価値をもつ空間に変容していくプロセスをうかがうことができるのである。

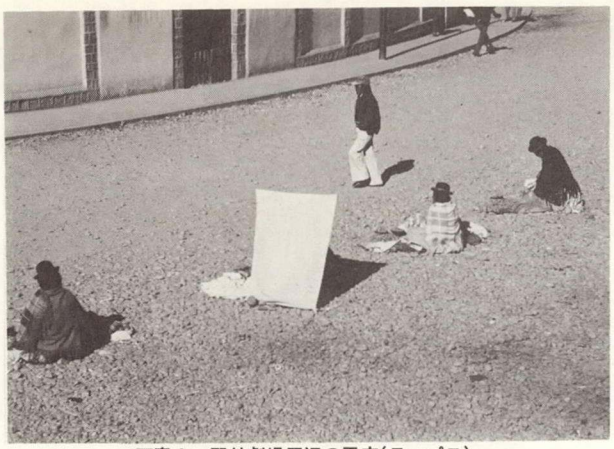


写真 2　野外劇場周辺の露店(ラ・パス)

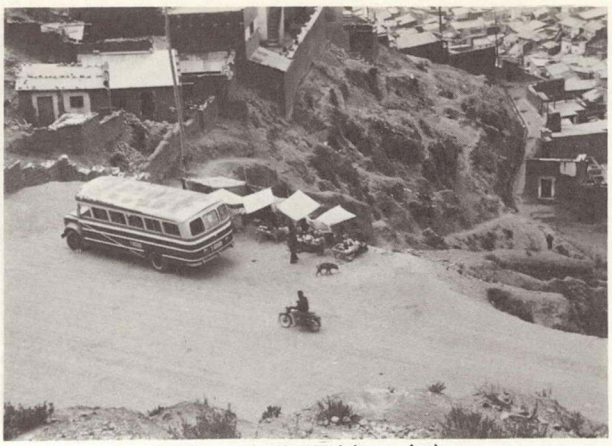


写真 3　バス停の露店(ラ・パス)

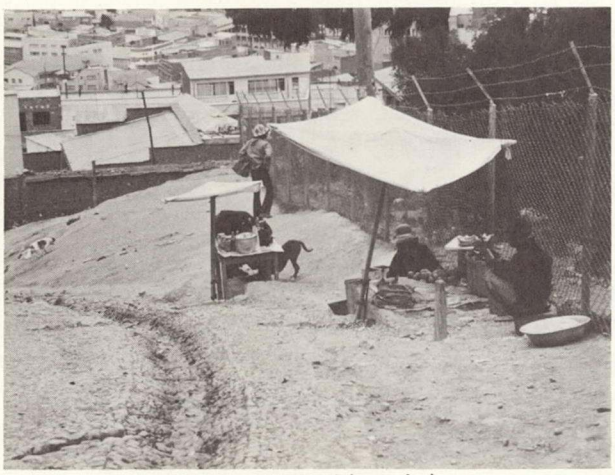


写真 4　坂道の露店(ラ・パス)

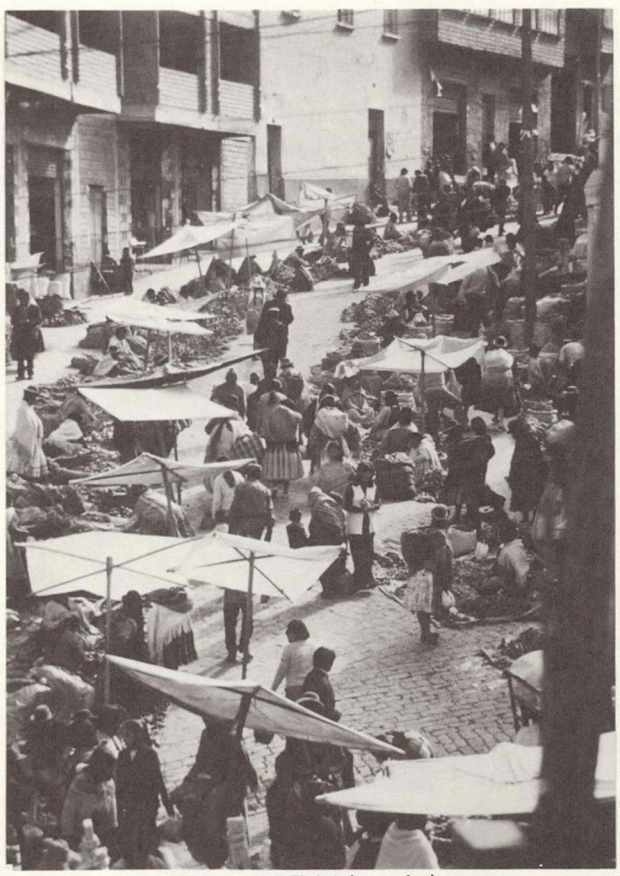


写真 5　繁華露店街(ラ・パス)

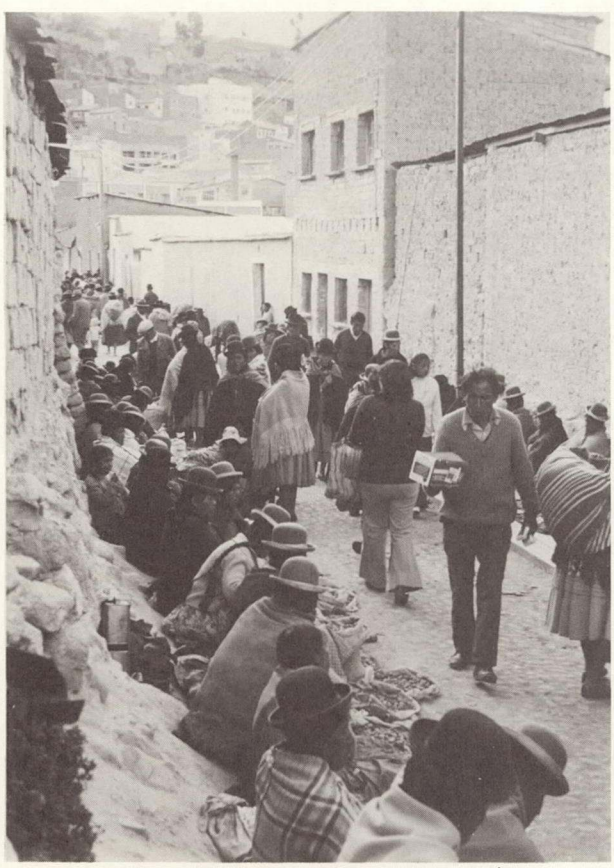


写真 6　繁華ゾーンの周辺の露店街(ラ・パス)



写真 7　うず高く品物を積んだ露店(ラ・パス)

アンデスの高地都市 **ラ・パス**

あまり有利ではない街路にも、わずかばかりの商品をならべた座商がいる。一日座って一日食べれるお金が手に入ればよいほうだが、街路は何がしかのメリットをもたらしてくれるのである。

3．街路への進出の意向

この街路市ゾーンには、いくつかの公設市場がある。公設市場といっても、空き地に露店商を集めたようなものである。ラ・パス市当局が街路から露店商を一掃する作戦を行った結果できたものであるといわれるが、すべての露店商を街路から追い出すことは、露店商であふれているこのような状況では不可能に近い。

店の格としては、露店商よりも、この公設市場商の方が上なのであるが、多くの商人はまた再び街路に進出することをもくろんでいる。商業空間としての状況にそれほど違いがあるわけではないから、人が通行する街路の方が有利になる。

実際に公設市場商人のいく人かは、街路での座席権も同時にもっている。またフェリア日には、公設市場は休みになり、ほとんどの公設市場商人も道沿いに店を出すことになる。

公設市場商達は自主組織をつくり、市場空間の改良のために、資金をたくわえつつあるという。街路市に勝つためには、市場空間の改善が最短距離だということに気がついたからだ。商品の特化、高品質化とあわせて、商業空間の改善を開始しようとしているのである。

4．露店が建築化した盛り場

これまでみてきたような街路市が常設化・建築化していくと商店街になる。関西には、直線細街路型の商店街が多いが、その景観は建築化した街路市を思わせる。京都の錦小路、新京極通り、大阪の心斎橋筋、天神橋筋、神戸の元町通りなどがそれである。都市内の近隣商店街や周辺都市の商店街にも、このような形態のものが多い。

京都の新京極は、まさに露店が固定化して形成されたといってよい。明治２年の東京遷都後、京都は火の消えたような町になったが、府参事（後に府知事）槇村正直は、京都の再興をはかる一助として、新たな盛り場を建設することを構想した。(写真8)



写真８　建築化した街路市を思わせる「新京極」の景観

寺町の寺院敷地を官に没収し、その跡地を盛り場とする事業であったが、墓地跡などもあるためになかなか事業は進まなかった。そこで、この辺りの大道芸人、香具師をとりしきっていた阪東文次郎に協力を依頼し、土地無償使用というふれこみで芸人・商人を集め、町並みをととのえていったのである。

種々雑多の大道芸人が集まり、小屋掛けがならび、その間には飲食店や楊弓場、大弓場がならんだ。明治も末期になると、新京極は千日前・浅草とともに、日本三大盛り場のひとつといわれるようになるのである。

5．沿道商店街のフレキシビリティ

新京極を構成する商店の変遷をみると、時代時代の社会の状況に反応して、さまざまにその業種・イメージ・形態を変化させてきている。地区を構成しているおのおのの施設が個別にこの変化に対応してきているばかりではなく、それらが集合した群として、繁華街全体の機能やイメージもまた変化してきているのである。

『新京極百年史』によれば、新京極開設以来続いている施設は、173施設のうち５施設にしかすぎない。大正初期から昭和16年の30年間で、何がしかの変動のあった施設が３分の２、昭和16年から昭和47年までのほぼ30年間で、同様のものが４分の３にも達している。昭和47年から昭和51年までの４年間で、173施設のうち26施設（15％）に変動がみられる。繁華街の現代性は、諸施設のダイナミックな新陳代謝によって保障されているのである。

6．複合商業ビル

ひとつの百貨店がとりあつかっている商店の数は数万種あるといわれるように、百貨店はあらゆる商品をコンパクトにまとめたパッケージである。その意味で、百貨店は著しく肥大した万屋である。

形態的には百貨店に類似しているが内容の異なるものに複合商業ビルがある。再開発などで建設され、多種多様な業種があつめられている。(写真9)従前にあった商業施設が収容されることはもちろんであるが、建設コストをまかなうために多くのテナントをあつめるなどの工夫がなされる。



写真９　再開発された商業地区（神戸・三宮）

複合商業ビルの場合、フロアごとに業種が定められていることが多い。街路に直接接続している１階ならば、たとえそれがどんな業種であってもそれなりにやっていけるが、上階になるとそうはいかない。全館の構成がバラバラで、１階も３階も業種の特徴がないとすれば、おのずと低い階、とくに１階が有利になってしまう。そこで全館に客をひきつけるために、フロアごとに業種を決めようということになる。

最近はやりのショッピング・センターも、複合商業ビルのひとつに数えることができよう。ショッピング・センターは、都市郊外に、百貨店やスーパーなど大型小売店舗を核店舗として、各種専門店をあつめてつくったものである。広い駐車場をもち、家族ぐるみで利用できるレジャー施設を整えているものが多い。

7．街路性の演出

最近の日本の複合商業ビルのなかで、成功したといわれるものをみると、建物内の通路に、街路性をもたせる工夫をしたものが多い。街路性の演出はどのようなポイントでなされているかどうかということをみると、大まかにつぎの２点に整理することができる。

①公道からのアクセスの連続性の確保（外部空間）

たとえば

- 公道と建物の間に、広場的な空間を配する。
- 広場から建物内の通路へ視覚的な連続性をもたせる、など。

②視覚的な変化と広がり（内部空間）

たとえば

- 吹き抜けをとり込んで視覚的な変化と広がりをつける。
- 各店舗の構えを個性的にする。
- 植木など自然的なエレメントを配する。
- 床面を街路舗装のようにする、など。

建物内の通路に街路性をもたせるといっても、多くの場合、閉店時

には閉められてしまうのが普通である。店舗や通路の利用についても、一定の管理規則があり、これに従ってなされている。いかに街路的な演出がされても、それはあくまで疑似街路なのである。

8．空間変化のフレキシビリティー

新京極の例でみたように、商店には新陳代謝がつきものである。伝統を売りものにする老舗にしても、時代感覚は必要である。

複合商業ビルの場合、個々の店舗の業種的な新陳代謝にはそれほどフレキシビリティーがなくなる。たとえば、婦人服フロアの店舗がお好み焼屋をやりたいと思っても、多くの場合それは不可能になる。業種の変更は営業場所の移動につながる。

また、複合商業ビルでは、個々の商店のイメージはその複合商業ビル全体のイメージに従属してしまいがちである。個々の商店のイメージアップなどの営業努力が、直接的な効果として現れにくいのである。逆に、全体のイメージが効果的に打ち出されれば、個々の商店はその効果を強くうけることになる。そこでビル全体の総合的な運営が重要になってくるわけである。

複合商業ビルが、一定の経営者の統合的な意図により運営されている場合は、トータルイメージの演出もそれなりにうまくいく可能性がある。しかし、再開発ビルのような組合的運営では、全体イメージのコントロールはなかなか容易ではない。

このようなことを考えれば、商業地区の再開発においては、一つひとつの店舗ユニットがある程度の変化へのフレキシビリティーを確保できる構造をつくり出すことが望ましくなってくる。それは街路のもつ特性によってつくり出されるのではないだろうか。

ラ・パスの公設市場商人が、街路への進出の意向をもつことにも示されているように、道路沿いにあるということが商店にとっては根本的なメリットを保障している。現代都市における商業施設にとっても、このことは不変なのではないだろうか。

9．諸外国にみる商業空間の事例

複合商業ビルほど大規模ではなく、街路と密接な空間的連続性をもった商業空間を諸外国の事例からひろってみると、つぎのようなものがある。

ひとつは、パリのシャンゼリゼー沿道のパッサージュ・コベルノと呼ばれるものである。これは「覆いのある路地」とでも呼ぶことができ、沿道にすでに数ヵ所つくられているという。

パリの市街では、街区は中庭を囲んだロの字形の建物で構成される場合が多いが、この中庭を活用して商業空間がつくり出されている。シャンゼリゼーに沿った建物に入口を設け、中庭を囲んで新しい商店群をつくり出すのである。パッサージュ・コベルノは公道と直接連結されているから、公道の延長のような空間になっている。(写真10)



写真10　覆いのある中庭を囲む商店群（ミュンヘン）（撮影：角野）

このような商業空間はパリに限ったことではない。ミュンヘンなどヨーロッパの主要な都市では随所にみつけ出すことができるのである。最近、神戸の北野町界隈でつくられているいくつかの商業空間は、このパッサージュ・コベルノの小規模なものとみることができる。

パリよりもパリらしいといわれるブエノスアイレスにも独得の商業空間が形成されている。ブエノスアイレスのフロリダ通りの沿道にあるショッピング・ギャラリーがそれである。沿道の建物の1階部分に路地のような空間があり、これに店舗が面しているわけである。通り抜けになっており、通行人は夜の閉店後でもここをウィンドー・ショッピングしながら、通路として利用できる。公道のネットワークが補強されているのである。

このようなショッピング・ギャラリーは、ブエノスアイレスにかぎらず、サンパウロなどでも散在的ではあるがみかけることができる。(写真11)複合商業ビルの一種とみることもできるが、街路の延長としての空間が軸になっているのである。

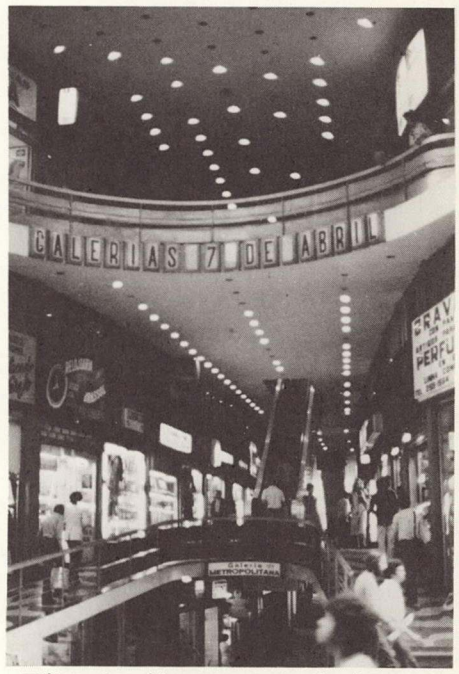


写真11　サンパウロのショッピング・ギャラリー
（撮影：H. Yamaki）

10．自由空間を重視した商業空間

街路のもつ特性を簡単にいえば、ひとつには公道として連続していることである。そのために誰でもいつでも利用が可能である。このような空間は街路以外にもあり、これらを総称して筆者は自由空間と呼んでいる。

自由空間を軸とした商業空間の再編といえば、ショッピング・モールがまずあげられる。公開された共用の中庭を囲んで形成された商業空間もまたそうした事例のひとつである。

複合商業ビル化は、商業地区の再編や創出のためのひとつの手法ではあるが、これを構成する個々の商店が変化へのフレキシビリティーを確保できないきらいがある。全体的なイメージと管理が優先してしまうためである。

前述のパリとブエノスアイレスの商業空間の事例は、自由空間を軸とした商業空間の事例である。日本の複合商業ビルに比べれば小規模であるが、街路と緊密に結びつくことによって、商業空間としてのメリットを保持している。そうした商店群がまた、都市空間に変化をもたらしているのである。

自由空間化は商業空間成立の基本的な条件である。日本の都市空間においても、こうした空間を軸とした新しい商業空間の形成に期待したいものである。

（なるみ　くにひろ　大阪大学助教授〈都市計画〉環境工学教室）

3

ケース・スタディ

大阪・京都・神戸の商業空間

金澤成保／斎藤侑男／田中直人

●商業空間をとりまく新しい状況

商業空間は、いつの世も都市生活に欠かせないものだが、生活レベルの向上や余暇時間の増大の中で、近年、生活環境における比重をさらに大きくしている。商業空間が地域のセンターとしての機能を高めるとともに、固定客や目的買いを対象としていた店舗そのものも、不特定多数の人々に対し、より〝開かれた〟構造をもちはじめている。このように、現代の都市生活における商業空間の公共性はますます高まる傾向にあるが、それらが形成する景観も、生活に密接なるがゆえに重要性を増してきている。

商業空間の機能や環境形成面での公共性が高まる一方、安定した成熟社会への移行にともない、〝豊かさ〟や〝うるおい〟が商業空間の中にも求められてきている。いいかえれば、消費者の文化、レジャー指向やアメニティ（快適性）の要求への対応であり、物やサービスを売るばかりでなく、魅力ある空間や相互交流の場、多角的な情報の提供やアミューズメントとの連係が要請されてきている。

このような状況の中で、最近の商業空間は、巨大化、複合化にともない、多様性や多機能を内在化することにより集積メリットを拡大する方向と、商品構成の専門化や商業空間そのものの個性化により個別化する方向とに分化する傾向にあるといえる。前者は、大規模なショッピングセンターや、文化施設・スポーツ施設あるいはホテルなどとの複合商業施設を典型としてあげることができる。大型店舗の進出に、地域の総合的な振興が求められる今日、欧米を先例とした、こうした商業空間が今後ますます整備されてくるものと考えられる。後者は、このケース・スタディで扱おうとしている、都心商業地や、周囲の良好な住環境や歴史的環境を背景として立地する店舗や中小の複合ビルに多くみられ、個性やアメニティを高めることにより顧客をつかもうとするものである。

このように商業空間が、より高度で快適なエンターティメントの場として変化する傾向に加え、つぎの三つの側面も今後の商業空間のデザインを考える上で重要であろう。

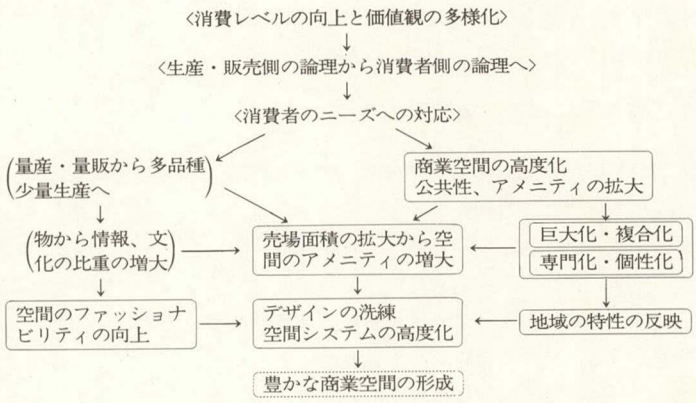
まず、土地の高度利用や施設の複合化の要請の中で、上層階への円滑な客動線の誘導や、豊かなコモンスペースを創り出す空間的な工夫や装置が必要となっている。

さらに、都市の〝主人公〟を自覚しはじめた市民がファッションを競い、情報交流をすることができる〝見られる場〟、〝舞台空間〟が求められ、いわば空間のファッショナビリティが都市の中に必要となってきたことである。

そして、商業空間がより市民生活に開かれつつある中で、地域のもつ資質や特性を取り込もうとする傾向が顕著になってきたことである。地域の歴史的、文化的脈絡、あるいは環境が空間のデザインの中に生かされはじめたのである。

さて、これまで商業空間をとりまく状況のいくつかにふれてみたわけだが、これらが商業という時代の変化に機敏に対応し、投資をおしまない業種の中にあらわれているがゆえ、商業空間の新しい発展の可能性は大きいものといえる。

現在、個々の建築レベルで展開されているデザインの工夫や、半公共的な空間の取り込みなどにみられる空間システムの高度化が、街全体のものに置きかえられていくとき、より豊かな商業空間、ひいては都市空間が形成されていくものと考えられる。



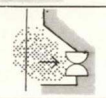
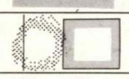
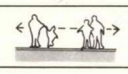
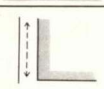
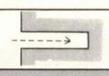
●ケース・スタディの方法

このケース・スタディでは、以上のような状況の変化や背景の中で、京阪神にどのような商業空間が形づくられてきているのかを、いくつかの地区で典型的な建築を選び、ながめてみようというものである。対象は先にもふれたように中小の店舗や複合ビルに限っている。商業空間は、端的にいえば、いかにして客の目を引き、店内に入れ長く滞在させて、消費者に育てあげるかのさまざまな工夫や手法の集大成ともいえる。このスタディではつぎに示すように、商業空間と外部空間あるいは客動線とのかかわりに注目し、平面、立面、断面の三つの側面から、その構成手法を分類してみた。

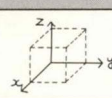
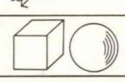
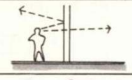
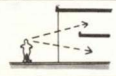
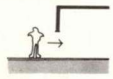
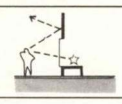
大阪はミナミ、京都は四条河原町、神戸は北野地区を中心に、上の分類をもちいて、その構成手法を考察するとともに、その地区の特性や傾向の把握をこころみてみよう。

かなざわ　しげもり　日建設計大阪支社都市計画部
さいとう　ゆきお　地域計画建築研究所
たなか　なおと　神戸ポートアイランド博覧会協会施設部建築課

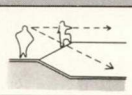
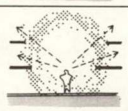
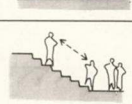
A　平面構成の手法

A—1	足まわり空間の演出		壁面後退(小規模なものも含める)、緑化(植樹、植栽からフラワーポットまで)、ペイブや装飾などによる演出
A—2	導入空間の拡充		入口まわりをひろげ、客の誘導。比較的大きな場合、ショーケースや店頭販売の場となる。さらに発展すると、広場空間の前面型となる
A—3	広場空間の創出		余裕、たまり空間の設定。客動線の導入のための媒介空間。コミュニケーション、待ち合い、休息、イベントの場、〝見られる場〟
a	前　面　型		建物の前面に配したタイプ。入口まわりの拡大と余裕、たまり空間の設定
b	内　包　型		建物の内部に設置したタイプ。客動線を奥に引き込み、各店舗との接触空間を大きくする。複合商業建築に有効な手法
A—4	とおり空間の設置		建物周囲の歩行者流動を緩和したり、客動線の建物への誘導をはかる
a	並　行　型		建物に並行して、道路側にとおり空間をもうけるタイプ。庇、歩廊などをほどこすものもある
b	直　行　型		客動線を奥に引き込む手法。奥行きの長い敷地や建物に対する一手法

B　立面構成の手法

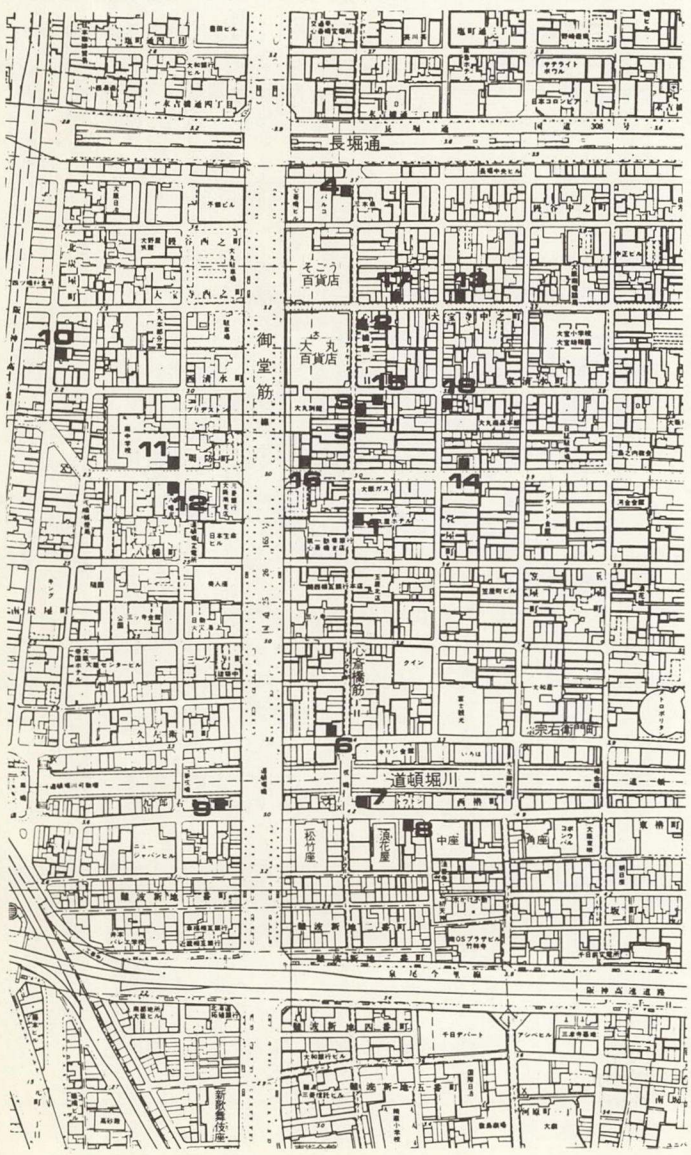
B—1	形態、立体構成の工夫		形態により、歩行者の目を引きつける。店のイメージ、メッセージを伝え、来店を誘う
a	フォルムの個性化		特徴的な形態をもちいるタイプ。一般に幾何学的な形態が多い
b	伝統的形態の利用 和　風		日本の伝統的な形態やエレメントを用いるタイプ。日本的商品を扱う店舗や、伝統的街並みが残る地域に多い
c	伝統的形態の利用 洋　風		西欧の伝統的な形態やエレメントを模倣するタイプ。洋装品やレストラン等の店舗や複合ビルにみられる
B—2	壁面の開放度の演出		壁面の開放度により、店のイメージや商品を伝えたり、想像させたりする
a	開　放　型		ガラス面により、店内の商品構成やイメージを直接伝えるタイプ
b	閉　鎖　型		店内を隠し、客のイメージや期待を喚起するタイプ。大売り出しなどのときの仮設の囲い壁もこの効果をねらったものと考えられる
c	額　縁　型		閉鎖した壁面と開放部分を対比、対置させることにより、開放部分のショーウィンドウ効果を高めるタイプ
B—3	看板、サインによる演出		看板、サインにより、直接的に店の業種、業態やイメージを伝える。壁面のグラフィックデザインを含む
a	文字、サインの強調		文字看板やサイン（ネオンサイン）により、存在やイメージを強調するタイプ
b	具象的形態の利用		店で取り扱う商品やイメージを、具体的な形態で表したサインをもうけるタイプ。壁面のグラフィックデザインも含む
c	伝統的形態の利用		のれん・ちょうちん・老舗の看板・びょうぶ等の和風や、洋風の看板・サインの利用

C　断面構成の手法

C—1	レベル差の演出		スキップフロアー、中間階の設置。見通しの拡大とレベル差の抵抗の緩和。客動線の立体化
C—2	吹きぬけ空間の設置		見通し、視界の拡大、上層階への誘導。余裕、たまり空間の設置。
C—3	階段の演出		通路空間から〝舞台空間〟へ、視界の変化、〝見られる場〟の演出。客動線の立体化

大阪ミナミ地区

大阪ミナミ地区



大阪ミナミは、道頓堀の開削と船場にあった芝居小屋が移されたことから、とくに元禄以降、上方文化のメッカ、「粋どころ」として栄え、近年ではキタの伸長にともない相対的な地位の低下がみられるものの、なお大阪府東南部をも含めた広域のセンターとして発展をつづけている。

また、ナンバシティやホテルの立地による高度な複合文化ゾーンの形成や、アメリカ村、ヨーロッパ村などにみられるファッショナブルな店舗の面的な展開が進んでおり、ミナミは文化教養から娯楽的欲求まで満たす、さらに幅の広い多様性に富んだ街へと変容しつつある。

ここで、今回とりあげた4地区の商業空間の構成手法にみられる特徴について簡単にふれておこう。

心斎橋筋には、高級衣料や装身具を中心とした多数の店舗が立地しているが、入口まわりのセットバックにより歩行者の来店を誘う手法が大半の店舗にもちいられ、また客動線の円滑化、立体化のため、スキップフロアーや階段の演出も多くみられるのが特徴で、アーケードがフレームとなって、立面構成は類型化されている。階段やレベル差が、通りに対する〝舞台空間〟としての可能性をもっており、個々の建築単位の半公共的な空間が連係され、さらに街区の広場へと発展することも含め、より豊かな商業空間の形成が望まれる。

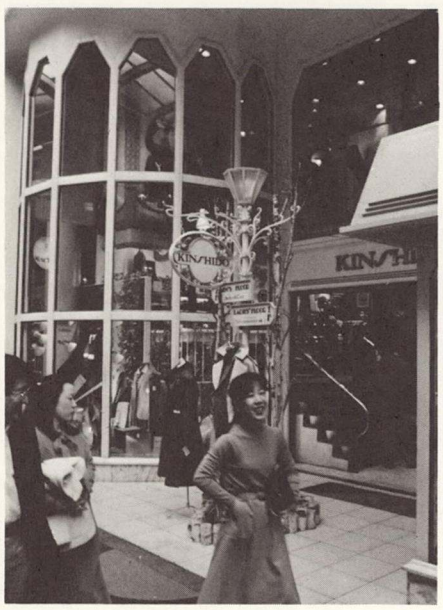
一方、道頓堀界隈は劇場、映画館と飲食、娯楽施設が集積した地区で、建築の空間構成よりも看板、サインで強烈な印象を与え、客寄せをはかる手法が一般である。文字や具象的な形態が多くもちいられ、大阪のもっとも〝土着的〟景観を形成している。

アメリカ村は、ヤングを対象とした輸入衣料、雑貨を扱う店舗を中心に、とくに円高を背景として立地してきたもので、道頓堀と同様、看板、サインにより自己表現をするものが多いが、アメリカやサーフィンを題材とするスーパーグラフィックやイルミネーションによりアメリカ西海岸のイメージが想起される。

ヨーロッパ村は、心斎橋筋や大丸、そごうからの歩行者のにじみ出しを受ける形で形成されてきた地区で、ヤングアダルトを対象としたブティックや高級衣料、装身具店や画廊、レストランなどが立地してきている。一般にヨーロッパ風を思わせる素材やデザインボキャブラリーの利用がみられるが、前衛的なデザインもみられ、料亭、飲食店の和風店舗とともに、多様性に富む商業空間となっている。比較的規模の大きなものには、入口まわりのセットバックがみられるが、少数であり、また、建築内部に広場などの半公共的空間を取り込むような工夫がみられないのが残念である。個々の建築の質の向上ばかりでなく、この地区の場合、歩行者空間をより豊かにし、ネットワーク化することが、今後の発展に大きく寄与するものと思える。

ミナミは、キタにはない面的な街のひろがりの中に、多様な商業空間をかかえており、界隈性や回遊性のおもしろさ、楽しさをもっている。また、江戸以来の芸能、文化の蓄積や、道頓堀にみられるオープンスペースのひろがりをもっており、こうした地区の特性や資質を生かし、さらに新しいものを付加しながら発展していくことが望まれる。とくに、心斎橋筋にみられる半公共空間の形成の芽生えを地区全体にのばし、建築レベルから街区レベルへ発展させ、歩行者空間の高度化とアメニティの増大をはかることが、近年商圏をせばめつつあるミナミの活力を高めるのに有効な方法となると考えられる。

心斎橋

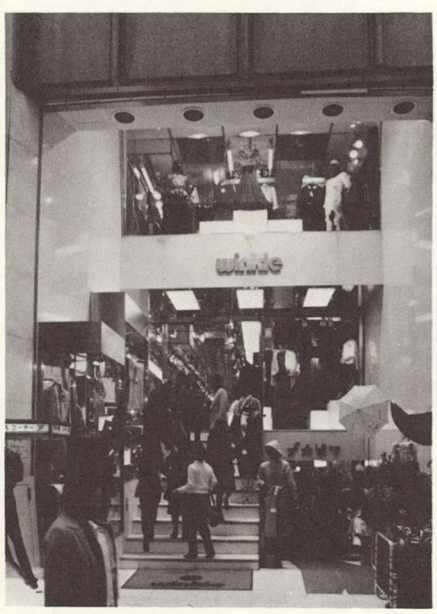


1

KINSHIDO

平面構成	A－2
立面構成	B－2 a）
断面構成	C－1、C－3

入口部分を大きくセットバックし、客の導入をはかる手法は、心斎橋筋では大半の店舗でもちいられている。
この洋装品店もその例で、内部は小さな段差により、商品をみながら、ゆっくりと２階へ上がることができる。



2

Winkle

平面構成	A－2
立面構成	B－2 a）
断面構成	C－1、C－3

導入部分のセットバックは、１の例と同じだが、この婦人店の場合、建物の中央で半地下と中２階へ導く階段を分けている。
こうしたレベル差の工夫により、客動線の誘導や見通しの良さを確保する例は、心斎橋筋で多くみられる。階段上の人の動きが、つぎの客足を誘発させる。



3

プレミエ、RAIKA

平面構成	A－2
立面構成	B－2 c）
断面構成	C－3

この店舗も、入口まわりを大きくセットバックしているが、２階への階段がよく演出されており、上下する客自身の〝見せ場〟にもなる。
２階店舗の額縁型のショーケースとトレードマークが効いている。

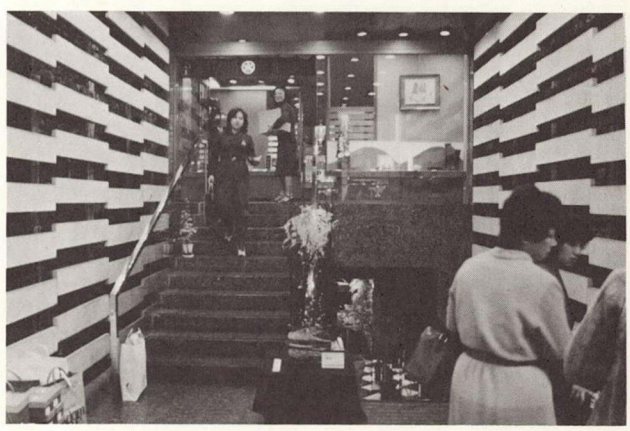


4

PARCO

平面構成	A－3 a）
立面構成	B－2 a） B－3 a）
断面構成	C－2

入口まわりのセットバックが広場に発展した例。待ち合わせや立ち話、休息に使われている。鮮やかなサインとイルミネーションが印象的。壁面はガラスの開放型で、入口を入ったところに吹きぬけをもうけている。



5

たち吉

平面構成	A－2
立面構成	B－1 b）
断面構成	C－1、C－3

入口部分を大きくセットバックした例の一つで、２と同様、スキップフロアーにより商品展示スペースの区分とレベル差による客動線の抵抗を緩和している。中２階は和風のディーテール、入口まわりは御影、大理石の自然石をもちいて、高級イメージを出している。



6

吉本ビル

平面構成	A－4 a）
立面構成	B－2 a）
断面構成	——

宗右衛門町通りに面し、歩廊をもうけた例で、西隣に建つホリデイ・イン・南海のセットバックによる歩道とつながっている。このように民地側でも歩行者空間の形成が進み、ネットワーク化されていくことを期待したい。
ベンチ、テレホンボックス、フラワーポットが置かれている。

道頓堀　アメリカ村

7



壁面に岩や和風のディーテールをあしらい、大きな動くカニを配した、もっとも即物的表現に徹した例。一つのランドマークになっている。
道頓堀界隈では、こうした具象的な形態を看板、サインにもちいる例が多くみられる。

かに道楽

平面構成	——
立面構成	B－1 b) B－3 b)
断面構成	——

8

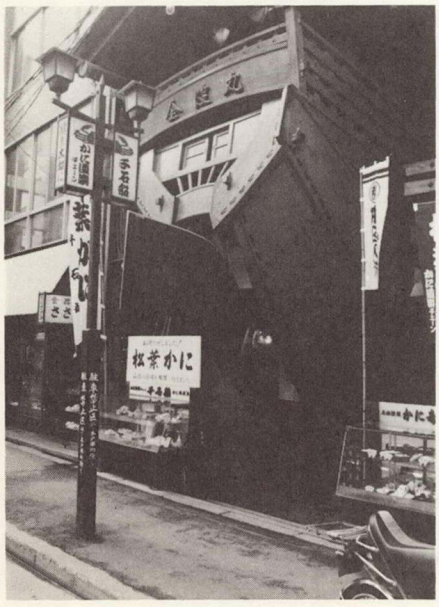


多数の文字看板やショーケース、動く人形を店頭に配し、さらに太鼓の音やＣＭ音楽を流して客寄せをはかる。
建築そのものよりも、文字、サインにより存在とイメージを伝える、道頓堀の界隈の代表例。

くいだおれ

平面構成	A－2
立面構成	B－3 a)
断面構成	——

9



千石船

平面構成	——
立面構成	B－2 b) B－3 b)
断面構成	——

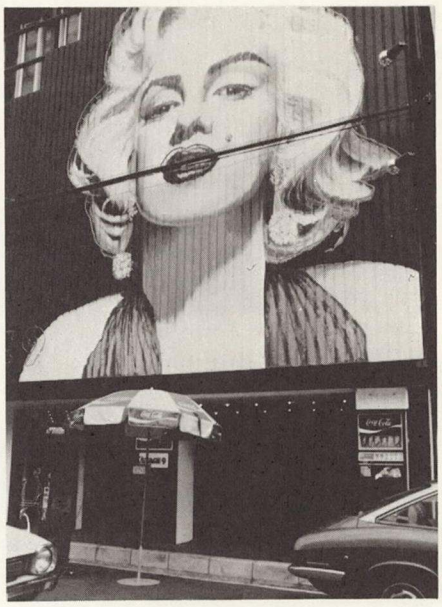
入口に千石船の船尾をそのまま設置し、存在の誇示、明解なイメージの伝達をねらった例で、やはり具象的形態による看板、サインの典型といえる。
入口まわりは狭く、船底へもぐり込むような印象を与える。

10

STAGE 9

平面構成	A－4 b)
立面構成	B－3 b)
断面構成	——

壁面いっぱいにひろがるマリリン・モンローのスーパーグラフィック。ネオンサインやイルミネーションによる夜間の演出効果もきわだっている。
内部に通りぬけの通路をもうけている。
輸入衣料、雑貨、喫茶店等の入る複合ビル。



11

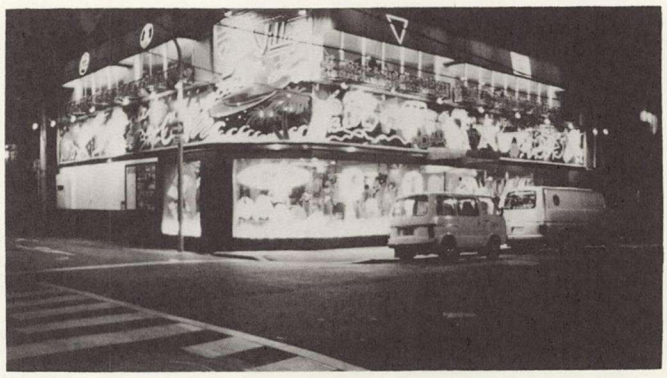


アメリカ村

平面構成	——
立面構成	B－1 c) B－3 b)
断面構成	——

看板に描かれたサーフィンのグラフィックデザイン。１階まわりは杉板の下見張りで、アメリカ西部を思わせる。
輸入衣料、雑貨の仮設的な共同店舗。

12



Sun Village

平面構成	——
立面構成	B－2 a) B－3 a)
断面構成	——

オフィスビルの１、２階に入る洋装品の店舗で、腰壁をスーパーグラフィックやネオンサインで飾り、効果を出している。
１階部分はガラス面を多用し、店内の見通しをよくしている。

ヨーロッパ村



13

GALVA 21

平面構成	A－2
立面構成	B－1 c） B－2 c）
断面構成	C－1、C－3

ヴォールト状に入口まわりを大きく穿ち、街灯やサイン、フラワーポットで演出。スキップフロアーにより、半地下、中２階へ客動線を誘導。内部階段はミラーガラスにより〝見られる場〟を演出。
外装はレンガタイルで、中央の開口部と、コーニスでアクセントをつけている。



14

OXFORD

平面構成	A－2
立面構成	B－1 c）
断面構成	C－2、C－3

入口まわりを大きくセットバックし、前面いっぱいにガラス面をもちいて、ファサードを構成。内部に吹きぬけとラセン階段をもうけている。
側壁は割肌のレンガ張りで、屋根は鉄板勾配屋根で、ヨーロッパ風な格調を演出。紳士服店。



15

The Barerly Hills

平面構成	——
立面構成	B－1 c）
断面構成	——

勾配屋根にスペイン瓦をのせ、３連の円窓と窓まわりのレンガタイルにより、洋風のイメージを出しているが、青の楣や窓のデザインなど、ベンチューリー風の効果をねらっているものとみえる。
１階まわりは、白板の下見張りでコテージ風。婦人服店。

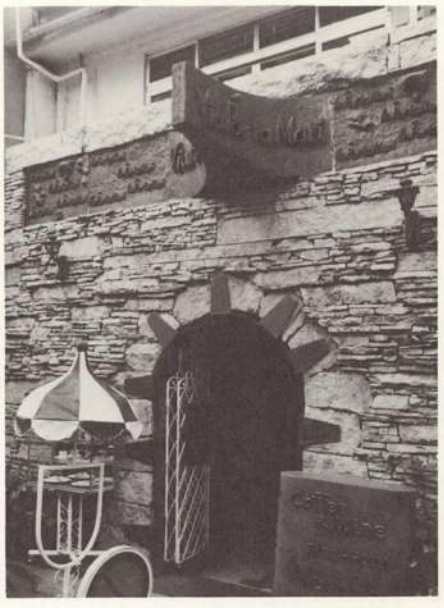


16

BOUTIQUE KURO

平面構成	——
立面構成	B－1 a） B－2 c）
断面構成	C－3

中央に階段コアのシリンダーを置いたシンメトリーな構成で、半円柱と立方体を組み合わせた形態と、黒御影の外装により、特異な建物となっている。高級婦人服店。
シリンダー内のラセン階段で２階のオーダー室、３階の事務室へ導かれる。



17

Via Porta Mari

平面構成	——
立面構成	B－1 c） B－2 b）
断面構成	——

乱石張りファサードと彫塑的な看板により、独特な雰囲気を出している。ヨーロッパの城壁や地下倉を思わせる。壁面を閉鎖することによって、イメージや興味を喚起する手法をもちいた典型例。
ジャズ喫茶。



18

HITUJIYA

平面構成	——
立面構成	B－1 a） B－2 c）
断面構成	——

モンドリアン風の窓割りや、入口まわりと無機的な壁面との対比がおもしろい。額縁的効果により、ショーウィンドウが生かされる。婦人服、アクセサリー店。

京都四条河原町界隈

最近、京都の商業地図には一つの変化が生じている。昭和56年春、京都駅前に初の地下街「ポルタ」がオープンした。
これに対して都心商業地、四条河原町でも新たな動きが現れてきている。京都都心の敷地規模は概して小さく、またほとんどの道路にアーケードが架かっていることもあって、大規模な公共空間の形成といったものは少ないが、限られた間口と開口高さの中で、ファサードデザインに改めて丁寧な注意が払われるようになり、また露地空間を取り入れた店づくりなどの工夫が行われてきている。
デザインの方向は、一つには伝統的意匠に向かうもので、みやげ店が増えている（新京極など）ことも相まって民芸調の店が目立つようになってきている。反対に、ポルタ（大阪、神戸、東京の入店者が多い）に対抗して、最新のデザインを取り入れた店づくりを行うものも増えてきている。

京都四条河原町





1

1 みやげ店	
平面構成	——
立面構成	B－1 b）
断面構成	——
2 和菓子店	
平面構成	——
立面構成	B－1 b） B－3 b）
断面構成	——

和風の伝統的形態を利用するものの一つの方向。より本物らしく造る。



2

1 みやげ店	
平面構成	A－2
立面構成	B－1 b）
断面構成	——
2 和菓子店	
平面構成	——
立面構成	B－1 b）,B－2 b） B－3 c）
断面構成	——

和風の伝統的雰囲気を利用するもの。プロポーションやディテールを新しい材料や形態の中で活用している。





京都

四条河原町界隈

3



朝日会館

京都にはめずらしい列柱と吹きぬけ歩廊。建物ボリウムも比較的大きく、河原町の北のメルクマールの一つとなっている。

平面構成	A－4 a）
立面構成	B－1
断面構成	C－2

4



和光ビル

四条通に面する複合ビル。四条通では、業務ビルにあっても1階部分を商業的用途とするか、または壁面を開放することを申し合わせている。このビルでは前面を二層吹きぬけのホール広場とするほか、2階を喫茶店としている。

平面構成	A－3 a）
立面構成	B－2 a）
断面構成	C－2

5

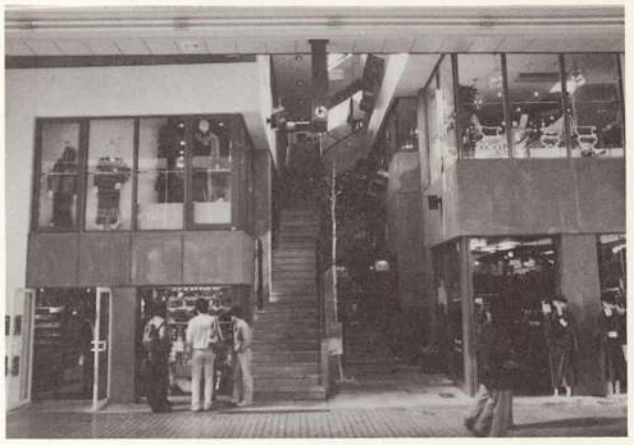


みやげ店

前面を寺町通り、後面を御幸町通りに面し、その間に店内通路をほぼ一直線に通す。通路の床の仕上げも寺町通りの舗装材に揃えている。

平面構成	A－4 b）
立面構成	B－2 a）
断面構成	——

6

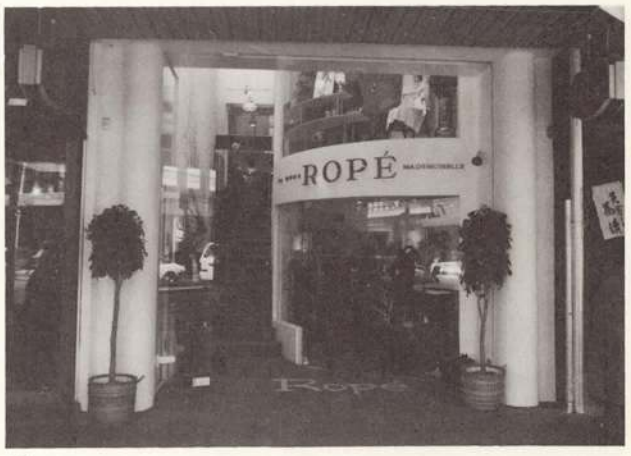


詩の小路ビル

一つの建物敷地の中央にまっすぐな通路と階段をもった吹きぬけを設けたビル。この小路に向かって重層して店舗が口を開いた現代の「図子」(＝小路)

平面構成	A－4 b）
立面構成	——
断面構成	C－3

7



ROPE'

アーケードから独立して3階まで立ち上がるR形の店舗と、入口の吹きぬけ。そのスキ間の奥に2階へ導く階段が続いている。

平面構成	A－2
立面構成	B－1 a） B－2 a）
断面構成	C－1

8



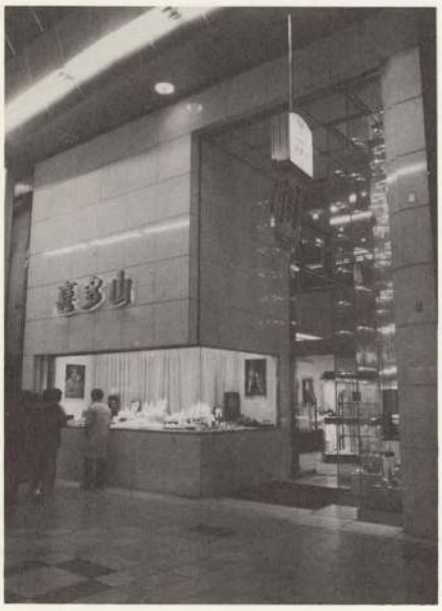
TEA ROOM KUMA

階段を見せることが、店のイメージをつくりあげている。

平面構成	——
立面構成	B－2
断面構成	C－3

京都　　。　　°

四条河原町界隈



9

喜多山

平面構成	A－2
立面構成	B－2 a）
断面構成	C－2

二層分吹きぬけの額付き入口を、開放的なガラスでデザインしたもの。くり抜いたショーケースが形態上の特徴を複雑にしている？



10

洋装店

平面構成	——
立面構成	B－2 a）
断面構成	——

奥行き約１メートルの小さな店。ガラスによる開放的デザインが、この一角の雰囲気を変えている。



11

RICHFIELD

平面構成	A－2
立面構成	B－2 b）
断面構成	——

白い額縁と、その奥にある扉。間口の小さな店が、印象深いものとなっている。



12

COUNTRY INN

平面構成	A－2
立面構成	B－2 b）
断面構成	——

同じく閉鎖型のファサード。開いた扉の奥に続く通路と白熱灯の色が特徴となっている。

13

洋品店

平面構成	A－2
立面構成	B－2 c）
断面構成	——

寺町に口を開いたブティック。寺町の新しい店の特徴の一つである。





14

三金堂

平面構成	A－2
立面構成	B－3 a）
断面構成	——

店舗看板の文字が店の型を定めているもの。導入部分の拡充がなされているが、その前にショーケースを置いてしまっている。

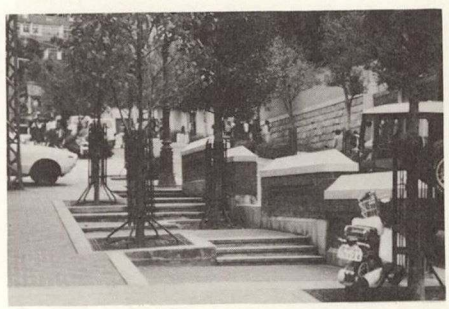
神戸北野地区

神戸・北野町は、異人館のある街として近時クローズアップされ、これに対応した市の道路、ストリートファニチュア等の環境整備もすすんでいる。
商業空間全体のイメージは、神戸の特徴的坂道にクロスする通りに面した、ファッション関係の建築が中心である。
敷地としては、かなり小規模で不整形のものが多く、この条件を逆に利用して、商業空間として特色のある空間構成を有するものが多いといえる。
建築の外観デザインについては、洋式の伝統的形態を継承するものと、近代的フォラムの中で新たな街のイメージをめざすものとがあるが、前者の場合が主流であるといえる。
市において指導推進しつつある都市景観条例の中で、今後、どのような商業空間が出現し、どのような街並みが定着するか注目されるところであるが、建築単体の中で閉鎖された中に都市をつくる手法と並行して、都市的スケールのひろがりの中で、商業空間としての整備手法が期待されるところである。

神戸北野地区

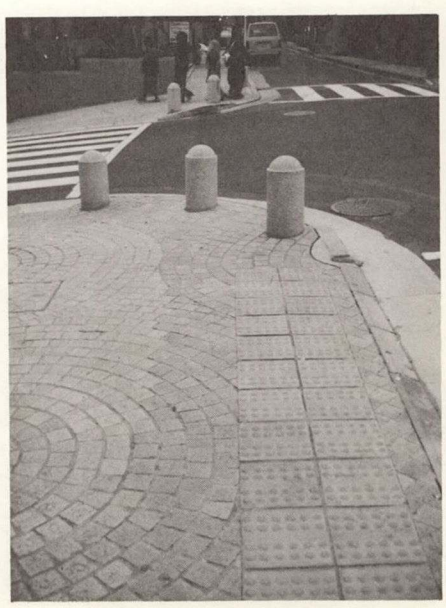


0－1　街路の整備
坂道のデザイン



北野町の街としてのアメニティを高めるため、とりわけ〝異人館〟という遺産を古いままで残すのではなく、新しくつくられる建築物と同様、それらのエレメントを包絡する通りに街路灯、ペーブメントの扱いに工夫し、表情をもたせる演出を試みている。この整備を自治体の手ですすめていくところに神戸の公共空間に対する整備の姿勢がうかがえる。

0－2　街路の整備
交差点のデザイン

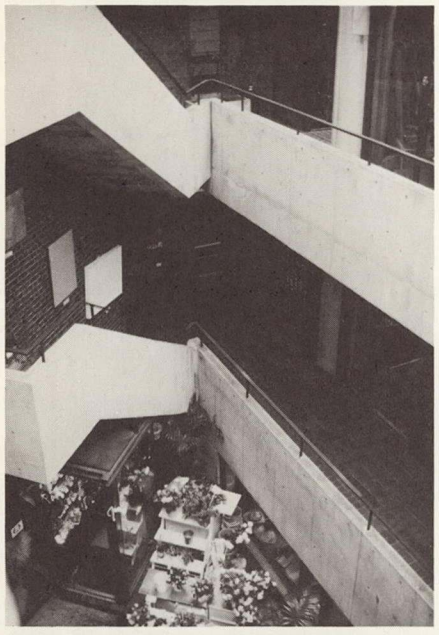


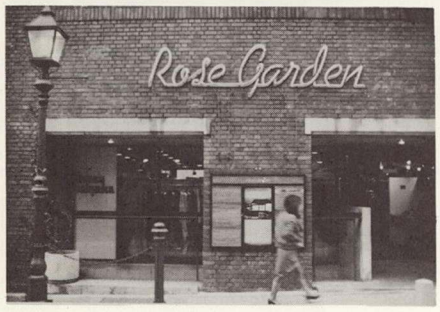
舗装材料、仕上げについても街としての表情をもたせるための工夫がうかがえる。またバリカーのデザインにも異人館の街北野のエレメントとしての質を保持しようとしている。身障者に対する段差の切り下げ、点字ブロックという福祉のまちづくりのディテールもこの中に融合されている。

北野地区

1

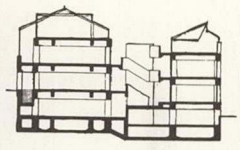






ローズガーデン

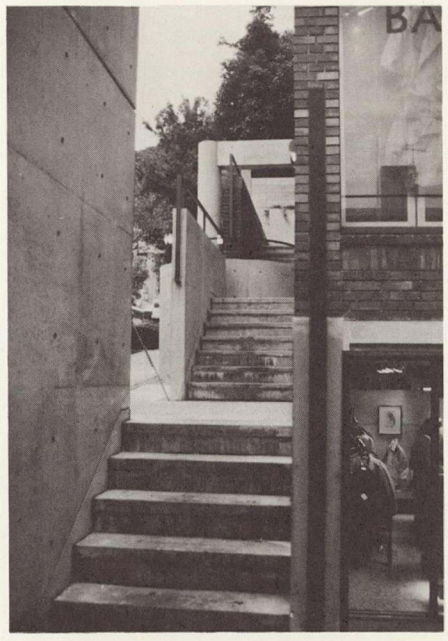
平面構成	A－3　b）
立面構成	B－3　b）
断面構成	C－1、C－2 C－3



北野町の洋風建築群に対し、イギリス積みレンガ壁によって、街並み形成上、地域のイメージを継承している。
平面的には南北２棟の間に中庭をもつものであるが、敷地の高低差をたくみに利用し、この中庭空間のまわりに、スキップするデッキと角度のついた階段を配し、街の中のアルコーブ空間として、空間的連続性と広がりを演出している。

3

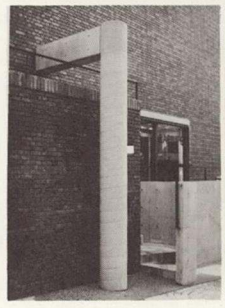


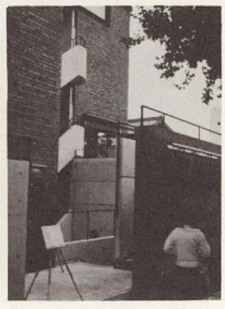


リンズギャラリー

平面構成	A－4　b） 2 F／A－3
立面構成	B－2　b）
断面構成	C－2

坂道に面する二つのアプローチは、内部で階段を通じて一つになる。
２階屋上が、さらにつぎのアプローチに対する広場として、階段ともども吹きぬけ空間に対する空間的余裕と見通しを与える。
レンガ張りの壁面に対する打ち放しの円柱の形態の中に、伝統的肌合いと、近代的フォルムの共演を感じる。





2



キングスコート

平面構成	A－4　b）
立面構成	B－2　b）
断面構成	C－3

前面道路に対して開かれた導入空間は、各店舗の顔に面した中庭空間でもあり、その中にしつらえられた街灯や植栽によって、中庭のイメージをそれなりに演出する。
中庭突きあたりの階段は平面的に印象付けられがちなこのブロックに、吹きぬけ空間的効果をもたらす。



構造の頁

90 プレストレスト鉄筋コンクリート(PRC)構造(その3)

鈴木　計夫

6．その他設計に関連する主要規定

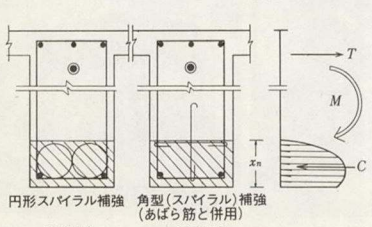
コンクリートの設計基準強度：コンクリート強度は、原則として240kg/cm²以上とする。これは局部強圧の生じるPC鋼材定着部の耐力について強度の低いコンクリートの場合の実験資料が少ないための安全策と、コンクリートの単位水量を抑えてクリープ、乾燥収縮の影響を少なくするためであり、また施工実績が少ない現状と広範囲な発展が期待される近い将来での品質確保を考慮したものである。

鉄筋(PC)鋼材とコンクリートのヤング係数比(n)：コンクリート強度が300kg/cm²以下であれば、学会RC規準と同様n=15としてよい。断面にPC鋼材が用いられていても、プレストレス導入後グラウトが施工されればその後は普通鉄筋と同様に挙動するので、PRC部材はプレストレス力という軸力を受けるRC柱材となる。この規定によって、長期荷重時の許容応力度設計をRC規準に準じて行えるようにしたものである。

PC鋼材のかぶり厚：かぶり厚10cm以上、ただしその高さ位置の表面ひびわれ幅が0.1mm以下である場合はこの限りでないことが、構造細則で規定されている。したがって前報表一1の$\text{III}_{o.1}$の部材の場合は、PC鋼材は鉄筋位置まで下げることができる。また$\text{III}_{o.2}$のはり丈の大きい部材では0.1mmを越す場合も考えられるが、実用の便を考えてこれは無視することにした。

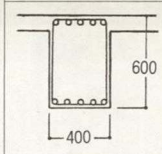
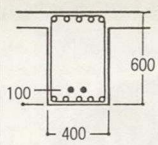
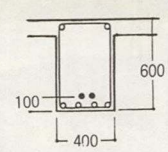
鉄筋係数(q)：引張側のPC鋼材も加えてこの値を0.25以下とする。この値が大きいと一般に断面のダクティリティすなわち変形能力が小さく脆い破壊をするようになるので、それを防ぐための規定である。なお設計上の都合でこのqの値を大きくせざるを得ないときもあるので、その場合の対策として図－7に示すような断面曲げ圧縮側をコンファインド(横方向拘束)コンクリートとする新しい補強方法が解説に提示されており、これによってqの値は0.35～0.40程度まで増すことができる。

このほか、**せん断に対する設計法**は、学会RC規準と同形の算定式にプレストレスの効果として平均プレストレスの10%を加えたものとし、同RC規準の短期許容せん断応力度を用いて短期荷重時に対するせん断耐力の安全度を検討する方式を採っている。この方法によると、荷重係数の関係で長期荷重に対しては普通の場合自動的にその許容耐力が満足されるので長期時の検討が不要となる。



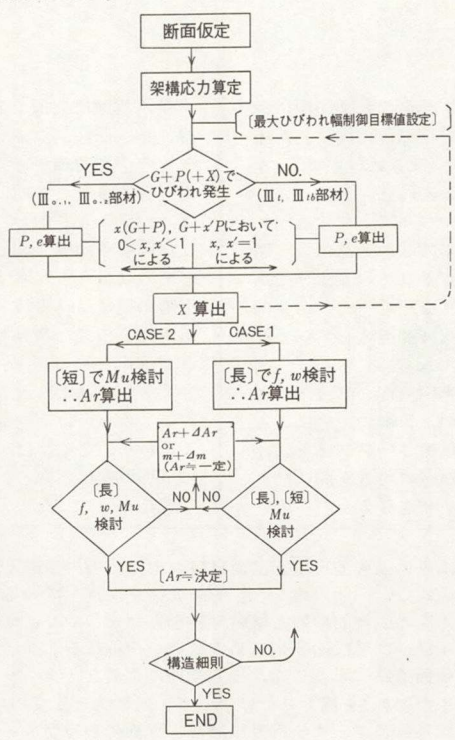
図－7　曲げ変形能力(じん性)増大の方法

表－4　満天商会建物の大ばりの検討断面と諸量の比較[10]

	A：RC断面	B：実施断面	C：PRC断面
断面			
	上下筋とも 5-D25	上下筋とも 5-D25 PC：アンボンド SWPR-7B 2-15.2φ	上筋 2-D22 下筋 4-D22 PC：アンボンド SWPR-7B 2-15.2φ
ひびわれ幅 CEB-FIP(1978)式	0.170 (mm)	0.042 (mm)	0.077 (mm)
ひびわれ幅 鈴木式	0.145	0.031	0.076
ひびわれ幅 森田式	0.148	0.035	0.078
ひびわれ幅 ACI(318-77)式	0.160	0.062	0.106
ひびわれ幅 E. W. Bennett 式	0.221	0.098	0.146
平均有効プレストレス	—	8.8kg/cm²	8.8kg/cm²
Mu(RC)=7/8 Tod	36.6t·m	36.6t·m	22.4t·m
Mu(PC)=$Tp(dp-\alpha/8)$	—	14.8t·m	14.8t·m
Total Mu	36.6t·m	51.4t·m	37.2t·m

7．設計の要約

設計に関する指針のごく概略の内容は以上のようなものであるが、それに基づく設計の概要が理解できるよう図－8に設計のフローを示す。同フロー図のx、x'の値は小さければRCに、大きくなればPCに近づくが、指針ではこの値を設計者が判断して定めることになっている。この値の定め方や、またそれによって算定されるP、eの算定法については文献1)、7)を参照されたい。



〔記号〕
G, P：固定および積載荷重による応力
X：PS導入時不静定二次応力
〔長〕、〔短〕：長期および短期設計荷重時応力
Ar：普通鉄筋断面積
ΔAr：追加鉄筋断面積
f：材料の許容応力度
w：ひびわれ幅制御目標値
$m, \Delta m$：鉄筋本数および追加本数
Mu：曲げ破壊モーメント

図－8　PRC部材の設計フロー

8．設計例

この2、3年、PRCあるいはひびわれ制御の考えを入れた設計が次第に増えているが（たとえば8)、9))、残念ながら現在関連告示は案作成の段階であるため、PRC構造は建築センターの審査を受けなければならない（ただし今回学会の指針が示されたので、この審査の判断もきわめて容易になったと考えられる)。また加えて新耐震基準の施行とも重なっているので、目下多分に過渡的状態にあるが、それにもかかわらず先駆的構造家は種々新しい試みを行っている。

新耐震基準施行後の物件としては、東京の独協大学(大林組設計・施工)、京都の日本材料学会(近畿建築構造研究所設計、鴻池組施工）などがあるが、ここでは設計手法で建築センターの審査を回避してPRC構造とした満天商会（鴻池組設計・施工）の建物を簡単に紹介しょう(詳細は文献10)を参照)。3階建のその建物の主要部である12×12mの空間を支えるスパン12mの交叉床ばりを、まずRC造として設計し、それにひびわれ制御用のアンボンドケーブルを使用してPRCとしたものであるが、この建物ではこのほか壁にもアンボンドケーブルでストレスを導入してひびわれ防止を計るという新しい試みを行い見事成功している。表－4に、実施した断面および比較用PRC断面とそれらの関連データが示されているが、AのRC断面と比べてCのPRC断面は同じか、それ以下の価格で済むことが推測される。ちなみに実施したBの断面のケーブルと壁に用いたケーブルのコスト増加分は建物工事費1億に対してわずか170万円程度であった。

9．あとがき

このPRC構造への一般の技術者の関心の高さには筆者の方がむしろ驚かされている昨今であるが、学会指針(案)に続いて近いうちに示される告示などによって、RC、PC構造の欠点を巧く解消し設計の自由度を一挙に拡大するPRC構造が、コンクリート構造物に広く利用される時代が間近にせまっている。

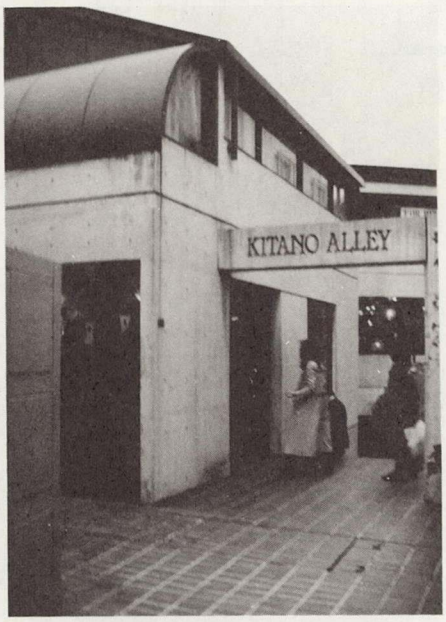
文献

7）鈴木計夫；日本建築学会プレストレスト鉄筋コンクリート(Ⅲ種PC)構造設計・施工指針(案)について；プレストレストコンクリート、Vol. 24, No. 1, 1982·1(予定)
8）沢田、北條、岡本；スパン8.48mを無梁で支持するPRC中空合成床版；日経アーキテクチュア、1980·12·8
9）阿部陞；食堂部分に架けたスパン15mのPRC交差ばり；日経アーキテクチュア；1980·12·8
10）亀谷、松谷、他4名；RC建築物におけるアンボンド工法の利用；建築技術No. 361, 1981·9

(すずき　かずお　大阪大学助教授・工博)

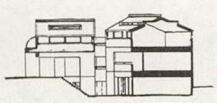
北野地区

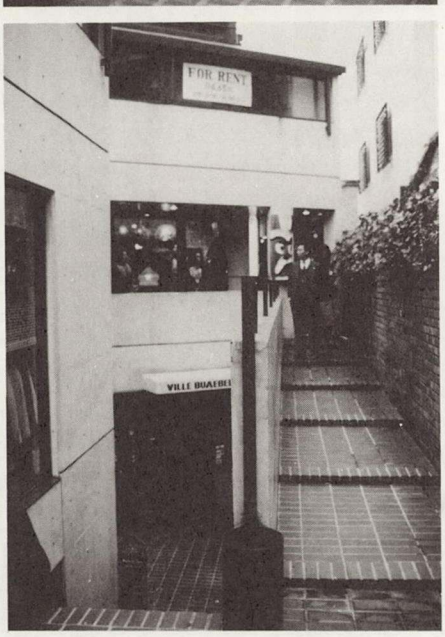
4



北野アレイ

平面構成	A－3　b） A－4　b）
立面構成	B－3　b）
断面構成	C－1、C－2 C－3





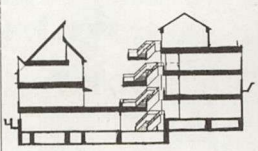
不整形な敷地の中に配した２棟に囲まれた中庭(吹きぬけ空間)へ至る階段と、スキップしレベルアップする別の階段状の通路には、閉ざされているようでありながら、つぎの空間へ展開導入していくリズムを感じる。
半円筒形の階段と、この三角形の中庭による幾何学的形態は、道路からの導入空間にひろがりを与える。

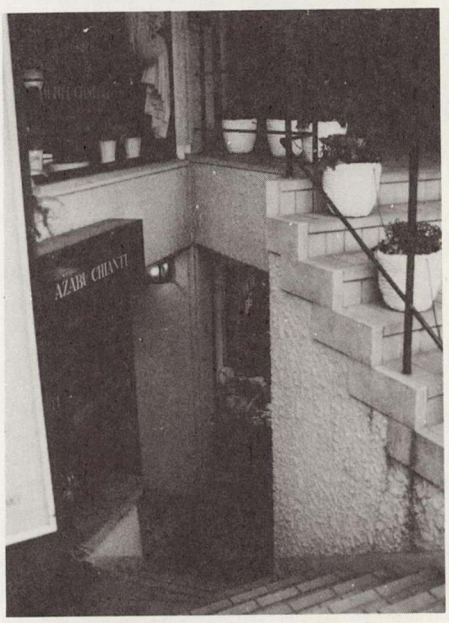
5

異人館クラブ

平面構成	A－3　b） A－4　b）
立面構成	B－2　b）
断面構成	C－1、C－2 C－3





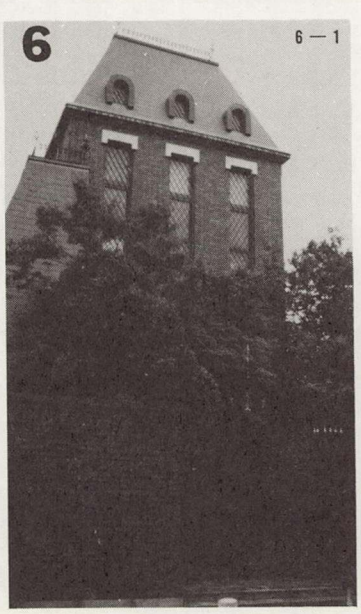






交差点角地に立地する特性を、伝統的ファサードの中で強調する。
内へ導入された空間には、パティオを配し、これに吹きぬけ空間としての効果をもたらす上階の構成は、階段の演出によって一層楽しさが演出される。
中２階と半地階へ導入するようなエントランスまわりの空間には、レベルの変化の楽しさを感じる。

6



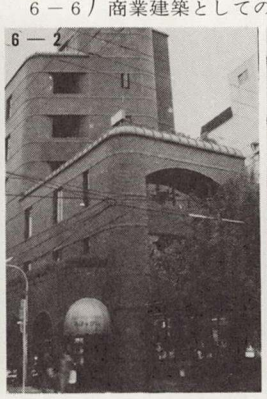
6－1）
6－3）　洋風の伝統的形態と壁面材料の中に、街の景観との融合をはかると同時に、一個の建築としての表情を保持している。

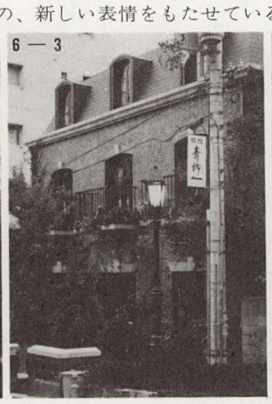
6－2　洋風の伝統的形態と壁面材料をもたせつつも、壁面の曲線、窓の取り扱いに現代的商業建築の扱いがみられる。

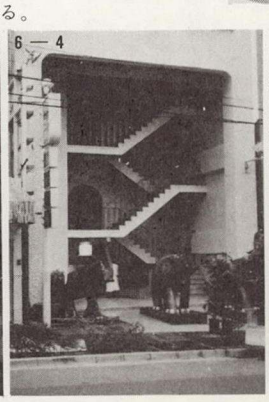
6－4　前面道路に入りこんだ導入空間に奇異な(?)モニュメント(この場合は象の彫刻)を置くことによって、建築物としてのイメージを形成。

6－5）
6－6）　建築物のコーナー部分に対し、壁面の額縁型的デザインを取り入れ、商業建築としての、新しい表情をもたせている。











設備の頁

89

屎尿浄化槽(その2)

宮城　透

本号では浄化槽そのものを扱う上での注意事項を述べたい。なお次号では水質規制強化に伴う脱窒素、脱リンなど高度処理について、および中水化再利用の動向について述べる予定である。

2．浄化槽の組み立て

浄化槽は汚水の流入部から放流に到るまで、数段階のプロセスで組み立てられる。その主なプロセスを図－1に示す典型的なコミュニティー・プラントを例に述べる。

2.1　流入部

トイレ水洗汚水、雑排水は、まず原水ポンプピットに流入する。汚排水には粗大夾雑物、砂が入っており、後段のポンプを閉塞させたり、損耗させないため流入部で粗目スクリーンを通し、次いで沈砂池で砂を沈殿させ、破砕機で粗大物を細断するか、微細目スクリーンで補集する。小規模の浄化槽では沈殿分離槽で沈殿物、浮上物(スカム)として分離する。

2.2　流量調整槽

汚水は日中かなり変動しながら流入する。この変動を吸収し、本処理が均等負荷で行うため変動幅を吸収できる流量調整槽が設けられる。流入パターンが明確な場合にはデータを基にした槽容が算定されるが、不明な場合には計算式を基に算定する。一般に、計算式ベースの方が大容量になる。最近の小規模下水処理では、この流量調整槽の存在がきわめて重要視されているし、現実にもこれを追加設置したために従来の性能トラブルが解決した例が多いといわれる。

流量調整槽の容量は変動幅のほか、調整槽から主槽へのポンプ移流量によって変わる。移流量が多いほど調整幅は小さくてすむが、以降の処理プロセスはすべて移流量ベースで水負荷を吸収せねばならない。

注意すべきことは、処理プロセスに三次処理や汚泥脱水設備などがついている場合、それらの逆洗水や脱離水が流量調整槽に戻ってくることで、流入水の量、変動に合わせてこの戻り水の量、変動幅も調整容量に考慮せねばならない。調整槽のポンプはフロートスイッチなど液面でON－OFF運転するのが普通であるが、低水位と高水位の間が調整幅であること、沈殿物が底部に堆積しないように曝気等攪拌を行えるようにすることも銘記せねばならない。

なお、単独浄化槽、合併処理浄化槽とも小規模のものでは沈殿分離槽を大きくとり、流量調整槽を設けなくてよい基準になっている。もちろん必要がある場合、自主的に設けることは一向差し支えない。

2.3　油分離槽、油分離装置

都市のビルには、最近食堂が社員食堂やテナントの形で入居する例が多く、汚水中に油脂が混入する例が多くなっている。通常の活性汚泥ではn-Hexane抽出物(油分)として100mg/ℓ程度までは吸収消化できるが、それ以上では消化困難で、管路、槽の壁などに付着してメンテ不能に陥ることがある。浄化槽の構造基準にはないが、中華料理店などがテナントにある場合には油脂分除去を流入部の直後に設けることは必須のものである。

2.4　生物処理プロセス

下水中の処理すべき対象は主として有機物である。この処理方法は物理化学的な処理、生物化学的な処理等種々考えられるが、薬物が不要で副作用がない点、建設費や運転費が比較的安いことなどから、生物化学的な処理が一般的に用いられている。旧来の基準では、嫌気性菌を媒介とする腐敗処理と、好気性菌を媒介とする活性汚泥処理が基準上認められた処理法であったが、新基準では、小規模分野で活性汚泥を用いる全曝気方式がメンテ面でのフォローが十分に行い難いとの理由で姿を消し、代わりに回転板曝気法、接触曝気法、散水沪床法が新たに認められるようになった。501人以上の場合には、活性汚泥の一変法である長時間曝気法は従来とくに問題なしとし、むしろ槽容を減少する改正が行われ、存続することになった。

活性汚泥法は、汚水を吸着、分解する微生物集団（活性汚泥）が曝気槽で通気や機械攪拌により得られた溶存酸素の存在下で有機物を体内に補集し消化すること、およびつぎ工程の沈殿槽で比重分離をうけ、浄化した上澄水を放流するものである。汚泥は曝気槽に返送し、一部を余剰汚泥として抜き取る。

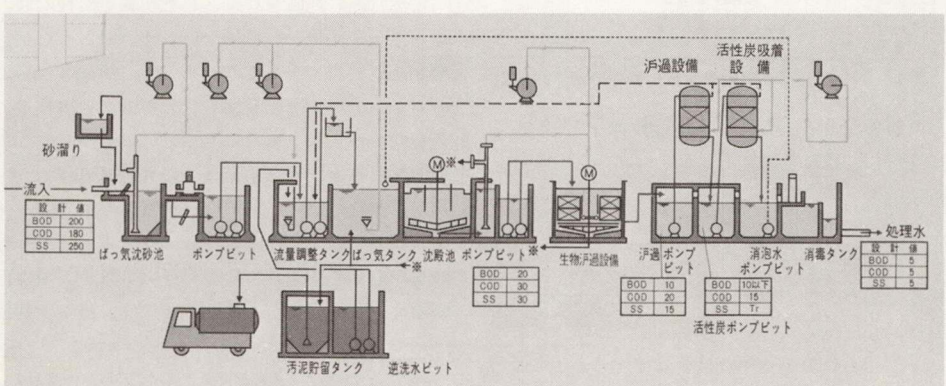
回転板曝気法や接触曝気法、あるいは散水沪床法は沪床上に付着した生物膜に汚水が接触し有機物の吸着、分解を行い、そのままもしくは沈殿槽を経由して放流するものである。沈殿槽より汚泥は返送せず、余剰汚泥を抜き取る。

活性汚泥法のような流動床方式と接触曝気法のような固定床方式の長短所を問われることがある。選択のめやすは、前号記載の「屎尿浄化槽の構造基準・同解説」に述べられているが、規模の大きい場合は流動床方式、小さいもの、変動の大きいものでは固定床方式が推奨されているようである。

2.5　汚泥処理について

維持管理の重要な仕事に汚泥処理がある。有機性の汚水を生物的に処理する場合、浄化が効果的であるのに比例して汚泥が生成する。この汚泥は、内生呼吸とよばれる自己酸化によりある程度自身の重量を減ずるが、徐々に増加していく。生物処理では汚泥量が適量なことが浄化効果に決定的な影響を与えるので、その管理は大変重要なものである。かといって高度の技術、あるいは機器を用いるのではなく、必要量以上に汚泥濃度が増えたら引き抜くという手法である。汚泥の発生量は処理方式や容積によってかなり差が生じるが、生活下水を処理するもので全く出ないというものはない。一般的に生物処理の容量を小さくとったもの(負荷率を上げたもの)ほど汚泥をよく発生し、容量を大きくとったものほど発生量が少ない傾向にある。したがって“当社の処理方式は小容量ですむ”とか、“汚泥は出ない”という宣伝には要ご注意。後で予定外の汚泥処理費用に泣かされる。汚泥をほとんど出さない一部の産業廃水はあるが、生活下水では水質を悪くしてSSを放流する以外、汚泥の蓄積なしということはありえない。

汚泥の処理は沈殿槽の汚泥を汚泥濃縮槽に抜き出し、濃縮後、汚泥貯留槽に貯え、バキューム車で屎尿処理場へ搬出するとか、処理場内に汚泥脱水機を設けて脱水し搬出する。最近は脱水後さらに乾燥して緑地向きの汚泥肥料としたり、発酵堆肥化して土壌改良材にする例が出てきた。汚泥の引き取り手がなく減量したり、逆に肥料などにして引き取り手を探す苦肉の策をとらざるを得ない時代になったのである。　(つづく)



図－1　コミュニティー・プラント(三次処理を含む)

(みやぎ　とおる　日立化成工業株式会社住機環境事業部 環境技術部部長)

施工材料の頁

88

網状ルートパイル工法

坂下　五男

はじめに

最近、土を補強する工法が種々開発、利用されている。日本では、モルタル系あるいはケミカル系の材料を用いる方法が普及しているのに対し、ヨーロッパでは、スチール系の材料を用いる方法が主流をなしている。スチール系補強土のうち、フランスで開発された盛土を補強するテールアルメ工法は、日本でも昭和47年に道路公団で本格的工事に採用されて以来、道路、鉄道などのすい直擁壁として普及し、国鉄ではすでに規準化になり、建設省でも最近「設計施工指針(案)」が出されたことにより、スチール系補強土工法に対する認識は急激に高まってきた。

網状ルートパイル工法は、イタリアのFONDEDILE社によって開発された地山に対する補強土工法であり、イタリア、イギリス、フランスなどヨーロッパ各国で広まり、最近ではアメリカ、日本でも注目されて、後述するような工事に採用されて、所期の目的を果たしている。

網状ルートパイル工法の内容

この工法に使われるのは、ルートパイル（Root Pile）と呼ばれる直径が10cm前後の小口径のモルタルよりなるマイクロパイルで、中心には、補強材として高張力鋼棒が入っており、**図1**に示すようなものが一般に使われている。

このルートパイルを地山に圧入するのがこの工法であるが、圧入方向が三次元といわれる独特のパターンであり、この形状が網状であることから、Reticulated Root Pile略してR. R. P工法とも呼ばれる。

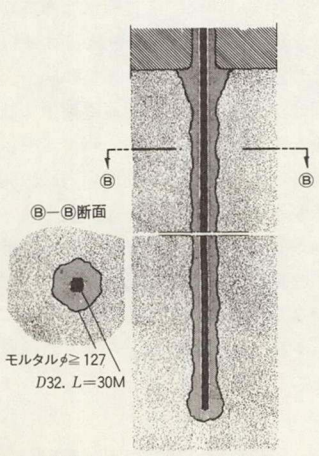


図1　ルートパイル詳細図

スチール系補強土にとってもっと大切なことは、補強材と土を一体化させることである。テールアルメ工法においては、締め固めを十分行うことで、補強材と土の摩擦効果により一体化を計っているのに対し、本工法は、補強材と土の間に媒体としてモルタルを置き、適切な圧力をかけることにより土の間隙を満たし、脈状に入り込み、土と補強材がより強力に一体化される。さらにモルタルが硬化時に収縮し空隙ができるのを防ぐために膨張剤も混和される。また、盛土では、伸張補強材としてのみ使用されているのにくらべ、本工法は、地山に対し、伸張補強材だけでなく、圧縮補強材としても利用することが可能となった。

(1)　特長　本工法の施工は、小型ボーリングマシンによるため、つぎのような特長があげられる。

①砂、粘土、岩盤などのあらゆる土質に適用できる。

②あらかじめ、掘削することなく、地中に構造物を造ることができる。

③不安定な土でも、付加的な応力を与えずに、施工が可能。

④出来上がった構造物は、景観を損なわない。

⑤施工時の騒音や振動の公害はほとんどない。

(2)　用途　当初はアンダーピニングや、構造物基礎などをサポートする形態で用いられ、最近になって、地すべり防止、岩盤補強などに応用されるようになってきた。

①アンダーピニング

②構造物の基礎

③岩盤の補強

④擁壁

⑤地すべり防止

⑥史蹟、遺跡などの保存

施工例

(1)　構造物基礎の補強　本工法の生まれた国、イタリアといえば、世界の七不思議ともいわれているピサの斜塔を思い出すが、数年前イタリア政府が行ったこの斜塔の安定化工事の国際設計コンペに、本工法も、International Committeeより選ばれた5つの計画のひとつであった。ピサの斜塔の安定化工事は現在もまだ実施されていないが、網状ルートパイル工法による同様な建物の補強は、イタリア国内、外で多く成功している。

(2)　地すべり防止　アメリカでの最近の施工例として、ペンシルバニア州Monessenにおける地すべり防止がある。(**図2**) この工事は、1979年4月に完了し、1977年に施工された、カリフォルニア州メンドシノの物件に続いて十分な成果をあげている。とくに、R. R. P壁体の、水平および垂直方向の変位測定が行われ、ルートパイル群とこれらの中の土が、単一複合体 (a single composite structure) として挙動していることが確認されたペンシルバニアの物件は注目に値するといえよう。

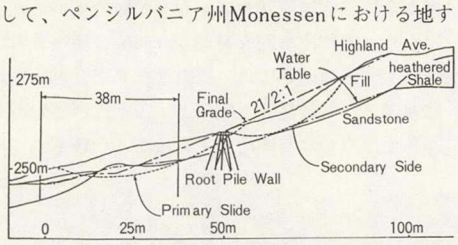


図2　ペンシルバニア州モネッセンでの標準断面図

(3)　アンダーピニング　網状ルートパイル工法の、最も多い応用としてアンダーピニングがある。既存の平衡状態を維持し、構造物に新しいヒズミを発生させない。ルートパイルはロータリードリルで作られるので、対象とする物は、石、鉄筋コンクリート等のあらゆる材料を貫通し、独特の網状構造を形成する。また、施工機械が非常にコンパクトであり、限られた、せまいスペース内で、構造物の通常の活動をさまたげることなく施工ができるメリットを有している。このような特長を生かした多くの施工例のうち、数例を**図3、4、5**で紹介する。

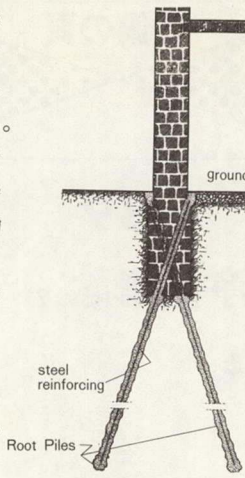


図3　建物の壁のアンダーピニング

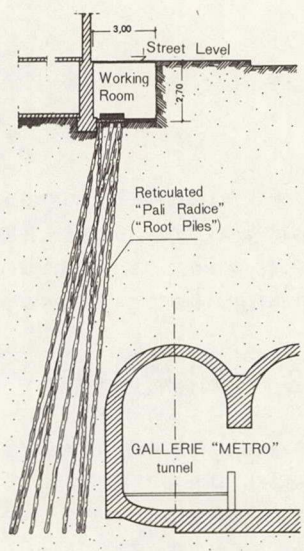


図4　既設構造物に接近して地下鉄を築造するときのアンダーピニング

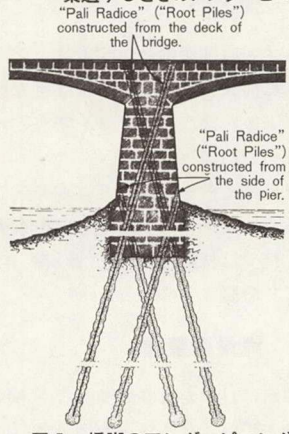


図5　橋脚のアンダーピニング

おわりに

自然状態の地山を対象とした補強土の技術は、ほとんど未開発といってよいくらいであったが、網状ルートパイル工法がイタリアで開発され、この新しい分野に進出を決め、わが国へも当社がこの技術を導入し、実際に実施してきているが、昭和55年より東京大学生産技術研究所において、三木五三郎教授(日本土質工学会会長、現国立横浜大学教授)、龍岡文夫助教授のご指導のもとに研究員を派遣して基礎的な研究も行っており、補強土の原理を解明するためのデーターは、着々と蓄積されている。

（さかした　いつお　廣瀬鋼材産業株式会社特品推進本部
テールアルメ・ルートパイル部副部長）

〝ニッケンスター〟

bot ——リース材によるドーム大屋根建設用仮設支柱——

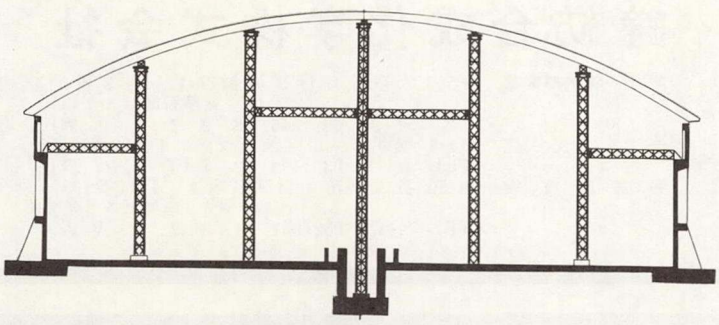
ＮＴ支柱は、屋内野球場、屋内貯炭場、劇場、体育館など大きなドーム建設工事で大屋根鉄骨を構築する際に使われ、安全性が高く、工期が早く、しかも経済性に富む優れた仮設支柱として、好評を博しているものです。

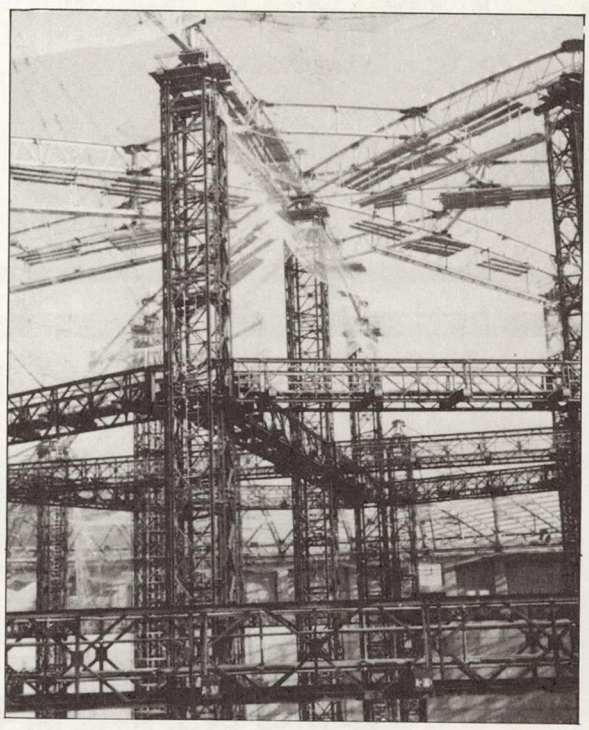
これは、ＮＴパネルシステム（リース材）のパネルと部品を使って、ピン連結で立体的に組み合せて、柱状のとこサポート全体剛性を高めることによりトラワイヤーの必要性をなくし、重機走行ヤードを広く確保して作業性の向上をはかっております。

なお、メイン部材はリース材ですので、経済性においてもコストダウンが計れます。

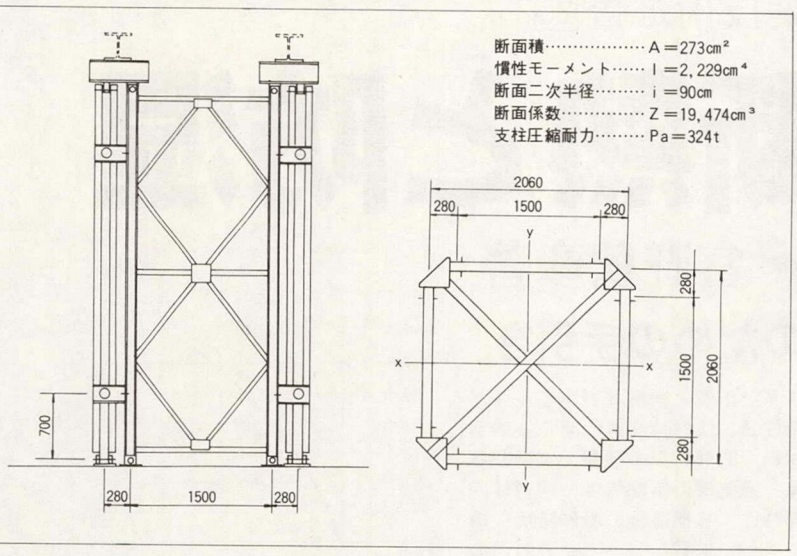
ＮＴ支柱

■ニッケンスターNTパネルシステム(ダイヤモンドデザイン)





■ＮＴパネル支柱の断面性能



施工実績

- 福岡国際センター総合ホール新築工事
- 東京ディズニーランド施設建設工事(トゥモローランド)
- 竹原火力発電所３号機増設工事屋内貯炭場新築工事
- その他、橋梁下部工、ピア等豊富

ニッケンスター bot 廣瀬鋼材産業株式会社

本　　社／大阪市西区新町3丁目5番7号永光ビル
ＴＥＬ（06）532－6201(代表)　〒550
橋 梁 部／大阪市西区南堀江２丁目６番19号
ＴＥＬ（06）534－1072　〒550
大阪本店／大阪市西区新町２丁目20番11号
ＴＥＬ（06）532－6201(代表)　〒550
大阪工場／大阪市西淀川区中島３丁目４番87号
ＴＥＬ（06）474－8121(代表)　〒555

本・支店／東京・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡・横浜・高松
営 業 所／釧路・八戸・秋田・新潟・千葉・埼玉・金沢・岡山・鹿児島
工　　場／札幌・八戸・仙台・柏・白井・千葉・名古屋・金沢・広島・多度津・福岡・鹿児島

カネボウゴーレックス

あらゆる防水のニーズを満たす複合防水

ベルファルト

特　長

①常温硬化型アスファルト冷工法

塗膜は無溶剤硬化型で塗布後、すぐシートの敷込が可能です。

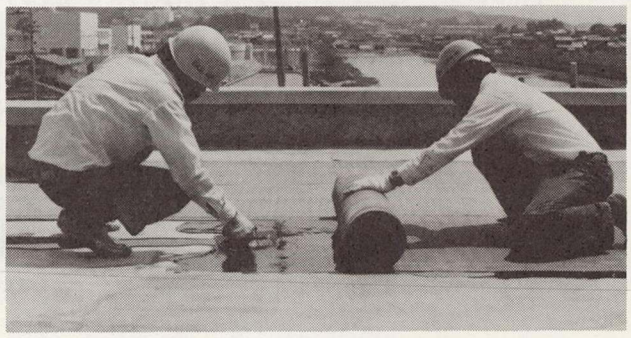
②抜群の信頼性

塗膜防水とシート防水の長所を兼備した3.5㎜厚の複合防水工法です。

③完璧な耐亀裂性

防水層は特殊な二層構造の為、耐亀裂性に優れている。

④アスファルト防水の補修に最適



鐘紡合成化学株式会社

本社／防水事業部　〒542 大阪市南区長堀橋筋1丁目3番地（丸善石油ビル7階）
TEL 大阪 06（245）8241（代表）
東京支店　〒141 東京都品川区西五反田7丁目22番17号
TEL 東京 03（494）2741（代表）
名古屋支店　〒450 名古屋市中村区名駅4丁目17番19号（鐘紡ビル3階）
TEL 名古屋 052(581) 1271（代表）

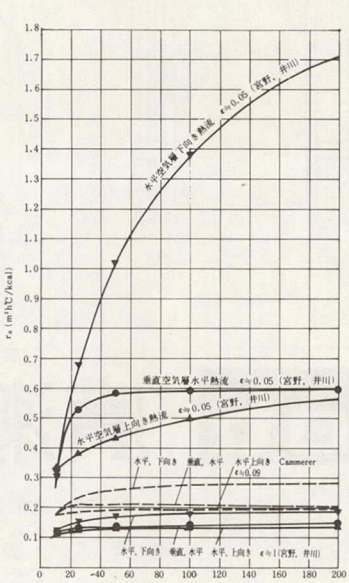
日本建築協会企画　建築技術選書25

建物の断熱と防湿

名古屋工業大学教授　宮野秋彦著

建物の省エネと保全のための手引き

〈第1編　断熱編〉　1建物の断熱　エネルギー消費と断熱　省エネルギー化の手法‥‥　2建築材料の熱特性　伝熱特性値　伝熱特性値の測定と表示方法　建築材料の断熱性能　3建築用断熱材料　断熱材料の種類　繊維断熱材　気泡断熱材　その他の断熱材　4空気層・通気層の伝熱特性　構造体内の中空層　空気層の伝熱特性　通気層の伝熱特性　5構造体の断熱特性　構造体の熱貫流特性　開口部の熱貫流特性　しゃへい係数について　6断熱の考え方　快適な室内環境とは　断熱工法　断熱の要点と評価
〈第2編　防湿編〉　1建物と湿気　湿気による被害とその原因　結露はなぜ起きるか　いつどこに起きるか　2建築材料の湿気特性　材料の吸放湿特性と調湿作用　透湿特性の測定と表示方法　3建築用防湿材料　防湿材料の種類　シート状材料　塗装材料　シール材料　吹付け材料　4湿度境界層・中空層の透湿特性　湿度境界層の湿度分布と透湿特性　空気層内の湿度分布と透湿特性　5すき間・開口部の透湿特性　すきまの透湿　開口部の透湿　6結露防止の考え方　結露を防ぐには……他失敗例等.

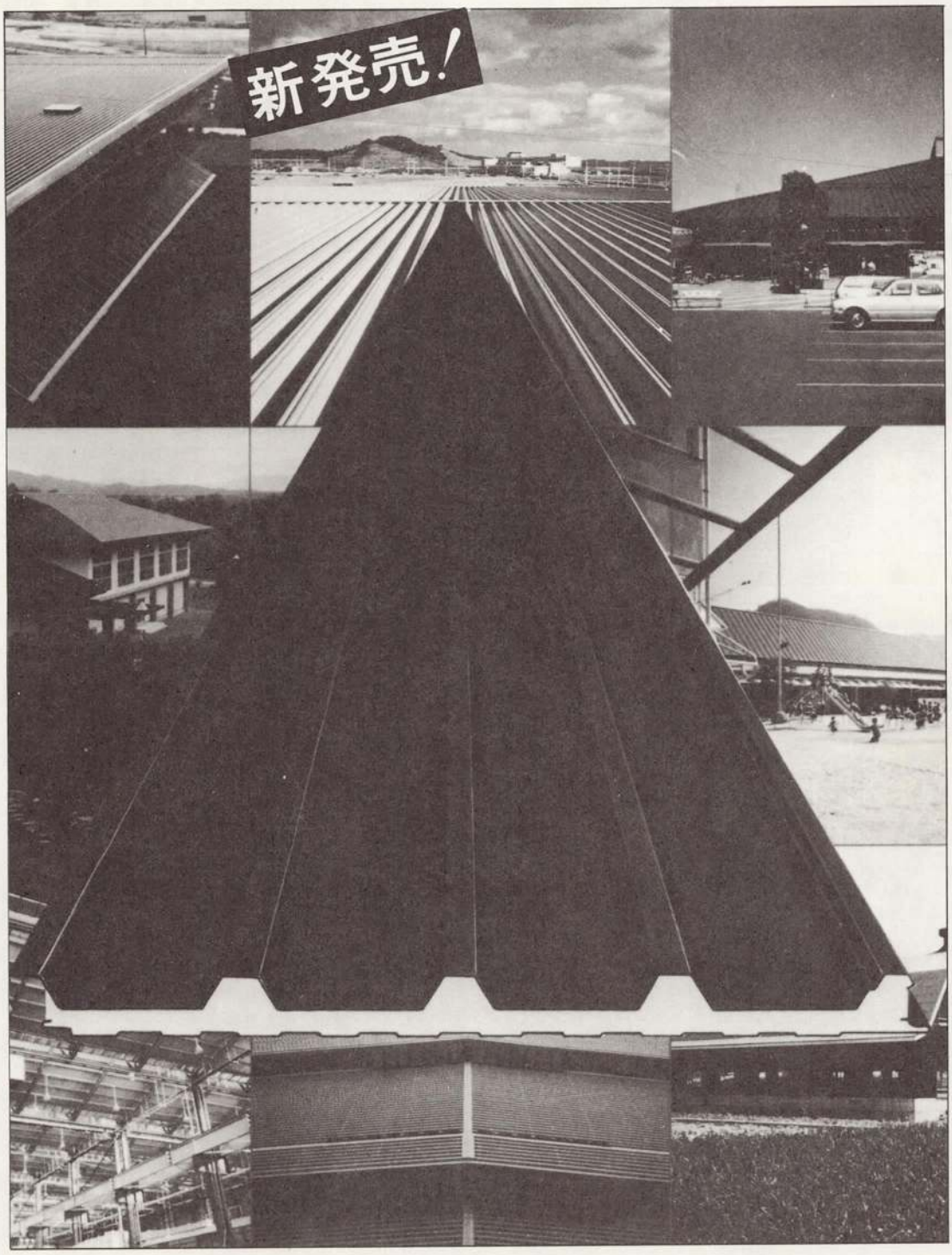


A5・176頁・予価1300円

〈目録進呈〉　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　☎075-343-0811

革・新・の・屋・根・材

断熱屋根パネル イソダッハ



■ 特 長

①すぐれた断熱性を誇ります。
内外2枚の鋼板の間に、注入発泡された硬質ウレタンフォームの独立気泡が熱の伝導をさまたげ、高い断熱性を確保します。

②きわめて経済的です。
断熱効果にすぐれているので建物竣工後は、他の建材とくらべ空調経費を大幅に低減します。

③スムーズに施工できます。
軽量な上、長尺屋根にも十分対応できるので、作業能率はグーンとスピードアップ。
すべて設計寸法に切断され、付属部材とも1式で現場に搬入される為、切断等の現場作業は殆んどありません。

④高品質で長尺屋根も葺けます。
最新鋭の設備で連続一貫生産されるので、1パネル最長15mまでのご要望にお応えできます。きびしい品質管理のもとに生産するため、寸法精度も高く、品質間のバラツキが少なく、しかも簡単に縦継ぎすることができます。

⑥強度・剛性にすぐれています。
特殊な深い成型断面を持つ鋼板と、硬質ウレタンフォームのサンドイッチ構造が、高いパネル剛性を発揮し、十分な強度を持たせています。

⑦良好な遮音性能が得られます。
とくに、打撃音を減衰する効果は大きく、雨音を防ぎ、静かな屋内環境をつくります。

⑧水密性は万全です。
内外鋼板はロール成型されており、嵌合、縦継ぎとも簡単で、漏水の恐れはありません。

省力化を推進する建材づくり
大同鋼板株式会社

本社・工場 〒660　尼崎市杭瀬字午新田22　☎(06) 488－1181(代)
建材販売室 〒541　大阪市東区高麗橋2-41　☎(06) 203－0751(代)

札幌営業所　☎(011)251－8091(代)
東北営業所　☎(0222)25－1481(代)
東京営業所　☎(03) 279－0751(代)
名古屋営業所　☎(052)241－2140(代)
富山営業所　☎(0764)32－9898(代)
広島営業所　☎(0822)28－3040(代)
福岡営業所　☎(092)281－5168(代)

――お問合せは、建材販売室イソダッハグループ、または最寄の各営業所へどうぞ――

日本建築協会

月間の動き

昭和56年11月分

理　事　会

25日　4時～5時　於会館集会室
出席者　塚本会長、福田・足立・松村各副会長ほか13名
議事　(1)建築への太陽熱利用に関する研修会開催の件
(2)事務局職員下期賞与支給の件
(3)入退会者承認の件
(4)報告事項

編集理事会
12日　3時～4時　於会館集会室
出席者　福田副会長、三輪理事、渡辺理事
議事　(1)経過報告と今後の企画
(2)収支状況と今後の見込み
(3)次期編集委員長の件

編　集　委　員　会

3月号「医療施設―地域医療と設備計画」特集編集幹事会
5日　4時～6時半　於会館集会室
出席者　池田有隣氏(京都工芸繊維大学)ほか8名
議事　(1)3月号「医療施設―地域医療と設備計画」特集編集企画・広告企画について
(2)そのほか

作品作風小委員会
11日　2時～4時半　於会館集会室
出席者　小野副委員長ほか2名
議事　(1)新建築調査表選定
(2)"新たな商業空間"に関する事例選定

委員会
12日　4時～6時　於会館集会室
出席者　三輪委員長ほか6名
議事　(1)11月号＝第28回青年技術者特集経過報告
(2)12月号＝身障者配慮の建築計画と設備特集経過報告
(3)1月号＝新たな商業空間の展開特集経過報告
(4)2月号＝近畿の地盤と地質特集報告
〃　＝省エネルギーと住宅開口部(窓)特集報告
(5)3月号＝医療施設―地域医療と設備計画特集幹事会報告
(6)4月号施工材料特集の件
(7)5月号都市景観特集の件
(8)6月号以降の企画の件
(9)「建築の眼」新執筆者の件
(10)表紙デザインの回覧
(11)収支状況、そのほか

広告企画小委員会
16日　4時～5時40分　於会館集会室
出席者　渡辺副委員長ほか6名
議事　(1)12月号「身障者を配慮した建築物の計画と設備」特集広告収入報告
(2)正月号「新たな商業空間の展開」特集広告途中経過報告
(3)2月号「近畿の地盤と地質」特集広告企画
(4)3月号「医療施設―地域医療と設備計画」特集報告
(5)特別企画「設計者のプロフィール」(仮称)頁編集企画
(6)収支状況報告

1月号特集原稿打合
17日　7時～9時半　於会館集会室
出席者　金澤成保氏(日建設計)、斎藤侑男氏(地域計画建築研究所)、田中直人氏(神戸ポートアイランド博覧会協会)
議事　"京阪神の商業空間"の掲載原稿打ち合わせ

教　育　委　員　会

建築工事実務講習会打合会
5日　正午～2時　於会館3階会議室
出席者　講師　蜷川道夫氏(大成建設)、綿野文雄氏(竹中工務店)、安盛副委員長
議事　建築工事実務講習会広島開催について

出　版　委　員　会

委員会
6日　3時半～5時　於会館集会室
出席者　小林委員長ほか3名、学芸出版社
議事　(1)建築技術選書の発行部数、売上状況報告
(2)企画中のものの再検討
(3)そのほか

事　業　委　員　会

若い会員の集い小委員会
10日　6時～9時　於会館集会室
出席者　山形副委員長ほか9名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)第3回企画「クラシック家具の世界」及び第4回企画「奈良今井町を訪ねる」実施報告
(3)第5回以降の企画について
(4)そのほか

広報小委員会
11日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　原見副委員長、北岡・今野両幹事ほか5名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)第51回展示写真「街を緑に」実施報告
(3)第52回以降の展示写真について
(4)「建築への太陽熱利用に関する研修会」について報告
(5)そのほか

見学会小委員会
16日　6時～8時　於会館集会室
出席者　上出副委員長、永井幹事ほか5名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)9月、10月の見学会実施報告
(3)11月の企画経過報告
(4)12月以降の企画について、そのほか

忘年懇親会打合会
18日　12時半～2時　於会館集会室
出席者　西村委員長ほか11名
議事　(1)共催及び協賛団体について
(2)忘年懇親会の次第について
(3)委員・事務局の役務分担について
(4)お土産品について、そのほか

委員会
19日　12時半～2時　於会館集会室
出席者　島田・鶴田・山形各副委員長ほか3名
議事　(1)各小委員会の事業報告及び事業企画
(2)本年度忘年懇親会開催について
(3)そのほか

「建築への太陽熱利用に関する研修会」講師打合
19日　5時～9時　於会館3階会議室
出席者　講師　斉藤義和氏(大阪工業大学)、後藤達雄氏(大林組)
議事　(1)テキストの校正及び内容チェック
(2)講演内容の調整について

若い会員の集い企画分科会
24日　6時半～9時半　於会館3階会議室
出席者　桑田主査ほか3名
議事　(1)「晩秋の香川に石をみる」の企画について
(2)そのほか

若い会員の集い「建築家に聞く」分科会
25日　6時半～11時　於会館3階会議室
出席者　寺尾主査ほか4名
議事　(1)「1982年・新春放談、内井昭蔵・長谷川堯に聞く」の企画について
(2)そのほか

建　材　委　員　会

委員会
19日　4時～5時半　於会館集会室
出席者　牧田委員長ほか12名
議事　(1)材料説明"スエプコ・メンテナンス・システム"サウスウエスタン株式会社
(2)今後のメインテーマと新建材紹介コーナー
(3)そのほか

法　規　委　員　会

委員会
27日　3時～5時　於会館集会室
出席者　岡本委員長ほか5名
議事　(1)都市景観特集企画の執筆者選定
(2)市民アンケート文案依頼先
(3)法令コーナー、そのほか

講　習　会

建築工事実務講習会
(日本建築協会中国支部・広島県建築士会・広島県建設工業協会共催)
11日　9時～17時　於広島建設会館
聴講者　173名
講師
施工計画　大成建設㈱大阪支店作業所長　蜷川道夫氏
見積　㈱竹中工務店見積課長　綿野文雄氏
施工図　㈱大林組工務部次長　金田宏氏

第18回「よろず相談住宅展」

自13日　至18日（6日間）　於そごう百貨店
相談件数　約300件

第27回工高生デザインコンクール表彰式

21日　2時～3時　於会館集会室

出席者　一の会代表、坂内審査委員長、松原・柳両審査委員、多胡・崎山教育正副委員長ほか１名
入選者　10名
入選者に対し賞状、賞牌を、また最優秀作に対し関西建築家懇談会一の会より「一の会賞」を授与した後、現在工事中の「大阪市新庁舎」の現場見学を行った。



研　修　会

建築への太陽熱利用に関する研修会
25日　1時15分～5時　於大阪府立労働センター
参加者　67名
講　師
「建築における太陽冷暖房の実際と問題点」
大阪工業大学機械工学科講師　斉藤義和氏
「建築家のためのソーラシステムのチェックポイント」
㈱大林組本店設備設計部設計課長　後藤達雄氏

若い会員の集い

晩秋の香川「石」を見る
……イズミ家・イサム家・瀬戸内海歴史民俗資料館・重文金丸座の見学……
27日～29日（３日間）
参加者　28名

建　築　ク　ラ　ブ

朝食会
10日　8時半～9時半　於大阪グランドホテル
出席者　76名
当日は、同時通訳で有名な村松増美氏より国際会議の舞台裏と題してユニークなお話を伺った。
役員会
25日　正午～２時　於会館３階会議室
出席者　塚本代表ほか５名
議事　(1)忘年懇親会に関する件
(2)今後のスピーカー及び各月の司会者について
(3)来年度の会費について

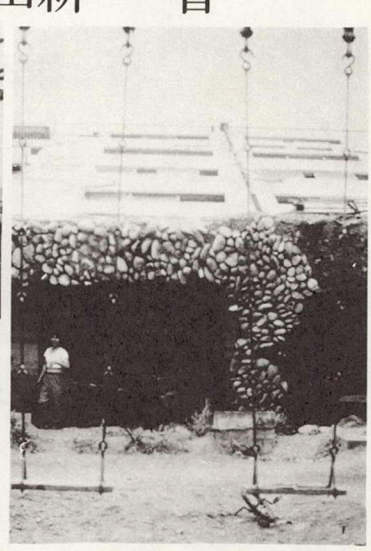
中国建築事情視察団帰国

福永薫氏を団長とする一行20名は、10月23日より13日間の日程で北京、西安、太原、大同の四市を視察、11月４日無事帰国した。

電算写植システム
日本写植印刷株式会社
代表取締役　神田都義
本　　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町７－５－30　電話06(606)1111代
広島営業所　〒724 東広島市八本松町米満109－５　電話0824 (28) 6253
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町４－７　三宝ビル　電話0992 (26) 4371
津山写植センター　〒708 津山市福田１３７２－１　電話08682(８)4377
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城　沖縄印刷工業団地　電話0988 (55) 6100

日本建築協会企画
建築技術選書26　発売中
建物と地震災害
大阪工業大学教授　竹内吉弘・大阪府生活環境部消防防災課主査　島田耕一　著





地震火災や地域災害を含めた耐震工学の入門書
1　地震と地震動災害　地震動　過去の被害地震資料　地震時の災害構造
2　地震時の災害形態　建築物の地震被害　地震火災　地震による地域的災害
3　耐震設計　耐震設計法　地震動観測　実在建築物の振動特性
4　防災計画　地震災害と防災　防災計画　大規模地震対策特別措置法　（各章末に参考文献を示す）
A５・160頁・1300円
〈目録進呈〉
学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　☎075-343-0811

賀　正

1982

設計事務所有志



株式会社

A.R.I 建築事務所

代表取締役　亀井晃治

本社事務所　大阪市南区谷町7丁目12-1　新谷町第3ビル2F　TEL (06)768-1771(代)
アトリエ　東大阪市上石切町2丁目14－35　TEL (07437)3－6137
東京事務所　東京都中央区月島4丁目13-3 秀和月島レジデンス108　TEL (03)531-3954

株式会社 東建築設計事務所

代表取締役　東　秀保

大阪市北区天神橋3丁目8番3号 マチスビル　電話 06 (358) 5598・3497

株式会社 井上達明建築事務所

代表取締役　井上達明

〒530　大阪市北区鶴野町1番3号 (安田ビル)　電話　06 (372) 2821㈹

株式会社 伊東建築設計事務所

代表取締役　竹原永一郎

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目2番20号(清光ビル) 電話(562)4343～5

株式会社 伊藤建築設計事務所

取締役会長　伊藤鑛一
代表取締役　島田幸信
代表取締役　鋤納忠治

本　社　名古屋市中区錦3丁目3-6(日経錦別館)　電話〈052〉951-1110㈹
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町7(久保ビル)　電話〈03〉294-6061㈹

株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉　沢　哲　史

〒530 大阪市北区西天満4丁目12番2号(オオシマビル) TEL (06) 364-9071(代)

株式会社 入江三宅設計事務所

代表取締役　三　宅　　晋

東京都港区虎ノ門1丁目18番1号(第10森ビル)　電話 03 (501) 0286(代)
大阪市東区北浜4－48－3　電話 06 (201) 5305

株式会社 浦辺建築事務所

代表取締役　浦辺鎮太郎
代表取締役　松村慶三

大阪市北区梅田1丁目12番39号・新阪急ビル　電話 06(341) 1727
東京事務所　電話 03(263) 9758　福岡事務所　電話 092(761) 2206

株式会社 久米建築事務所

取締役社長　永井賢城

本　社　東京都港区西麻布1丁目13番11号　電話03(403)0251大代表
大阪事務所　大阪市北区堂島浜1丁目4番27号 堂島中町ビル　電話06(344)2096代　表

株式会社 小西設計

取締役社長　小　西　　岬

本　社　大阪市西区立売堀1丁目12番16号　電話(532)4051代表
大阪事務所　大阪市西区阿波座1丁目15番15号(第一協業ビル)　電話(532)4051代表
東京事務所　東京都千代田区神田鍛冶町3－3(大木ビル内)　電話(256)9301代表
広島事務所　広島市中区大手町2丁目7番1号(三葉ビル)　電話(46) 0144

株式会社 篠田川口建築事務所
株式会社 協同設備事務所

代表取締役社長　川　口　喜代枝

名古屋市東区泉1丁目21番21号　TEL 962－7581(代)
TEL 971－2255(協同)

株式会社 昭和設計

建築・都市・上下水道
調査計画・設計監理

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役副社長　林唯夫

本社事務所　大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル　TEL代表 532—3421
神戸事務所　神戸市中央区八幡通4丁目2番17号 郵船航空ビル　TEL078—251—0651
東京事務所　東京都港区赤坂3丁目12番5号 赤坂田町ビル　TEL 03—583—2086

株式会社 創美設計

代表取締役　中原英雄

大阪市北区末広町3番21号 星和地所扇町ビル6階　TEL 大阪(06)312—3587代表

株式会社 大建設計

取締役社長　千原大五郎

本社　東京都港区新橋1丁目10番7号(大和銀行新橋ビル)　東京(572)4595(代)
大阪事務所　大阪市西区江戸堀1丁目12番8号　安田生命大阪ビル　大阪(441)9351(代)
名古屋事務所　名古屋市中区栄4丁目6番15号名古屋日産生命館ビル　名古屋(261)8531(代)
九州事務所　北九州市小倉北区紺屋町9番1号　明治生命小倉ビル6階　小倉(521)4285(代)
分室　室蘭

株式会社 竹内建築事務所

代表取締役　内藤一真

大阪市南区長堀橋筋2丁目35の1(日亜ビル)　電話(211)2706(代)

株式会社 東海設計

代表取締役社長　小坂忠勝

本社　名古屋市中区栄3丁目7番1号(伊勢町ビル) 〒460 TEL052-261-2651(代表)
東京事務所　東京都中央区京橋1丁目14番4号(東信ビル) 〒104 TEL 03-561-0815(代表)

株式会社 東畑建築事務所

代表取締役社長　東畑謙三

本社
大阪事務所　大阪市東区伏見町5丁目19　電話大阪(06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2(永田町ビル)　電話東京(03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区名駅3(堀内ビル)　電話名古屋(052)571-8471
九州事務所　北九州市小倉北区魚町1—4—21 (北九州清和ビル)　電話小倉(093)541-6531

株式会社 内藤建築事務所

代表取締役会長　内藤資忠
代表取締役社長　片山光生

本　社　〒606 京都市左京区田中大堰町189番地　電話 075(781)4111代
事務所・出張所　青森・東京・松本・静岡・名古屋・京都・奈良・大阪
高知・福岡

株式会社 長田建築事務所

長田正雄

〒542 大阪市南区上汐町3－59　ケーエスビル　電話 768－6121

株式会社 日建設計

取締役社長　安藝元清
大阪本社代表　小菅滋夫
土木業務所代表　藤谷憲男

〒541　大阪市東区横堀2丁目38
電話 06-203-2361(大代表)

都市開発
建築計画
商業計画

株式会社 西脇設計

代表取締役　西脇顕正

神戸市中央区北長狭通4丁目1-12・鯉川ビル(〒650)
専用直通・神戸（078）391－5505
BASE・東京・岡山・広島・松山

有限会社 村野，森建築事務所

大阪市阿倍野区阿倍野筋2－3－8　電話(624) 0926代表
研究室　大阪市南区心斎橋筋1－43　電話(253) 0875代表
東京事務所　東京都中央区日本橋茅場町2－3　電話(669) 5651代表

株式会社 安井建築設計事務所

代表取締役社長　佐野正一

本　社　大阪市東区島町2丁目7番地　電話　06(943)1371(大代)

賀　正

1982
建設業者有志

株式会社　あめりか屋

取締役社長　前野慶太郎

本　社　〒530 大阪市北区中之島4丁目3番25号　電話　代表（444）1501番

株式会社　淺沼組

取締役社長　淺沼茂夫

本社・大阪本店・大阪市天王寺区東高津町１２番６号　電話 大代表（768）5222
東京本店・東京都新宿区荒木町５番地　電話 代表（357）0261
支　店・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

株式会社　新工務所（アタラシ）

取締役社長　新昭一

本　店・大阪市北区曽根崎２丁目８番７号　電話 代表 大阪(313) 1331番
支　店・東京都千代田区猿楽町２丁目１番１４号　電話 代表 東京(291) 3741番
支　店・名古屋市中区大須4丁目1番71号(時計ビル)　電話　名古屋（262）1725番

安藤建設株式会社大阪支店

取締役支店長　坂本博

大阪市福島区福島６丁目３番２１号　電話 代表（453）２１９０
本　社・東京都中央区八重洲2丁目2番7号　電話 大代表（272）７４１１
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島・横浜・札幌
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・京都・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社　今西組

取締役社長　今西壽雄

本　社　大阪市天王寺区上本町６丁目６番23-309号　電話06(779)３３６１
支　店　東京都新宿区内藤町１番地　電話03(354)０５８１
営業所　京都・神戸・西宮・奈良・埼玉

株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 大代表(292) 1111番
本　店・大阪市東区京橋３丁目３７番地　電話 大代表(943) 1131番
支　店・札幌・仙台・横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・福岡

株式会社 奥村組

取締役社長　奥村俊夫

本　社　大阪市阿倍野区松崎町２の２の２　電話 大阪(06)621－1101(大代表)
東京支社　東京都港区元赤坂１の３の10　電話 東京(03)404－8111(大代表)
支　店　札幌・仙台・浦和・東京・横浜・千葉・名古屋・大阪・神戸・広島・高松・北九州・福岡

鹿島建設株式会社

取締役社長　石川六郎
取締役支店長　奥村吉朗

本　社　東京都港区元赤坂１－２－７　電話 03 (404)3311(大代)
大阪支店　大阪市南区鰻谷西之町６　電話 06 (245)2311(大代)

株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄谷順一郎

本　社　尼崎市玄番南之町４番地　電話大阪 06(411) １４５１(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田・三田

株式会社 近畿建設

取締役社長　川崎敬三

本　社　大阪市西区江之子島1丁目2番2号　電話　大阪06 (448)5601代
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡１９３の１　電話　07755 (２)1361～２

株式会社 熊谷組 大阪支店

取締役会長　牧田甚一
取締役社長　熊谷太一郎
専務取締役大阪支店長　星野晴彦

本　社　東京都新宿区津久戸町17番１　電話 (260) 2111番(大代表)
大阪支店　大阪市都島区片町２丁目10番５号　電話 (352) 1151番(大代表)

甲南建設工業株式会社

代表取締役　原　精一

大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号　電話(06)308—1551大代表
尼崎市南武庫荘2丁目7番23号　電話　(06)437—9631代表
東京都千代田区神田須田町1—18(共同ビル)　電話　(03)253—4455代表
神戸市中央区八幡通4丁目2番8号(菊海洋興産ビル)　電話　(078)221—6293代表
堺市宿屋町東3丁1番19号　電話　(0722)29—0088
福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号(住友生命ビル)　電話　(092)471—7271
名古屋市熱田区富江町1111　電話　(052)681—6745

株式会社　鴻池組

取締役社長　鴻池藤一

本社
大阪本店　大阪市東区北久宝寺町4—27　電話　大阪(244)3500(ダイヤルイン受付台)
東京本店　東京都千代田区神田駿河台2-3-11　電話　東京(296)7700(ダイヤルイン受付台)
支店　名古屋・広島・福岡・鹿児島・松江・仙台・高松・札幌・横浜・神戸・京都・金沢

佐藤工業株式会社

取締役社長　佐藤欣治・常務取締役大阪支店長　小町谷武司

本社・東京都中央区日本橋本町4—8　電話　東京(661)1231(大代)
大阪支店・大阪市東区北浜1—25　電話　大阪(203)7221(代表)
支店・東京・名古屋・北陸・札幌・福岡・仙台・広島・横浜・四国

清水建設株式会社

社長　吉野照蔵
副社長　木下正利
(大阪駐在)
専務取締役大阪支店長　石動信一

本社　東京都中央区京橋2—16—1　電話03(535)4111
大阪支店　大阪市西区土佐堀1—3—37　電話06(443)5431
支店　名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌・横浜

よりよい住環境づくりをめざして

住友建設株式會社

常務取締役大阪支店長　楠本昌造

大阪支店　大阪市東区北浜5丁目22番地(新住友ビル2号館)　電話　06(220)8712
本店　東京都新宿区荒木町13番地　電話　03(353)代表5111番

錢高組

取締役社長　錢高善雄

本社・大阪支社　大阪市西区西本町2丁目2-11　電話　大阪06(531)6431(大代表)
東京支社　東京都千代田区一番町31番地　電話　東京03(265)4611(大代表)
支店　札幌・仙台・千葉・横浜・北陸・名古屋・広島・四国・福岡

大成建設株式会社

取締役社長　佐古　一
専務取締役大阪支店長　原田眞三

本　社　東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル　TEL 東京(348)1111大代表
大阪支店　大阪市東区本町4丁目27番地　TEL 大阪（262）1131大代表
支　店　東京・名古屋・九州・札幌・東北・広島・横浜・新潟・四国

大幸建設株式会社

取締役社長　大澤　博

本　社　大阪市西区新町1丁目4番21号　電話 06(538)0881代
本社分室　大阪市東区今橋5丁目2番地　電話 06(203)0373代
東京支店　東京都渋谷区渋谷2丁目14番15号　電話 03(407)7426代
名古屋支店　名古屋市中村区名駅南3丁目6番7号　電話052(581)7376代
松江営業所　松江市和多見町175　電話0852(21)3747代
出張所　富山・仙台・滋賀・兵庫・広島・福岡・静岡

株式会社竹中工務店

取締役社長　竹中統一

本　店　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪（252）1201番(大代表)
支　店　北海道・東北・東京・名古屋・広島・九州
営業所　千葉・横浜・静岡・金沢・京都・神戸・岡山・高松・北九州

鉄建建設株式会社大阪支店

西日本業務担当常務取締役　児島　章

常務取締役支店長　金子越郎

大阪市大淀区天神橋7丁目1－10(天六阪急ビル)　電話(358)0321(代表)
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話 東京(262)3411(代表)

戸田建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　山口道博

大阪市西区西本町1丁目13番47号(新信濃橋ビル)　電話06－531－6561(大代表)
本社東京都中央区京橋1丁目7－1
支　店　東京・関東・横浜・名古屋・札幌・仙台・広島・四国・九州

東海興業株式會社大阪支店

取締役副社長大阪駐在　小松英二
常務取締役支店長　鈴木仙吉郎

本　社　東京都千代田区大手町1－5－4　電話 東京（212）3261
安田火災大手町ビル
大阪支店　大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル　電話 大阪（348）5611
支　店　東京・名古屋・仙台・札幌・福岡

飛島建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　熊谷良訓

大阪市東区島町２丁目２８番地　電話　大阪（９４２）２４８１(代表)
本　社　東京都千代田区九段南2丁目3番28号　電話 東京（263)3151(大代表)
支　店　札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・北陸・四国・広島・福岡
営業所　神戸・和歌山・京都・滋賀・堺・奈良・姫路

日本建設株式会社

取締役会長　生田重政
取締役社長　積山吉興

本　社　大阪市東区安土町４－５　ＴＥＬ（261）７５９１－８ 〒541
支　店　東京・大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・四国・沖縄

明日をささえる 西松建設

本　社　東京都港区虎ノ門１－20－10　電話03(502)0211

野村建設工業株式会社

取締役社長　岩本義心

本　社　大阪市東区高麗橋２丁目９番地　電話(202)４７９１代表
東京支店　東京都千代田区大手町２丁目１番１号　電話(241)４１７１代表

株式会社 間組大阪支店

常務取締役
支店長　森　隆雄

大阪市東区瓦町５丁目20番１号　電話（201)２７５１(大代表)
本　店・東京都港区北青山２丁目５番８号　(405)　１１１１番(大代表)
支　店・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・北陸・札幌・広島・高松・海外工事局

株式会社 長谷川工務店

代表取締役会長　長谷川武彦

大阪支社　大阪市東区平野町５－４０　電話06(203)5661
本　社　東京都港区芝２丁目32番１号　電話03(456)5451

未来をひらく　**フジタ工業**

常務取締役大阪支店長　志賀修一

大阪市北区堂島2丁目1番16号　電話（345）代表7671
本社・東京都渋谷区千駄ケ谷4－6－15
支店・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・札幌・仙台
海外・リマ・カラカス・サンパウロ・キトー・ロサンゼルス・グアム・クウェート

不二建設株式会社

取締役社長　山口慎一郎

大阪本社　大阪市西区西本町3丁目1番9号　〒550 電話 06－541－5534代表
東京本社　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号　〒160 電話 03－377－5171代表
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・静岡・大垣・四日市・京都・姫路・広島・大分

株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

本　社・大阪市東区両替町1丁目13　電話 06(944) 1468(代)
大阪本店・大阪市東区両替町1丁目13　電話 06(944) 1461(代)
支　店・東京都新宿区三栄町23の4　電話 03(357) 1611(代)
倉敷市鶴形1丁目10の32　電話 0864(22) 3330(代)
高松市丸ノ内11の13　電話 0878(51) 7272(代)
京都市右京区西院寿町13　電話 075(311) 4131(代)
福岡市博多区博多駅南4丁目18の2　電話 092(441) 6585(代)
営業所・埼玉・多摩・静岡・名古屋・宇治・泉南・岡山・徳島・新居浜・熊本

真柄建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　佐々木孝治

大阪支店　大阪市淀川区宮原4丁目4番50号　電話 大阪(06) 393—1171(代表)
東京本社　東京都千代田区麹町5丁目1番地　電話 東京(03) 263—1211(代表)
支店・営業所　東京・名古屋・金沢・富山・福井・京都・大津・神戸・新潟・福岡

前田建設工業株式会社大阪支店

取締役支店長　井戸賢二

支店　大阪市都島区東野田町2丁目4番20号　電話大阪（353)7891(代表)
本社　東京都千代田区富士見2丁目10番地の26号　電話東京（265)5551(代表)

株式会社 松村組

取締役社長　松村雄二

本　社・大阪市北区天満2丁目1番33号　電話 大代表 大阪(353)1131
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

三井建設 株式会社 大阪支店

取締役大阪支店長　森 川 祐 二

大阪支店　大阪市北区中之島３－４－18(三井ビル２号館) ＴＥＬ　06－443－1321
本　　店　東京都千代田区岩本町３－10－１　ＴＥＬ　03－863－3111

村本建設株式会社

代表取締役　村 本 豊 嗣

本　　店　奈良県北葛城郡広陵町安部547　電話　大和高田　(55) １１５１(代表)
大阪本社　大阪市天王寺区上本町9丁目49　電話　大　阪 (774) 2111(受付案内台)
東京支店　電話　東京(238)2111(受付案内台)　名古屋支店　電話　名古屋 (241)1511(代)
福岡支店　電話　福岡 (711)9251　三重支店　電話　津 (26) 2949

望月建設株式会社

取締役社長　望 月 小 太 郎

本　　社　大阪市北区曽根崎新地１丁目１番23号　電話 大阪 (344) 8651(代表)

株式会社 森 組

取締役社長　森　幸 彦

本　　社　大阪市東区横堀２丁目１４番地　電 話 ２０１－２７６１(代)
支　　店　東 京・名 古 屋・九 州・札 幌・奈 良
営 業 所　仙台・新潟・横浜・滋賀・京都・神戸・広島・熊本・高松

株式會社 米田工務店

代表取締役　米 田 良 男

本　社　〒543 大阪市天王寺区逢阪1丁目1番7号 TEL 大阪(06)771-7771代表

賀　正

1982

建材・設備工事・報道印刷業者有志

クリーンエアのコンサルタント

アイエム換気工業株式会社

代表取締役　松岡晃一郎

本　　社　大阪市浪速区塩草3丁目9－4　TEL (06)561－3901代
東京営業所　東京都荒川区西日暮里6-42-8飯田ビル1階　TEL (03)894－8831

青盛建材株式会社

取締役社長　青盛　巖

広島市中区舟入幸町19番10号　電話 0822－92－3200
福岡・岡山・松江・下関・徳山・鳥取

株式会社 梅彦

取締役社長　松永嘉一郎

営業所　大阪市北区中崎西2丁目1番3号　電話 06 (312) 6171代
茨木工場　茨木市豊川3丁目1番6号　電話0726 (43) 5185代

大阪装飾株式会社

取締役社長　蜷川智造

本　社　大阪市西区京町堀1丁目13番24号　電話 06(444)1410(代)
営業所　東京都千代田区麹町6-6-1(松尾ビル)　電話 03(234)0551(代)
神戸市中央区下山手通2-13-10(聯合ビル)　電話078(321)2009(代)

大塚グループ

大塚オーミ陶業株式会社

代表取締役　大塚正士

本　社　大阪市東区豊後町10番地　TEL 06 (943) 7711
支　店　東京都千代田区神田司町2丁目9番地　TEL 03 (292) 0011
工　場　滋賀県甲賀郡信楽町大字柞原字寿谷　TEL 07488 (2) 3001

須賀工業株式会社

取締役社長　須賀　新

本　店　大阪市西区土佐堀１丁目２番30号　電話（06）４４１－５１７１
本　社　東京都港区新橋６丁目17番19号　電話（03）４３４－７１１１
支　社　東京・大阪　支店　名古屋・京都・神戸・広島・福岡
営業所　札幌・東北・千葉・横浜・静岡・金沢・高松

よりよき環境へ技術で挑む――

株式会社 精研

取締役会長　木内清三
取締役社長　和田正八郎

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地（オートセンタービル）　電話768-5031㈹
東京支店　東京都千代田区九段南２丁目２番５号（九段ビル）　電話262-3241㈹

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－７２２１(代)

東亜印ルーフィング

東亜工業株式会社

建設省計振発
第５５号認可

東亜アスファルト防水事業協同組合

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号　電話0729－94－5682
営業所　東京・名古屋
工　場　大阪・東京・和歌山

コピーの 綜合コンサルタント

naigai

株式会社 ナイガイ

代表取締役社長　木下みどり

本　社	大阪市北区堂島２丁目１番１８号	TEL(06)345-9055
御堂営業所	大阪市東区本町４－27(御堂ビル)	TEL (06)252-3906
横堀営業所	大阪市東区横堀２丁目36－４	TEL (06)202-5260
神戸営業所	神戸市中央区磯辺通　4－2－26	TEL (078)251-0595
新大阪営業所	大阪市淀川区西中島５－13－15	TEL (06)308-2668

TOTO特約店

株式会社 ナニワ

代表取締役　吉田廣助

本　社　〒543 大阪市天王寺区鳥ケ辻1丁目3番6号　電話771－9123㈹
生野営業所　〒544 大阪市生野区巽西２丁目７番24号　電話758－7280㈹
柏原営業所　〒582 柏原市円明町２１７番６６　電話(0729)77-7280㈹

株式会社 西原衛生工業所大阪店

代表取締役社長　伴　一　郎

大阪市大淀区中津六丁目８番４号　電話 大阪（458）3531番(代)

大阪で唯一の

株式会社 日刊建設新聞社

代表取締役　中山豊雄
代表取締役　中山敏夫

大阪本社　大阪市東区高麗橋１丁目３（東洋ビル）　電話 202—6861(代表)
役員室　大阪市東区高麗橋詰町26（ユニ高麗橋）　電話 941—6847(代表)

日刊建設産業新聞・日刊建産速報

株式会社 日刊建設産業新聞社

取締役大阪支社長　中村勝則

大阪支社　〒541 大阪市東区淡路町1丁目14(八千代ビル)　電話06(231)8171(代)
神戸支局　〒651 神戸市中央区八幡通４丁目２—25　電話078(291)0541～2
京都支局　〒602 京都市上京区河原町丸太町東入俵屋町460　電話075(211)1911
本　社　〒173 東京都板橋区板橋１丁目48—8　電話03(961)1691(代)

株式会社 日刊建設通信新社関西支社

取締役関西支社長　山口哲雄

大阪市西区京町堀１—６—２３　エハラビル　電話（444）４４５１代表
本　社・東京都港区西新橋２—１１—４　電話（502）８５８１代表

マルエス印▲ルーフィング▲シングル

日新工業株式会社 大阪支店

大阪支店長　中田勝

本社営業所　東京都足立区千住東２—23—４　☎東京(882) 2424 (代)
大阪支店　大阪市西区新町１丁目12番22号　☎大阪(533)3191大代表
出張所　名古屋・広島・福岡・札幌・山形・工場／東京・埼玉・山形

日本アスファルト防水工業 協同組合 関西支部

大阪市西区新町１丁目12番22号　日新工業株式会社大阪支店内
電話（533）３１９１大代表

阪急電気工事株式会社

取締役社長　宇治正豊

本社　大阪市淀川区新北野1丁目4番21号　電話　代表 06 (302)0231

ビニロイド　防水　責任施工
アコシート　防水　責任施工
ACフロア35　責任施工
防熱工事設計施工
プラスオール　コーキング　製造販売

三星産業株式会社

〒550 大阪市西区京町堀1－10－17(大栄ビル)　Tel.〈443〉9721(代)
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル)　Tel.〈292〉1961(代)
出張所：札　幌〈721〉6031・6307　仙台〈21〉5366(代)
名古屋〈931〉4574・3393　福岡〈78〉3361(代)

三協アルミニウム工業株式会社代理店　日立化成工業株式會社代理店
アルケン工業株式会社代理店　新明和工業株式會社代理店
豊和工業株式會社代理店　近畿車輛株式会社代理店
信越ユニット株式会社代理店　住友ゴム工業株式会社代理店

ムツ三産業

ムツ三産業株式会社

代表取締役　傳馬正明

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号　電話 (06) 大代表 441－0378番
出張所：東京・広島　　工場：大津・竹原

M.Y

営業品目　建築金物、装飾金物、金具金物、
其他諸金物別注設計製作、オリジナル金属製家具

株式会社 山本金属製作所

取締役社長　山本正治

〒542 本社・本社工場　大阪市南区西賑町25　TEL(761)0127代
〒570 守口工場　守口市浜町2－1　TEL(993)7192代

ヨツ格

装美建材
金属建材

株式会社 山京建材

No.1販売部・No.2施工部

本　社　大阪市西区北堀江1－1－1　電話 541－1861～8
東　店　東大阪市金物町3番1号　電話 723－2277～8
山建ソービ　大阪市西区南堀江1(立花通)　電話 541－2152～3

デザインされた環境づくり

UNION

株式会社ユニオン

取締役社長　立野一郎

本　社　大阪市西区南堀江2-13-22　〒550 電話 06(532)3731(代)
東京営業所　東京都墨田区石原4－3－1　〒130 電話 03(625)8131(代)
名古屋営業所　名古屋市東区車道町3－1　〒461 電話052(935)6021(代)
虎ノ門ショールーム(17森ビル1F)東京都港区虎ノ門1-26-5　〒105 電話 03(508)2558(代)

地震考

総合天井システム〈Jライン工法〉〈ALTS工法〉

耐震・耐火そして軽量化を誇る総合天井システム〝Jライン工法〟〝ALTS工法〟は当社独自の照明灯ユニットおよびアルミ製Tバーを建物のモジュールに配列し、天井仕上げ材と一体化したシステム天井です。空調、照明、防災機器、スピーカーなどの設備ゾーンとの組み合せ、さらに間仕切、ブラインドBOXなどの取り付けも可能にした多機能を誇っております。（PAT. 6件）

奥村重兵衛株式会社

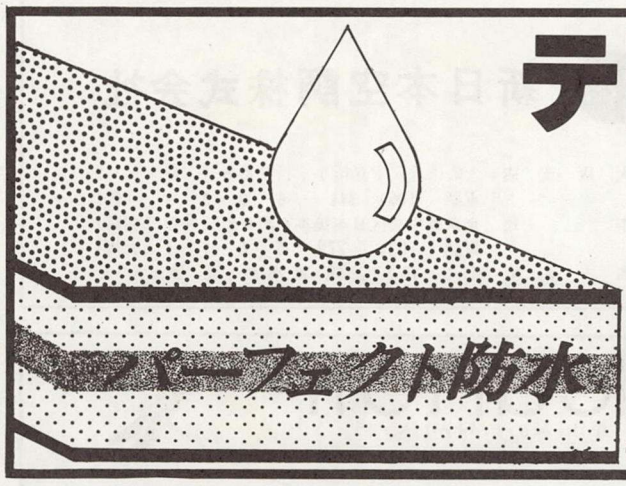
本　社　大阪市北区西天満5丁目3番7号　〒530 電話(06) 312－4131㈹
東　京　東京都港区新橋4丁目2番第29森ビル　〒105 電話(03) 437－3361㈹
福　岡　福岡市博多区住吉2丁目16番27号　〒812 電話(092)291－0459㈹
名古屋　名古屋市西区倹町2丁目1番6号　〒451 電話(052)522－5436㈹
仙　台　仙台市本町2丁目1番8号第1広瀬ビル　〒980 電話(0222)65－6568㈹
沖　縄　沖縄県那覇市壺川119番地　〒900 電話(0988)53－6850㈹

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市中央区北長狭通4-2-4　（英和ビル）
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号（堂ビル5階）
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市中央区八幡通1－16（電話221 2923）



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は（一層防水）施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーパータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本　社　東京都中央区銀座8－4－9　電話 03 (571) 2703
大阪事務所　大阪市淀川区東三国6－1－41　電話 06 (391) 1081－2
埼玉営業所　埼玉県桶川市東1－6－10　電話 0487(74)2845－6
厚木出張所　神奈川県厚木市金田字宮畑259　電話 0462 (21) 6092
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話 052 (811) 3660
九州出張所　佐賀県諸富町　電話 0952 (47) 2945

腐らない・燃えない・軽い

ケミカラーオーシマメタル

屋根材・壁　材・谷樋棟包水切りに
スタンダードメタルの　大島応用化学　東大阪市新庄（745)5121～5

空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話 (434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話 (302)2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話 (352) 1131 (代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町1-35-8　電話 (667)3431 (大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

空調・衛生
防災・汚水処理 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市中央区下山手通6-2-8 電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

取締役社長　齋藤博

本　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03—344—1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
支　店　仙台市中央2丁目10番12号　電話0222—61—3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052—581—8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話0822—47—4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092—761—3795
出張所　横浜・福井・京都・神戸・松江・高松・下関・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

本　店　大阪市西区江戸堀1丁目10番17号 〒550 電話(441)8231
本　社　東京都中央区銀座2丁目2番17号 〒104 電話(535)5251
支　社　大阪・東京・名古屋
支　店　札幌・仙台・金沢・広島・福岡
営業所　新潟・天理・岡山・高松・熊本
出張所　帯広・青森・秋田・盛岡・前橋・千葉・横浜・静岡
富山・福井・豊田・京都・神戸・徳山・鹿児島・那覇
海外支店　シンガポール

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地(オートセンタービル2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768—5031番
冷凍空調部　大阪市大淀区豊崎4丁目5番21号
郵便番号531　電話 大阪(06) 374—2455番
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル8階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262—3241～4番

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業 株式会社大阪支店

取締役社長　玉置純治郎
理事支店長　杉浦敏郎

大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸
出張所　横浜・四国・静岡・豊田・岡山・金沢・新潟

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜1丁目2番6号（新大ビル）
電話 (06) 344—6031 (代)
本　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話 (03) 279—5671 (大代)
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

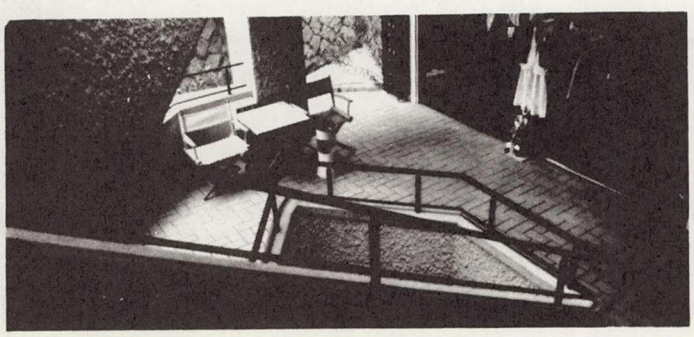
斎久工業株式会社

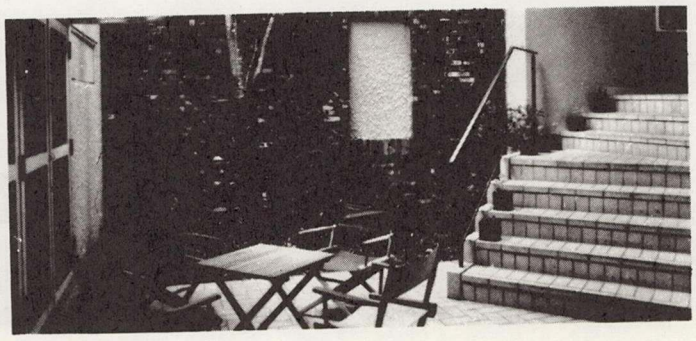
本　社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）
電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区中之島4-2-38　電話 06-(443)5041(代)
支　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・名古屋・金沢・高松・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・苫小牧

---

cleanair
一年中 秋のすがすがしさ！

創業1901
須賀工業株式会社
大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表) 〒550





商品は空気です。

熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－344－1851(大代)　大阪支店☎06－441－5851(代)
名古屋支店☎052－211－1535(代)　九州支店☎092－431－2147　営業所：札幌・仙台・横浜・京都
神戸・広島　出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津6丁目8番4号　**電話大阪(458)3531番**
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06－364－6661(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03－211－8511(代表)

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501(代)
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610(代)
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431(代)
滋賀営業所　大津市打出浜13－15　電話(0775)22－9738(代)
名古屋営業所　名古屋市中村区則武1-23 電話(052)452－3701(代)

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8(北阪急ビル9階)
電話 大阪(372)2511　(代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

Carrier　**冷暖房はCARRIER キャリア**

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪(384)1201～7

MODAIR　空気調和設備 換気・除塵設備 設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靭本町3－1－27　TEL(443) 8071
本　社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支　店　名古屋・福岡

営業種目
空気調和・衛生設備工事・設計・施工

平山工業株式会社

大阪市西区江戸堀1丁目22番7号
☎06－441－1994・443－0331

空気調和・衛生設備　ガス設備・ガス住宅設備　設計・施工　大阪ガス指定工事会社　大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

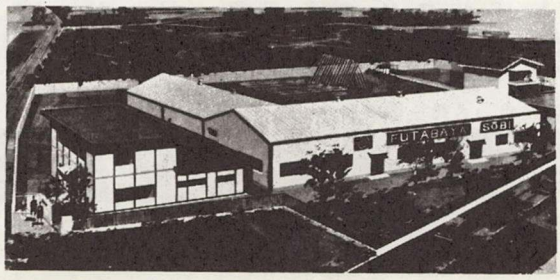
本　社　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
大阪工事営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
枚方ガス工事営業所　枚方市甲斐田東町9番3号　電話0720－49－2128
設備部　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工・監理

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀1－6－8　電話 06(443)8161(大代表)
(環境装置事業部専用)　電話 06(447)0831　(代表)
分析センター　大阪市淀川区三津屋南1-1-35　電話 06(308)1491
支　店　東京・名古屋・福岡
営業所　京都・神戸・姫路・広島・高松・松山

FUTABAYA DECORATORS,LTD



建築物船舶等造作工事、家具建具・室内装備工事
内外装飾織物・窓掛敷物壁紙類一式/**設計施工**

二葉屋装備工業株式会社

(創業大正7年)

取締役会長　若林繁吉
大阪府摂津市東別府3丁目7番8号
電話 大阪(06)349－9193代表
大阪府知事建築業者許可(般－48)第12064号

電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東京・名古屋・舞鶴・京都・天理
大阪南・神戸・広島・四国・九州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 博 三

本 社 大阪市北区中之島3-2-4 朝日ビル TEL 大阪06 (385)1361(代)
本社営業所 吹田市垂水町3－34－6 TEL 大阪06 (385)1361(代)
京都営業所 京都市右京区西京極葛野町21 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 東京都中央区銀座6-6-7 朝日ビル TEL 東京03 (574) 0665
福岡出張所 福岡市中央区薬院1－14－8 TEL 福岡092(771) 6168

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 坪 井 大

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電 話 (361) 3671 (代)
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電 話 (671) 1478 (代)
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大 阪 支 社

大阪支社長 横 田 幸 一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202)0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
営業所・出張所 全国主要都市20ヶ所

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8 (堂ビル3階)
電 話 (364) 1471 (代)
支 店 東京都港区新橋2－16 (ニュー新橋ビル7階)
電 話 (504) 0231
支 店 名古屋市北区城見通2丁目20番地
電 話 (991) 5131 (代)
営業所 神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長 田 中 実

本 社 大阪市西区北堀江1丁目10番2号
電話大阪 (538) 1171代表
営業所 東京・名古屋・広島・福岡

総合設備工事〈設計・施行〉
建築・電気・アンテナ・送電線・プラント・計装・空調・土木

太陽工藤工事株式会社

取締役社長 代 谷 正 元

本 社 大阪市福島区福島7－22－8
TEL (06)452—1151(大代)
事業所 東京・名古屋・大阪・広島・福岡

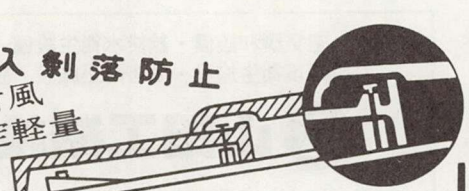
電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

本 社 大阪市北区西天満5丁目1番3号
TEL 06—364—3056 (代)
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

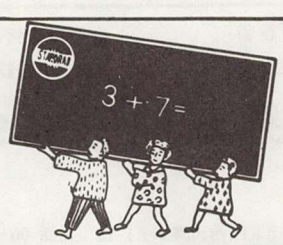
雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目七四 電話641五〇六五



Standard Board&Slate

フタバ黒板

〒547 大阪市平野区加美北3－4－5 TEL 大阪06(792)5858代

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート









源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。

株式会社 吉田芳雄商店

本 店 大阪市北区南森町2-1-6 電話(361)3450・(364)2345
源八橋店 大阪市北区同心2－1－31 電話(358)1790・1838

仏

社寺数奇屋用瓦……**大仏瓦**
床・壁内外装用瓦……**大仏敷・貼瓦**
内外装用窯変美術タイル……**大仏タイル**
新発売…古代土器調高温〆タイル……**大仏古代タイル**

株式会社 **大 仏**

本 社 京都市東山区今熊野大仏池田町9の9 075(541)3344(代)
東京営業所 東京都新宿区西早稲田3丁目23番8号 03 (202)7801(代)
早稲田セントラルビル1F
工 場 京都清水・山城・瀬戸

奉仕感謝の店
タイル工事施工
株式会社 川岸窯業商店
本　社　大阪市西区西本町１－13－33(靱本町バス停前)
電話　大阪 06(532)代0461　㊡ 550
天理営業所　天理市丹波市町新町50

特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉８－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子５０１

営業品目　建設省認定の防火材料
セメント系吹付材　ソリジットスタイン　基材同等　０００３号
特殊リシン吹付材　エバウォール　基材同等　０００３号
アクリル系吹付材　エバーサンド　基材同等　０００４号
ヒル石吹付材　エバテックス　基材同等　０００４号
合同特許建材工業株式会社
本　社　大阪市東住吉区駒川2-4-22　電話 (06)702－7814～7
東京事業所・名古屋出張所・高松出張所・福岡出張所

カーテン・壁装材
新たにショールームが完成！
皆さまのお越しを お待ちいたしております。
株式会社フジエテキスタイル 大阪支店
〒541　大阪市東区平野町３－６－１
平野町センチュリービル１Ｆ
TEL　０６－２２７－０２９１

株式会社矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋２丁目９　野村ビル5階　電話 大阪(202)4905

営業品目　プール・水処理用各種フィルター
ボイラー・熱交換器・サウナ設備
株式会社 ツルカメ
本社　〒543 大阪市天王寺区寺田町2丁目2番12号　TEL(772)5307
東京　〒162 東京都新宿区市ケ谷台町８番地　TEL(353)9595

電気・空調・衛生など各種設備分野の記事が１冊の雑誌に！
BE 建築設備 月刊
都市＋建築＋設備＋機器＋材料を
総合するユニークな専門誌



～充実した実務家のための内容～
■視点・随筆　業界，学会，社会，文化について，学識経験者の見解を発表
■新建築・新設備　注目すべき建物の建築と設備を紹介
■特　集　業界，社会のニーズにこたえる諸テーマをとらえて，必要知識を紹介
■講　座　建築，建築設備，機器，材料に関連し実務上必要とする基礎知識を連載
■特別講座　業界，社会のニーズにこたえ，時代的テーマに関し実務上必要とする知識を連載
■ニュース　国内・海外ニュース，機器・文献ニュース
■会社だより，研究所だより　その他
雑誌B5判・100頁・定価1000円――申込次第見本送付
社団法人　建築設備綜合協会
協会正会員募集中・年会費12,000円―申込は事務局まで
東京都中央区銀座3-2-19建築会館2階 出版部(03)561-7181 事務局(03)561-1765〈銀行振込先・三菱銀行京橋支店普通預金0055-082〉

RST方式 ロックオーガー

各種障害撤去 ●砂礫層穿孔撤去 ●玉石層穿孔撤去 ●岩盤層穿孔撤去 ●鉄筋、鉄骨コンクリート穿孔撤去 ●杭引抜き及び撤去

株式会社 菱備基礎

本社 豊中市宝山町22番44号 〒560 電話(06)841—7121～3
工場 豊中市利倉東1丁目16番5号 〒561 電話(06)863—0207(代)

膨張材 小野田エクスパン
防錆剤 ラスナイン

小野田セメント株式会社

本部 東京都江東区豊洲1-1-7 TEL 531-4111
大阪支店 大阪市北区梅田1-8-17 TEL 341-8331
支店 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・高松・広島・福岡

営業種目

●防水工事 塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法 各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事 各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事 シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事 アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可 大阪府知事許可(般—53)第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員

大阪市北区末広町3－21 星和地所扇町ビル201S TEL 06(315)0701

㈱特殊技研

建設業界をアシストする
ポゾリス

■コンクリート用混和剤 ■無収縮グラウト材
■鉄筋コンクリート用防せい剤 ■工業用特殊床材

製造元 日曹マスターピルダーズ株式会社
販売元 ポゾリス物産株式会社
本社/東京都港区六本木3－16－26 ☎03-582-8811
大阪営業所/大阪市東区北浜3－7 ☎06-202-3294

デンカCSA デンカセメント
セキサンパイル(S M.AC.PC.RC)
カネライトフォーム.ALC.鋼材
建築材料一式

浜宗産業株式会社
代表取締役 濱岡 浩
本社 〒629-31 京都府竹野郡網野町字網野 TEL (07727)2—2220(代)
舞鶴営業所 〒624 舞鶴市福来160-1 TEL (0773) 76—0133(代)

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP

日立バイナリーシートPは,日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した,二重構造の断熱兼用二重防水シートです。

日立電線株式會社 本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

デンカCSAファミリー製品

●**デンカCSA** ……コンクリートのひびわれ防止に
(膨張性混和材)

●**デンカタスコン** ……鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
(グラウト用無収縮材)

●**デンカキューデックス** ……コンクリート躯体の漏水補修に
(止水・補修用急硬セメント)

●**デンカES** ……地盤補強用薬液注入
(土質安定用急硬材)

●**デンカΣ1000** ……コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
(製品用超高度混和材)

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

金森藤平商事株式会社
TEL 大阪(06)332—6861
TEL 東京(03)272—8501

光洋物産株式会社
TEL 大阪(06)252—6000

小浦産業株式会社
TEL 大阪(06)443—6181

株式会社 トーゴー/本社
TEL 滋賀・守山(0775)83—2381

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許 鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

鈴木シャッター販売株式会社

大阪市北区茶屋町5番2号 電話大阪(06)371-4151 6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762)65-5135-6
神戸営業所 神戸市長田区大橋8-4-7 電話神戸(078)611-7971 631-2021

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シャッター

東洋シャッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1−12 日生ビル ☎(943)6571代表
東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市

建築 出版案内 建築

新刊 好評発売中！
建築型わく工法マニュアル 高橋 昌 著
A5・216頁 定価2,600円・送料300円

建築技術者並びにビル管理者のための
建築工事 内外装の損傷と補修 同編集部 編
B5・289頁 定価3,600円・送料300円

1 A5・430頁 定価3,800円・送料300円
建築構造問題快答集 同編集部 編
2 A5・385頁 定価3,800円・送料300円

上巻 B5・453頁 定価6,000円・送料350円
新版 建築工事検査の実際 亀田 泰弘 監修
下巻 B5・535頁 定価7,000円・送料350円

同じ失敗を繰り返さないために
建築工事 失敗の実例にまなぶ 同編集部 編
B5・279頁 定価3,600円・送料300円

建築構造計算資料集 (全8巻) 中川 淳 編著
第1巻 鉄筋コンクリート構造編(1) B5・240頁 定価3,800円
第2巻 鉄筋コンクリート構造編(2) B5・212頁 定価3,000円
第3巻 鋼構造編(1) B5・225頁 定価3,200円
第4巻 鋼構造編(2) B5・256頁 定価3,500円
第5巻 鉄骨鉄筋コンクリート構造編 B5・208頁 定価3,200円
第6巻 基礎構造編 B5・249頁 定価3,800円

全国書店18日一斉発売！ 最寄りの書店にご注文下さい

月刊 建築技術

建設省建築研究所 監修

No. 366 2月号の予定目次 定価 ¥850

PC板埋設型枠を用いた合成スラブ工法 --- 本橋秀世ほか
PS大スパン構造による流通施設 --- 松嶋重雄ほか

- 窓ガラスの安全性 ---- 服部 義郎
- 走行クレーンを支持する建家の応力計算 ---- 筒井 助幸
- 材料と工法 '82:断熱材打込工法 —陸屋根断熱防水篇— ---- 編集部
- 新耐震設計法の考え方と問題点(4) 尾崎 昌凡
- 構造計算データシート(79) ---- 構建設計研究所
- PSコンクリート建築設計ノート(8) 長倉 四郎
- 構造物の動的解析(11) ---- 石丸 辰治

建築経済統計図表●フォトニュース●トピックス●建築家の良識●読者コーナー●海外の話題●建材の動向 その他

直接購読ご希望の場合年間予約金 ¥10,200(送料共)

〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1 中島ビル8F 建築技術 振替口座 東京0-72417番 ☎東京(363)4211(代)

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

錆びない！ われない！ 燃えない！

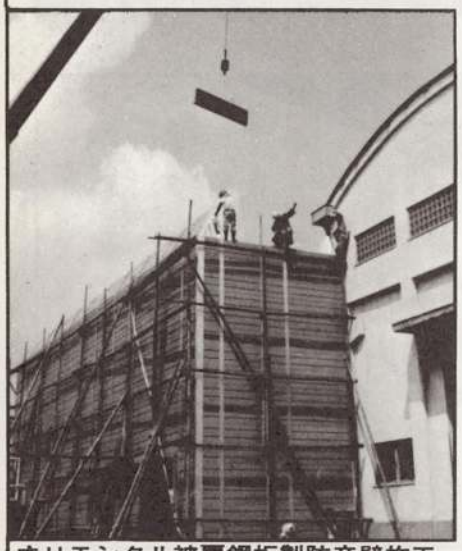
長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスーパーメタル(SPM)
- オリエンタルメタル(OPM)
- オリエンタルスチールライト(STL)
- オリエンタルサンセラム(SS)

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ホーンタイト(防音壁)・スチールシングル・其の他

※ カタログを御請求下さい


オリエンタル被覆鋼板製防音壁施工

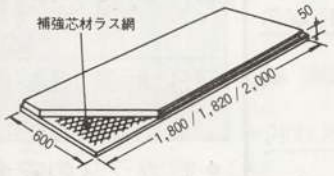
オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り3－26　松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
営業本部　〒660　尼崎市長洲稲川新田44　電話大阪(06)488－1081(代)
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷
姫路(東洋建材工業．株)
東京本社及工場　〒335　蕨市塚越5丁目6番32号　電話蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北

「省エネ効果を高める」外壁

ヘーベルライト®





ヘーベルライトは、パネル全面に補強芯材を内臓しています。木造住宅・鉄骨住宅どちらにもマッチする外カベパネルとして注目を集めています。

- 断熱性が高い
- 火に強い
- ヒビ割れしにくい
- 重厚な外観をつくる
- 工期が短い

ヘーベルライトは、すぐれた特性を複合的に発揮する、軽量気泡コンクリート外壁材です。

今、家づくり街づくりに、
大量に使われているヘーベル。
(軽量気泡コンクリートパネル)

ご存知ですか。これが超高層ビルから店舗・事務所・住宅まで、あらゆる用途の建築にヘーベルが用いられる理由です。

- 冷暖房費を節減する、省エネルギー建築をつくることができる。
- 火災に対して安全な建築をつくることができる。
- 地震に強い建築をつくることができる。
- 短期間で好みに合った、美しい建築をつくることができる。
- 隣接建築物一ぱいに建てられ、敷地の有効利用ができる。
- 建築中、周囲への迷惑が少なくてすむ。
- 乾式工法でかつ断熱性がよいため、結露によるジメジメやカビの発生のない健康的な建築をつくることができる。
- 重量感があり、近代感覚に満ちた建築物をつくることができる。

安全・快適な建築づくりに貢献する

日本工業規格(JIS)製品
建設大臣認定耐火構造部材・省エネルギー協力製品

ヘーベル

旭化成建材株式会社

(株)新興建材工業所

〒550 大阪市西区南堀江4－32－11　☎(06)538－2951(代)
責任施工　工事部　直通☎(06)541－5755
(建設業　大阪府知事許可〈般－52〉第20210号)

明石支店 〒673 明石市西新町2－12－14 ☎078(922)0007(代)
高槻営業所 〒569 高槻市宮田町2－1－29 ☎0726(96)2889
中国営業所 〒742 柳井市宮本浜(柳井総合卸センター内)
☎08202(2)5211

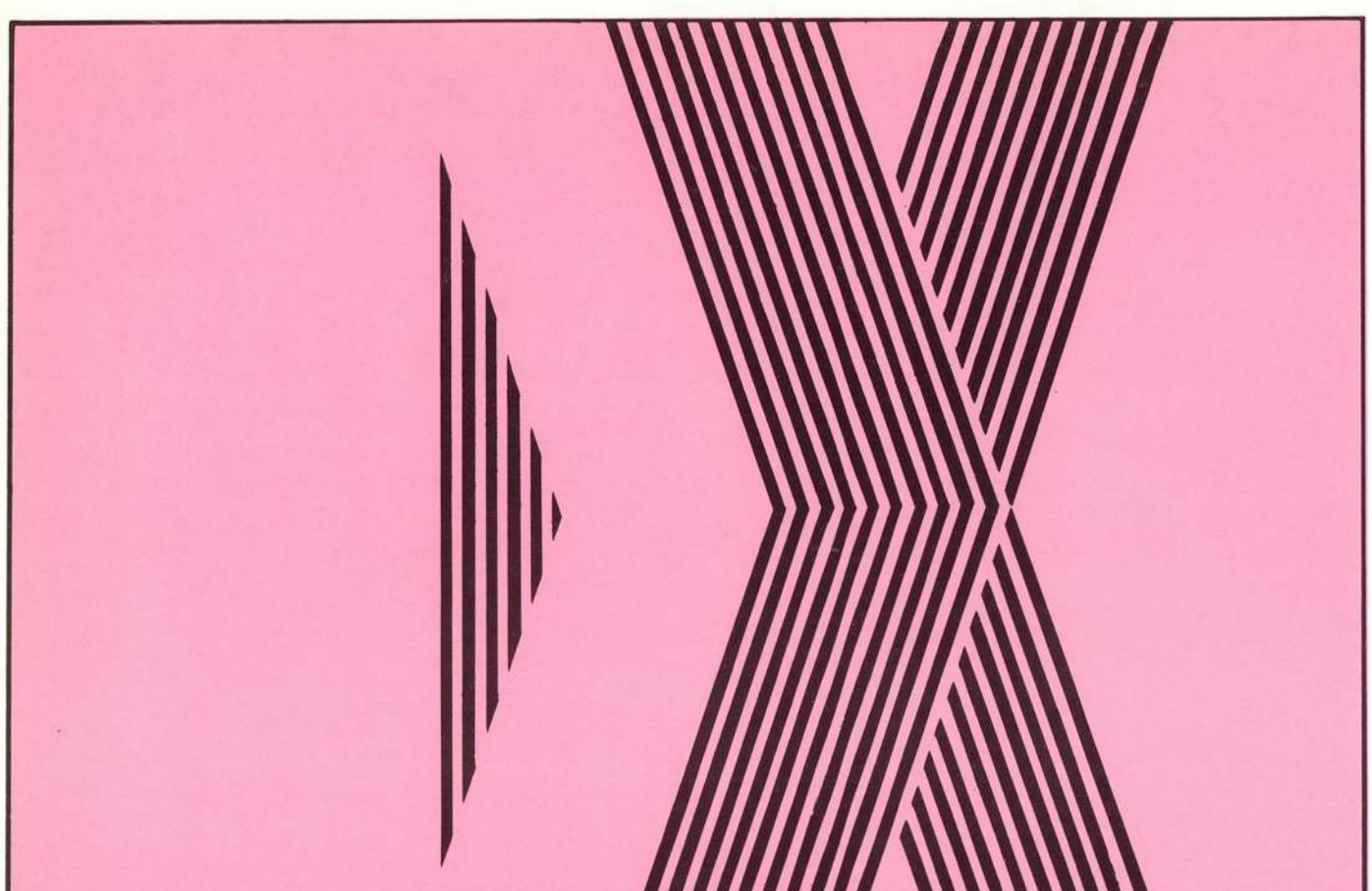
ネコ負けそーの冬



猫はコタツで丸くなる……というのは童謡。電気毛布にくるまってコタツに足をつっこむなんていう人がいたら猫だって逃げ出してしまいます。
省エネのほどほど暖房がいいですね。

エネルギーを大切に

関西電力



既設防水層の改修に最適!!

プレノコートDX防水工法

常温ゴムアスファルト塗膜防水

プレノコートDX防水工法とは……

- ●安全・無公害の常温工法です。
- ●合成繊維を基材とした分厚い本格的なゴムアスファルト塗膜防水工法です。
- ●硬化剤の使用により、強制造膜ができます。
- ●既設防水層の補修用に適しています。
- ●通常使用範囲内での低温脆化、高温流動がありません。

マルエス S 日新

日新工業

日新工業株式会社

本社・東京営業所 ■ 東京都足立区千住東2-23-4 ☎ (882)2424(代表)
大阪支店 ■ 大阪市西区新町1-12-22 ☎ 06(533)3191(代表)
営業所 ■ 九州 ☎ 092(451)1095 ■ 名古屋 ☎ 052(741)6257
■ 札幌 ☎ 011(281)6328
出張所 ■ 広島 ☎ 0822(21)1019 ■ 仙台 ☎ 0222(63)0315
工場 ■ 埼玉 ■ 山形 ■ 北海道

雑誌 03379—1

建築とまち 昭和57年1月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可
（表紙デザイン・水野哲雄）
定価七五〇円
正会員の購読料（会員特価六〇〇円）は会費に含めて徴収